多摩のまちづくり戦略

令和７(2025)年３月

東　京　都

表紙の写真の出典・提供元は以下のとおり
左から１番目 高尾山ケーブルカー付近の風景、八王子市、ccby4.0
６番目 武蔵野市
８番目 立川市景観計画
９番目 一般社団法人聖蹟桜ヶ丘エリアマネジメント

「緑のTAMA手箱」の実現に向けたまちづくり

- 明治26年に東京府に移管されてから130年以上が経過し、多摩地域は、数々の苦難を乗り越えながら、東京の発展と共に成長してきました。人口も、移管当時は24万人。それが今では、東京の人口の三分の一に相当する400万人を超える人々が暮らしています。
- 多摩地域には、古代にまで遡る深い歴史があります。地域の伝統・文化は、人々の暮らしの中で脈々と受け継がれ、発展してきました。また、都心部にはない豊かな緑とゆとりの空間を有し、大学・研究機関や企業の集積、さらにはアニメの聖地など、多彩な魅力を放っています。
- AIなど先端技術の発展や新たな暮らし方・働き方の浸透など、社会状況も大きく変わってきています。変わりゆく時代の中で、それぞれの地域で色とりどりの個性を発揮し、活力に満ちた拠点づくりを進めていくことが重要です。地域資源や歴史、文化などの魅力を上手にまちづくりにいかしながら、地域の可能性をグンと引き上げていきたいと思います。
- 今般策定した「多摩のまちづくり戦略」では、2050年代の将来像を描き、未来に向けた取組を示しました。
- まちづくりの推進に当たっては、地元自治体をはじめ地域の皆様との連携・協力を一層強化していくことが大切です。魅力にあふれ、快適で充実した暮らしをかなえる、「行きたい」、「住みたい」まちづくりを進め、「緑のTAMA手箱」を創り上げてまいりましょう。

令和７（2025）年３月　　東京都知事　小池百合子

2050年代の多摩　～緑のTAMA手箱～

- 地域の魅力にあふれ、快適で充実した暮らしをかなえる行きたい・住みたい多摩

多摩だからできる暮らしがある

シェア農地や農業体験

（家庭菜園付の二地域居住）（カフェで高齢者交流）
空き家を活用

自然に囲まれてリモートワーク・子育て

子育て世帯等が住みやすい
アフォータブル住宅

緑豊かな
インターナショナルスクール

すぐに飛び込める大自然がそこにある

玉川上水による水と緑の空間

森林セラピーなど自然観光

高度なインフラが快適や安心を支える

自動運転やドローンによる自動配送

立川広域防災基地へのアクセス強化

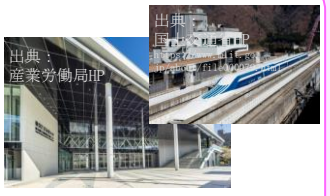
みんなが“推し多摩”を見つける

地域資源をつなぐ観光ルート発信

自然をテーマにした観光にぎわい施設

新時代の活力が躍動するフィールドがある

新たな暮らし方・働き方のモデルとなるまち



リニア新駅に研究・起業拠点

未来型のハイテク近郊農業

目次

1　多摩のまちづくり戦略の目的と位置付け

1.1　策定の経緯と目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
1.2　多摩のまちづくり戦略の位置付け・・・・・・・・ 9
1.3　対象エリアと目標年次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

2　多摩地域の現状と社会状況の変化

2.1　まちづくりの変遷・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
2.2　多摩地域の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
2.3　社会状況の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
2.4　今後の想定される変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
2.5　成長と成熟の源泉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

3　まちづくりの将来像

3.1　まちづくりの将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
3.2　まちづくりのシーンの例・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
3.3　将来イメージ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

4　まちづくりの方向性

4.1　まちづくりの進め方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
4.2　将来像の実現に向けた戦略・・・・・・・・・・・・・ 56

5　まちづくりの取組の概要

5.1　支援策とプロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74

6　まちづくりへの支援策

6.1　概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
6.2　既存施策の活用によるまちづくりの推進・・・ 78
6.3　まちづくりマッチングシステム・・・・・・・・・・・・・・・ 79
6.4　道路・交通ネットワークの充実を契機とした
　　周辺のまちづくりの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
6.5　特徴を踏まえたエリアのまちづくりの推進・・・・ 82

7　TAMA拠点形成プロジェクト

7.1　拠点の考え方と対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
7.2　各拠点におけるまちづくりの戦略・・・・・・・・・・・ 85

8　TAMAまちづくり推進プロジェクト

8.1　新規基盤連携型プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・ 107
8.2　首都東京のレジリエンスを高めるプロジェクト・ 124

9　TAMAニュータウンプロジェクト・・・・・・ 126

［巻末掲載］

・6.2　既存施策の活用によるまちづくりの推進・・・・・・・・・ 137
・7.2　各拠点におけるまちづくりの戦略・・・・・・・・・・・・・・・ 165

［附属資料］

・有識者の意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・291
・子供の意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・293
・多摩のイノベーション創出拠点の形成に向けた取組・・・・ 303
・多摩地域を含む2050年代の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・307
・検討の経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・312

1　多摩のまちづくり戦略の目的と位置付け

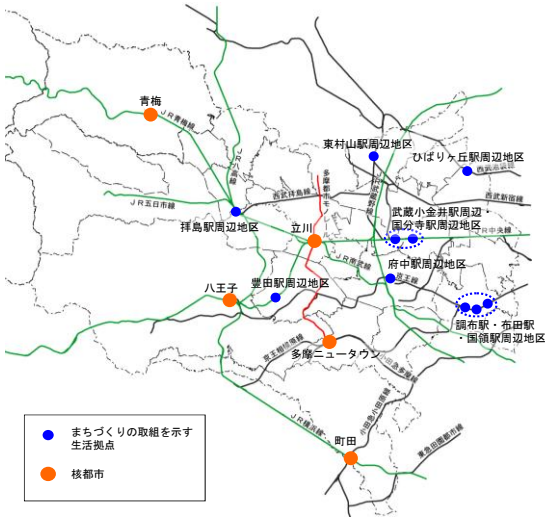
1　多摩のまちづくり戦略の目的と位置付け

1.1　策定の経緯と目的

経緯

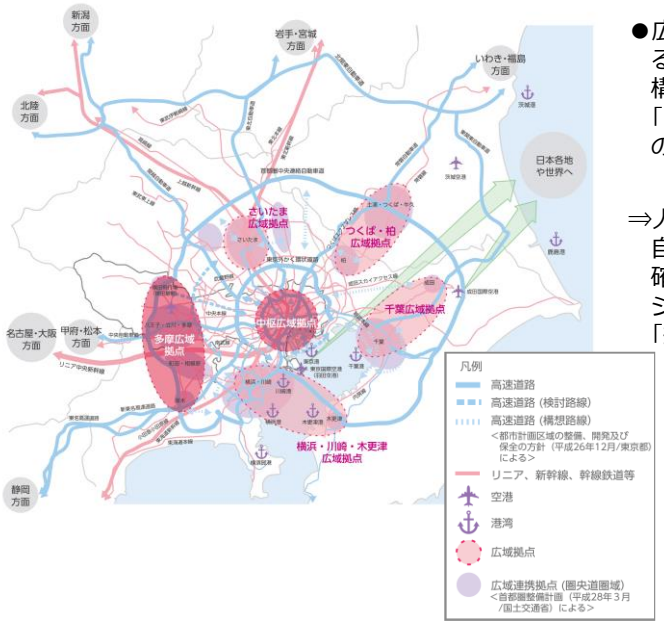
- 都は、これまで「**多摩の拠点整備基本計画**」（平成21年）を策定し、拠点整備に向けてハードの整備プロジェクトを推進してきた。
- 策定から10年以上が経過し、2040年代の東京が目指すべき将来像等を示した「都市づくりのグランドデザイン」(平成29年)など**上位計画**が策定された。
- 「**都市づくりのグランドデザイン**」では、多摩広域拠点に**多摩イノベーション交流ゾーン**を設定し、多摩地域における、企業、大学、研究機関などの集積をいかし、多様なイノベーションを創出できる拠点をつくることを位置付けた。
- その実現に向けて、令和元年度に「**多摩のイノベーション創出拠点の形成に向けた取組方針**」を策定した。本方針に基づき、**イノベーション創出まちづくりモデル事業**（令和２～3年度）を実施し、ハード・ソフト両面からのまちづくり、多様な主体との連携などの重要性を検証した。
- コロナ禍を経た新たな暮らし方・働き方の浸透など社会状況の変化が生じており、まちづくりの抱える**課題は多様化・複雑化**している。
- まちづくりの状況を見ると、再開発事業や総合設計などの民間開発の件数は区部と比べて少ない。また、市町村では技術職員が少ないことやノウハウが不足していることが指摘されている。
- このような状況を踏まえ、**新たなまちづくり**を都が**プロジェクト**として進めることが重要である。

多摩の拠点整備基本計画（平成21年）



●従来の八王子、立川多摩ニュータウン、青梅、町田の５つの核都市に加え、７地区の生活拠点を計画に位置付け

都市づくりのグランドデザイン（平成29年）



●広域的には、概成する環状メガロポリス構造を更に進化させ「 交流 ・ 連携 ・ 挑戦の都市構造 」を実現

⇒人･モノ･情報の自由自在な移動と交流を確保し、イノベーションの源泉となる「挑戦の場」を創出

1　多摩のまちづくり戦略の目的と位置付け

目的

- 本戦略は、社会状況の変化などを踏まえ、「多摩の拠点整備基本計画」を発展的に見直し、成長と成熟が両立した多摩の実現を目指して、**都の広域的なまちづくりの取組**を示すものである。
- 拠点づくりにおいては、都がプロジェクトとして地元自治体のまちづくりを支援し、ハード・ソフト両面から実効性のある取組を進めるため、３か年のスケジュールなどを示す。
- また、広域的に連たんする新たなまちづくりや、首都東京のレジリエンスを高める政策的な意義の高いまちづくりについて、都がプロジェクトを推進することを示す。
- さらに、多摩ニュータウンについては、モデル地区での先行プロジェクトの実施により、まちづくりを先導し、地元自治体の取組を後押ししていくことを示す。
- 加えて、多様化・複雑化する課題に対応するため多様な主体との連携、交通基盤をいかしたまちづくり、地域特性をいかした広域的なまちづくりなど、地元自治体のまちづくりを支援していく。
- なお、本戦略策定後、着実にまちづくりを推進するため、まちづくりの進捗や社会状況等の変化を踏まえ、随時、プロジェクト等の**ブラッシュアップ**を行う。

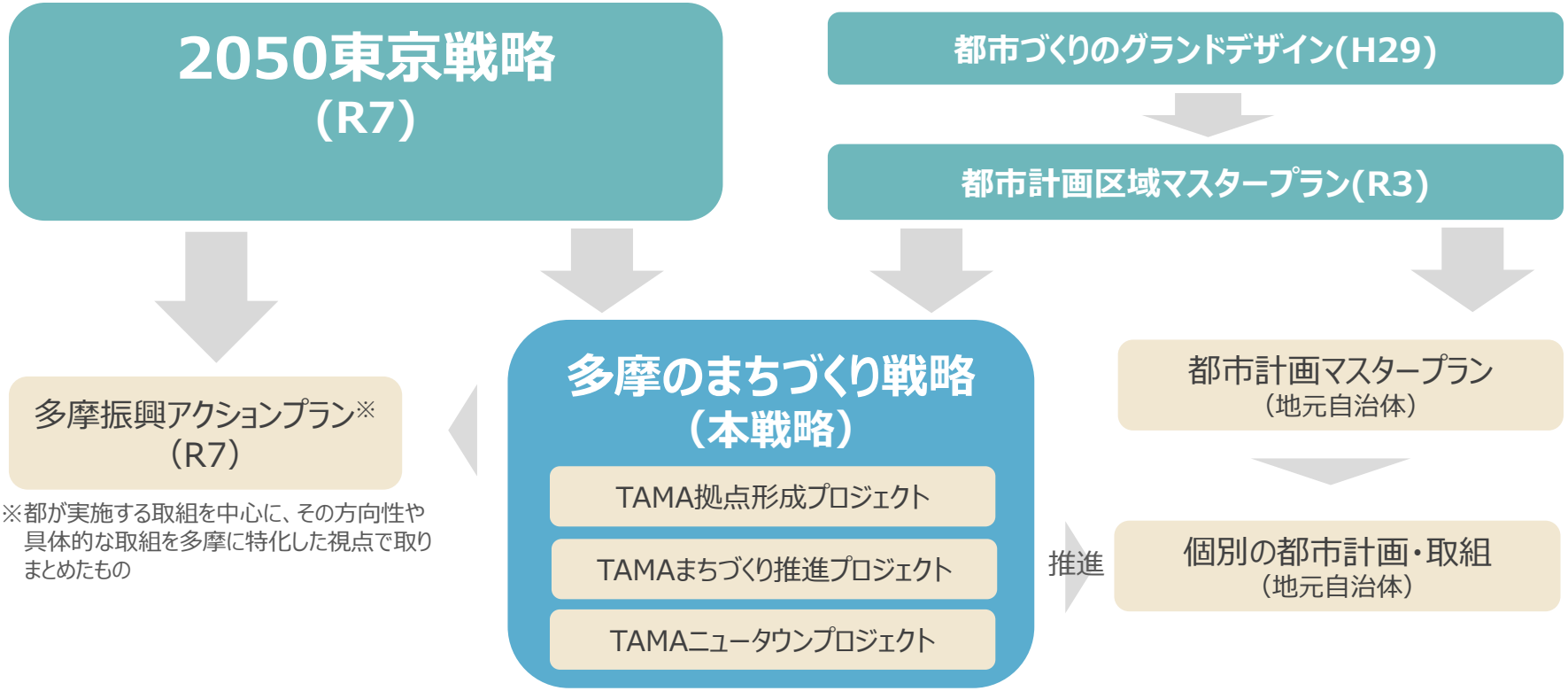
多様な主体との連携
出典：瑞穂町提供

交通基盤をいかしたまちづくり
出典：小金井市提供

地域特性をいかしたまちづくり
出典：調布市提供

1.2　多摩のまちづくり戦略の位置付け

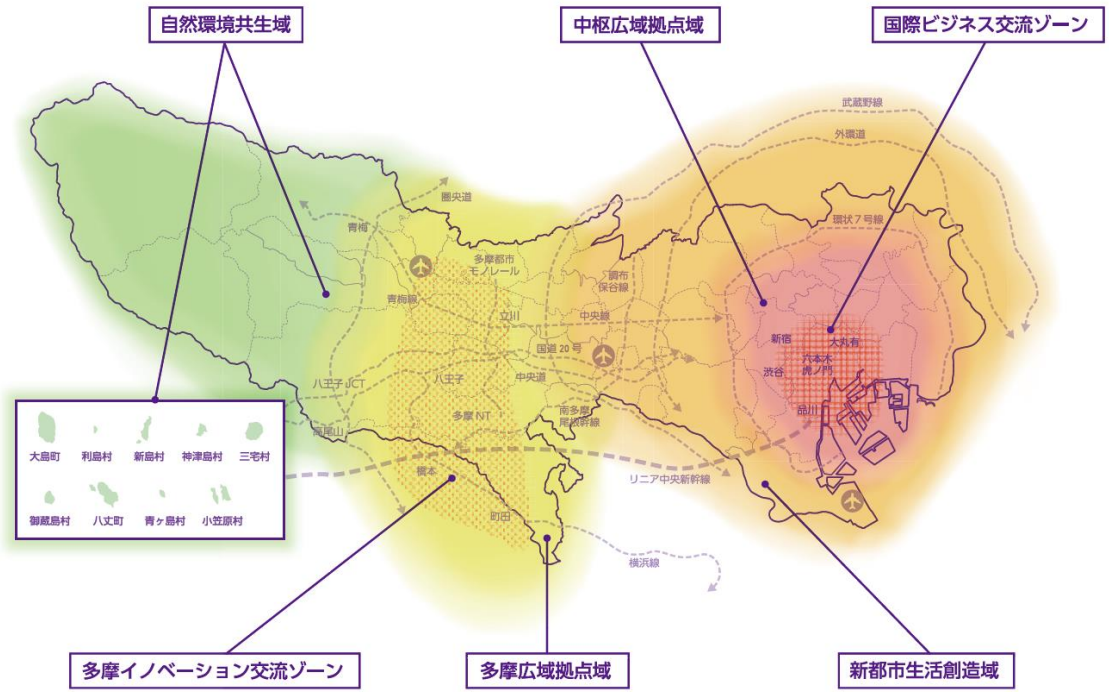
- 多摩のまちづくり戦略は、「2050東京戦略」や「都市づくりのグランドデザイン」、「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（以下「都市計画区域マスタープラン」という。）を**上位計画**とする。
- 本戦略では、都市計画区域マスタープランで定めた将来像の実現に向けて、広域的なまちづくりの取組を示し、地元自治体の**都市計画マスタープランへ反映**させるとともに、**拠点などにおけるまちづくりの取組を推進**する。



- 広域的なまちづくりを推進していくため、**多摩まちづくり推進連絡会議**も活用しながら、地元自治体との連携を積極的に行っていくとともに、ホームページやSNSを活用して、都民などに多摩のまちづくりの状況などを広く発信していく。

1.3　対象エリアと目標年次

- 本戦略は、多摩地域全域の都市計画区域を対象エリアとし、「都市づくりのグランドデザイン」で示した以下の地域区分に基づき、それぞれの特性と将来像を踏まえた都市づくりを進めていく。
- なお、都市計画区域外である奥多摩町や檜原村でも、周辺市町と連携して観光のまちづくりに向けた取組などが進められている。今後の本戦略の更新に当たっては、これらの取組状況についても、適宜確認していく。
- また、「2050東京戦略」、「都市づくりのグランドデザイン」 等の上位計画を踏まえ、2050年代を将来像の実現に向けた目標年次とする。



出典：都市づくりのグランドデザイン（東京都都市整備局）　平成29年９月

地域区分ごとの主な将来像

【多摩広域拠点域】
道路・交通ネットワークの結節点において業務・商業機能が集積した拠点が形成され、リニア中央新幹線や圏央道などのインフラを活用し、他の広域拠点や都市圏との交流が活発に行われている。

【多摩イノベーション交流ゾーン】
道路・交通ネットワークを生かして域内外との交流が活発になることや積極的に挑戦しやすい環境が整うことにより、様々な主体が交流し、新たなアイデアや創意工夫が生まれ、多様なイノベーションの創出が図られている。

【新都市生活創造域】
駅等を中心に機能を集約した拠点が形成されるとともに、木造住宅密集地域の解消や大規模団地の更新などに併せ、緑と水に囲まれたゆとりのある市街地が形成され、子供たちが伸びやかに育つことができる快適な住環境が再生・創出されている。

【自然環境共生域】
豊かな自然環境や地域資源をベースとし二地域居住やサテライトオフィス、環境教育、スポーツ、観光、農業・林業体験など多様な機能と共存し地域の魅力を発揮し、発信している。

2　多摩地域の現状と社会状況の変化

2　多摩地域の現状と社会状況の変化

2.1　まちづくりの変遷

- 多摩地域は、東京都の面積の約２分の１を占める広大な地域であり、現在より約130年前の明治 26 年（1893年）に西多摩・南多摩・北多摩の３郡が神奈川県から東京府に移管されて以降、東京の発展とともに成長してきた。
- 今では約 430 万人もの人口を擁するとともに、歴史的な経緯から、ものづくりをはじめとした高い技術力を持つ中小企業や大学・研究機関等が集積しており、東京の持続的な発展にとって重要な地域である。
- これまでのまちづくりの変遷を振り返る。

参考文献
- 「東京の都市づくり通史」（公益財団法人東京都都市づくり公社）
- 「多摩　市町村のあゆみ」（公益財団法人東京市町村自治調査会）
- 「多摩　鉄道とまちづくりのあゆみⅠ」（財団法人東京市町村自治調査会）
- 「多摩の将来像2001」・「新しい多摩の振興プラン」（東京都総務局）
- 「東京の都市づくりのあゆみ」（東京都都市整備局）
- 「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」（東京都・特別区・26市・2町）

甲州街道　明治28（1895）年＜八王子市＞

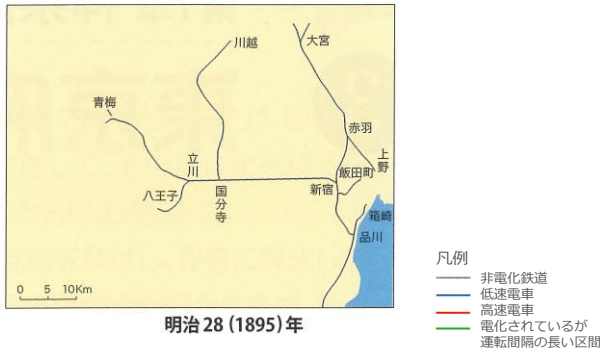
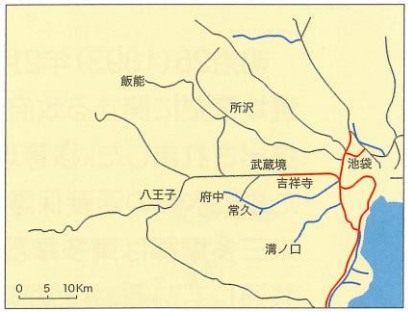
出典：多摩の将来像2001（東京都総務局）

甲州街道　令和5（2023）年＜八王子市＞

出典：八王子市提供

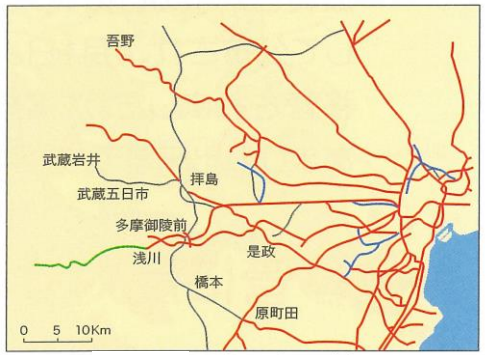
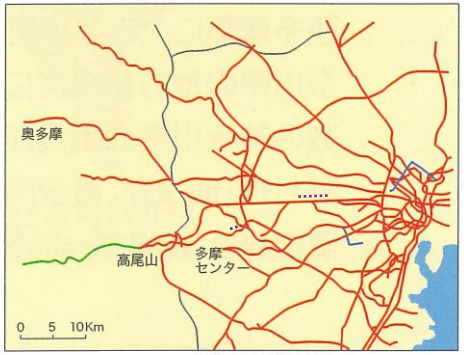
2 多摩地域の現状と社会状況の変化

2.1 まちづくりの変遷

	インフラ	人口	産業	市街地の状況等	都（東京府・東京市）の主な関わり
明治	● 第一次私鉄熱に乗じて、八王子と東京を結ぶ鉄道が開業 ● 木材と石灰石を輸送するため、立川～青梅の鉄道が開業 ● 明治期まで埼玉で最大の都市であった川越を結ぶため、国分寺～川越の鉄道が開業  明治 28（1895）年	24万人 （1893年）	● 多摩地域の主要産業は養蚕製糸と織物業であり、八王子織物、青梅織物、村山織物と、３つの産地に分かれていた。	● 東京府に移管後、東京の発展とともに成長し、交通の発達や織物産業の隆盛などと合わせ、徐々に都市化が進行	● 明治26(1893）年　西多摩、南多摩、北多摩の３郡が、神奈川県から東京府に移管
大正	● 大正中期から昭和初期にかけて、私鉄を中心とした鉄道網（京王線、（現）西武池袋線など）の整備が進む。（多摩川の砂利輸送を目的とする鉄道の整備も進展） ● **大正末年までに多摩全域がほとんど電化**  大正 9（1920）年	31万人 （1920年）	● 電力の導入により、八王子で織物工場が市街地に集中	● 住宅の整備や後の大学の母体となる学校、公園、病院をはじめとした各種施設の開設や区部からの郊外移転が始まった。 ● 大正12(1923）年の関東大震災以降は、諸施設の区部からの移転に拍車 ● 八王子が多摩地域最初の市制を施行 ● 東京の防衛拠点の中核として立川飛行場が開設され、立川は「空都」と呼ばれるようになった。	● 東京市第一水道拡張事業認可（村山貯水池等） ● 東京市の墓地不足解消のため、多磨霊園の開園 ● 村山上貯水池完成

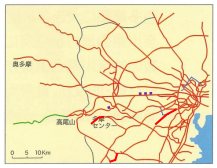
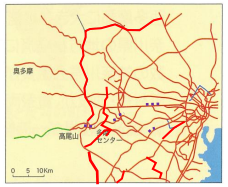
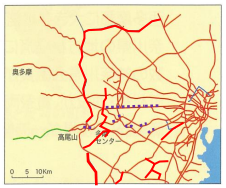
2 多摩地域の現状と社会状況の変化

2.1 まちづくりの変遷

	インフラ	人口	産業	市街地の状況等	都（東京府・東京市）の主な関わり
昭和元年～29年まで	● （現）西武新宿線、小田急小田原線、（現）JR南武線等が開業  昭和15（1940）年	65万人（1944年） 85万人（1950年）	● 昭和恐慌が転機となり、織物業の割合が急速に低下し、かわって航空機関連産業が著しく増加 ● 戦時中は、航空機の製造工場などの軍需工場があったため、都心と同様に空襲を受けた。 ● 戦後は、軍需工場が民需の工場に生まれ変わる。	● **戦後、都市化の進展が続き、ベットタウン**として区部の発展につれて外延的・周辺的に発展	● 村山下貯水池、山口貯水池完成 ● 小河内ダム着工 ● 多摩地域を含めた都制が施行
昭和30・40年代	● 京王相模原線（京王多摩センターまで）、小田急多摩線（小田急永山まで）、西武拝島線（玉川上水～拝島）等が開業 ● 中央自動車道（調布～河口湖）開通  昭和51（1976）年 凡例 連続立体交差化切替完了（多摩地域を含む区間）	100万人（1955年） 300万人（1975年）	● 工場等制限法が制定され、区部等への工場・大学の新増設を規制 ● 区部や京浜工業地帯からの工場移転の受け皿として、多くの大規模な工場団地が形成	● 高度経済成長期となり、**鉄道の沿線に沿って爆発的な人口増加と急速な都市化**	● 小河内ダム完成 ● 人口急増に対応するため、東京都、公社、日本住宅公団により、公的住宅を大量に建設 ● スプロールの防止と住宅難を解消するため、多摩ニュータウンに着手 ● 急激な人口増加に対し、道路、下水道など様々なインフラ整備が追いつかず、区部に比べ、住みにくい「三多摩格差」が関心を呼ぶようになり、格差解消に向けた取組が行われた。 ● 三多摩道路整備五か年計画を策定 ● 「広場と青空の東京構想（試案）」を策定し、立川・八王子地区に新たな極を構成して２極構造に移行することを示した。

2　多摩地域の現状と社会状況の変化

2.1　まちづくりの変遷

	インフラ	人口	産業	市街地の状況等	都の主な関わり
昭和50・60年代	● 京王相模原線（南大沢まで）、小田急多摩線（小田急多摩センターまで）、東急田園都市線（中央林間まで）が開業 ● 中央道（高井戸～調布）開通  鉄道：昭和63(1988)年 道路：昭和55(1980)年度末	340万人 (1985年) 低成長時代へ移り、人口は緩やかな増加傾向	● 大規模工場は、従来の量産工場から研究開発・試作などの機能を担う工場への転化に伴い、ハイテク中小企業や研究機関等の集積 ● 大学・短期大学が、地価が安く、広大な空間と自然がある環境を求め、多摩地域へ移転	● 立川基地などの米軍基地返還により、大規模な跡地が発生	● 「東京都長期計画」「第二次東京都長期計画」において多心型都市構造（P17参照）を目指すこととし、八王子、立川、町田、青梅、多摩ニュータウンを多摩の「心」に位置付け ● 「「多摩都心」立川（Ｔ・Ｔ・Ｔ）計画」策定 ● 交通渋滞が深刻な問題となり、計画的な道路ネットワークの形成を目的として、幹線道の整備
平成元年～19年まで	● 京王相模原線（橋本まで）、小田急多摩線（唐木田まで）が開業 ● 圏央道（八王子JCT以北）開通  鉄道：平成12(2000)年 道路：平成17(2005)年度末	380万人 (1995年)	● 工場等制限法の廃止 ● 大規模工場の撤退	● 立川基地跡地立川地区などのまちづくりが進展	● 「多摩の「心」育成・整備計画」策定 ● 「東京構想2000」において、環状メガロポリス構造（P17参照）の実現を目指すとともに、「心」を「核都市」に名称変更 ● 「日産自動車村山工場跡地利用協議会の「まちづくり方針」」策定 ● 「多摩地域都市計画道路基本計画」及び「事業化計画」を策定し、調布保谷線など南北方向の骨格道路を重点的に整備する方針を打ち出す ● 多摩都市モノレール（上北台～多摩センター）の開通
平成20年代～	● 圏央道（八王子JCT以南）開通 ● 鉄道の立体交差化や駅のバリアフリー化の進展  鉄道：令和2(2020)年 道路：平成25(2013)年度末 ※道路：S55 年度末以降の完成箇所を赤色で着色	430万人 (2020年)	● 引き続き、大規模工場の撤退 ● 大学の都心回帰の動き	● ニュータウンでは、近隣商店街の衰退や住民の高齢化 ● 連立事業を契機とした再開発等の進展	● 「多摩の拠点整備基本計画」策定 ● 都市計画区域マスタープラン（令和３年）において、従来の「核都市」を「中核的な拠点」として位置付け ● 「立川基地跡地昭島地区利用計画」策定 ● ＪＲ中央線連続立体交差事業（三鷹駅～立川駅間）の完成、調布保谷線などの開通 ● 「東京都西南部の流通業務施設に関する整備方針」策定 ● 「多摩ニュータウン等大規模住宅団地再生ガイドライン」・「多摩ニュータウン地域再生ガイドライン」策定

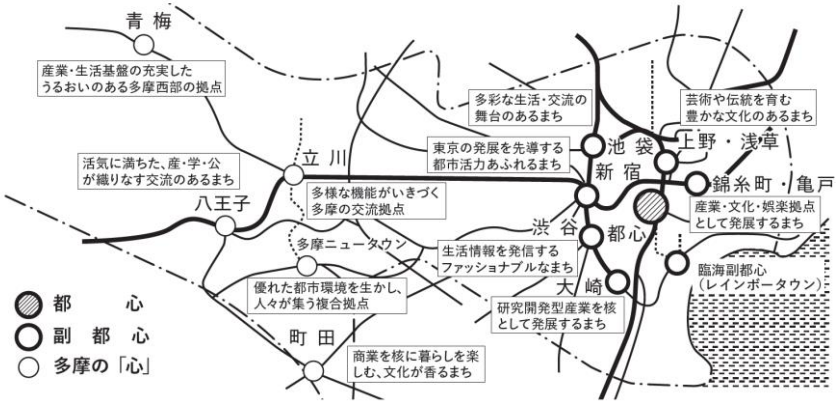
※鉄道の図面の出典：多摩　市町村のあゆみ（公益財団法人東京市町村自治調査会）（一部加筆）

2 多摩地域の現状と社会状況の変化

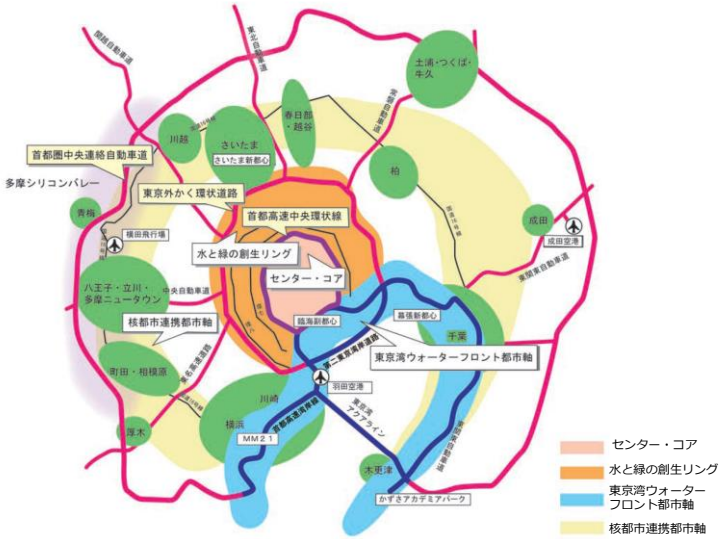
2.1 まちづくりの変遷

（参考）過去の目指すべき広域的なレベルの都市構造

多心型都市構造
昭和57年（1982年）～



環状メガロポリス構造
平成12年（2000年）～



出典：都市づくりのグランドデザイン（東京都都市整備局）　平成29年９月

- 都心一点集中型の都市構造の是正
- 業務機能を副都心や多摩の「心」へ分散
- 職と住のバランスがとれた多心型都市構造へ再編

- 東京圏全体で首都機能を担う多機能集約型の都市構造の構築
- 環状方向の広域交通基盤を強化
- 需要対応型から政策誘導型の都市づくりへの転換

2.2 多摩地域の現状

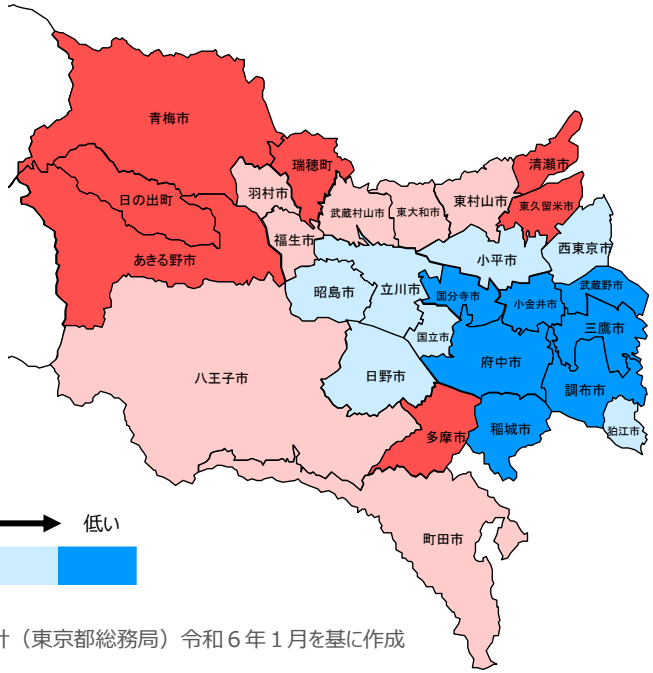
- 多摩地域の現状について、人口、インフラ、産業、生活、防災・環境、農・緑、地域資源の７項目に分類し分析する。

人口

- 区部と比較し高齢化率が高い。特に、西多摩地域などで高い。（①）
- 多摩エリア※全体では、区部よりも早く、2025年をピークに人口減少に転じる。（②）

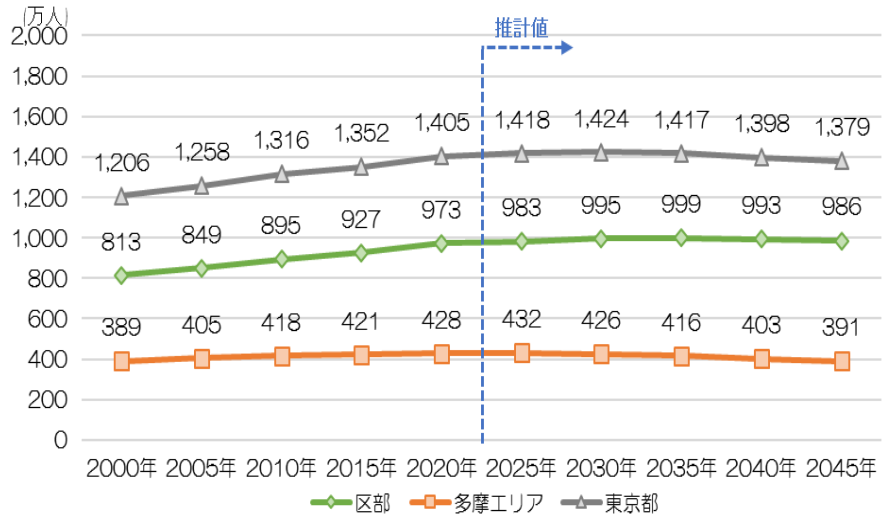
【高齢化率】①

	区部	多摩エリア
高齢化率（%）	21.2	25.6



資料：東京都の統計（東京都総務局）令和６年１月を基に作成

【区部、多摩エリア別の人口推移】②



資料：2020年以前は国勢調査（総務省統計局）、2025年以降は東京都の統計（東京都総務局）を基に作成

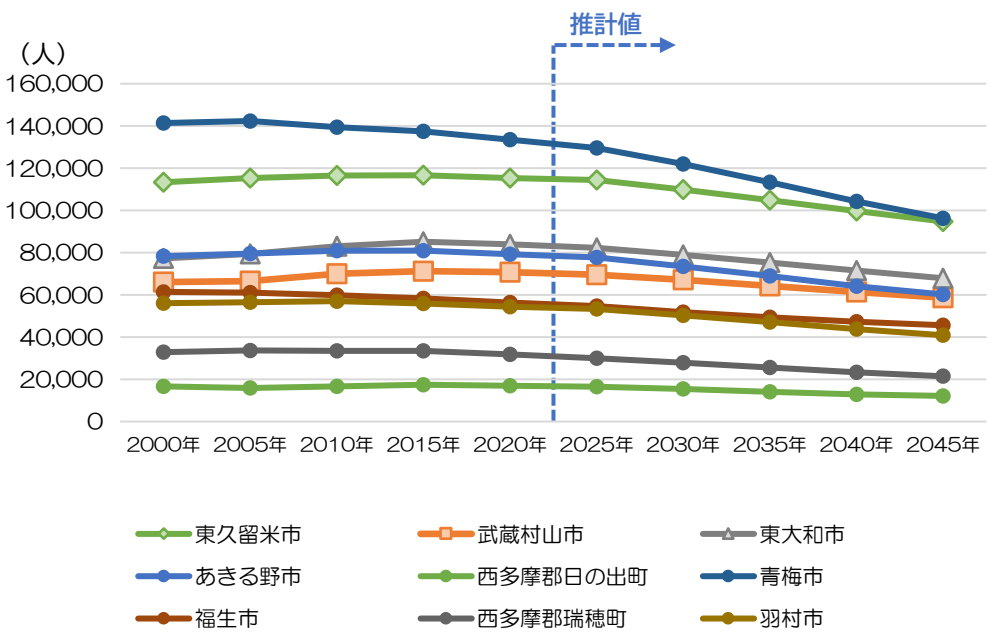
※多摩エリア：多摩地域全域の都市計画区域（以下この章において同じ。）

2.2 多摩地域の現状

人口

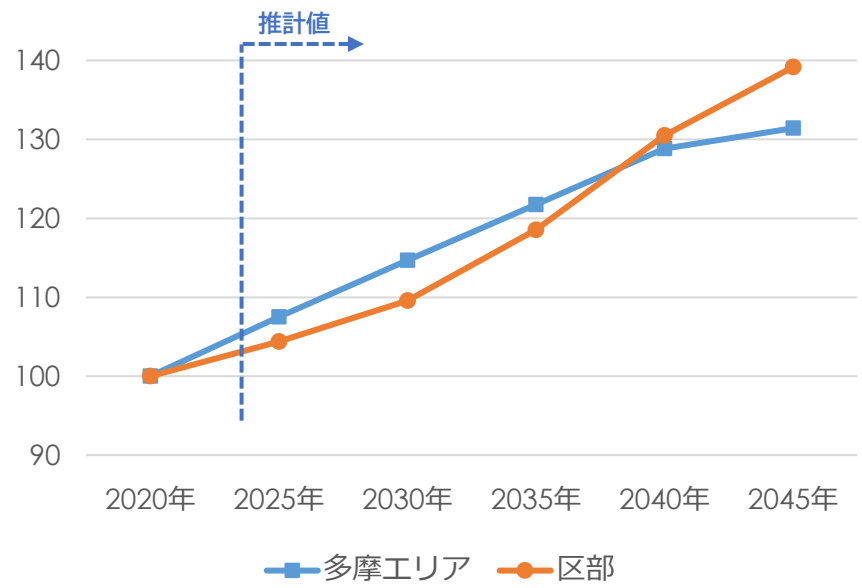
- 2020年時点で人口が減少している自治体がある。（③）
- 65歳以上の単独世帯は今後増加が予測され、2045年には1.3倍（2020年比）になる。区部と比較して2035年までは増加率が高い。（④）

【2020年時点で人口減少が始まっている地域】③



資料：2020年以前は国勢調査（総務省統計局）、2025年以降は東京都の統計（東京都総務局）を基に作成

【65歳以上の単独世帯数の予測（2020年=100)】④



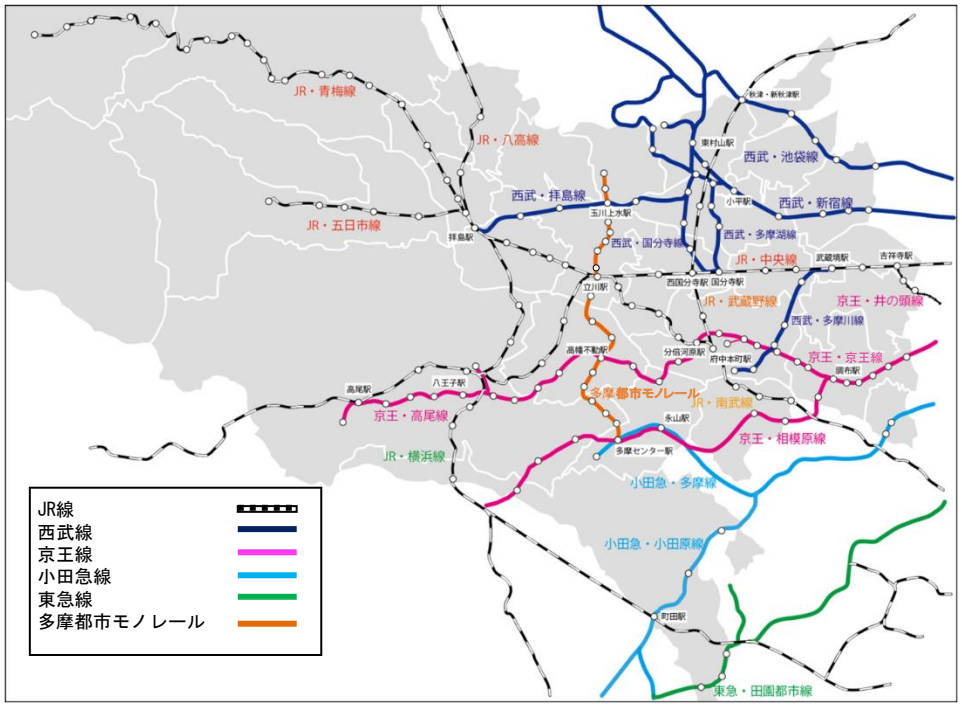
資料：東京都世帯数の予測（東京都総務局）令和６年３月を基に作成

2.2 多摩地域の現状

インフラ

- 鉄道ネットワークの形成や東西道路・南北道路などの骨格幹線道路整備、鉄道駅へアクセスするバス路線網の充実により、多摩地域の生活や産業を支えてきた。（①②）
- 都市計画道路の整備率は６割を超え、主にミッシングリンクの解消に寄与する区間を優先性の高い路線に選定し、整備を進めている。（②）
- リニア中央新幹線（品川～名古屋）の建設が進められており、神奈川県駅（仮称）が橋本駅付近に設置される予定である。

【鉄道路線】①



【多摩地域の道路ネットワーク】②

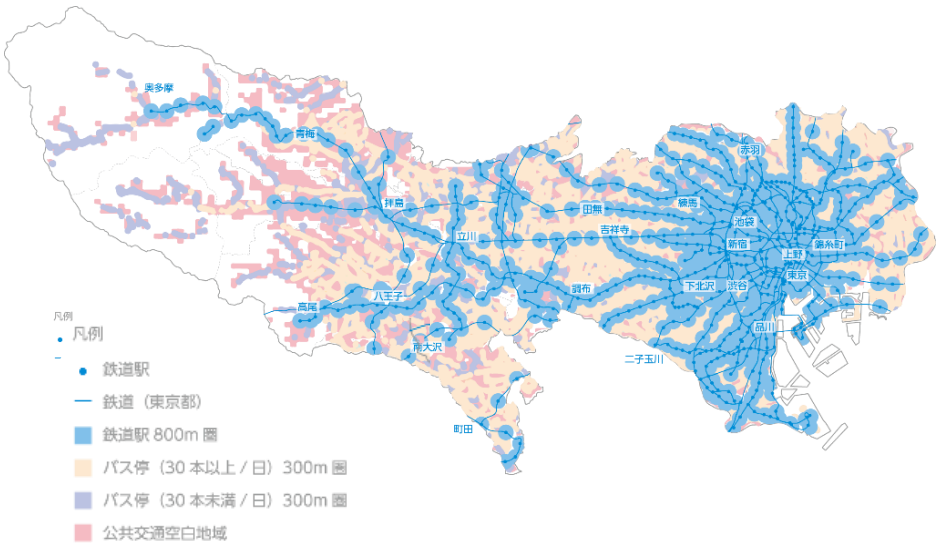
出典：東京都建設局HP

2.2 多摩地域の現状

インフラ

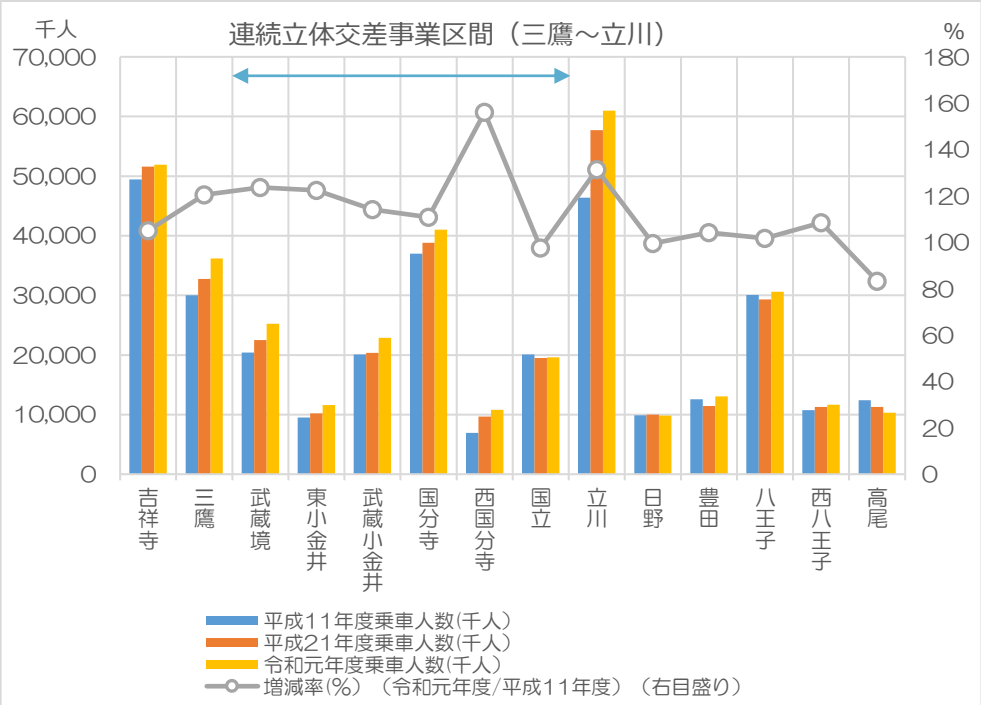
- 駅やバス停から一定の距離を越えた公共交通空白地域については、西多摩を中心に一部地域に存在している。（③）
- 平成以降、JR中央線の連続立体交差事業が完了した。この区間では、沿線まちづくりも相まって、駅の乗車人員が増加したところが多い。（④）

【公共交通空白地域の状況】③



出典：都市づくりのグランドデザイン(東京都都市整備局) 平成29年９月

【拠点の駅の乗車人員推移（JR中央線）】④



※平成21年 三鷹～国分寺高架化完了、平成22年 国分寺～立川高架化完了
※平成以降の連続立体交差事業区間を表示

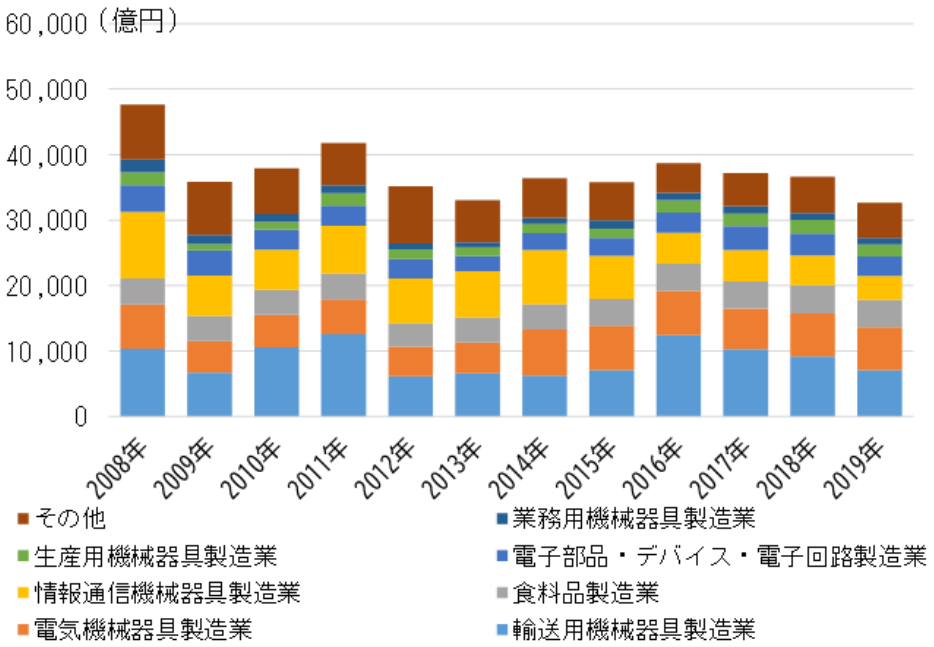
資料：東京都統計年鑑（東京都総務局）を基に作成

2.2 多摩地域の現状

産業

- 製造品出荷額は減少傾向であるが、電気機械器具製造業などは横ばいである。（①）
- 電子機器（情報通信機械器具製造業）などを製造する大規模工場が移転した。（②）
- 大規模工場の跡地には大規模商業施設が立地している事例がある。（③）

【製造品出荷額の推移（多摩市部）】①



資料：2011年及び2015年は経済センサス活動調査（経済産業省･総務省）
それ以外の年次は工業統計（経済産業省）を基に作成

【多摩地域の主な大規模工場の撤退事例】②

撤退時期	工場名	規模(ha)
2001年	日産自動車村山工場	約140
2005年	富士通南多摩工場	約3
2007年	IHI田無工場	約9
2011年	東芝日野工場	約10
2013年	日立国際電気羽村工場	約5
2014年	雪印メグミルク日野工場	約3
2016年	日本無線三鷹製作所	約6
2016年	富士通セミコンダクターあきる野テクノロジセンター	約12
2017年	東芝青梅事業所	約12

資料：新しい多摩の振興プラン（東京都総務局）令和3年９月を基に作成

【大規模工場跡地の利用】③

日産村山工場跡地の大規模商業施設

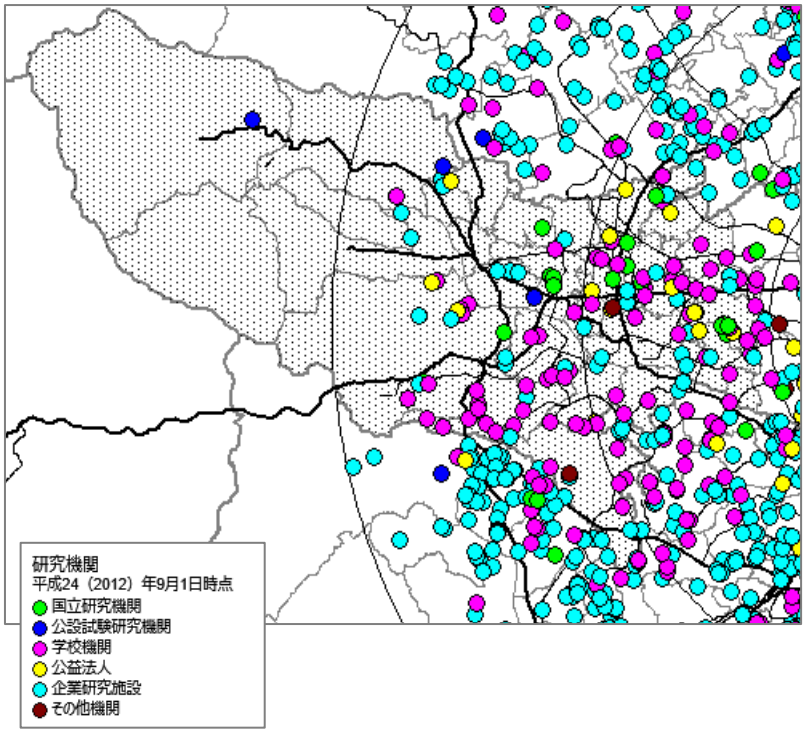
出典：武蔵村山市第二次まちづくり基本方針（都市計画マスタープラン）

2.2 多摩地域の現状

産業

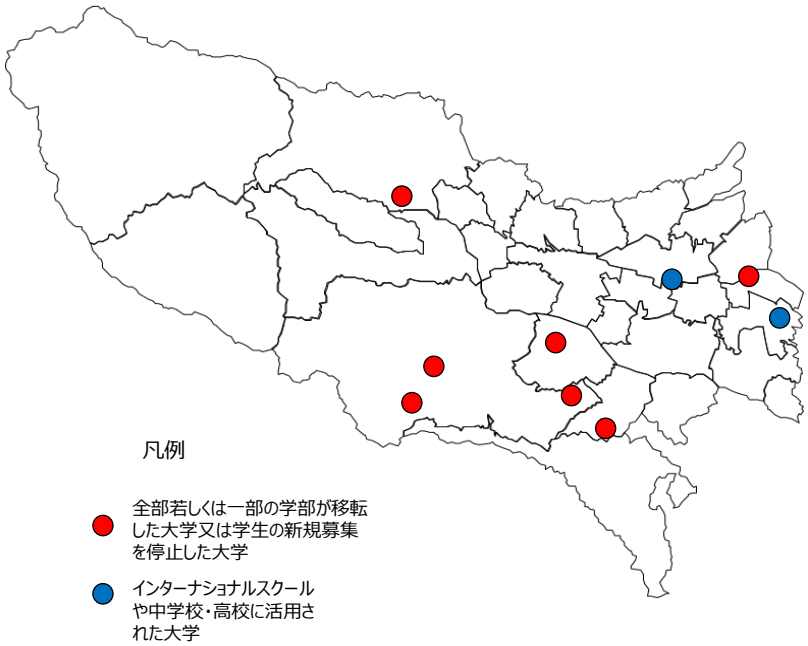
- 多くの大学や企業研究機関、国立研究機関が立地している。（④）
- 全部又は一部の学部が区部等に移転した大学がある。その中には、インターナショナルスクール等に活用されている事例がある。（⑤）

【研究機関の分布】④



資料：国土数値情報（研究機関データ）（国土交通省） を基に作成

【大学の移転事例】⑤

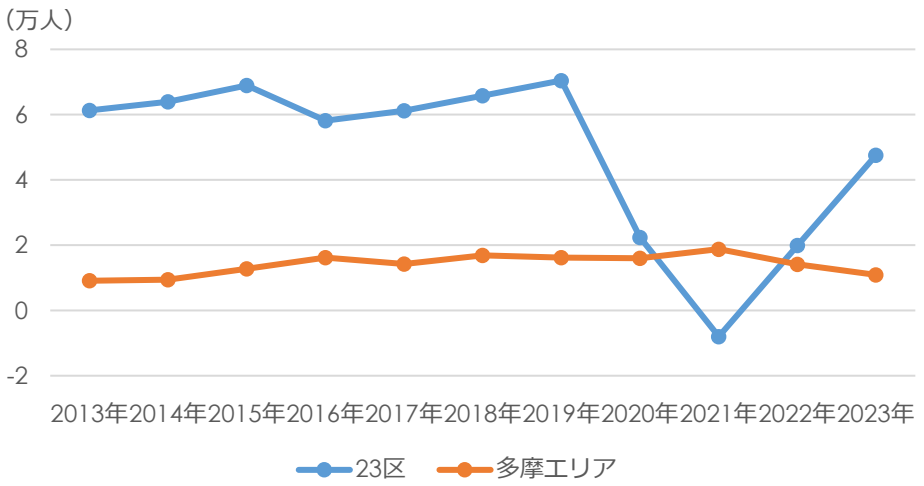


2.2 多摩地域の現状

生活

- コロナ禍でも人口は転入超過で推移している（区部は2021年に転出超過）。（①）
- 約19万戸の公共住宅等のストックがある。（②）
- 建築後約40年を経過した団地が存在している。（③）

【転入超過人口の推移】①



資料：住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局）を基に、日本人の移動に着目して作成

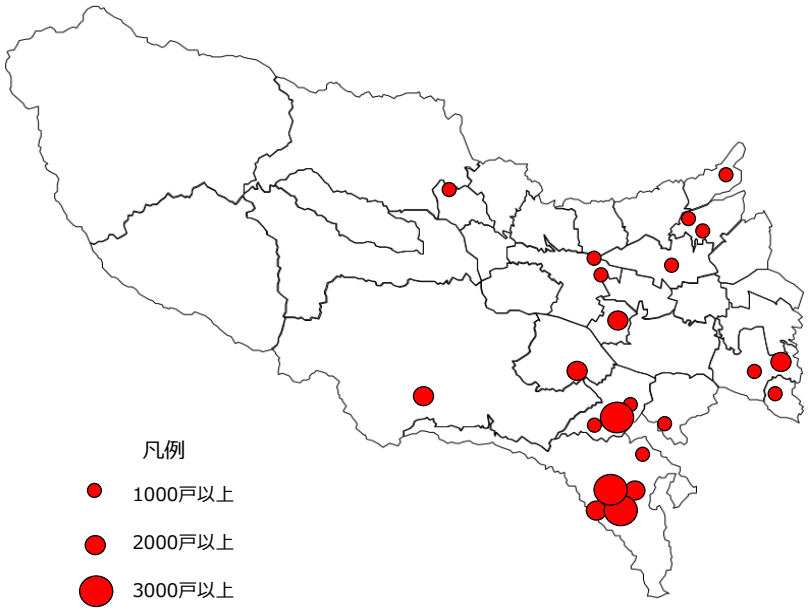
【公共住宅等ストック】②

令和６年3月31日現在　単位：戸

公営住宅※	UR都市機構賃貸住宅	公社一般賃貸住宅
96,554	63,475	33,668

資料：令和６年東京都住宅政策本部事業概要を基に作成
※公営住宅の内訳は都営住宅及び市町村住宅（公営）の総計

【大規模住宅団地の分布（築40年以上）】③



資料：東京都住宅政策本部HP、UR都市機構HP、東京都住宅供給公社提供資料を基に作成
（令和５年12月確認）

2.2 多摩地域の現状

生活

- 区部と比較して合計特殊出生率が高く、子育て支援策も実施している。（④）
- 空き家率が10%を超えている市町が半数ある。（⑤）

【令和５年の合計特殊出生率】④

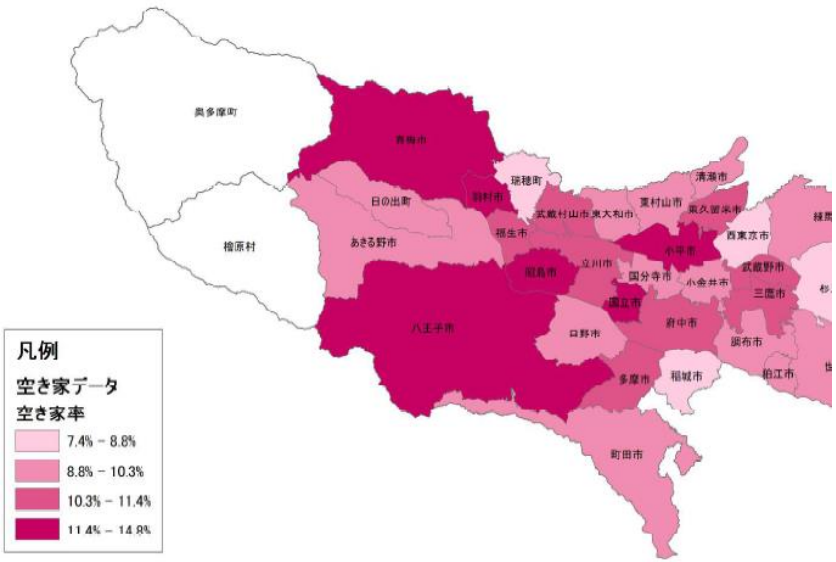
	区部・市部		最高		最低	
合計特殊出生率	区部	0.98	中央区	1.24	豊島区	0.85
	市部	1.08	稲城市	1.29	多摩市	0.92

出典：東京都人口動態統計年報（東京都保健医療局報道発表資料）　令和５年

【子育て支援策の例（たまモノ子育て応援事業）】④

出典：多摩都市モノレール㈱提供

【空き家率（空き家総数/住宅総数）】⑤



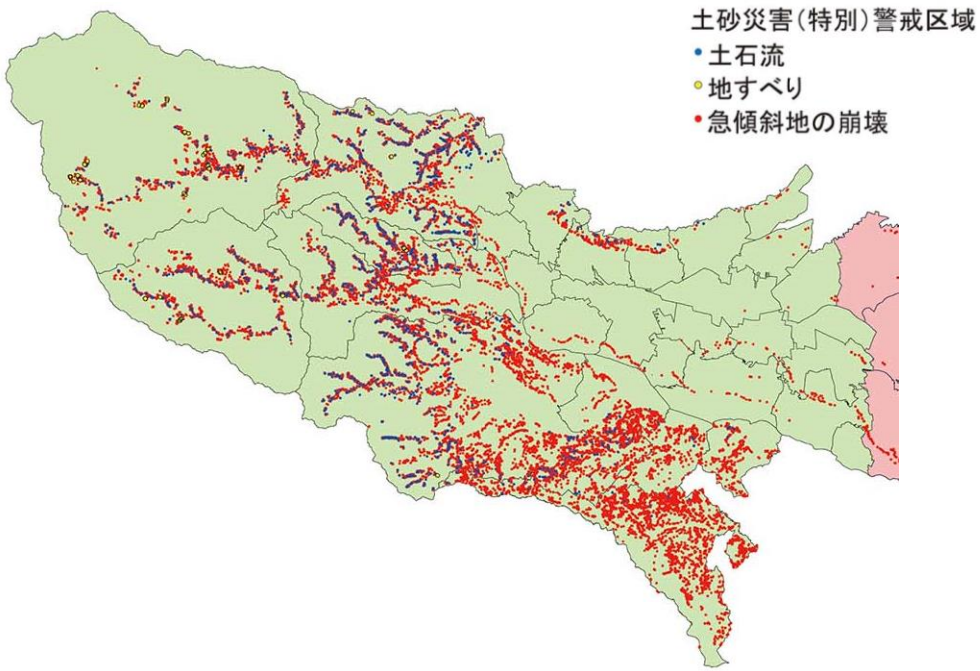
資料：平成30年住宅・土地統計調査　住宅と世帯に関する基本集計を基に東京都住宅政策本部が作成
※檜原村、奥多摩町は、平成30年住宅・土地統計調査の対応区域外。なお、実態調査ベースでは、奥多摩町の空き家率は17.6%（H30.4時点）（H31.4策定奥多摩町空家等対策計画）

2.2 多摩地域の現状

防災・環境

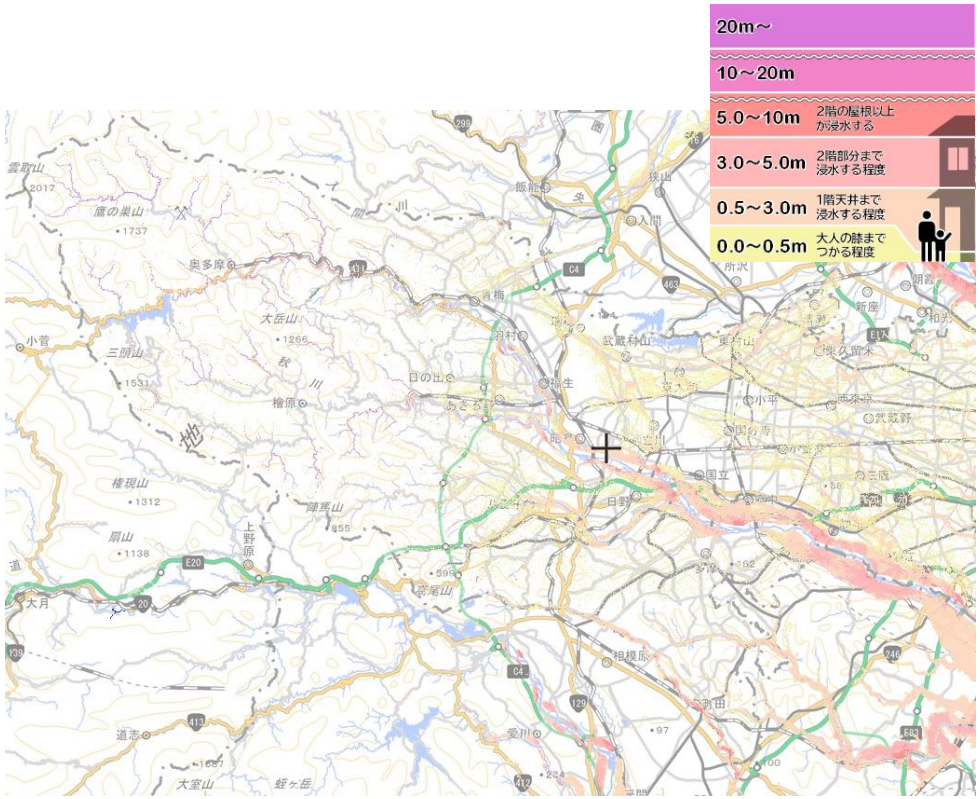
- 多摩西部及び南部を中心に土砂災害のリスクが高いエリアがある。（①）
- 洪水による浸水リスクの高いエリアがある。（②）

【土砂災害警戒区域】①



資料：東京都の土砂災害対策事業（東京都建設局河川部）令和６年９月を基に作成

【洪水浸水想定区域（想定最大規模）】②



出典：ハザードマップポータルサイト（https://disaportal.gsi.go.jp/index.html）（令和5年10月25日に利用）

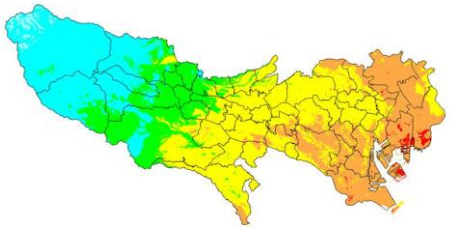
2.2 多摩地域の現状

防災・環境

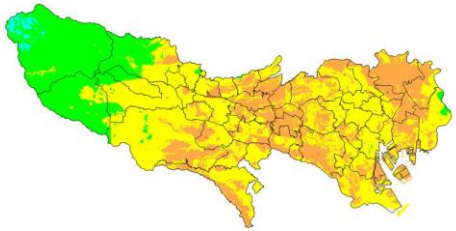
- 首都直下型地震の震度分布の予想によると、区部に比べて震度が小さく想定されている。（③）
- 木造住宅密集地域が多摩東部を中心に存在している。（④）
- 南関東地域で広域的な災害が発生した場合の、人員・物資の緊急輸送の中継・集積拠点となる立川広域防災基地が存在している。（⑤）

【発生確率70%以上の地震における震度分布】③

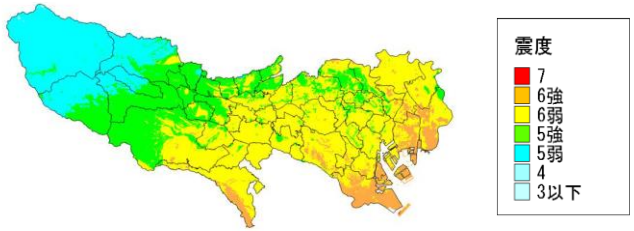
都心南部直下地震（M7.3）の震度分布



多摩東部直下地震（M7.3）の震度分布

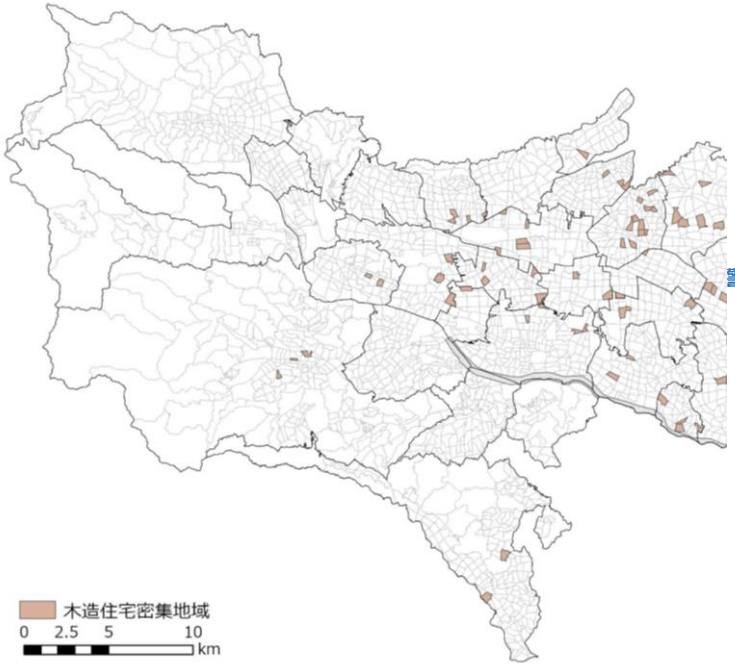


大正関東地震（M8クラス）の震度分布



出典：東京都の新たな被害想定（東京都防災会議）令和４年５月

【木造住宅密集地域】④



出典：防災都市づくり推進計画基本方針（東京都都市整備局）
令和７年３月

【立川広域防災基地の施設立地状況】⑤

資料：たちかわシティ21（立川市）平成30年11月を基に作成
下図出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

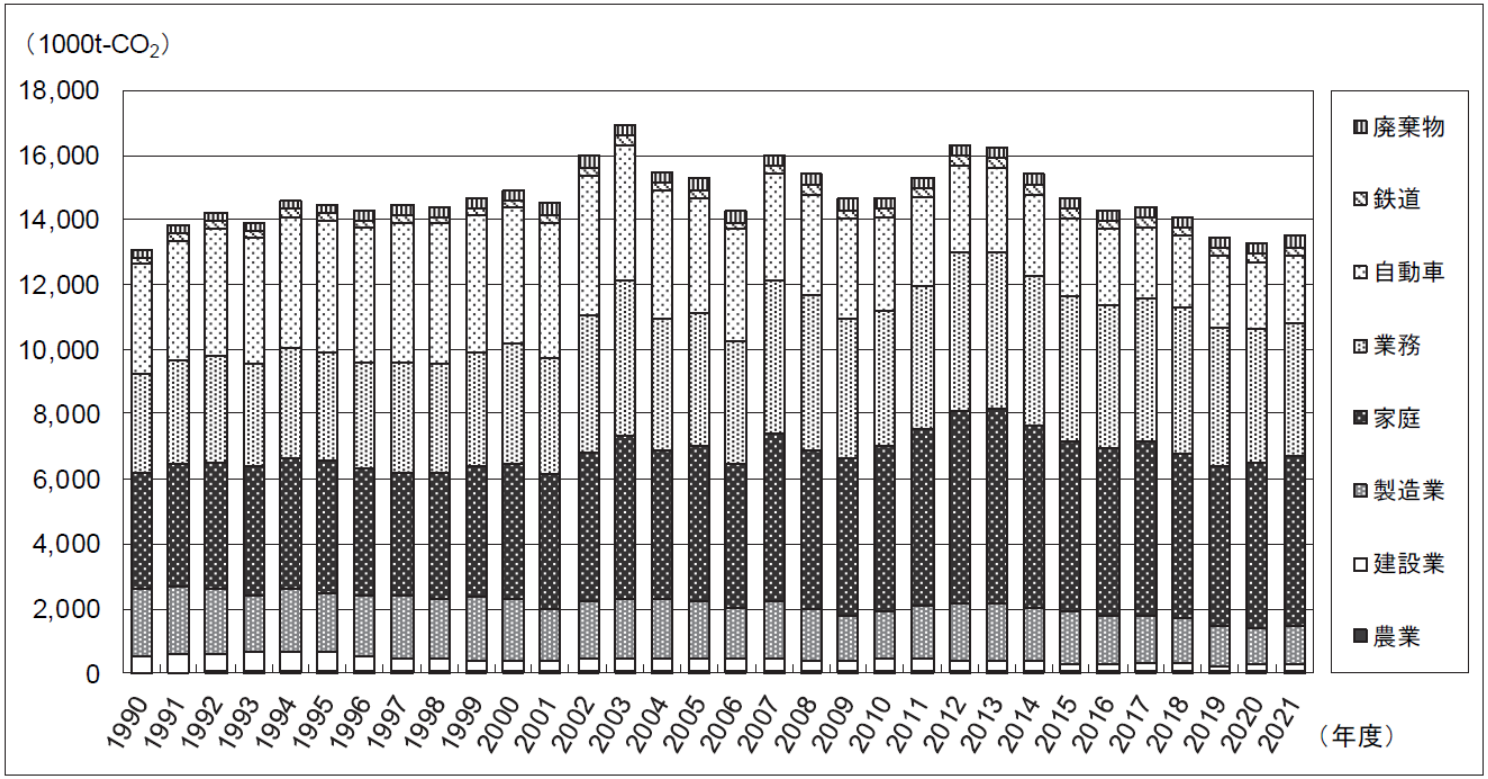
立川広域防災基地

2.2 多摩地域の現状

防災・環境

- 部門別のＣＯ２排出量の推移では、自動車は減少、家庭は増加している（2000年比）。（⑥）

【多摩地域における部門別二酸化炭素排出量の推移】⑥



出典：オール東京６２市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト HP「ECOネット東京６２」

2.2 多摩地域の現状

農・緑

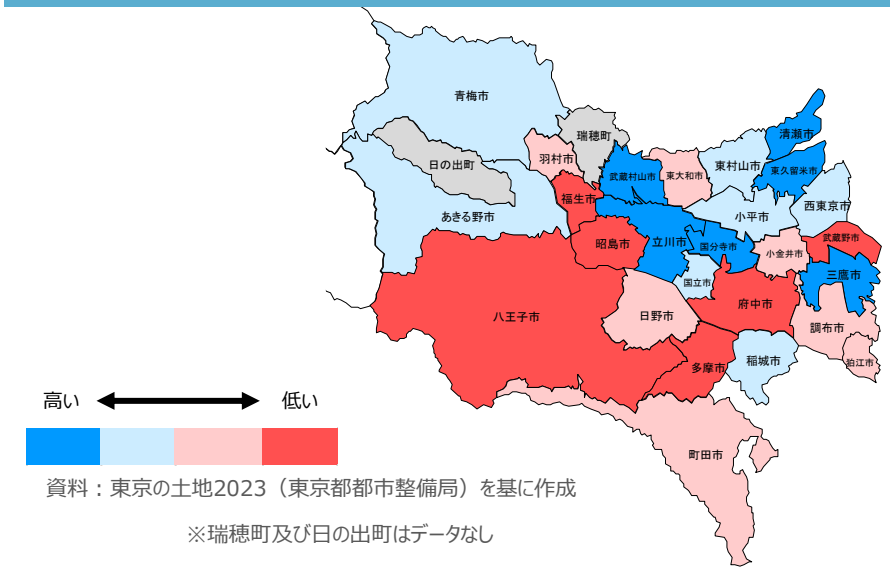
- 多摩地域には多くの農地がある。（①）
- 北多摩北部などは市街化区域内に農地が多く残されている。（②）
- 人口１人当たりの公園面積は北多摩北部などで小さい。（③）
- 区部と比較すると多摩エリアの方が、市街化区域内農地面積割合、１人当たりの公園面積ともに大きい。（②③）

【耕地面積】①

多摩地域	区部
4,701 ha	431 ha

資料：令和5年作物統計調査（農林水産省）を基に作成

【市街化区域内農地面積割合】②



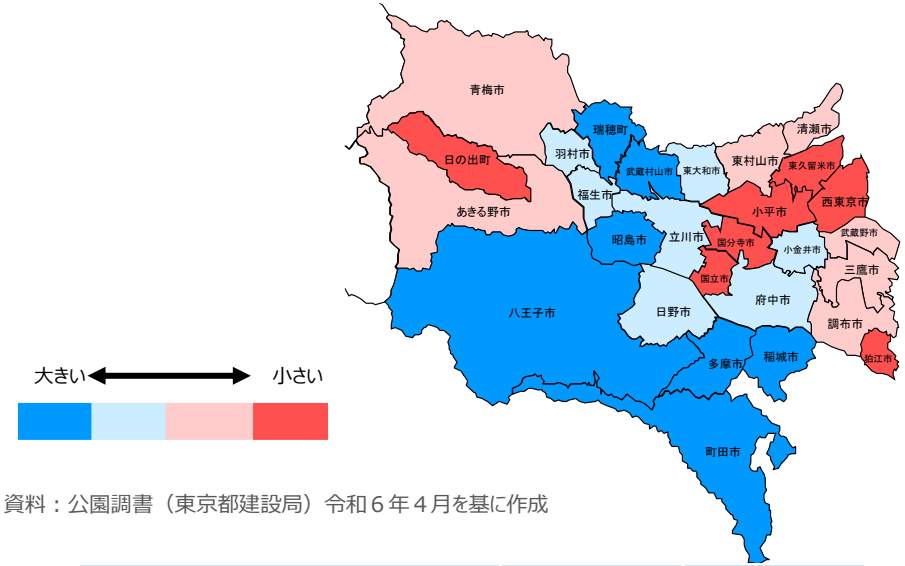
資料：東京の土地2023（東京都都市整備局）を基に作成

※瑞穂町及び日の出町はデータなし

	多摩市部平均	区部平均
市街化区域内農地面積割合（%）	6.36	1.16

※区部（目黒区、大田区、世田谷区、中野区、杉並区、北区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区）
資料：東京の土地2023（東京都都市整備局）を基に作成

【1人当たり都市公園等面積】③



資料：公園調書（東京都建設局）令和６年４月を基に作成

	多摩エリア	区部
１人当たり公園面積（㎡/人口）	7.87	3.95

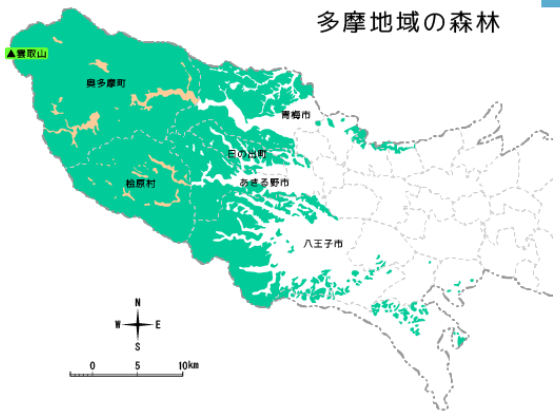
資料：公園調書（東京都建設局）令和６年４月を基に作成

2.2 多摩地域の現状

農・緑

- 山間部の古くからある森林や江戸時代から人々が手をかけてきた玉川上水など豊かな自然が多くある。（④⑤）
- 多摩地域には、区部にはない丘陵地が存在し、緑の骨格となっている。（⑥）

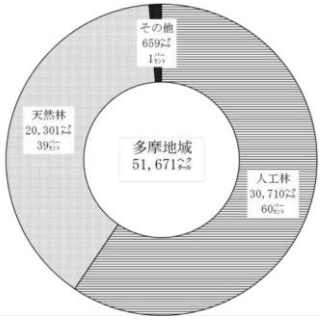
【多摩地域の森林】④



出典：東京都産業労働局HP

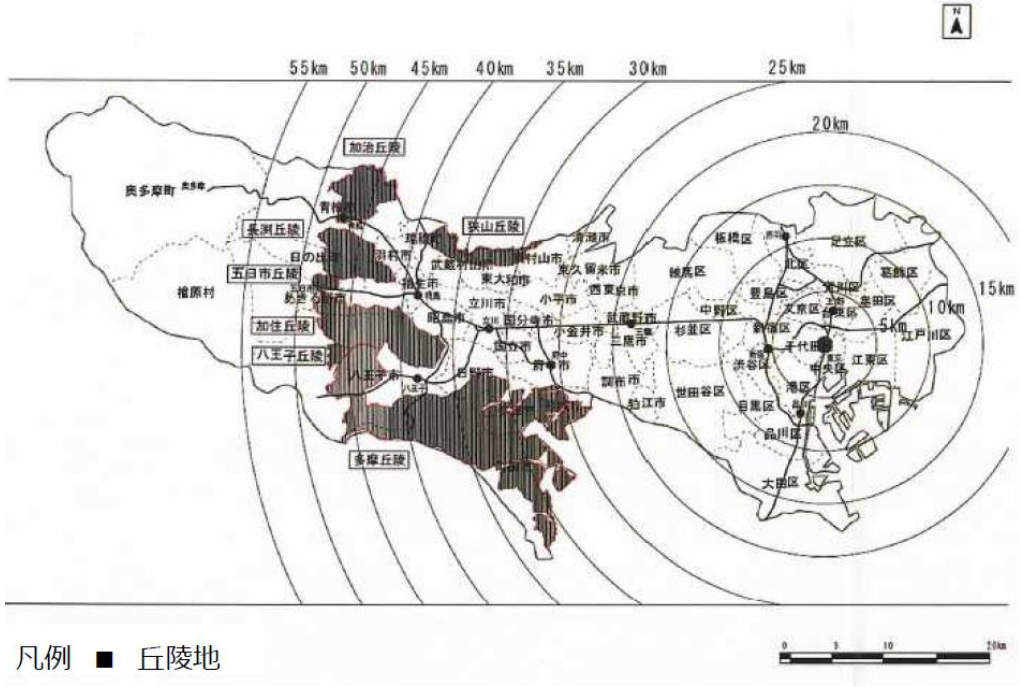
森林面積	52,853ha

民有林における人工林・天然林別森林面積



出典：東京都の森林・林業令和5年版（東京都産業労働局）

【丘陵地の位置】⑥



出典：丘陵地の緑を保全する取組方針（東京都都市整備局）平成26年7月

【玉川上水】⑤

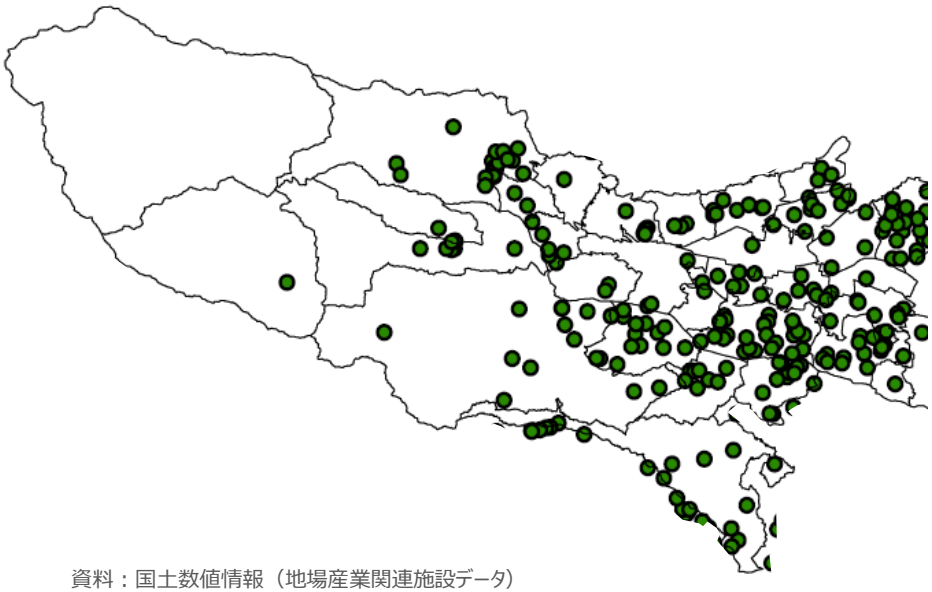
出典：東京都景観計画
（東京都都市整備局）平成30年８月改定

2.2 多摩地域の現状

農・緑

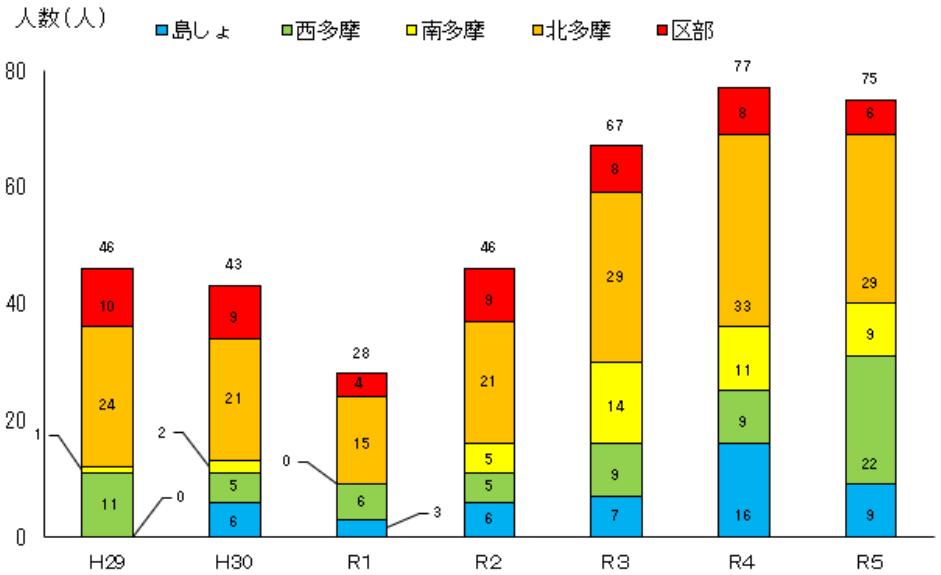
- 多摩の東部地域に、農林水産業に係る地場産業関連施設（六次産業化に関する直売所、直営レストラン、体験施設など）が多く存在している。（⑦）
- 多摩地域では新規就農者数が直近では増加傾向にある。（⑧）

【地場産業関連施設の分布】⑦



資料：国土数値情報（地場産業関連施設データ）
（国土交通省）平成24年を基に作成

【新規就農者数の推移】⑧



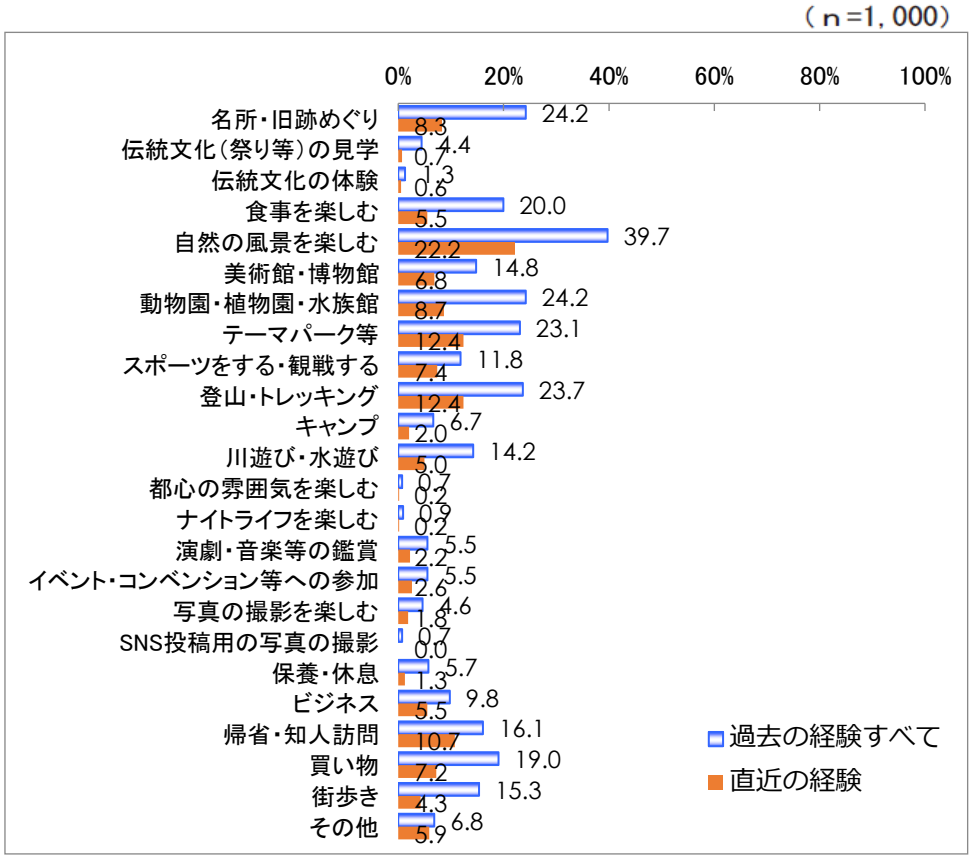
出典：東京都農林水産振興財団調べ「東京都 新規就農者調査」

2.2 多摩地域の現状

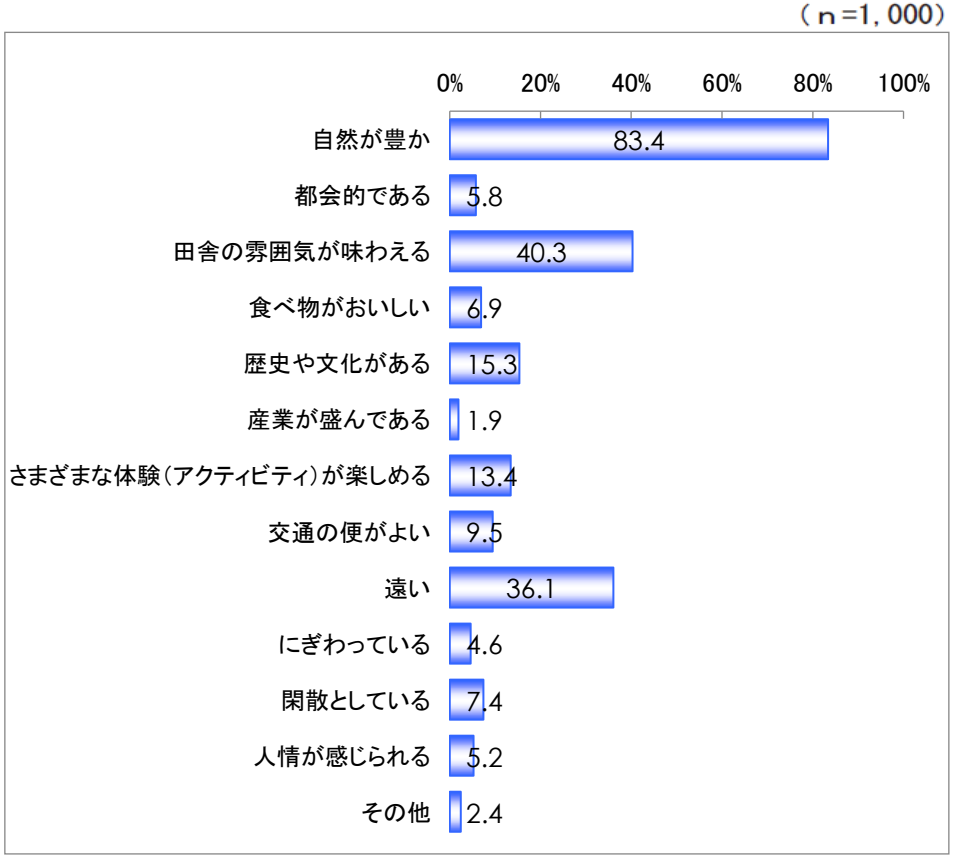
地域資源

- 観光の訪問目的として、自然を楽しむ観光や名所・旧跡めぐり、動物園などの割合が高い。（①）
- 多摩地域に対する印象として、自然が豊かであるが、交通の便が悪いという意見が多い。（②）

【多摩地域への訪問目的】①



【多摩地域に対する印象】②



資料：平成30年度 多摩地域が一体となって取り組む観光地域づくりー取組報告と今後の取組方針についてー「多摩地域の観光におけるイメージ及びニーズ調査(インターネット調査)」（東京都市長会）平成31年３月を基に作成

2.2 多摩地域の現状

地域資源

- 高尾山やテーマパークなどには多くの観光客が来訪している。（③）
- 観光名所となるような古い町並み、歴史的建造物が残されている。（④）
- 区部と比較すると外国人観光客が訪れた割合は低い。（⑤）

【主な公園やテーマパークの利用者数】③

施設名	年間利用者数
井の頭恩賜公園	約641万人（令和３年度推計値）
昭和記念公園	約346万人（令和５年度）
よみうりランド	約211万人（令和５年度）
サンリオピューロランド	約138万人（令和５年度）
明治の森高尾国定公園（高尾山）	約120万人（令和４年）
東京サマーランド等	約 87万人（令和５年）
多摩動物公園	約 80万人（令和５年度）
三鷹の森ジブリ美術館	約 57万人（令和５年度）

資料：自然公園等利用者数調（環境省）及び各社等の公表資料を基に作成

【古い町並み　歴史的建造物】④

三鷹市山本有三記念館

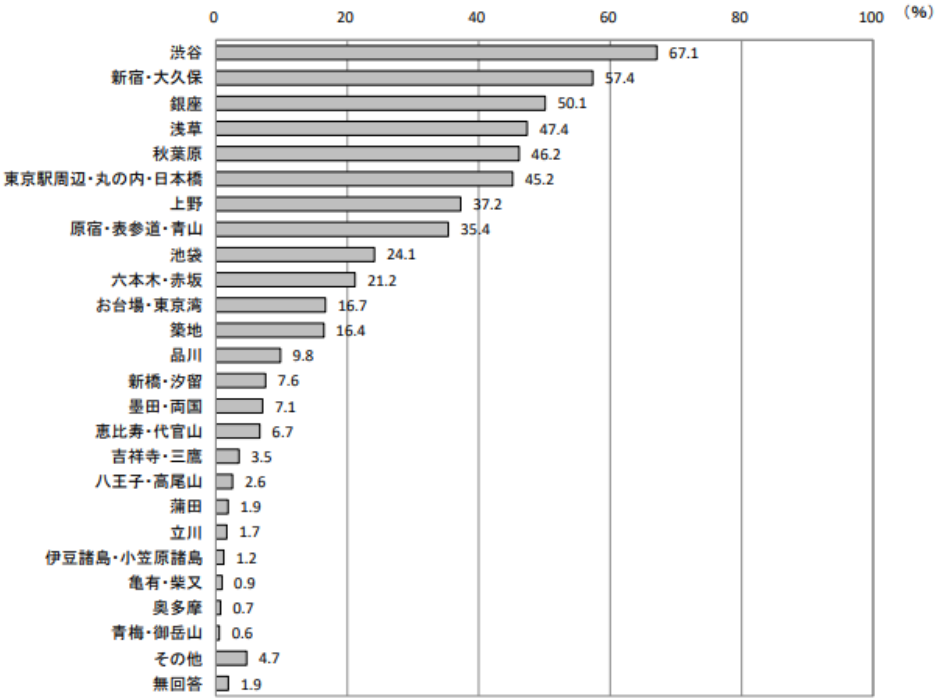
調布市深大寺

出典：多摩の魅力発信プロジェクト（東京都総務局）

町田市小野路

出典：みんなでつくるまちなみのきまり（町田市HP）

【外国人観光客】⑤



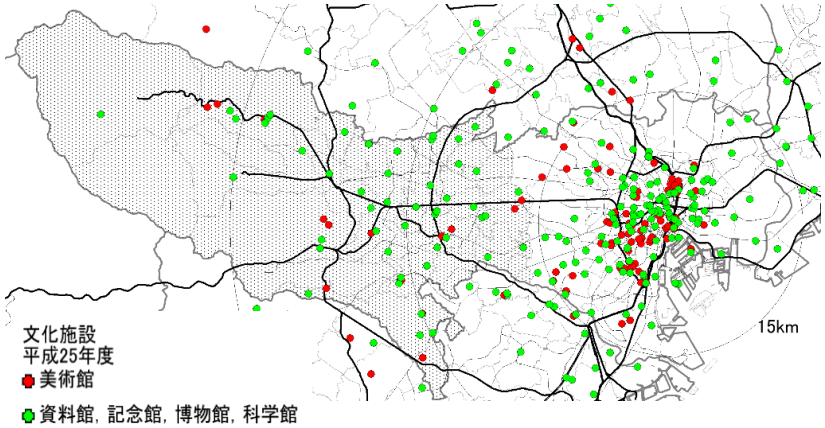
出典：令和５年国・地域別外国人旅行者行動特性調査結果（東京都産業労働局HP）

2.2 多摩地域の現状

地域資源

- 美術館・博物館など文化施設は23区に集中するも、多摩地域にも博物館等を中心に立地している。（⑥）
- 東京2020大会のレガシーや多摩湖自転車歩行者道のサイクリングコース等、スポーツに親しめる環境整備が進められている。（⑦）

【文化施設の分布】⑥



資料：国土数値情報（文化施設データ）（国土交通省）平成25年を基に作成

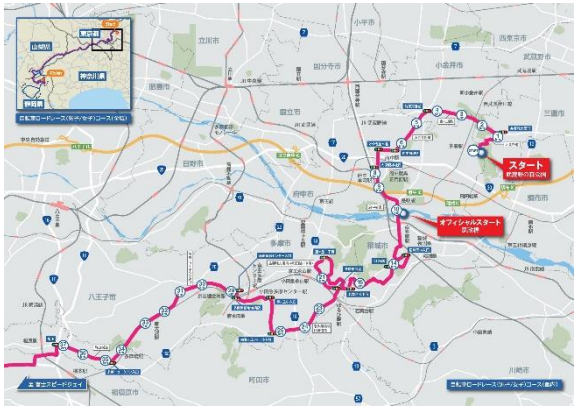
【多摩湖自転車歩行者道】⑦

出典：東京都建設局報道発表資料

【東京2020大会　競技会場・コース】⑦

武蔵野の森総合スポーツプラザ

東京2020オリンピック競技大会
自転車ロードレースコースへのルートマーカー設置



出典：スポーツTOKYOインフォメーション（東京都生活文化スポーツ局）

Column　道路ネットワークってな～に？

インフラ（道路）

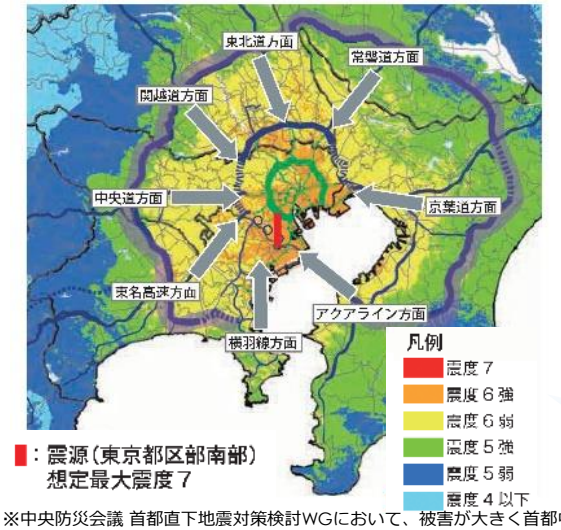
道路ネットワークの整備により、人やモノの移動時間の短縮や、周辺道路の渋滞を和らげることなどが期待されています。

圏央道の八王子西ＩＣ周辺では、地域経済の振興や首都圏物流の効率化を目的とした新たな流通・産業拠点の整備が進んでおり、更なる経済活動の向上が期待されます。

また、災害発生時には、高速道路によるネットワーク機能の確保や、緊急輸送道路網、避難経路の確保が可能となり、防災性の向上が期待されます。

一般の道路では、南多摩尾根幹線の整備や、圏央道の八王子西ＩＣと中央道の八王子ＩＣに接続する北西部幹線道路の整備も進められており、人・モノの交流による広域的な連携の効果が期待されています。

※ IC：インターチェンジ



※中央防災会議 首都直下地震対策検討WGにおいて、被害が大きく首都中枢機能への影響が大きいと考えられる都区部直下の都心南部直下地震を想定

圏央道による災害時の道路ネットワーク機能
（八方向作戦）

出典：関東地方整備局ホームページ

出典：建設局ホームページ

南多摩尾根幹線ができると、広域的な連携の効果が期待できます

八方向作戦とは、首都直下地震が起こった時に、都心へ救助に向かったり支援物資を運ぶためのルートを確保する計画です

2　多摩地域の現状と社会状況の変化

2.3　社会状況の変化

デジタルなど新たな技術の発展

- 世界中でデジタル化の流れが急激に加速しており、行政や民間企業等が有するビッグデータが都市の大きな強みとなってきている。
- 市民のQOL向上を図るため、AIやIoTなどの情報技術の社会実装やスマートシティなどの取組が進められている。

ライフスタイルの多様化（新たな暮らし方・働き方が浸透）

- コロナ禍を契機として、区部では2021年に転出超過となった一方で、多摩地域では一定の転入超過が見られたほか、テレワーク利用の増加などの新たな働き方・暮らし方が浸透している。

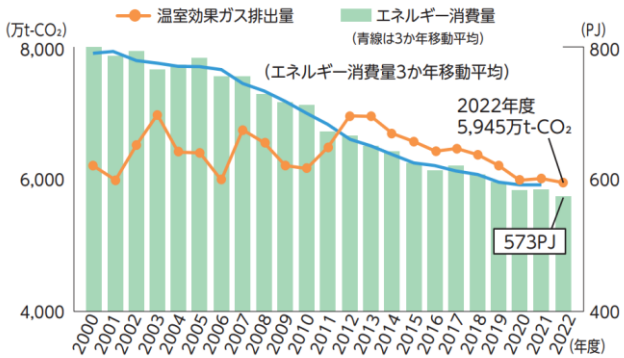
気候危機と新たなエネルギー政策の進展

- 気候危機が一層深刻化する中、世界は、パリ協定で掲げた「1.5℃目標」の達成に向けて、急速に歩みを進めている。
- 2030年カーボンハーフ、2050年ゼロエミッションの実現に向けて、気候変動対策の抜本的な強化・徹底が不可欠。併せて、気候変動に対応した都市の強靭化の推進が不可欠

広域的なインフラなどの充実

- 東京都内における首都圏中央連絡自動車道が全線開通したことにより、インターチェンジ付近では工場や物流施設等が整備され、人・モノの交流が活発化している。
- 幹線道路の整備により通過交通が排除可能な道路については、人中心の利用の取組が始まってきており、多摩地域においてもウォーカブル推進都市として、具体的な取組が進められている。

【スマート東京（東京版Society5.0）】
出典：「未来の東京」戦略（東京都政策企画局）令和３年３月



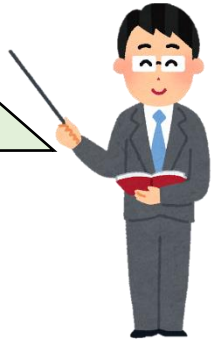
【温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の推移】
出典：CREATING A BRIGHTER FUTURE FOR ALL～未来を拓くグリーンでレジリエントな世界都市・東京へ～（東京都環境局）
令和6年９月

Column　中央自動車道ってな～に？

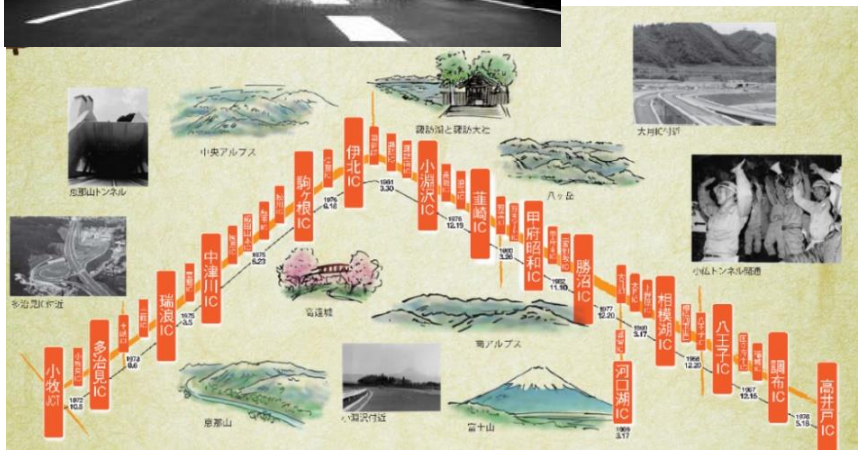
インフラ（道路）

中央自動車道は、1982年に全線開通し、首都圏や甲信地方などをつなぐ道路として、私たちの生活に無くてはならないものです。よりスムーズな移動ができるよう、調布IC付近の上り線で1車線増やす工事など、渋滞を和らげる取組を行ってきました。

現在は、三鷹バス停付近で車線を増やす工事や小仏トンネル付近で新しくトンネルを掘る工事を行っています。更に小仏トンネル付近の渋滞をAIで予測し、特設サイトやアプリ(スイスイ旅山梨版)でその情報を提供する取組などを行っており、渋滞をなくすことで、更なる人・モノの交流の活発化につなげていきます。



開通当初の写真と、中央道の沿線図です



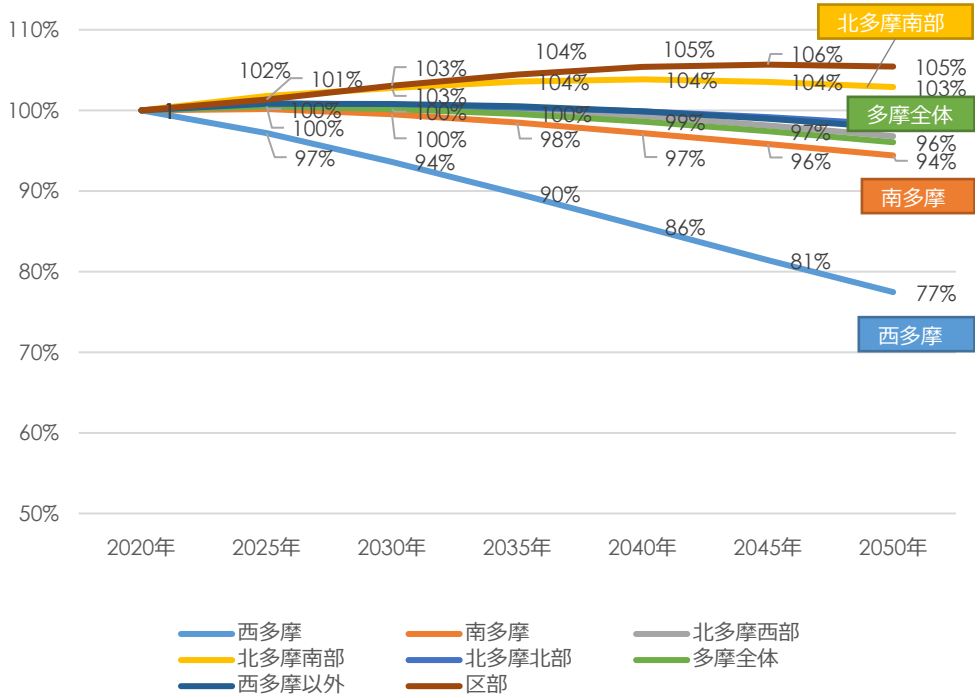
特設サイトやアプリから、小仏トンネル付近の渋滞状況がわかります

出典:NEXCO中日本ホームページ

2.4 今後の想定される変化

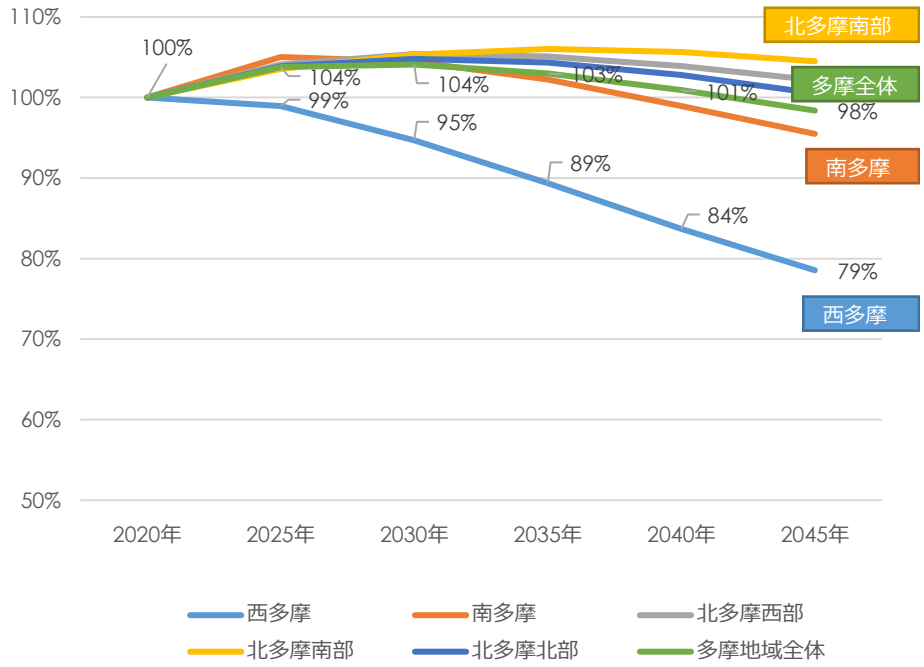
- 多摩地域の一部では、すでに人口減少が開始しており、とりわけ2050年代には人口が２割以上減少すると予測されている地域も存在し、移住者を増やし、定住につなげていく必要がある。
- 世帯数の減少、EC化に伴う実店舗の閉鎖による空き家や空き店舗を、既存ストックとして有効に活用していく必要がある。

【地域別の人口推移】



資料：日本の地域別将来推計人口(令和５(2023)年推計)（国立社会保障・人口問題研究所）を基に作成

【地域別の世帯数の推移】



資料：東京都世帯数の予測（東京都総務局）令和6年を基に作成

2.5 成長と成熟の源泉

- 2.2多摩地域の現状、2.3社会状況の変化、2.4今後の想定される変化から読み取れるポテンシャルを示す。

人口

- 北多摩南部地域は、区部エリアと同様の人口動態（当面増加）であり、活力の向上が見込まれる。

インフラ

- リニア中央新幹線（品川～名古屋）の建設が進められ、神奈川県駅（仮称）が橋本駅付近に設置予定であり、広域的な交流が促進

産業

- 多くの大学や企業研究機関、国立研究機関が立地
- 一部の大学や大規模工場での移転後の有効活用

生活

- 空き家等の有効活用
- 公共住宅等のストックがある。
- 区部と比較して合計特殊出生率が高い。

防災・環境

- 国や都の広域防災機能の集積

農・緑

- 消費地に近いところに農地が多く残されており、新鮮で安全な農産物を供給できる。
- 山間部の古くからある森林や江戸時代から人々が手をかけてきた玉川上水など豊かな自然が多くある。
- 区部にはない丘陵地が存在し、緑の骨格となっている。
- 多摩の東部地域に、農林水産業に係る地場産業関連施設（六次産業化に関する直売所、直営レストラン、体験施設など）が多く存在している。
- 多摩地域では新規就農者数が直近では増加傾向にある。

地域資源

- 自然を楽しむ観光のニーズが高い。
- 古い町並み、歴史的建造物が残されており、観光資源として活用されている。
- 高尾山やテーマパークには多くの観光客が来訪している。
- スポーツに親しめる環境整備が進められている。

3　まちづくりの将来像

3　まちづくりの将来像

3.1　まちづくりの将来像

- 多摩地域は企業や大学の集積、豊かな自然、地域が育んできた歴史・文化など、多様な魅力やポテンシャルを有しており、こうした地域の持つ**個性をいかしたまちづくり**を進めていくことが必要である。
- また、少子高齢化や人口減少が進行する中においても、都市の持続的発展を可能とするためには、都市経営コストの効率化を図り身近な地域で快適に暮らすことのできる環境を実現（**集約型地域構造への再編**）することや、拠点間の交流・連携を促進することが重要である。
- 上位計画である「都市づくりのグランドデザイン」では都市づくりの目標として「**活力とゆとりのある高度成熟都市**」を掲げ、「都市計画区域マスタープラン」では都市づくりの目標として「**『成長』と『成熟』が両立した未来の東京**」を実現することとしている。
- 加えて、気候変動の影響によって頻発化・激甚化する風水害や 、社会の変化に適切に対応し、都民の安全・安心を確保できる、**強靭で持続可能な都市**を実現していくことも必要である。

こうした背景を踏まえ、本戦略における「まちづくりの将来像」として以下を設定する。

個性がいかされ活発な交流により、
活力とゆとりある持続可能な多摩
～緑のTAMA手箱～

3.2 まちづくりのシーンの例

- 多摩地域のポテンシャルや、今後のインフラ整備を踏まえ、2050年代のまちづくりのシーンの例を示す。

ポテンシャル
多摩の多様な魅力

×

インフラ
都心・域内への
アクセス等

社会状況の変化

→ 緑の TAMA 手箱 MIDORI NO TAMATEBAKO

緑に囲まれた学園都市で国際人材を育てる

- 広い敷地や豊かなみどりをいかし、教育施設を誘導するとともに、周辺に子育て世代などの居住者を呼び込む

学校跡地の活用 × **都心アクセスの向上**

緑豊かな
インター
ナショナル
スクール

新たな生産拠点で革新的な農を支える

- 閉鎖工場等のリノベーションや跡地活用を図るなど、農に関わる最先端技術を活用したまちづくり

閉鎖工場の活用 × **都心アクセスの向上**

未来型のハイテク
近郊農業

イージーアクセスで手軽にアドベンチャー

- 充実した交通インフラを活用し、四季の自然を手軽に感じられるまちづくり

豊かな自然 × **広域アクセスの向上**

自然が感じ
られる
アクティビティ

クールジャパンをエリアで満喫

- 地域資源を活用し、アニメ聖地巡礼を誘導するとともに、周辺市街地においても活力を期待

観光地 × **都心・域内アクセスの向上**

サンリオ
ピューロランド

スマート農業が主軸となり地域を牽引

- スマート農業により六次産業化を進め、道の駅や直売所などを中心としたまちづくり

農地の活用 × **都心アクセスの向上**

スマート農業

多様な住まいで新しいライフスタイルを実現

- リノベーションやアフォーダブル住宅による子育て世帯の暮らしやすいまちづくり

住宅ストックの活用 × **都心・域内アクセスの向上**

ゆとりある
アフォーダブル住宅

空き家を活用して二地域居住など新しいライフスタイルを実現

- 農地等に近接した空き家のリノベーションを行い、広く住みやすい住宅を活用したまちづくり

空き家の活用 × **都心アクセスの向上**

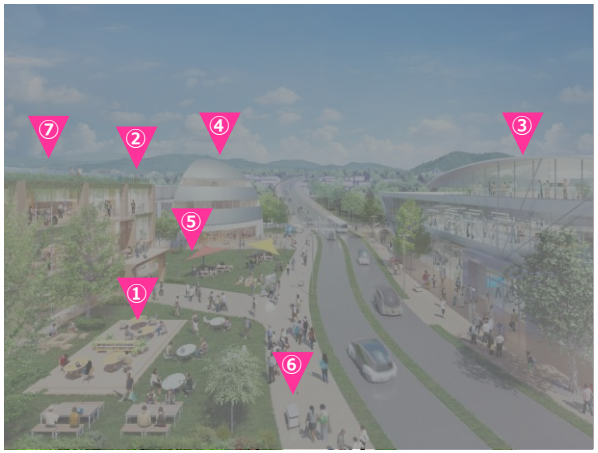
農地に
近接した
住宅

3.3 将来イメージ

- 2050年代の多摩地域の将来イメージを示す。

多摩ならではの特性を生かした強みを有する企業が発展。
（→P57 戦略１）

企業や研究者たちが集まり、イノベーションが生まれる。
（→P57 戦略１）



①研究者、起業家などが集う新たなビジネスマッチングやイノベーションを創造する空間
②企業や地域と連携する研究機関、大学
③ベンチャー、スタートアップ企業等の創造空間となるレンタルラボ
④コワーキングスペース
⑤リフレッシュできる緑の空間
⑥自動配送ロボットなどの宅配システム
⑦屋上緑化

3.3 将来イメージ

移動の利便性が向上し多摩の拠点間の交流が活発化している。
（→P59 戦略2）

誰もが多様なモードで自由に拠点にアクセスできる。
（→P59 戦略2）

再生可能エネルギーや水素エネルギーなどが日常に使われエネルギーの自立性が向上したまちになっている。
（→P63 戦略４）

①自動運転バス、グリーンスローモビリティ、水素バスなどの次世代型モビリティを使い誰もが移動しやすい交通環境
②多摩の食材や郷土料理が楽しめるキッチンカー
③ドローンや自動配送ロボットなどの宅配システム
④歩きたくなる歩行空間（オープンカフェ、ストリートファニチャー等）
⑤水素ステーション
⑥木材活用などエコな建築物（住商複合施設）
⑦マルチモビリティステーション
⑧ソーラーパネルを備えた駅
⑨無電柱化が進み、安全で歩きやすい歩行空間

3.3 将来イメージ

子供の笑顔と子供を産み育てたい人であふれ、安心して子供を育てられるまちになっている。
（→P61 戦略３）

豊かな自然環境の下、新しい日常にふさわしい職住近接で柔軟な働き方に対応できるまちになっている。
（→P61 戦略３）

身近な地域で、誰もが活動しやすく、快適に暮らすことのできるまちになっている。
（→P65 戦略５）

人や地域のつながりを結び直し、コミュニティが活性化しているまちになっている。
（→P65 戦略５）

①集合住宅の再生で敷地を生み出し、緑あふれる共用空間を創出したコミュニティ空間
②ライフスタイル/ステージに応じた福祉機能を有した複合居住施設
③住居に近接したSOHO、サテライトオフィス、保育施設が隣接した施設
④心地良いサードプレイス
⑤地域の人が集まる子ども食堂、子育て施設
⑥演芸や芸術等の文化が広がる場
⑦多世代が交流出来る都市型農園

3.3 将来イメージ

身近に豊かな農地がある潤いのある生活が実現している。
（→P67 戦略６）

水と緑が一層豊かになり、ゆとりと潤いのあるまちになっている。
（→P67 戦略６）

豊かな自然や多様な地域資源が世界中の注目を集め、観光地として親しまれている。
（→P69 戦略７）

①水辺と緑に親しめる空間
②多摩の朝どれの野菜を販売するマルシェ
③日本の文化を象徴する歴史的建造物
④歴史的観光地と地域がつながる空間
⑤緑や歴史的景観を楽しめるオープンカフェ
⑥インバウンド等の来訪者でにぎわう沿道店舗
⑦ウォーキングやランニングを楽しむ人々

3.3 将来イメージ

子供を産み育てやすい環境を高めるまちになっている。
（→P61 戦略3）

豊かな自然環境などを感じる暮らし方ができるまちになっている。
（→P62 戦略3）

多摩地域の魅力をいかし、子供を育て、住みやすい環境が創出されたまちになっている。
（→P65 戦略5）

①廃校などを活用し、自然などの地域資源をいかした特徴のある教育施設（インターナショナルスクール等）
②ホログラムなどデジタル技術を活用した先進的な授業
③空き校舎をリノベーションした敷地内に併設された寄宿舎

3.3 将来イメージ

誰もが多様なモードで自由に拠点にアクセスできるまちになっている。
（→P59 戦略2）

長期間使用できる住宅ストックが形成されたまちになっている。
（→P61 戦略3）

高齢者等が安心していきいき暮らせるまちになっている。
（→P61 戦略3）

①オンデマンド型自動運転サービス
②高齢者等の外出を支援する介助ロボット
③リノベーション等により利活用される空き家
④充実した自動配送サービス（ドローン、配送ロボット）

3.3 将来イメージ

国際的ビジネス拠点である区部中心部へのアクセス利便性が向上し、交流が活発化している。
（→P59 戦略２）

豪雨災害等による人命損失や孤立化を防止し災害に強いまちになっている。
（→P63 戦略４）

日常生活の中でも文化、芸術、スポーツが身近に体験でき、まちのにぎわいが創出されている。
（→P69 戦略７）

①区部へのアクセスを担う交通機関
②拠点へのアクセスや拠点間の連携強化に資する幹線道路
③豪雨災害などから市街地を守る河川施設
④駅からのアクセスの良いスポーツ施設
⑤市民活動ができるホール
⑥太陽光発電等を導入し、ゼロ・エミッション化された商業施設

3.3 将来イメージ

にぎわいや交流を生み出すウォーカブルな道路空間が形成されている。
（→P59 戦略2）

住宅市街地が更新され魅力的なにまちになっている。
（→P61 戦略3）

長期間使用できる住宅ストックが形成されたまちになっている。
（→P61 戦略3）

地域における観光ができるまちになっている。
（→P69 戦略7）

①リノベーション等により利活用された空き家や空き店舗
②無電柱化が進み歩きたくなる歩行空間におけるナイトイベント
③混雑状況やキャッシュレス決済など街全体のスマートサービスをするデジタルサイネージ

Column　多摩地域における地域公共交通の将来像と自動運転社会の進展

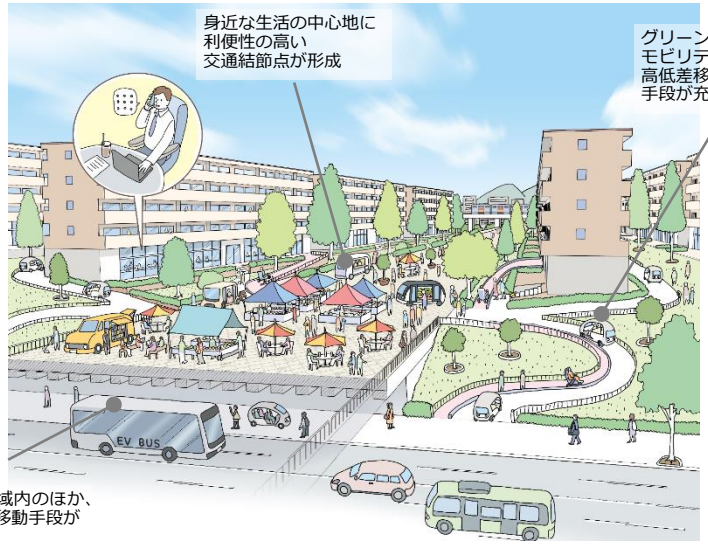
地域公共交通

誰もが移動しやすい都市の実現や、環境にやさしいまちづくりのためには、環境負荷が小さく、気軽に利用できる身近な地域公共交通を活用していくことが大切です。

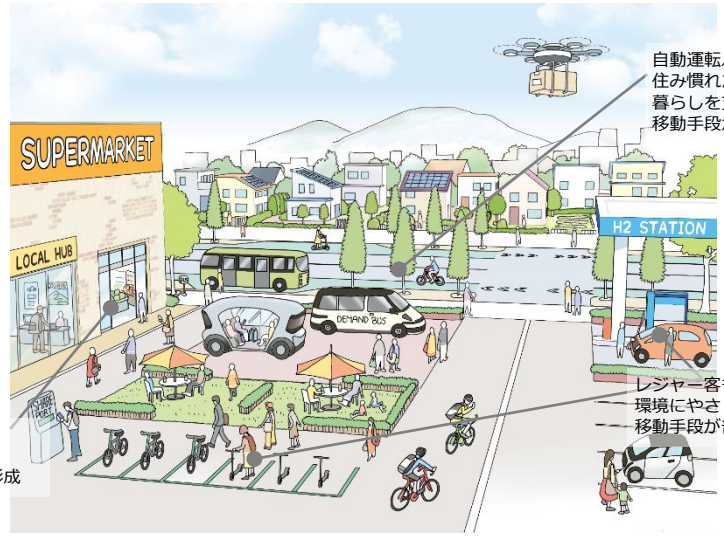
地域公共交通を維持していくためには、人口減少などによる利用者の減少や交通サービスの運転手不足への対応、環境対策の加速、公共交通を地域で守り育てる意識を養うことなどが求められています。

住民や地域企業など様々な主体が協力し、自動運転や新たなモビリティなども活用しながら、様々なニーズに対応した持続可能な地域公共交通サービスを実現していきます。

多摩広域拠点域（おおむねＪＲ武蔵野線から圏央道まで）の将来イメージ



自然環境共生域（おおむね圏央道の外側）の将来イメージ



出典:東京における地域公共交通の基本方針

４　まちづくりの方向性

4 まちづくりの方向性

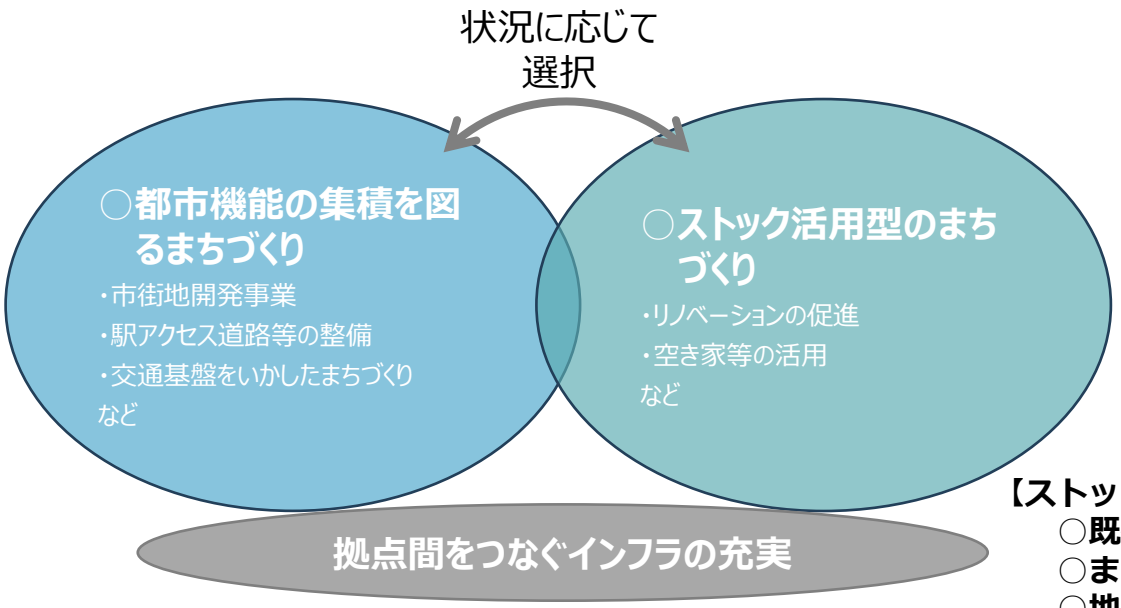
4.1 まちづくりの進め方

- 身近な地域で快適に暮らすことのできる環境を実現する**集約型地域構造への再編を着実に進めるためには**、2050年代の多摩地域で想定される状況等を踏まえ、**「都市機能の集積を図るまちづくり」**と**「ストック活用型のまちづくり」**を地域ごとの人口の動向や社会資本整備などの状況に応じて、選択していくことが重要である。
  - **「都市機能の集積を図るまちづくり」**：再開発事業などの市街地開発事業や社会資本整備を進め、都市機能の集積を図る
  - **「ストック活用型のまちづくり」（※）**：インフラや建物などの既存ストックを有効に活用し、現在のまちの構造を大きく変えずに、既存の地域資源や歴史、文化など地域の個性や魅力をいかしながら進めていく
- これらにより、多摩の**多様な魅力**をいかした**メリハリのあるまち**の実現を誘導していく。

（2050年代を見据えたまちづくり）

交通基盤をいかしたまちづくり

出典：調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画



空き店舗の活用

出典：八王子市HP

【ストック活用型のまちづくりの特徴】
○既存ストックを有効にいかす
○まちの構造を大きく変えない
○地域個性や魅力をいかす

4　まちづくりの方向性

（※）ストック活用型のまちづくり

- インフラや建物などの既存のストックを有効に活用し、まちの構造を社会資本整備や市街地開発事業により変えることなく、既存の地域資源や歴史、文化など地域個性や魅力をいかして、まちづくりを進める。
- 建築物単体でのリノベーションのみならず、一定の区域内でビジョンを共有してリノベーションを図り、地域の魅力を持続していく。
- 加えて、リノベーションを行った区域の活力を維持するため、地域内の移動手段等を確保していく。

1　建築物単体のリノベーション

(主な取組)

・移住なども見据えた、リノベーション等による活力の維持

2　まちのリノベーション

(主な取組)

・地域の特徴をいかして、一定の区域内で、リノベーションによる空き家等の新たな利活用を図り、市町村や産業等の関連施設と連携しながら、まちづくりを誘導

・廃校などを活用し、自然などの地域資源をいかした特徴のある教育施設（インターナショナルスクール等）を誘致し、国際性や創造力、アントレプレナーシップを育み多摩から世界へ人材を輩出
（必要に応じて、教育施設を中心として居住機能や生活機能を誘導し移住環境を充実）

3　移動手段等の確保

(主な取組)

・地元自治体や交通事業者等と連携し、デマンド交通に加えパーソナルモビリティのシェアリングサービス等の交通モードと先端技術を組み合わせ、地域内の移動環境を確保

・高齢者等の生活利便性を支えるために、デジタル技術等を活用した宅配ロボット等を活用

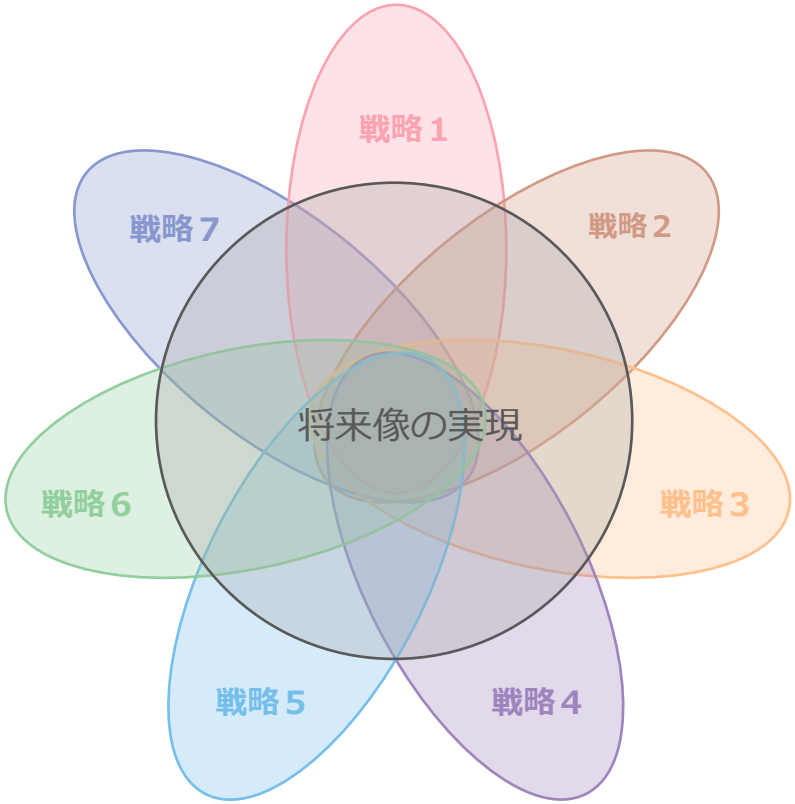
4.2 将来像の実現に向けた戦略

- 将来像の実現を図るため、７つの分野においてまちづくりの戦略を策定。まちづくりを進めるに当たっては、地域の個性を十分にいかしていくことが重要である。**地域の個性に応じて、７つの戦略を組み合わせて**具体的な取組を進める。

将来像の実現に向けた７つの戦略

戦略 1	持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成
戦略 2	人・モノ・情報の自由自在な交流を実現
戦略 3	あらゆる人々の暮らしの場の提供
戦略 4	災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築
戦略 5	利便性の高い生活の実現と多様なコミュニティの創出
戦略 6	四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築
戦略 7	芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出

戦略の組合せイメージ



戦略1 持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成

施策の方向性	主な取組
・既存企業の育成や新たな企業を誘致できる環境づくりを進める。	・企業や大学との連携など、新たなアイデアによる多様なイノベーションが生まれる**コミュニティづくり** ・複数の中小企業等の連携によるものづくりネットワークを広域で組成し、新たな産業分野や市場等への参入を支援 ・多摩地域での**先端技術産業分野**での社会実装を、多摩地域の中小企業と大学・研究機関が連携して行う取組を支援
・スタートアップ支援など働く場を創出し、開業率の更なる向上を図る。	・**コワーキングスペース**や**インキュベーション施設**など創業支援環境の集積
・企業間で経営資源の相互補完を図れるよう、連携した活動を促す。	・大手企業等からの技術・開発ニーズに応えることや大学等との連携などを契機に成長産業分野への参入等を促し、イノベーション創出を促進
・多摩地域からの活発なイノベーション創出を促す。	・創業に関心のある誰もが利用でき、情報提供から事業化支援までを**ワンストップで行う拠点**の運営 ・様々な業種や人材が交流する**サテライトオフィス**の充実 ・多摩地域でイノベーションを起こし続けるエコシステムを形成するため、社会課題解決に向けた取組を行う中小企業への支援や、企業間連携を促す交流イベントなどを実施
・革新的な農を支える新たな生産拠点を形成する。	・閉鎖工場等のリノベーションや跡地活用を図り、農に関わる最先端技術を活用したまちづくり ・スマート農業の推進による拠点形成も視野に入れたまちづくり
・多摩地域の特性をいかし、地域全体や都の活力の向上を図る土地利用を進める。	・大規模工場跡地などを活用し、地元自治体や民間企業などの連携により、地域の住民が様々な交流をすることができる取組を推進

戦略1 持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成

企業間交流イベントのイメージ

インキュベーション施設のイメージ

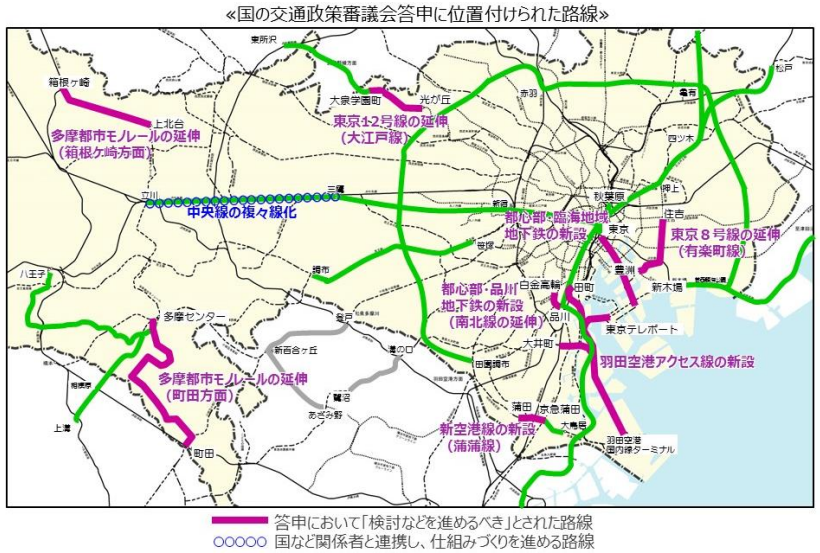
コワーキングスペースイメージ

出典：オープンイノベーションフィールド多摩HP

戦略2 人・モノ・情報の自由自在な交流を実現

施策の方向性	主な取組
・区部や他の多摩地域内の拠点との連携を強化し、交流を促進する。	・駅周辺等のまちづくりを進め、**多摩都市モノレール延伸**（箱根ケ崎方面、町田方面）、**中央線の複々線化**などの各路線について、関係者との協議・調整を加速し、調整が整った路線から順次事業に着手 ・鉄道の混雑緩和などによる快適通勤の実現に向け、働き方改革と連携した**オフピーク通勤促進**の取組や先端技術も活用した**利用の分散、輸送力強化方策**などを進めるとともに、鉄道利用の変化を踏まえた**持続可能な輸送サービス確保策**を推進
・自動運転車等の移動手段を充実させ、誰もが多様なモードで自由に拠点にアクセスできる交通環境づくりを進める。	・公共交通の確保等の施策に係る**地域公共交通計画**を策定し、バスやタクシー、デマンド交通に加え、パーソナルモビリティのシェアリングサービスなどの**交通モードと先端技術を組み合わせる**とともに、自動配送ロボット等の導入により、駅を中心とした**誰もが移動しやすい交通環境**の充実 ・３Dデジタルマップの整備・更新、データセンターや通信網などのデジタルインフラの充実
・都市活動を支える道路の確保や交通結節点の整備を進める。	・広域的な交流・連携を促す高速道路ネットワークの検討 ・拠点へのアクセスや拠点間の連携強化に資する**多摩南北・東西道路をはじめとする幹線道路の整備** ・**南多摩尾根幹線**などの整備を推進し、**リニア中央新幹線神奈川県駅（仮称）へのアクセス**を強化 ・連続立体交差事業を契機とした沿線まちづくりや駅の改良、駅前再開発などの様々な機会を捉え、計画的な駅前空間の整備を促進し、**交通結節機能を強化** ・高速道路の渋滞緩和等に資する料金所のＥＴＣ専用化や**本線料金所の早期撤廃**に向けた取組を加速 ・関係機関との調整などを踏まえ、スマートインターチェンジなど、防災拠点方面から中央道へのアクセス性を高める取組を検討
・駅周辺の商業集積をいかしながら、にぎわいや交流を生み出すウォーカブルな道路空間を形成する。	・**自転車通行空間の整備**により更なる**ネットワーク化**を進めるとともに、駐輪場の整備などにより、**自転車の利用環境**を充実 ・**次世代モビリティ**への対応、オープンカフェやイベント実施など、道路空間を**多面的に活用**
・首都圏西部地域の航空利便性を向上させる。	・**横田基地の軍民共用化**の実現に向けて、ビジネスジェットを含めた民間航空利用のための日米協議を進展させるよう国に働き掛け

戦略2 人・モノ・情報の自由自在な交流を実現



鉄道ネットワークの整備

出典：「未来の東京」戦略 version up 2024（東京都政策企画局） 令和６年１月

道路の多面的な活用 けやき並木通り

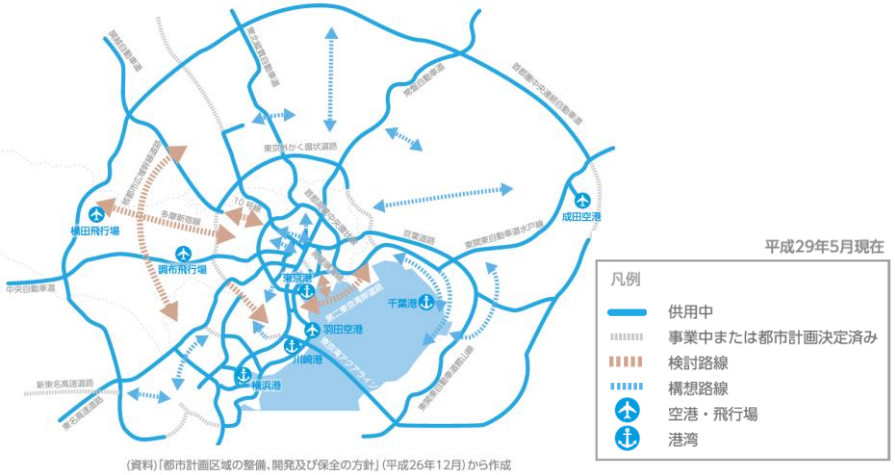
出典：一般社団法人まちづくり府中HP

出典：WHILL株式会社

パーソナルモビリティ

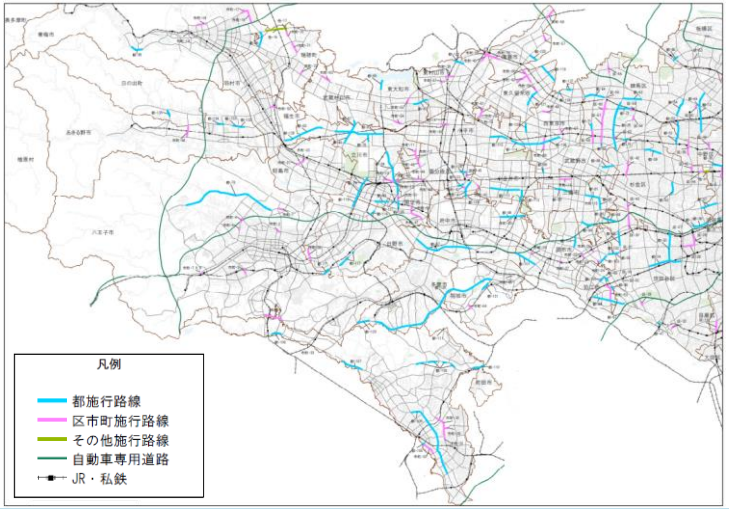
出典：トヨタ自動車（株）

小型EVバス



高速道路ネットワーク

出典：都市づくりのグランドデザイン（東京都都市整備局） 平成29年９月



第四次事業化計画における優先整備路線（多摩地域）位置図

出典：東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）

戦略3 あらゆる人々の暮らしの場の提供

施策の方向性	主な取組
・子供を産み育てやすい環境を高めるまちづくりを進める。	・リノベーションやアフォーダブル住宅による子育て世帯の暮らしやすいまちづくり ・サテライトオフィス等の誘導による**子育てやテレワークしやすい住環境整備**や、保育所や学童クラブ、交流・相談スペースなど**子育て支援施設**などの整備 ・「**東京こどもすくすく住宅認定制度**」及び、併せて創設した直接補助等により子育て世帯に配慮した住宅を供給 ・**子供が過ごしやすいまちづくり**に向けて、児童館・図書館と公園等のオープンスペースを一体的に整備するなど、**多様な機能の融合**による**子供を中心とした多世代交流拠点**を実現 ・基幹交通である多摩都市モノレールにおいて、子育て支援の取組を充実
・高齢者等が安心していきいき暮らせる環境づくりを推進する。	・すべての人が利用しやすい都市環境の創造に向けた、**ユニバーサルデザイン**のまちづくり ・建築物、道路、公園、駅舎等の交通施設の**バリアフリー化を加速**するとともに、それらの施設相互を有効に連続させるネットワークづくりにより、**面的なバリアフリー化**を展開 ・地域の高齢者が気軽に立ち寄り、飲食をしながら**様々な交流**をすることができる場の設置など誰もが生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整備 ・**DXの更なる推進**により、介護の負担軽減を図るとともに、質の高い介護サービスの実現
・住宅市街地を更新し魅力を向上させる。	・地域の特徴をいかして、一定の区域内で、リノベーションによる**空き家等の新たな利活用**を図り、市町村や産業等の関連施設と連携しながら、まちづくりを誘導 ・**公的住宅**を良質なストックへ**計画的に更新**し、**創出用地**において立地特性を考慮した**まちづくり**により、良好な住環境を創出 ・高齢化が進む**大規模な戸建て住宅団地**において、団地の魅力向上や子育て世帯等の住替えによる団地再生に向け、住民組織の活性化を支援 ・**二地域居住**を市町村や雇用・産業等の関連施設と連携しながら誘導するとともに、廃校を職住複合型施設へ**リノベーション**するなど、柔軟な働き方に対応した住み働ける場の充実 ・移住なども見据えた、リノベーション等による活力の維持
・長期間使用できる住宅ストックの形成を推進する。	・長期にわたって使用可能な**質の高い住宅**の普及や、世帯構成やライフスタイルの変化にあわせた間取り変更等の住宅のリフォームを促進 ・市街地の周辺で、地域のポテンシャルや中小ビル等をいかした**リノベーション**などにより、働き方・住まい方環境の充実やにぎわいの創出を強化

戦略3 あらゆる人々の暮らしの場の提供

施策の方向性	主な取組
・豊かな自然環境などを感じる暮らし方を実現する。	・豊かな緑やゆとりのある道路、公園、宅地など、**多摩ニュータウン**の強みを生かしながら、老朽化した住宅の建替えや改修を進め、**多様な人々の暮らしの場を実現**

サテライトオフィスのイメージ

子育て支援施設のイメージ

東京こどもすくすく住宅のイメージ

出典：東京こどもすくすく住宅認定制度パンフレット
（東京都住宅政策本部）

バリアフリー施策の例

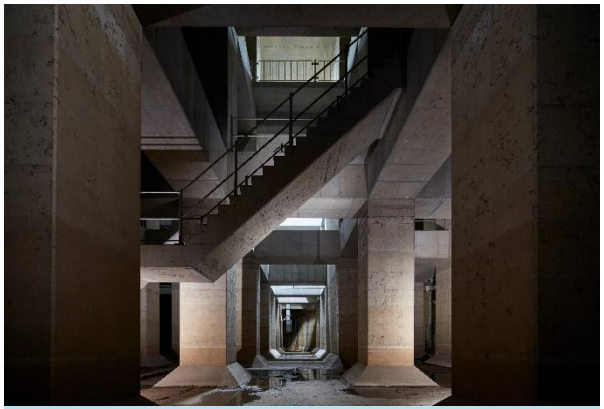
出典：「未来の東京」戦略version up 2022
（東京都政策企画局）令和４年２月

戦略4 災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築

施策の方向性	主な取組
・土砂災害や大規模水害、地震による火災等のリスクの高まりに対応した防災・減災対策を進める。	・**立地適正化計画**の策定を進め、土砂災害特別警戒区域などの**災害レッドゾーン外への居住の誘導** ・木造住宅密集市街地において敷地の細分化防止や建築物の不燃化を図るため、地区計画等による**敷地面積最低限度**の設定や市街地状況に応じた**防火規制**の導入等 ・斜面対策施設の**経年劣化対策**、道路への**土砂流出対策**、道路本体の**流失防止対策** ・激甚化する豪雨や台風に伴う洪水、土砂災害などに対して、**河川の護岸や調節池、砂防施設**等の整備を推進 ・市単独による雨水排除が困難な地域において、都は**流域下水道雨水幹線**を整備し、市は**幹線に接続する雨水管**の整備を推進 ・公共施設、大規模民間施設、個人住宅等における**雨水貯留浸透施設**の設置等 ・雨水流出抑制に資する**グリーンインフラ**を活用した家づくり・まちづくりの推進 ・**緊急輸送道路の無電柱化**を優先的に進めるとともに、開発や土地区画整理事業などの**まちづくりの機会**を捉え、無電柱化の実施
・広域防災拠点へのアクセスルートとなる道路等の事業を推進する。	・**中央南北線**（立川3・1・34号線）等の整備や**ＪＲ青梅線との立体交差化**を実現 ・**立川東大和線**（立川3・3・30号線ほか）等の整備や**ＪＲ南武線の連続立体交差化**を実現
・都内のCO2排出量の７割超を占める建物のゼロエミッション化を進める。	・建築物環境報告書制度等、制度の創設・強化・拡充を行うとともに、断熱化や太陽光発電設備・蓄電池の導入等の支援策の充実を図り、**省エネの更なる深掘り**と**再エネの利用拡大**を促進 ・**地産地消型**の再エネ設備の導入を拡大するとともに、エネルギー環境計画書制度等により、**多様な再エネ電力メニュー**から選択できる環境を整備し、再エネの利用を最大化
・ゼロエミッション東京の実現に向けて、再生可能エネルギーの基幹エネルギー化と、水素エネルギーの利用拡大を推進する。	・電気自動車(**EV**)、燃料電池自動車(**FCV**)等の**ZEV**（ゼロエミッションビークル）の普及拡大に向け、**急速充電器設備**や**水素ステーション**等の整備促進 ・**ＶＰＰ（バーチャルパワープラント）**の活用により電気の需要と供給のバランスを確保
・深刻化する気候危機・気温上昇に対応できるまちづくりを進める。	・グリーンインフラなどによる都市緑化の強化

戦略4 災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築

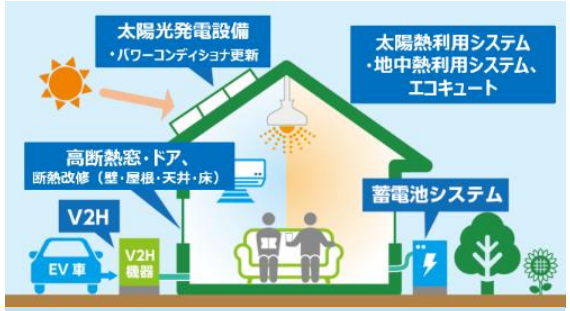
砂防事業（青梅市：中曽川砂防堰堤）



調節池（東久留米市：黒目橋調節池）

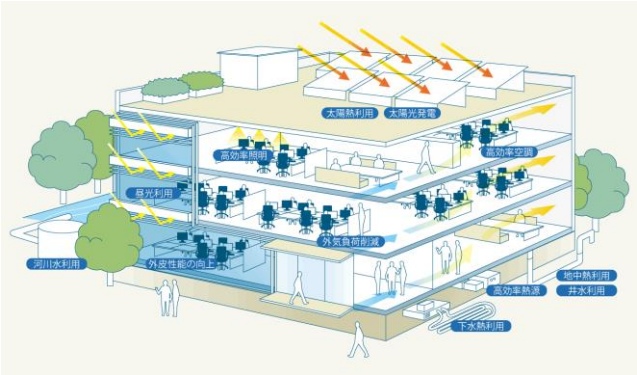
無電柱化（拝島駅周辺）

出典：東京都無電柱化計画（改定）令和３年６月



災害にも強く健康にも資する断熱・太陽光住宅

出典：東京都環境局HP



ネット・ゼロ・エネルギー・ビル

出典：資源エネルギー庁ウェブサイト

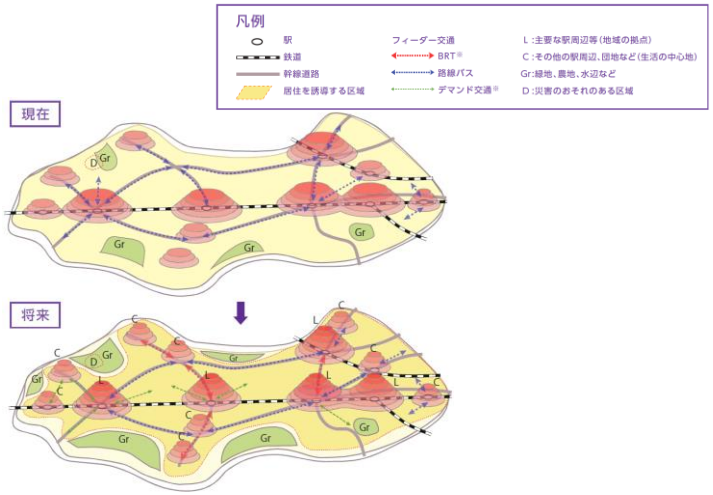
燃料電池ごみ収集車

出典：トヨタ自動車（株）提供
※技術検討実証車（スーパー耐久レース展示車両）

戦略5 利便性の高い生活の実現と多様なコミュニティの創出

施策の方向性	主な取組
・まちの持続的な発展のため、都市経営コストの効率化を図りながら、利便性の高い生活と活発な都市活動を実現する。	・集約型地域構造への再編に向けて**立地適正化計画**の策定を進めるとともに、複数の行政界にまたがる拠点については、**自治体間で連携**し計画を策定
・誰もが集い、支え合う居場所・コミュニティがいたる場所に存在するまちを実現する。	・**空き家や公的住宅**などの地域資源を活用し、**交流サロン**や**コミュニティ農園**など**居場所づくり**
・都市を支えるインフラの維持・更新の高度化を図る。	・市民と自治体が協働してまちの課題に取り組む**住民協働アプリ**を活用した道路等の管理
・高齢者や子育て世帯向けの住宅施策を推進する。	・**サービス付き高齢者向け住宅**や**子育てに配慮した住宅**などの供給
・「子供の笑顔」があふれる都市を実現する。	・参画企業・団体による主体的なアクションの促進等、「**こどもスマイルムーブメント**」を推進
・多摩地域の魅力をいかし、子供を育て、住みやすい環境を創出する。	・廃校などを活用し、自然などの地域資源をいかした特徴のある教育施設（インターナショナルスクール等）を誘致し、国際性や創造力、アントレプレナーシップを育み多摩から世界へ人材を輩出 ・教育施設を中心として居住機能や生活機能を誘導し移住環境を充実

戦略5 利便性の高い生活の実現と多様なコミュニティの創出



集約型の地域構造のイメージ

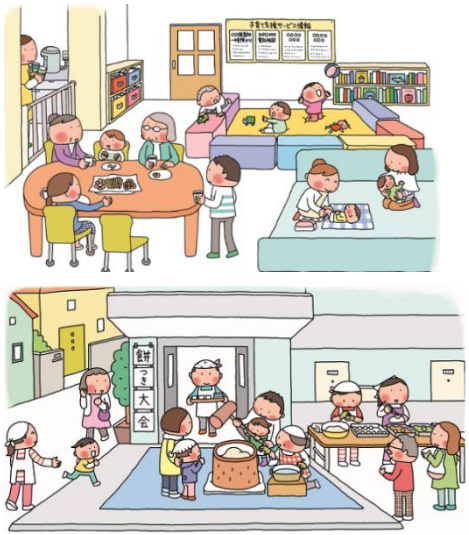
出典：都市づくりのグランドデザイン（東京都都市整備局）平成29年9月

交流サロンの例（日野市）

出典：日野市提供

住民協働による道路等の情報収集

出典：東京都建設局HP



子育てに配慮した住宅のガイドライン

出典：子育てに配慮した住宅のガイドライン（東京都住宅政策本部）令和５年４月

戦略6 四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築

施策の方向性	主な取組
・多摩の魅力である緑や農をまちづくりに活用する。	・自然と調和した持続可能な都市を目指し、都民や企業等とともに緑を「まもる」「育てる」「活かす」取組を進める、**100年先**を見据えた緑のプロジェクト**「東京グリーンビズ」**を推進 ・特別緑地保全地区の指定促進等により、**屋敷林**等の**民有地の緑を保全** ・**ツリーバンク**で保管している樹木を、新たな公園整備等で活用 ・買取の申し出があった生産緑地などは、**市民農園**や**都市公園等**としての利活用を進めるとともに、農地や屋敷林などが比較的まとまっている地域については、農の風景育成地区指定により、**農の風景を保全、育成** ・**里山**における、多様な生きものが共存できる環境を保つための森の手入れや田植え・稲刈り、自然観察、クラフト体験プログラム等の開催など、**都民や企業等と協働**して**緑を育て、いかし、次世代に継承**
・公園の整備などにより、緑をまもり、増やす。	・**かわまちづくり**や、**Park-PFI**など官民連携による河川や公園・緑地の**多面的活用**を推進
・緑と水をいかしたにぎわいと身近な憩いの場の形成を図る。	・自然環境が有する機能を、社会課題の解決に活用するため、公共施設や民間施設等で**グリーンインフラを導入** ・**都市計画公園・緑地**の整備を進めるとともに、開発による**緑の保全の取組を評価する仕組み**によって民間開発による緑化を促進 ・公園や緑地などの整備に加え、**道路や水辺などを活用したネットワークを形成**し、水と緑あふれる東京を実現 ・ウォーキングなどが楽しめる「たまリバー50キロ」を生かし、多摩川の河川空間の魅力向上
・まちの魅力を向上させる農空間の創出を図る。	・各地域の特性を踏まえて、農地を活用した**「緑農住」まちづくり**（農地や里山、屋敷林等の農的土地利用と住宅地が一体となったまちづくり）を推進（農のプラットフォーム等）

戦略6 四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築

みどりと生きるまちづくり
TOKYO GREEN BIZ

東京グリーンビズ

生産緑地の利活用（吉祥寺東町農業公園）

農の風景育成地区（下小山田・図師町）

出典：町田市提供

都市計画公園の整備（野山北・六道山公園）

「緑農住」まちづくりイメージ

出典：東京都都市整備局HP

戦略7 芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出

施策の方向性	主な取組
・豊かな自然などを生かして多摩ならではの観光体験を創出する。	・地域のNPO等と連携し、自然を楽しむ**ネイチャーツーリズム**、**グリーンツーリズム**や**アドベンチャーツーリズム**を推進 ・ICTの活用等による**観光プロモーション**により、多摩の**魅力を発信**
・クールジャパンをエリアで満喫できるまちづくりを進める。	・地域資源を活用し、**アニメ聖地巡礼**の誘導などを行うとともに、周辺市街地におけるまちづくりに活用
・地域における観光まちづくりを推進する。	・地域の**多様な主体が連携**した協議会設立の支援や、協議会による**情報発信やイベント実施**、**経営力強化**などの様々な取組への支援により、観光協会をはじめとする地域の団体が主体となって取り組むまちづくりを後押し
・自然環境や都市型観光施設へのアクセスなどの環境整備により交流人口を増加させる。	・市町村や観光協会等による**シェアサイクリング**の実施支援、**新たな交通用具**導入の取組やその活用を促す**PRツール**の作成を支援し、旅行者の誘致及び満足度向上
・外国人を含めた観光客の受入れ拡大を図る。	・**インフルエンサーやＳＮＳ**を活用した**多言語**による情報発信や、移動・宿泊にかかわる各施設の**バリアフリー化**
・芸術・文化・スポーツを誰もが気軽に楽しめるまちを形成する。	・既存の博物館や美術館等と**周辺施設の連携**により、地域の魅力を向上・発信 ・公園や駅前の公共空間や商業施設などまちなかに芸術文化の発表の場や地域住民が参加する場が生まれたことをいかし、誰もが気軽に文化を楽しむことができる場づくりを強化 ・サイクリングコースや公園の付近に**スポーツをサポートする施設**（カフェ・休憩施設等）の整備

戦略7 芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出

高尾山山頂

出典：東京都環境局報道発表資料

グリーンツーリズムのイメージ

出典：東京都建設局報道発表資料

アドベンチャーツーリズムのイメージ（御岳渓谷）

出典：青梅市提供

青梅市昭和レトロの街並み

出典：青梅市提供

Column　中央線の複々線化ってな～に？

鉄　道

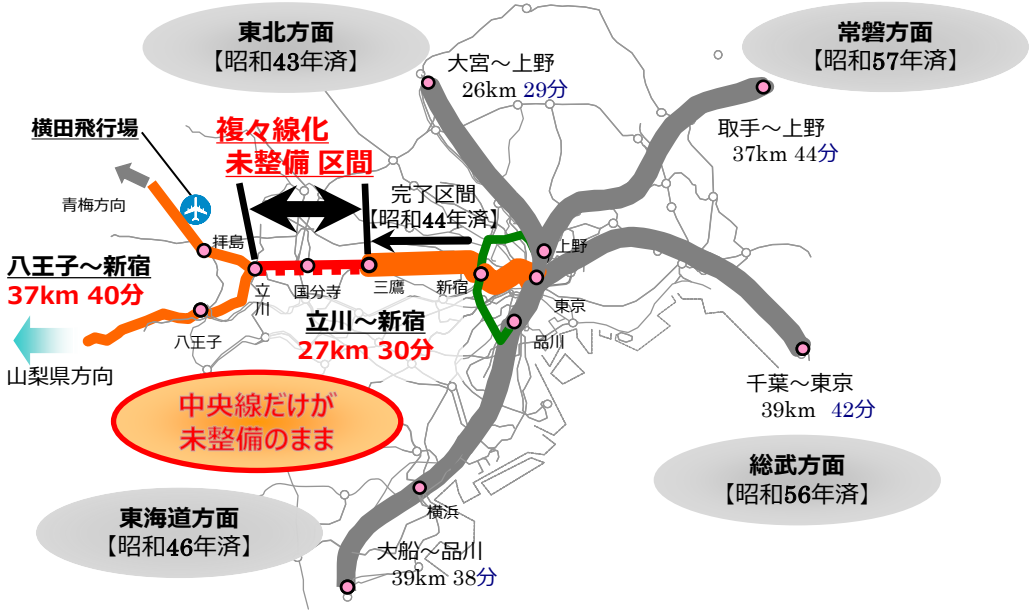
中央線は多摩地域の真ん中に位置しており”多摩地域の大動脈”のような路線です。

高度経済成長期に行われた、輸送力増強を目指した「通勤五方面作戦」により、昭和44年に三鷹駅までの複々線化が完了しました。

また、平成６年には、三鷹～立川間の高架化と複々線化（地下方式）が都市計画決定され、高架化については平成22年に完成し、これと合わせて行われた、駅を中心としたまちづくりにより、沿線の魅力が向上しました。

しかし、三鷹～立川間の複々線化については未整備のままであり、中央線の混雑率はコロナ前の令和元年度実績で184%、令和４年度実績では139%と依然として高水準。遅延も頻繁に発生しています。

三鷹～立川間の複々線化により、移動の利便性を高めることに加え、立川広域防災基地周辺の基盤整備やまちづくりによる地域の防災力向上により、安全・安心、快適に暮らせる多摩地域へ発展させていきます。



通勤五方面作戦と複々線の整備状況

高架化前後の国分寺駅（左:前、右：現在）

高架化前後の小金井街道

5　まちづくりの取組の概要

5 まちづくりの取組の概要

5.1 支援策とプロジェクト

- 社会状況が大きく変化する中、**7つの戦略**を用いて効果的に多摩地域のまちづくりを進めるため、地元自治体の取組を支援するとともに、従来の政策誘導型のまちづくりを進化させて、都市機能の集積を図るまちづくりやストック活用型のまちづくりを展開し、3種類のプロジェクトを進めていく。

支援策（6章）

- 既存施策の活用によるまちづくりの推進
- 道路・交通ネットワークの充実を契機とした周辺のまちづくりの推進
- まちづくりマッチングシステム
- 特徴を踏まえたエリアのまちづくりの推進

等

プロジェクト（7章～9章）

多摩のまちづくり

多摩の拠点づくり（7章）

TAMA拠点形成プロジェクト

ハードの取組に加えソフト面からも**地元自治体のまちづくりを支援**し、身近な地域で誰もが活動でき快適に暮らせるまちを実現

中核的な拠点等　58か所

インフラと連携したまちづくり（8章）

TAMAまちづくり推進プロジェクト

- ①新規基盤連携型プロジェクト（多摩都市モノレール箱根ケ崎方面延伸部）
- ② 首都東京のレジリエンスを高めるプロジェクト（立川周辺のまちづくり）

地元自治体などが進めるまちづくりとも連携して**都がプロジェクトを推進**し、広域的に連たんする新たなまちの実現や首都東京のレジリエンスを向上

ニュータウンのまちづくり（9章）

TAMAニュータウンプロジェクト

モデル地区での**先行プロジェクトの実施により、まちづくりを先導**し、地元自治体の取組を後押し

6　まちづくりへの支援策

6 まちづくりへの支援策

6.1 概要

- これまで都は、各拠点における市街地開発事業等の整備プロジェクトの計画・実施を支援してきた。
- 一方、コロナ禍やDX等の社会情勢の変化や価値観の多様化により、**まちづくりの課題も複雑化・多様化**している。
- これらの課題を解決し、まちづくりの促進に向けて、**ハード面の取組に加えソフト面**からも地元自治体の取組を支援していく。

既存施策の活用

地元自治体がまちづくりを進める上で、都の各局が展開している**様々な支援施策について十分にいかしきれていない**ことも多い。ハード・ソフト両面からのまちづくりを推進していくため、これまでの**ハード中心とした施策とソフト施策を組み合わせて活用**することにより、地元自治体のまちづくりの取組を支援していく。（→P78　6.2章）

新たな支援策

既存施策の活用に加えて、**多様な主体との連携**、**交通基盤をいかしたまちづくり**、**地域特性をいかした広域的なまちづくり**などの観点から、新たな取組を進める。

・多様化・複雑化するまちづくりの課題を解決するため、まちづくりマッチングシステムにより、大学や企業、NPOなど多様な主体との連携を促進する。（→P79　6.3章）

・道路・交通ネットワークの充実を契機とした周辺のまちづくりを促進する。（→P81　6.4章）

・行政界をまたがる「特徴を踏まえたエリア」において、地域特性をいかしたまちづくりを促進する。（→P82 6.5章）

6.2 既存施策の活用によるまちづくりの推進

- 地元自治体が課題を解決し円滑なまちづくりに資するよう、先に示した７つの戦略ごとに、都の各局が展開している**ハード・ソフト**様々な**施策を一覧に整理**した。
- 今後、**毎年度**、施策の改訂、廃止、拡充などを調査・確認し、地元自治体に共有を図っていく。
- 地元自治体が施策を十分に活用できるよう、施策の所管部署の対応に加え、都の「まちづくり推進コンシェルジュ」とも連携を図り地元自治体のまちづくりを支援していく。

※まちづくり推進コンシェルジュ（総務局行政部振興企画課）
行政分野がまたがる事業を対象とし、地元自治体からの相談を
一元的に受け付け、庁内調整を行い、支援に結び付けるための窓口

戦略 1 持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成

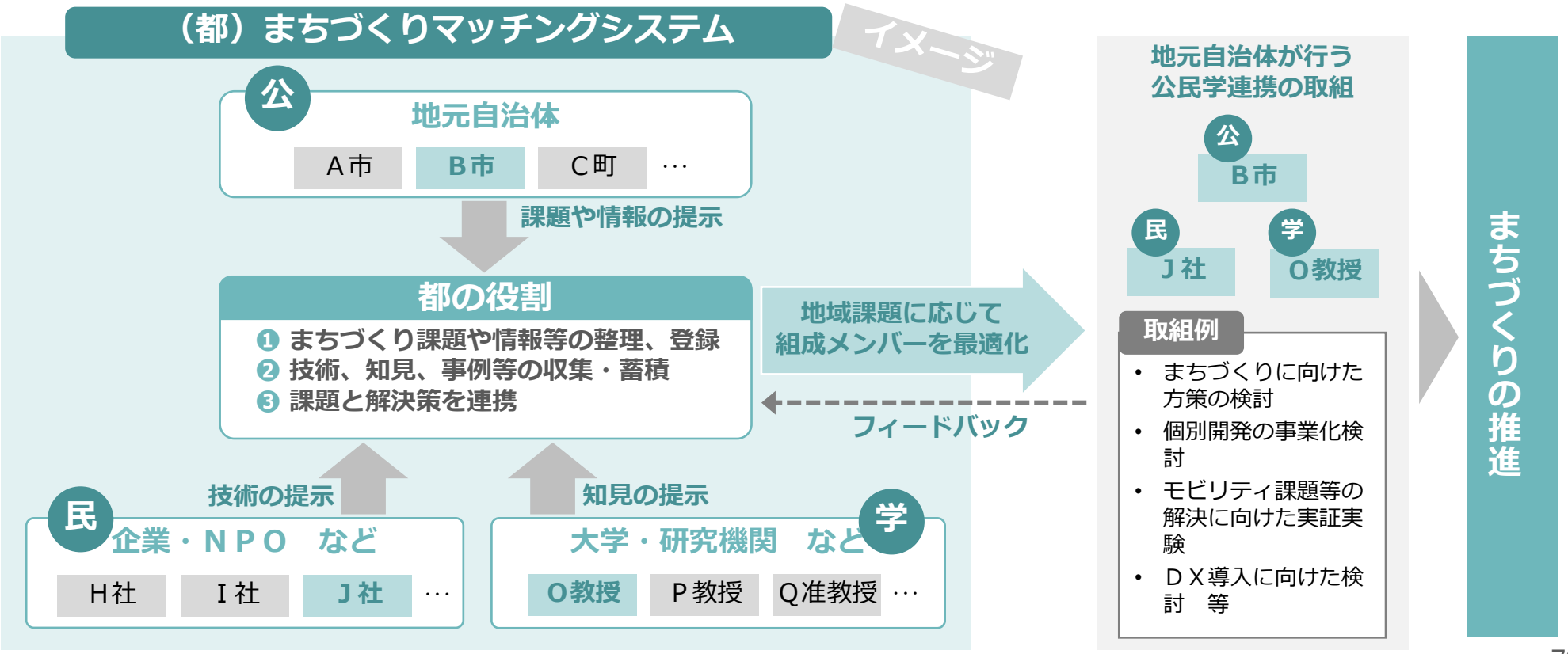
部署名	施策	施策概要	備考欄
デジタルサービス局 デジタルサービス推進部 デジタルサービス推進課	**地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業**	• 地域課題解決や住民のニーズの充足といったまちのスマート化に関する取組を推進し、まちのスマート化の展開につなげていく。	
デジタルサービス局 デジタルサービス推進部 つながる東京推進課	**アセット開放の取組**	• 通信事業者による5Gアンテナ基地局等の設置促進に向けて、多摩地域に所在する都の保有アセット（土地・建物）約6,500件に加え、街路灯・都立公園を開放する。各自治体の実情にあわせた伴走型支援を実施することで、市町村の保有アセット開放を促進する。また、まちづくりやビル建築等と連携した民間アセットの開放を実施していく。	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩の魅力発信プロジェクト**	• 多摩地域の市町村が実施する先進的・特徴的な取組を、幅広い媒体で発信する。あわせて、地域の魅力スポット、地域資源を活かした子供向けのイベントなどを市町村や地域の多様な主体と連携し、発信する。	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩地域における多様な主体との連携活動促進支援事業**	• 多摩地域において、複数の市町村と多様な主体との連携による広域的な地域課題の解決や、新たな価値の創造など、先進的な取組に対し、技術的・財政的支援を実施し、多摩地域の多様な魅力を向上させる。	

※一覧表は巻末に掲載し、本ページにおいては、戦略1に係る施策の一部を例示する（→P137）。

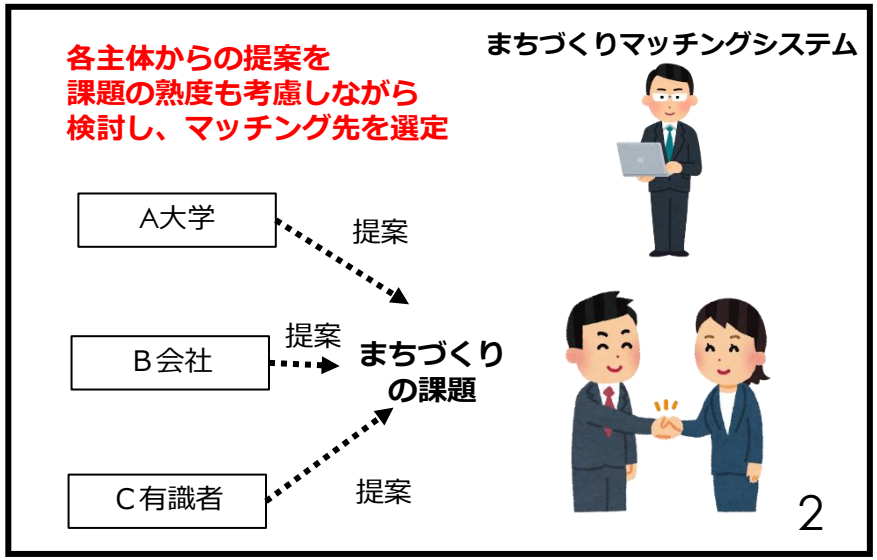
各施策については、歳入歳出予算が東京都議会で可決された場合において、実施することを予定している。

6.3 まちづくりマッチングシステム

- 社会情勢や価値観の変化等によりまちの抱える課題は多様化しており、その解決のためには、大学や企業、ＮＰＯなど様々な主体と連携を図ることが重要である。
- 都は、**公民学が連携**するプラットフォームとして、まちづくりマッチングシステムを構築し、**様々な主体が持つ専門性や強み**を**組み合わせ**て、地元自治体のまちづくりを促進する。
- 課題解決に資する技術やノウハウ、知見を有する**団体を事前に登録**し、**地元自治体とマッチング**させ、まちづくりに**最適なメンバーを組成**し地域での取組を進めていく。
- このような取組を通して、地元自治体のまちづくりを支援していく。

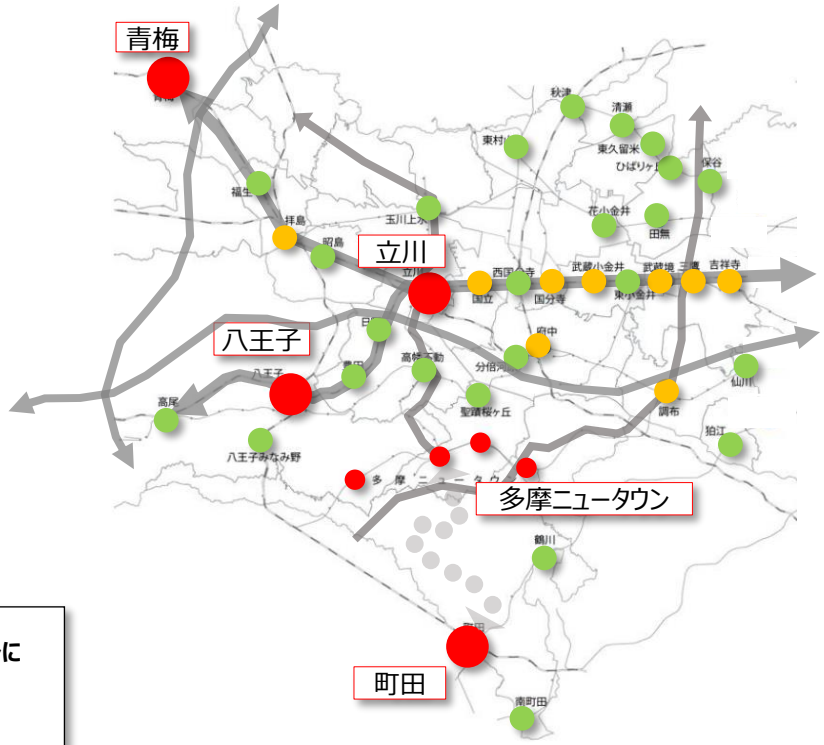


例　○○市
（観光資源に関する活用例）



6.4 道路・交通ネットワークの充実を契機とした周辺のまちづくりの推進

- 道路・交通ネットワークの整備により、地域間の移動時間の短縮や利便性の向上が図られる。
- 道路・交通ネットワークをいかし、**拠点間の連携**を促進していくためには、**交通基盤と連携したまちづくり**が重要
- 新たに整備する**広域的な道路・交通ネットワークの沿線周辺**において、**ハード・ソフトの先進的なまちづくり**に取り組む地区を選定し、地元自治体の行うまちづくりの検討を支援



都市計画区域マスタープランに位置付けられた拠点

- 中核的な拠点
- 枢要な地域の拠点
- 地域の拠点

【道路・交通ネットワークと中核的な拠点等のイメージ】

資料：都市づくりのグランドデザイン（東京都都市整備局）平成29年9月、
都市計画区域マスタープラン（東京都都市整備局）令和3年3月を基に作成

出典：東京都建設局HP

6.5 特徴を踏まえたエリアのまちづくりの推進

- 多摩地域には、農地の多さや観光資源の集積など、行政界を越えた特徴を有するエリアがある。
- **行政界を越えた地域特性を有するエリアのまちづくり**を促進するため、都は、「**特徴を踏まえたエリア**」の将来像を地元自治体と連携して定め、地元自治体の取組をパッケージにして**支援**を行う。
- 「特徴を踏まえたエリア」のまちづくりの取組を進め、地域のブランド力の向上や産業競争力の強化や交流人口の促進を図っていく。

例えば、農地が多いエリアでは、この地域特性をいかして
地元自治体同士で連携して実施していく

「イベント等による地元住民の意識醸成」「農地等の活用」
「まちづくり方針等の検討」

こうした地元自治体が連携した取組に対して、都が支援する

7　TAMA拠点形成プロジェクト

7　TAMA拠点形成プロジェクト

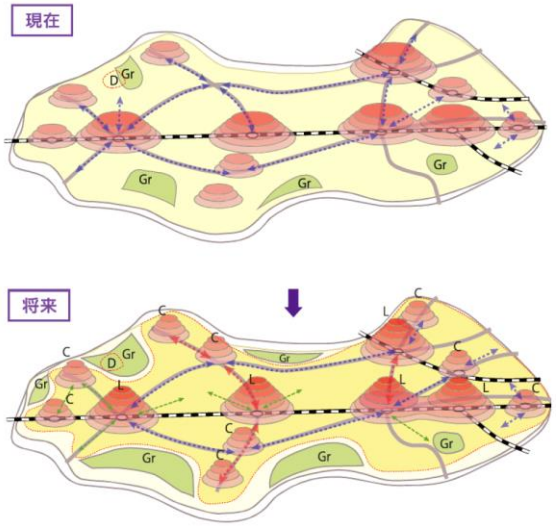
～個性を生かし、活力に満ちたサステナブルなまち～

7.1　拠点の考え方と対象

拠点づくりの考え方

- 少子高齢化や人口減少が進行する中においても、**都市の持続的発展**を可能とするためには、**身近な地域で誰もが活動でき快適に暮らせるまちへの再構築**に向けた取組を推進することが重要である。（「集約型地域構造」への再編）
- 社会資本整備や都市開発を進め、**拠点における様々な都市機能の集積**を図るのみならず、既存ストックを有効に活用し現在のまちの構造を大きく変えずに地域の個性や魅力をいかしながら進めていく**ストック活用型のまちづくり**を進めるなど、多摩の多様な魅力をいかしたメリハリのあるまちの実現を図っていく。
- 各拠点の**個性に応じて、４章で示した７つの戦略を組み合わせて**まちづくりを推進する。

集約型地域構造のイメージ



出典：都市づくりのグランドデザイン
（東京都都市整備局）平成29年9月

対象とする拠点

（→次ページ参照）

- 「**都市計画区域マスタープラン**」における「**中核的な拠点**」、「**枢要な地域の拠点**」及び「**地域の拠点**」
- 地元自治体が**公民学連携やDX活用などのまちづくり**に取り組む同プランの「**生活の中心地**」

都の取組

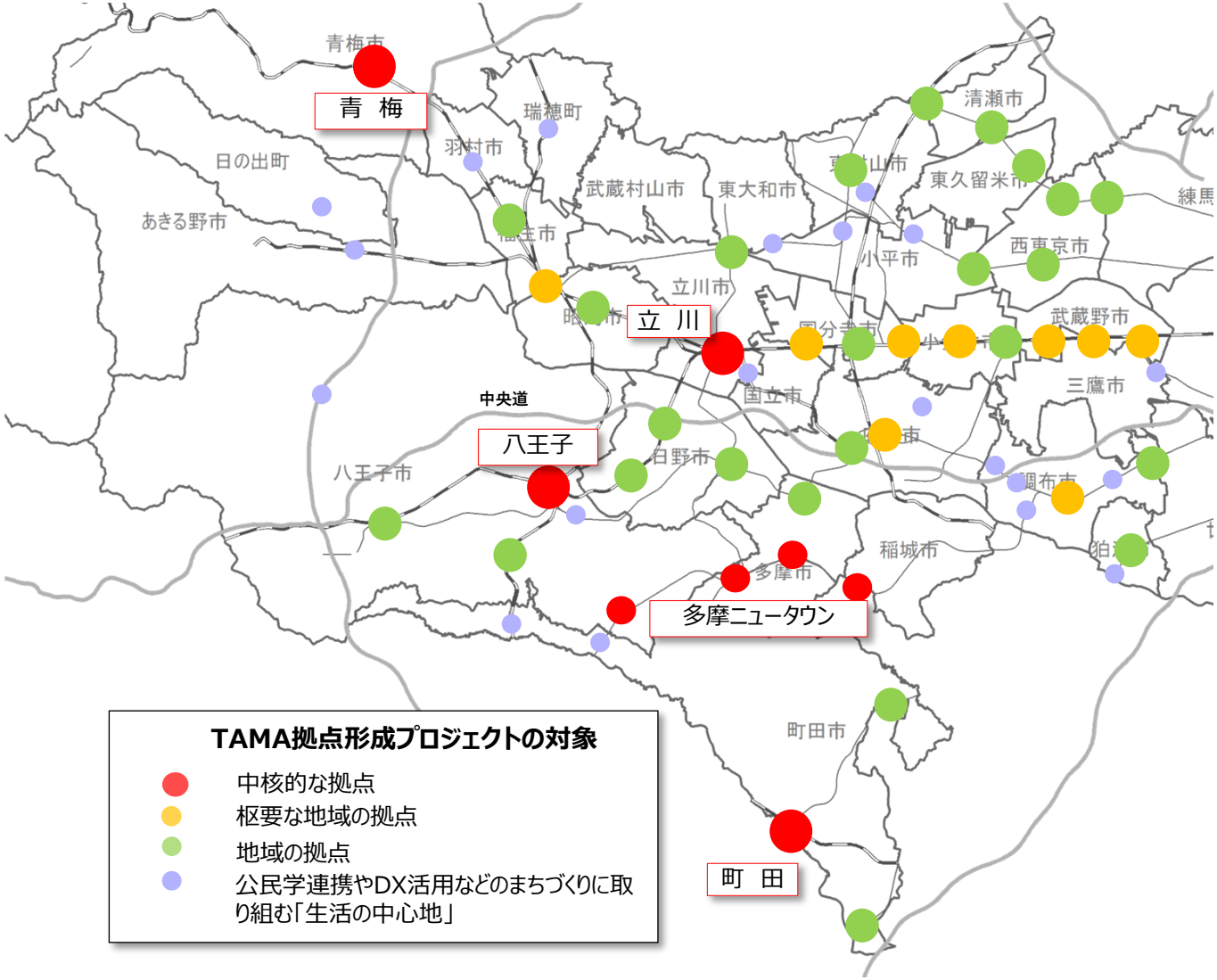
- **毎年度**、**進捗や課題を確認**し、まちづくりへの支援策も活用しながら、解決に向けた**技術的な支援**や関連する**支援策の紹介**を行い、地元自治体の**課題解決を促進**し、**拠点整備を推進**する。
- **ハード面の取組に加えソフト面**からも地元自治体の取組を支援していく。

7.2　各拠点におけるまちづくりの戦略

- 「都市計画区域マスタープラン」で示す将来像の実現に向けて、各拠点ごとに以下を示す。
  - まちづくりの主体となる地元自治体の現状や課題、将来像
  - 地元自治体などの具体的な取組
  - **３か年の実施計画**

7 TAMA拠点形成プロジェクト

TAMA拠点形成プロジェクトで対象とする拠点（全58か所）　（索引を次ページに示す。）



中核的な拠点

八王子、立川、多摩ニュータウン、青梅、町田

枢要な地域の拠点

吉祥寺、武蔵境、三鷹、府中、調布、武蔵小金井、国分寺、国立、拝島

地域の拠点

高尾、八王子みなみ野、分倍河原、昭島、仙川、鶴川、南町田、東小金井、花小金井、高幡不動、日野、豊田、東村山、西国分寺、福生、狛江、玉川上水、清瀬、秋津、東久留米、聖蹟桜ヶ丘、ひばりヶ丘、保谷、田無

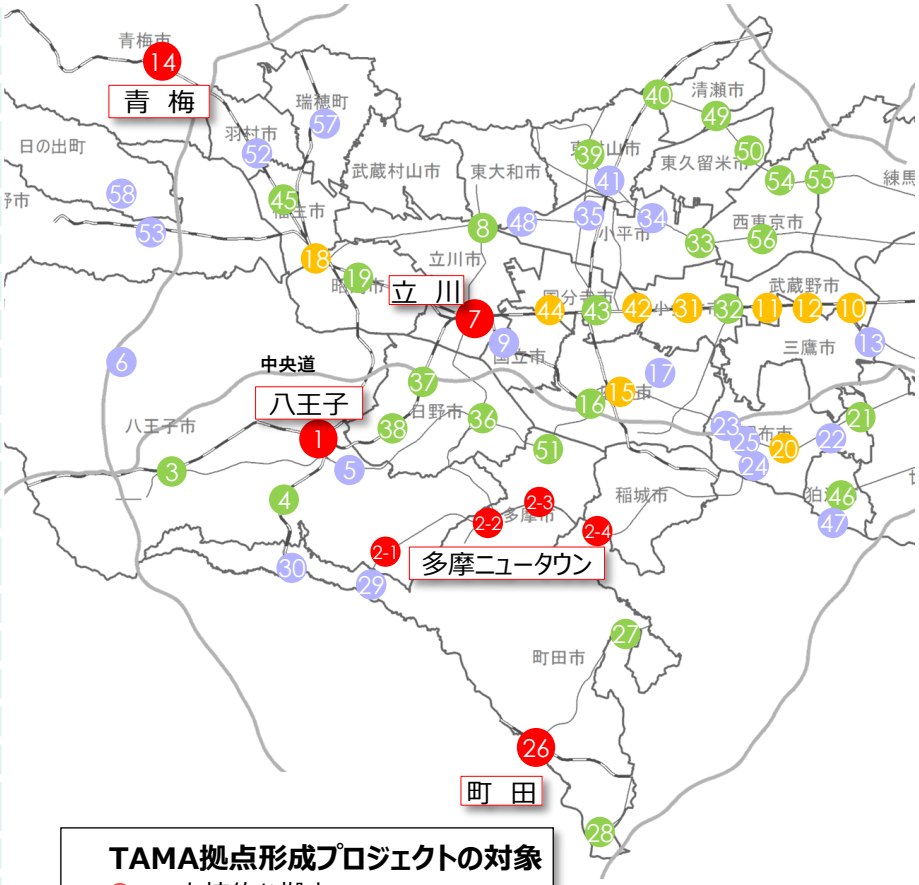
生活の中心地

三鷹台、府中基地跡地、つつじヶ丘・柴崎周辺、飛田給、京王多摩川、西調布、小平、小川、和泉多摩川、北野、圏央道八王子西インターチェンジ周辺、西国立、多摩境、相原、久米川、東大和市駅周辺、羽村、武蔵引田、箱根ケ崎、谷戸地区・塩田地区

7 TAMA拠点形成プロジェクト

TAMA拠点形成プロジェクトで対象とする拠点の索引

市町	番号	拠点	ページ
八王子市	1	八王子	88
	2-1	多摩ニュータウン（南大沢）	171
	3	高尾	197
	4	八王子みなみ野	199
	5	北野	265
	6	圏央道八王子西インターチェンジ周辺	267
立川市	7	立川	91
	8	玉川上水	231
	9	西国立	269
武蔵野市	10	吉祥寺	176
	11	武蔵境	178
	12	三鷹	180
三鷹市	12	三鷹	180
	13	三鷹台	247
青梅市	14	青梅	99
府中市	15	府中	183
	16	分倍河原	201
	17	府中基地跡地	249
昭島市	18	拝島	195
	19	昭島	203
調布市	20	調布	186
	21	仙川	205
	22	つつじヶ丘・柴崎周辺	251
	23	飛田給	253
	24	京王多摩川	255
	25	西調布	257
町田市	26	町田	103
	27	鶴川	207
	28	南町田	209
	29	多摩境	271
	30	相原	273
小金井市	31	武蔵小金井	189
	32	東小金井	211
小平市	33	花小金井	213
	34	小平	259
	35	小川	261
日野市	36	高幡不動	215
	37	日野	217
	38	豊田	219
東村山市	39	東村山	221
	40	秋津	235
	41	久米川	275
国分寺市	42	国分寺	191
	43	西国分寺	225
国立市	44	国立	193
福生市	18	拝島	195
	45	福生	227
狛江市	46	狛江	229
	47	和泉多摩川	263
東大和市	8	玉川上水	231
	48	東大和市駅周辺	278
清瀬市	49	清瀬	233
東久留米市	50	東久留米	237
多摩市	2-2	多摩ニュータウン（多摩センター）	165
	2-3	多摩ニュータウン（永山）	168
	51	聖蹟桜ヶ丘	239
稲城市	2-4	多摩ニュータウン（若葉台）	174
羽村市	52	羽村	280
あきる野市	53	武蔵引田	282
西東京市	54	ひばりヶ丘	241
	55	保谷	243
	56	田無	245
瑞穂町	57	箱根ケ崎	284
日の出町	58	谷戸地区・塩田地区	287



TAMA拠点形成プロジェクトの対象

- 中核的な拠点
- 枢要な地域の拠点
- 地域の拠点
- 公民学連携やDX活用などのまちづくりに取り組む「生活の中心地」

中核的な拠点：八王子

現状と課題

- JR八王子駅・京王八王子駅から甲州街道を経て西八王子駅へ至る地区を中心に、商業・業務機能などが集積する中心拠点を形成しており、東京都立多摩産業交流センター(東京たま未来メッセ)をはじめ、主要な公共公益施設が複数立地している。
- 中心市街地では店舗や駐車場等の跡地にマンションが多数建設され、定住人口は増加している。
- 学園都市づくりの拠点施設として八王子市学園都市センターが立地している。市民と大学との幅広い交流の場や市民の文化活動の場となるほか、学習や文化に関する情報も提供している。
- JR 八王子駅や西八王子駅の周辺、甲州街道の沿道では、中心市街地の活性化に資する商業、業務、居住、文化、交流など都市機能の強化と調和が求められる。
- 無電柱化やみどりのオープンスペース、グランドレベルのにぎわい創出など、人中心の居心地が良く歩きたくなる、まちなかづくりが求められる。

将来像

- 自立都市としての位置づけと首都圏の発展の一翼を担う拠点として、多様な都市機能の集積と魅力ある都市環境が形成されている。
- 長い歴史を持つ文化とまちなみを守りつつ、中心市街地及びその周辺の魅力が向上し、活性化している。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 東京たま未来メッセ

出典：「東京たま未来メッセ」©Hachioji City (licensed underCC BY 4.0)

7 甲州街道のイチョウ並木

出典：「甲州街道のイチョウ並木」©Hachioji City (licensed underCC BY 4.0)

11 八王子駅南口集いの拠点整備イメージパース

出典：八王子市提供

7 TAMA拠点形成プロジェクト

中核的な拠点：八王子

拠点づくりの具体的な取組

1	中心市街地のまちづくり	「八王子市中心市街地まちづくり方針（市街地総合再生基本計画）」の更新を視野に、ハード・ソフト両面で官民連携したにぎわいのまちづくりを引き続き推進する。	戦略1
2	駐車場地域ルールの策定	今後策定予定の駐車場地域ルールの運用などにより民間の建築需要を喚起し、まちの防災性の向上とウォーカブルなまちの実現を図る。	戦略2
3	旭町・明神町地区周辺のまちづくり	「旭町・明神町地区周辺まちづくり構想」に掲げるにぎわい・憩い・交流のまちの実現に向け、東京都立多摩産業交流センター（東京たま未来メッセ）と連携し、都、URから技術的支援を受けながら、一体となったまちづくりの推進を図る。	戦略1
4	まちなか魅力づくり支援補助金	中心市街地内で実施される、ベンチ設置・コミュニティ施設整備・良好な景観形成などの公共性・公益性が高い取組や、屋外イベント・飲食店を回遊するイベントなどのにぎわいに資する取組を「魅力づくり事業」とし、その経費の一部を補助する。	戦略5
5	中心市街地空き店舗改修費補助金	中心市街地にある空き店舗を活用して出店し、活性化・にぎわいの創出に寄与する取組を行う事業に、店舗の改修にかかる経費の一部を補助する。	戦略5
6	八王子駅周辺歩行者ネットワークの整備	八王子駅周辺において、5路線で無電柱化事業を進めている。	戦略2
7	重点地区における良好な景観形成の推進	景観計画に定める重点地区である中心市街地環境整備地区及び甲州街道沿道地区における景観形成施策を推進するため、景観に関する意識の啓発、景観条例に基づく届出・協議による誘導、先導的な役割を担う公共施設整備を行う。	戦略1
8	西八王子駅周辺地区のまちづくり	令和６年度以降に「西八王子駅周辺地区まちづくり方針」を策定し、将来におけるまちづくりの方向性を取りまとめ、駅周辺地区にふさわしい土地利用の誘導を図るとともに、地域住民や商業者等におけるまちづくり活動を支援する。	戦略1
9	多摩都市モノレール八王子ルート整備促進	八王子ルートの早期整備の実現に向けて、新たな土地利用を図るなど、需要を高める沿線まちづくりを進めるとともに、有識者による検討会議を立ち上げ、事業性を高めるルート検討など、課題解決に向けて戦略的な検討を進める。市民の機運醸成に向けて、車両基地見学会の開催等の啓発イベントを実施する。	戦略2
10	シェアサイクル実証実験事業	回遊性向上による地域や観光の活性化や公共交通の補完、環境負荷低減等を目的として、民間事業者との共同によるシェアサイクルの事業を実施する。	戦略2
11	八王子駅南口集いの拠点整備	八王子医療刑務所移転後の用地の活用として、市では『学びと交流が次の１００年をつくる「まちの開いた新たな集いの拠点」』となるよう、「みんなの公園」「歴史・郷土ミュージアム」「憩いライブラリ」「交流スペース」を備えた複合機能施設「集いの拠点」を整備する。 これまでにない新たな魅力を持った「学び」「交流」「防災」の３つの機能を備えた「サードプレイス」として、将来にわたって、八王子のシンボルとなり、シビックプライドの醸成へ貢献する交流の場となることを目指している。あわせて、市内の居住地の方に気軽に繰り返し利用していただける移動ニーズに対応した多様で快適なアクセスの実現に向け、歩いて訪れたくなる快適で魅力的な歩行空間や利便性、安全性の高い自動車アクセスなどについても検討していく。	戦略5

7　TAMA拠点形成プロジェクト

中核的な拠点：八王子

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	中心市街地のまちづくり	市		中心市街地まちづくり方針の改定		継続実施
2	駐車場地域ルールの策定	市	駐車場地域ルールの策定		駐車場地域ルールの運用	継続実施
3	旭町・明神町地区周辺のまちづくり	市	旭町・明神町地区周辺のまちづくり（事業化検討、関係者協議等）			継続実施
4	まちなか魅力づくり支援補助金	市	事業実施			継続実施
5	中心市街地空き店舗改修費補助金	市	事業実施			継続実施
6	八王子駅周辺歩行者ネットワークの整備	市	無電柱化事業の推進			継続実施
7	重点地区における良好な景観形成の推進	市	継続			継続実施
8	西八王子駅周辺地区のまちづくり (地域関係者によるまちづくり活動の支援)	市	活動支援			継続実施
9	多摩都市モノレール 八王子ルート整備促進	市	啓発活動・要望行動・東京都との協議 ルート検討	沿線まちづくり検討		継続実施
10	シェアサイクル実証実験事業	民間 市	本格実施へ移行 ビッグデータの活用検討	ビッグデータの施策展開活用		継続実施
11	八王子駅南口集いの拠点整備	市	建設工事・機運醸成		～９月 開館準備 １０月～ 開館予定	令和8年度 開館 周辺整備は 継続実施

中核的な拠点：立川

現状と課題

- JR中央線・青梅線・南武線、多摩都市モノレールが乗り入れる交通の要衝となっている。周辺には商業・業務施設が集積しており、多摩地域における拠点が形成されているが、今後も中核的な拠点としての機能の維持向上に向けた取組が必要である。
- 再開発事業や区画整理事業が複数行われたが、依然として前面道路が狭く高度利用や防災性向上が求められる区域が存在している。

将来像

- 業務・ビジネス、商業、文化、飲食サービスなど高度な機能集積により、東京圏の都市活力や都市文化をリードする拠点となっている。
- 商業・業務機能の更なる充実と集積により、多摩地域の中心都市となるにぎわいとやすらぎのある都市空間が創出されている。

4 ファーレ立川アートツアー
出典：立川市HP

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

中核的な拠点：立川

拠点づくりの具体的な取組

1	**立川駅周辺地域の将来像とその実現に向けた検討**	中核的な拠点としての機能の維持向上を図るため、地域と連携しながら立川駅周辺地域の将来像とその実現に向けた検討を進める。	戦略1
2	**立川駅北口東側地区のまちづくり**	基盤整備による高度利用地区の促進や都市計画制度を活用したよりきめ細やかな土地利用の誘導により、土地の合理的で健全な高度利用や都市機能の更新を図る。	戦略1
3	**エリアマネジメントの推進**	立川駅周辺地域の課題解決や魅力あるまちづくりに向けて、まちづくり協議会や商店街、有志企業で構成する任意団体が組織されており、行政と連携しながら、地域が一体となった取組を進める。	戦略5
4	**サンサンロードの活用**	様々なイベント開催等の活用を進め、中心市街地の魅力やイメージの向上を目指すとともに、周辺の商業・業務施設との連携により集客力の維持・向上を目指す。	戦略1
5	**立川市ファーレ立川アートの活用**	立川駅周辺にあるスポーツやグルメ、文化、芸術、ショッピングなどについてそれぞれの魅力をつなぎ合わせることで再来訪の促進及び回遊性の創出につなげる	戦略7
6	**中央南北線（立川３・１・34号線）等の整備**	立川広域防災基地へのアクセスルートとなる中央南北線（立川３・１・３４号線）等の事業を推進する。	戦略2
7	**立川東大和線（立川３・３・３０号線ほか）の整備**	立川広域防災基地へのアクセスルートとなる立川東大和線（立川３・３・３０号線ほか）の事業を推進する。	戦略2
8	**立川市シェアサイクル事業**	立川市と民間事業者との連携及び相互協力により、シェアサイクル事業を継続して実施するなど市民や来訪者が移動しやすいまちづくりを進める。	戦略2

7　TAMA拠点形成プロジェクト

中核的な拠点：立川

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	立川駅周辺地域の将来像とその実現に向けた検討	市・民間		調査・検討		継続実施
2	立川駅北口東側地区のまちづくり	市		調査・検討		未定
3	エリアマネジメントの推進	市・民間		連携・実施		継続実施
4	サンサンロードの活用	市・民間		イベント等に活用		継続実施
5	ファーレ立川アートの活用	市		イベント等に活用		継続実施
6	中央南北線（立川３・１・34号線）等の整備	都		検討中		継続実施
7	立川東大和線(立川３・３・３０号線ほか)の整備	都		事業中・検討		継続実施
8	立川市シェアサイクル事業	市・民間	実証実験	シェアサイクル事業の継続実施		継続実施

中核的な拠点：多摩ニュータウン ※

※ 概要版として表示しており、詳細は後ページに記載

現状と課題

（多摩センター）
- ３路線の乗換えが可能な駅で、駅南側は歩車分離による基盤整備が完了しており、アミューズメント施設やリニューアルした公共施設、商業・業務施設が立地し、沿道施設と調和されたまちの景観からまちの魅力につながっている。
- 高低差による勾配や階層へのバリアフリーへの対応、老朽化対策が必要となっている。

（永山）
- 多摩市の中心に位置し、２路線の乗換えが可能な駅であり、商業・業務施設、医療施設が集積し、地域住民の生活拠点となっており、周辺には大規模な住宅団地があるが、設備等における生活ニーズの乖離や急激な少子高齢化が顕在化してきている。
- 高低差による勾配や階層へのバリアフリーへの対応や老朽化対策、また、新たなにぎわいと雇用の場を目指すため、4車線化が進む南多摩尾根幹線沿道と連携することが必要である。

（南大沢）
- 周辺のみどり豊かな自然環境と調和した計画的に整備された住宅市街地を形成している。
- 高低差のある地形や高齢化の進展を見据え、暮らしを支える利便機能・サービスの充実や公共交通を使って歩いて暮らせる環境づくりが求められる。

（若葉台）
- 多摩ニュータウン事業にて整備され、緑の豊かな住環境が形成されている。
- 各々の生活拠点と機能分担するなどして連携し、まちの活力を創出することが必要である。

将来像

（多摩センター）
- 多摩都市モノレールの町田方面等の延伸や、鉄道・バス、新たなモビリティなど市内外から多くの人々が集まる交通結節点として、乗り継ぎ環境の改善や、誰もが訪れやすく、移動しやすい環境が整備されている。

（永山）
- 南多摩尾根幹線沿道と連携した都市拠点にふさわしい機能の集積とバリアフリーで回遊しやすい歩行空間へ再編し、生活利便性が高く住みやすいまちが形成されている。

（南大沢）
- 地域における交流や日常生活を支える拠点。中心拠点の機能と連携、商業、業務、生活支援サービスの都市機能の集積を図りつつ、最先端の研究とICT活用による住民生活の向上が融合した持続可能なスマートなまちになっている。

（若葉台）
- 中心地区を補完するサブ拠点として、良好な基幹空間をいかし、商業、業務機能を軸に、居住機能など様々な都市機能を維持し、成熟したまちが実現している。

中核的な拠点：多摩ニュータウン

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

中核的な拠点：多摩ニュータウン

拠点づくりの具体的な取組

（多摩センター）

1	**「（仮称）多摩センター地区　まちのビジョン」と地域組織との連携による取組の推進**	多摩センター地区のまちのニーズと、行政、企業の課題がマッチングしたテーマを基軸とし、作成を予定している「（仮称）多摩センター地区　まちのビジョン」を基に、地域で活動する組織と連携してシビックプライドを醸成するとともに具体的な整備内容等を検討し、実現に向けた取組を推進する。	戦略1

（永山）

2	**諏訪・永山地区のまちづくり**	現在、平成30年2月市策定の「多摩ニュータウン　リ・デザイン　諏訪・永山まちづくり計画」も踏まえながら、都営住宅・UR賃貸住宅の建替事業が進行している。同計画の永山駅周辺拠点の再構築プロジェクトに基づく勉強会を開催し、駅周辺地権者とともに再構築の方針・将来像を検討する。また、令和4年度に東京都が「諏訪・永山再生プロジェクト検討会議」を立ち上げ、都と市が事務局を担い永山駅周辺の再構築の検討を推進する。	戦略1

（南大沢）

3	**先端技術を活用したまちづくり**	東京都、東京都立大学、八王子市、地元企業及び通信事業者等の連携のもと、「南大沢スマートシティ協議会」を令和２年10月27日に設立し、先端技術を活用した分野横断型サービスの都市実装を目指す。	戦略1

（若葉台）

4	**若葉台地区の施設立地の促進**	定期借地期限満了後の取扱いについて調整する。	戦略1

7　TAMA拠点形成プロジェクト

中核的な拠点：多摩ニュータウン

取組スケジュール

（多摩センター）

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	「（仮称）多摩センター地区　まちのビジョン」と地域組織との連携による取組の推進	市	社会実験等、都度実施 計画等策定	計画等策定 事業内容検討中	計画等策定 事業内容検討中	検討中

（永山）

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
2	諏訪・永山地区のまちづくり	都・市・地権者	地域街づくり計画の検討	地域街づくり計画の検討	地域街づくり計画の検討	検討中

（南大沢）

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
3	先端技術を活用したまちづくり	都・民間	スマートサービスの実装に向けた取組を継続	スマートサービスの実装に向けた取組を継続	スマートサービスの実装に向けた取組を継続	継続実施

（若葉台）

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
4	若葉台地区の施設立地の促進	市	定期借地期間	定期借地期間	定期借地期間	令和10年

中核的な拠点：青梅（青梅、東青梅、河辺）

現状と課題

- 青梅市は「首都圏基本計画」において、業務核都市に位置付けられている。本エリアについてはJR青梅線の青梅駅、東青梅駅、河辺駅周辺のエリアで、「青梅業務核都市基本構想」において業務施設集積地区として位置付けられている。また、青梅市都市計画マスタープランでは市の中心市街地として位置付けており、青梅市の中心的な都市機能の集積地である。
- 青梅駅周辺は、古くからの商店街や数多くの寺社や文化財などが存在し、伝統的な街並みを形成している。また、博物館などの文化的施設や永山公園などのレクリエーション施設が点在しており、西部地域の観光の玄関口となっている。また、年間を通じて青梅大祭やだるま市などの様々なイベントが開催され、多くの参加者でにぎわっている。一方で大型店舗の郊外への出店や利用者のニーズの変化により、商店街にも空き店舗が発生し、活力が低下傾向にある。同時に伝統的な街並みとの調和などの景観についても課題である。
- 東青梅駅周辺は、市域の東西・南北を結ぶ道路の結節点であり、市役所などの公共・公益施設が集積している。また、駅周辺には一部木造建築物が密集している。
- 河辺駅周辺は、土地区画整理事業により基盤整備が完了しており、市立青梅総合医療センター（旧総合病院）や総合体育館などの公共施設とともに業務・商業施設も集積している。

将来像

- 青梅、東青梅、河辺の各駅周辺地区は、中心市街地として、それぞれの地区の特性を生かして、 商業・業務、文化、サービス機能などが集積し、相互に連携・分担した中核的な拠点を形成している。 また、歴史・文化を生かした観光産業の振興や都市型住宅の導入によって、まちの空洞化を防ぐとともに子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまちになっている。
- 各駅をつなぐ東西方向の市街地では、生活環境と調和した業務・商業施設が集積し、複合市街地が形成されている。
- 青梅駅周辺は歩きやすい、歩いて楽しい快適な歩行者空間が確保され、旧青梅宿を中心に周辺の丘陵地や多摩川沿いを含めた、歴史・文化・自然などの地域資源を生かした魅力的で回遊性のある観光のまちが形成されている。
- 東青梅駅周辺は市民生活を支える公共・公益サービスを担う官民の施設が集積し、大規模公有地などを活用した業務・文化・交流機能の充実したまちが形成されている。
- 河辺駅周辺は市民の総合的な生活支援機能を中心とした、業務・商業、文化、交流、医療などの複合的な機能が集積した活力あるまちが形成されている。

位置図

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

7　TAMA拠点形成プロジェクト

中核的な拠点：青梅（青梅、東青梅、河辺）

拠点づくりの具体的な取組

1	青梅駅前地区市街地再開発事業	青梅駅前地区にて約0.5haの市街地再開発事業（用途：住宅・公益施設・店舗）を実施。平成31年４月の都市計画決定、令和３年４月の再開発組合設立認可を経て、令和５年度に解体工事や建物工事着工、令和７年度末に建物工事竣工を目指している。	戦略1
2	青梅駅周辺景観まちづくり事業	建築物や工作物などの景観誘導を図るとともに、重要資源などの修理・修景助成を行い、優れた景観づくりを計画的に推進する。	戦略1
3	商店街活性化支援	青梅駅から東青梅駅にかけての区域には「昭和レトロ」の風情を残す商店街があり、その立地環境や個性・特性を生かしながら商店街が実施するイベント等の取組に対し支援し、来街者の増加やにぎわいの創出につなげる。	戦略7
4	釜の淵エリア一帯の整備・活用	釜の淵公園を含むエリア一帯について、民間のノウハウを取り入れつつ、にぎわいを創出するための整備・活用を推進する。	戦略5
5	永山公園風の子・太陽の子広場の再整備・活用	青梅の森の拠点、玄関口として一体活用するため、風の子・太陽の子広場を再整備する。	戦略6
6	青梅の森の保全・活用等	生物多様性を保ち、貴重な野生生物の生息、生育の場として保全し、市民との協働により保全活動を推進。市民が自然とふれあえる場、体験学習できる場等、誰もが気軽に利用できる場として継続的に活用する。	戦略6
7	東青梅一丁目地内諸事業用地整備事業	東青梅一丁目地内諸事業用地に市民ホールを含む文化複合施設等を建設する。	戦略5
8	東青梅駅周辺施設整備事業	東青梅駅舎、自由通路等周辺施設を整備する。	戦略2
9	新病院建設事業	西多摩地域で唯一の救命救急センターを備えた中核病院として、高度急性期医療や不採算医療を担い、地域が必要とする医療を提供しているが、施設の老朽化・狭隘化が進んだことから、新病院建設事業を推進する（令和５年本館開院に合わせ、「市立青梅総合医療センター」に名称変更）。	戦略5
10	歩行者ネットワークの整備	青梅駅周辺：「東京都無電柱化チャレンジ支援事業制度」の活用や、青梅宿と青梅丘陵を結ぶ市道幹27号線（キネマ通り）の整備 東青梅駅周辺：東京都と連携協力した「みちづくり・まちづくりパートナー事業」や青梅３・５・２４号根ヶ布長淵線の整備など、交通の円滑化を推進	戦略2
11	避難所・避難場所の環境整備	避難所等となる学校体育館において、停電時に空調等を使用するための災害バルク等を整備する。	戦略4
12	地域プロモーションOmeBlueの推進	市民や事業者がロゴマークと青色を取り入れて地域の魅力を発信していく取組を行う。	戦略7
13	東京アドベンチャープロモーション事業の推進	奥多摩町や観光協会等と連携してインフルエンサーを活用した観光資源の情報発信の取組を行う。	戦略7
14	持続可能な観光地づくりの推進	世界水準の持続可能な観光地づくりを目指し、多様な主体と連携し、情報提供や気運醸成、自然や文化等の観光資源の適切な保全・活用、環境負荷の低減に取り組む。	戦略7
15	地域公共交通計画の推進	令和５年３月に策定した計画にもとづき、令和５年度から１０年間を計画期間として、持続可能な公共交通の実現を目指すための各種施策を実施する。	戦略2

7　TAMA拠点形成プロジェクト

中核的な拠点：青梅（青梅、東青梅、河辺）

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	青梅駅前地区市街地再開発事業	民間	工事	建物完成予定	事業終了予定	令和8年度
2	青梅駅周辺景観まちづくり事業	市	景観誘導等を随時実施			継続実施
3	商店街活性化支援	市・民間	イベント等の実施及び支援			継続実施
4	釜の淵エリア一帯の整備・活用	市等	R5サウンディング型市場調査の結果をもとに、整備・活用に向けた事業の検討			令和8年度
5	永山公園風の子・太陽の子広場の再整備・活用	市等	再整備	青梅の森と一体活用		令和6年度 (再整備)
6	青梅の森保全・活用等	市等	保全活動・活用			継続実施
7	東青梅一丁目地内諸事業用地整備事業	市等	基本計画策定	設計等	建設	令和10年度
8	東青梅駅周辺施設整備事業	市・民間	基本設計・実施設計に向けた協議			未定
9	新病院建設事業	市	渡り廊下棟・ 西館整備完了		外構・駐車場 整備完了	令和8年度
10	歩行者ネットワークの整備(青梅駅周辺、東青梅駅周辺)	市	各路線で計画的に推進			各路線で 順次実施
11	避難所・避難場所の環境整備	市	整備			令和6年度
12	地域プロモーションOmeBlueの推進	市・民間	市や民間事業者へOmeBlueの周知活用の推進及び事業の見直し検討			継続実施
13	東京アドベンチャープロモーション事業の推進	市・民間	情報発信の実施	自走化検討		令和7年度
14	持続可能な観光地づくりの推進	市・民間	推進体制の構築	個別事業実施	中間見直し	令和10年度
15	地域公共交通計画の推進	市	施策の推進			令和14年度

中核的な拠点：町田

現状と課題

- 町田駅は、JR横浜線と小田急線が乗り入れる鉄道交通の結節点をなす多摩地域屈指のターミナル駅であり、東京都心だけでなく横浜市、相模原市方面へアクセスしやすい。
- 駅周辺は多摩最大級の繁華街であり、多くの大規模商業施設が立地している。
- 一方、駅前の大規模商業施設の多くが機能更新の時期を迎えている。
- バスの乗降場が複数に分散しており利用者にわかりづらい状況となっており、また、離れた鉄道駅間でスムーズな乗換え導線が求められている。
- 既存バス路線網の最適化や自転車ネットワーク網の整備に加えて、基幹交通となる、多摩都市モノレール町田方面延伸による交通結節機能の充実を見据え、多様な都市機能の高度な集積と土地の高度利用を誘導していく必要がある。
- モノレール沿線地域のまちづくり構想が策定され、取組を進めている。

将来像

- 多摩都市モノレール町田方面延伸で交通結節機能が充実し、より広い範囲の核として、多様な機能が高度に集積した広域都市拠点が形成されている。
- 商業施設等と一体となった魅力的なみどり等の憩いやにぎわいあり、快適な歩行者ネットワークで回遊性の高いウォーカブルなまちが形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

拠点づくりの具体的な取組

1	**町田駅周辺の開発の推進**	（仮称）町田駅周辺整備計画の実現に向けて、駅周辺の開発を推進する。	戦略1
2	**多摩都市モノレール延伸を見据えた快適で便利な交通ターミナルの再編**	多摩都市モノレール町田方面延伸を契機に、「広域都市拠点」にふさわしい快適で便利な交通ターミナルの再編を推進する。	戦略2
3	**芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムの整備**	芹ヶ谷公園と美術館を一体的に運営するプロジェクトでは、市民や公園利用者とともに、公園の将来を一緒に考え、活動し、創造していくための取組を実施する。	戦略7
4	**原町田一丁目のまちづくりの推進**	町田駅南側から多くの人をまちなかへ迎え入れるために、交通環境の整備やまちなかへのアクセス強化に取り組む「南の玄関口」としてのまちづくりを推進する。	戦略1
5	**原町田大通りの憩いとにぎわい空間の創造**	中心市街地に新たなにぎわいを創出するため、原町田大通りに滞留空間等の整備を進める。	戦略1
6	**原町田中央通りの魅力づくりの推進**	無電柱化・舗装のリニューアル事業にあわせて、人が主役の快適で居心地の良い通りの実現を目指し、沿道空間の活用など商店街の魅力づくりを推進する。	戦略5

7　TAMA拠点形成プロジェクト

中核的な拠点：町田

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**町田駅周辺の開発の推進**	**市・民間**	開発の検討・推進			令和22年
2	**多摩都市モノレール延伸を見据えた快適で便利な交通ターミナルの再編**	**市・民間**	再編の検討			令和22年
3	**芹ヶ谷公園“芸術の杜”の整備**	**市**	公園エレベーター棟基本・実施設計	（仮称）国際工芸美術館修正設計 公園エレベーター棟整備工事 公園実施設計（第2期）	（仮称）国際工芸美術館整備 （仮称）体験棟整備 公園整備（第2期）	令和11年度完成予定
4	**原町田一丁目のまちづくりの推進**	**市・民間**	開発の検討・推進			令和22年
5	**原町田大通り滞留空間等整備事業**	**市**	滞留空間等整備	滞留空間等活用		令和6年度 滞留空間等整備完了
6	**原町田中央通りの魅力づくりの推進**	**実行委員会（市・商店会・まちづくり公社）**	沿道空間活用の社会実験の実施・検証			令和10年

8　TAMAまちづくり推進プロジェクト

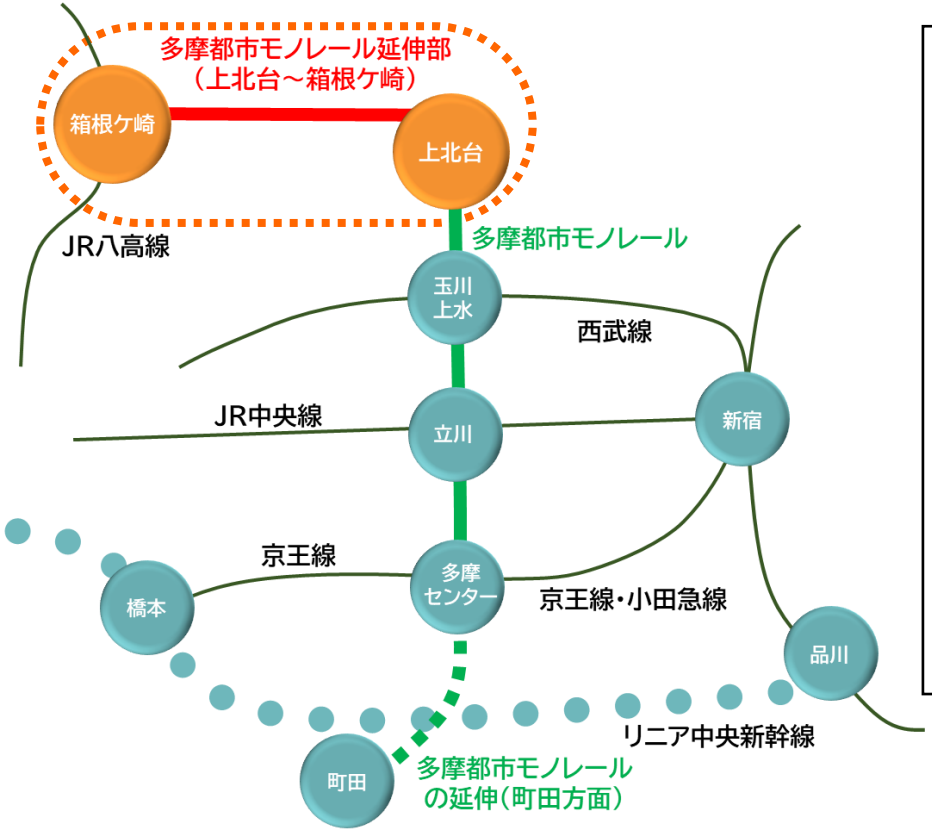
8 TAMAまちづくり推進プロジェクト

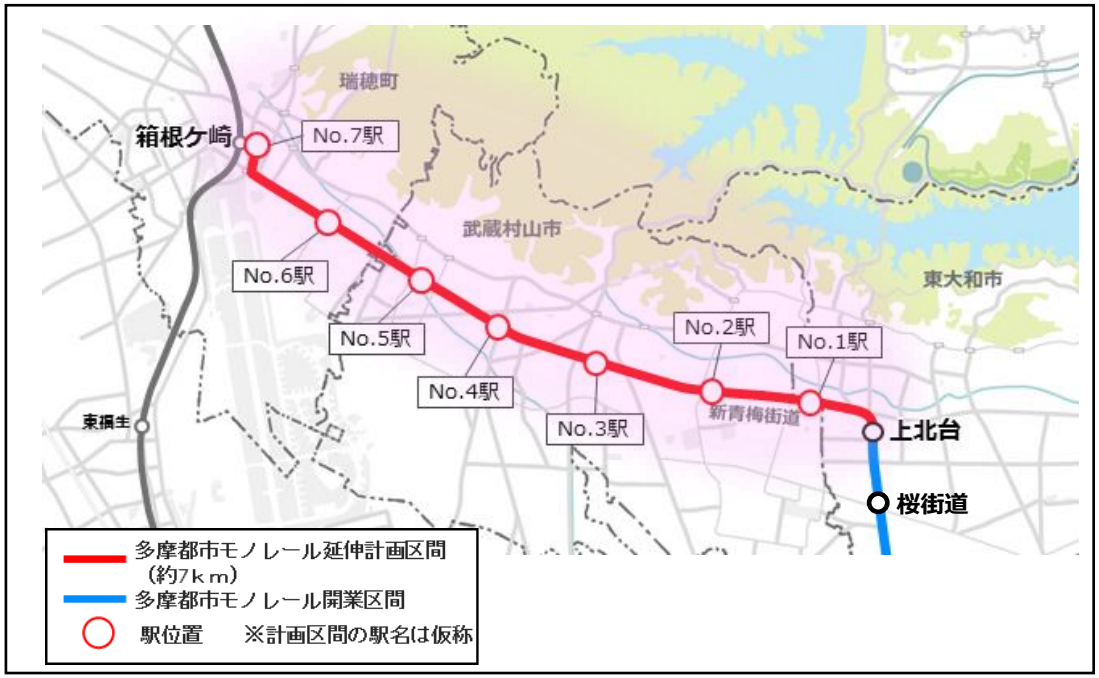
8.1 新規基盤連携型プロジェクト （多摩都市モノレール延伸部：東大和市・武蔵村山市・瑞穂町）

～森に癒され子供が輝き、新たなライフスタイルを実現するまち～

考え方

- 多摩都市モノレールは多摩を南北に縦断する交通ネットワークであり、多摩の成長に欠くことができない基幹的なインフラである。
- 多摩都市モノレール箱根ケ崎方面延伸の機会をとらえ、その延伸部において、狭山丘陵の緑豊かな環境や、食・農・工など特徴ある地域産業を生かしたまちづくりを進め、多摩の魅力を引き上げることが重要である。





多摩都市モノレール延伸部（上北台～箱根ケ崎）

8　TAMAまちづくり推進プロジェクト

- 多摩都市モノレール延伸部沿線のまちづくりの方向性と理念や理念を構成する要素を以下に示す。

1　まちづくりの方向性

従来の郊外駅周辺

・都心への通勤駅を中心に、銀行やスーパー等、生活に必要な機能が集積
・周辺に住宅地を配置

⇒均質で合理的な機能のまち

多摩都市モノレール延伸部

・駅間が近く各駅の特徴を融合しやすい特色を生かして、沿線地域が連担して一体的なまちを形成
・新設される駅を中心に、エリアごとに機能分担

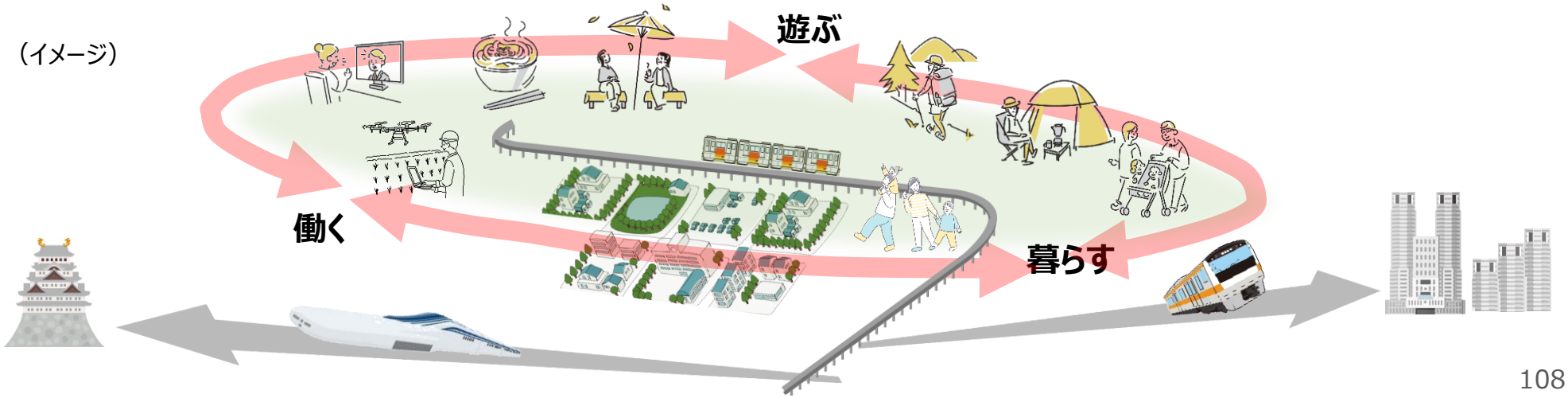
⇒エリア全体が一体となり新たなライフスタイルを実現する
これまでにないまち

2　まちづくりの理念、要素

理念：森に癒され子供が輝き、新たなライフスタイルを実現

＜要素１＞	＜要素２＞	＜要素３＞
緑豊かなまちで「働く」、「暮らす」、「遊ぶ」をコンプリート	７つの駅が特徴を生かして輝き、エリア全体で一体的なまちを形成	都心等へのアクセス性の良さによる利便性も享受

（イメージ）



8　TAMAまちづくり推進プロジェクト

プロジェクトのコンセプト

- 地域の特徴を生かしたまちづくりの実現に向けて、地域の将来像やエリア全体の共通ポリシーなどを以下に示す。

1　地域の将来像

『新しい暮らし方・働き方のモデルとなり、多様な都市機能が人を呼び込み、緑の恵みを最大限にいかしたまち』

2　エリア全体の共通ポリシー

- 地域の将来像の実現に向けて、地元市町とも連携して沿線地域一体で広域的なまちづくりに取り組むため、以下の6分野でエリア全体を束ねる共通ポリシーを定める。

分野	分野別のポリシー	取組の方向性
（分野１） 子育て	・子供に愛され続け、**持続的に発展**する	・特長ある教育が子供を育む ・多様な働き方が選べる（ライフとワークの両立）
（分野２） 観光	・訪れ・滞在する人々が、**地域に溶け込む**	・豊かな緑で人々が交流 ・地域のポテンシャルをいかして多くの人を惹きつける
（分野３） 産業	・特徴ある地域産業で**イノベーション**や活力を起こす	・ＤＸや人的資源で地域の活力を向上 ・持続可能な地域経営の促進
（分野４） エネルギー	・再生可能エネルギー等を活用した**ゼロエミッション**を実現する	・地域でエネルギーが融通され環境にやさしく暮らす
（分野５） インフラ	・道路ネットワークや様々な交通モードを活用して**容易に移動** ・**まちの象徴となるような駅をデザイン**する	・自動運転等で誰もが地域内をアクセスフリーに移動 ・特徴ある駅舎を各駅に整備し、延伸部のまちの象徴とする
（分野６） 景観・ 土地利用	・まちの風景や狭山丘陵の眺望が**人々を魅了し、引き付ける** ・主要な駅周辺や身近な中心地に**様々な都市機能**を集積し、歩いて暮らす	・駅も含めて、まちの景観をトータルデザイン ・近景、遠景を意識したスカイラインを形成 ・各駅の特徴を誘導する土地利用を促進

2 エリア全体の共通ポリシー

（分野１）子育て

『**子供に愛され**続け、**持続的に発展**する』

- **特長ある教育**が子供を育む
  - ・先進的な教育や狭山丘陵の緑を活用した教育を誘致
- **多様な働き方**が選べる（**ライフとワークの両立**）
  - ・リモートワークスペースを完備するなど、子育て住宅の整備促進
  - ・子供の遊び場や教育施設、オフィス、住居の機能を集積

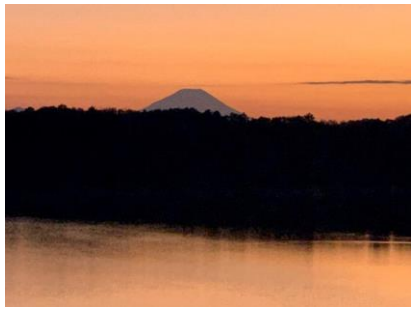
出典：山梨県甲府市
森のようちえんにっこにこHP

出典：（公財）九電みらい財団提供

（分野２）観光

『**訪れ・滞在する人々**が、地域に溶け込む』

- **豊かな緑で人々が交流**
  - ・豊かな自然をいかした新たな集客施設（ｱｳﾄﾄﾞｱｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨ）を、立地を踏まえて適切に分散配置
  - ・自然をいかした遊び場、教育施設（自然学習）、働く場所（ワーケーション施設等）を誘致
  - ・自然を感じ、富士山等の眺望が楽しめるトレッキングコースを整備
- **地域のポテンシャルをいかして**多くの人を惹きつける
  - ・里山等をいかしたグリーンツーリズム（宿泊・体験型）
  - ・「東京狭山茶」や郷土料理である「村山かてうどん」をいかした体験型の集客（コト消費）を誘致



出典：株式会社プロジェクトアドベンチャージャパン提供

2　エリア全体の共通ポリシー

（分野３）産業

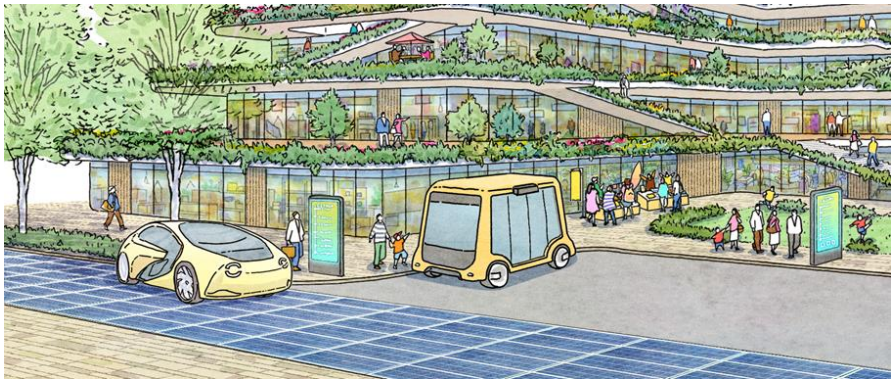
『**特徴ある地域産業**で**イノベーションや活力**を起こす』

- **ＤＸや人的資源**で地域の活力を向上
  - ・スマート農業などリーディング産業の育成に向けた機能を導入
  - ・社会実験などの場を提供する「ラボ」などの支援施設を誘導
- **持続可能な地域経営**の促進
  - ・地元企業と連携したまちづくり（クラフトツーリズム、教育機関との連携等）
  - ・大手企業やベンチャー企業、アウトドア系企業、グリーン関連企業（ネイチャーポジティブに関する事業）など地域特性をいかせる新たな企業の誘致を図り、産業機能を集積

（分野４）エネルギー

『**再生可能エネルギー等を活用**したゼロエミッションを実現する』

- **地域でエネルギーが融通**され環境にやさしく暮らす
  - ・インフラ（モノレール、道路等）を活用した発電を推進
  - ・再生可能エネルギー設備などの導入を促進
  - ・エネルギーマネジメントなど、多角的な気候変動対策を推進



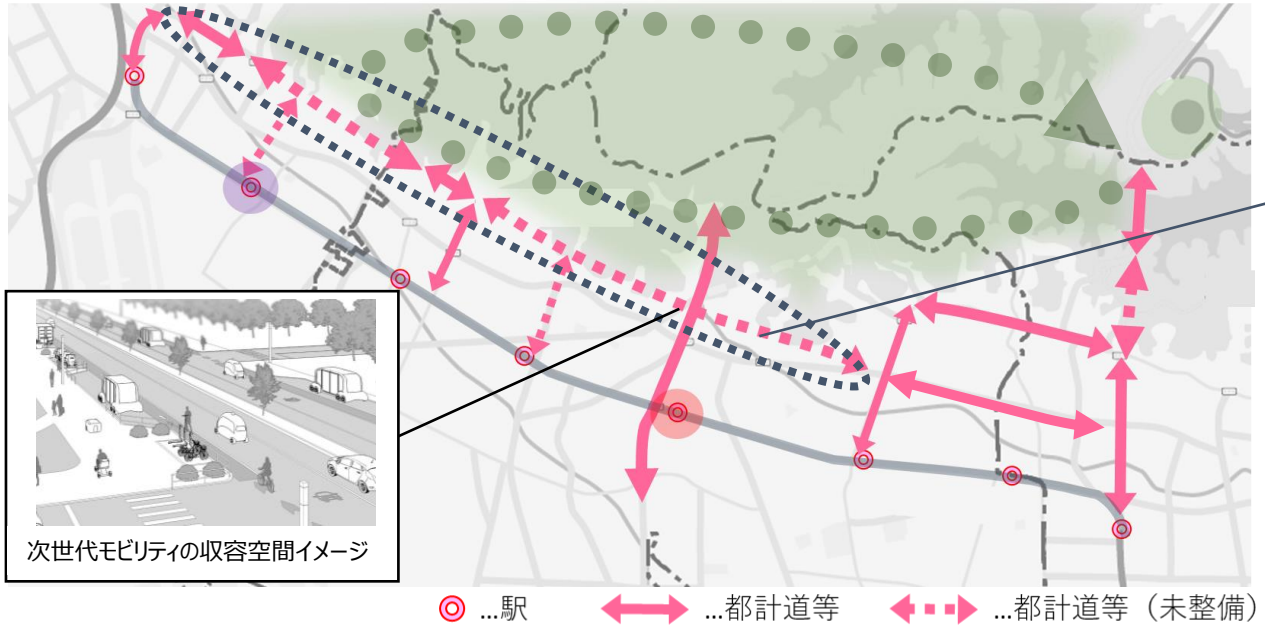
（イメージ）

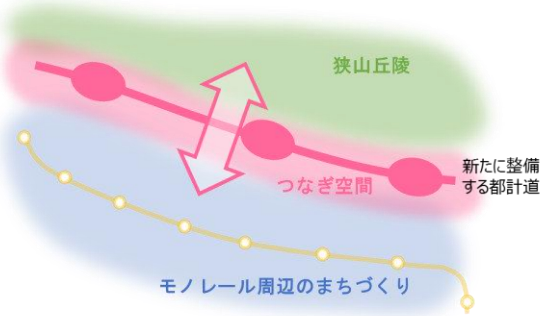
2 エリア全体の共通ポリシー

（分野５）インフラ：

『道路ネットワークの整備や様々な交通モードを活用して**容易に移動**する』

- 自動運転等で**誰もが地域内をアクセスフリー**に移動
  - ・都市計画道路等により駅と地域（導入機能、狭山丘陵）をつなぎ、コミュニティバスやデマンド交通、次世代モビリティ等の移動手段を確保
  - ・都市計画道路等に、次世代モビリティの収容空間となる道路空間を確保
  - ・駅周辺と地域（導入空間、狭山丘陵）のアクセスポイントと、つなぎ空間※の都市計画道路周辺にモビリティハブ等を設置し、交流人口の移動を支える都市基盤として整備





※つなぎ空間：

- ・狭山丘陵とモノレール周辺のまちをつなぐ重要な空間・機能
- ・都市計画道路を中心として、シンボリックな景観や新たなモビリティを配置

（イメージ）

『**まちの象徴となるような駅をデザイン**する』

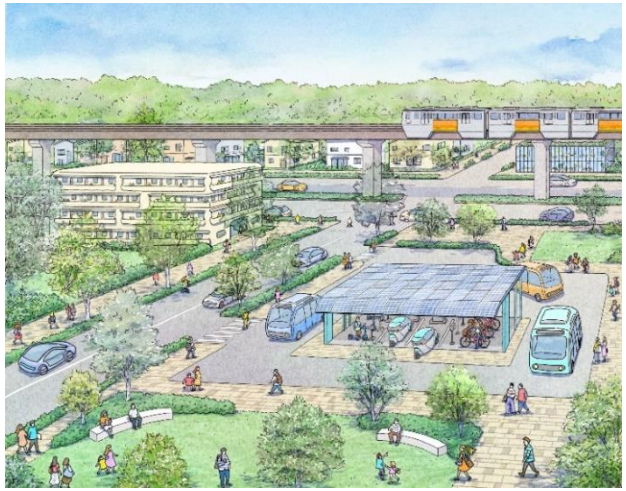
- **特徴ある駅舎を各駅に整備**し、延伸部のまちの象徴とする

2 エリア全体の共通ポリシー

（分野６）景観・土地利用：

『**まちの風景**や狭山丘陵の眺望が**人々を魅了し、引き付ける**』

- **駅も含めて、まちの景観をトータルデザイン**
  - ・建物の形態やデザインに規則性を設けるなど、訪れたくなるまちの景観を誘導
- **近景、遠景を意識したスカイラインを形成**
  - ・モノレールからの狭山丘陵の眺望や、モノレールの視認性の確保など、景観を阻害しない土地利用を誘導

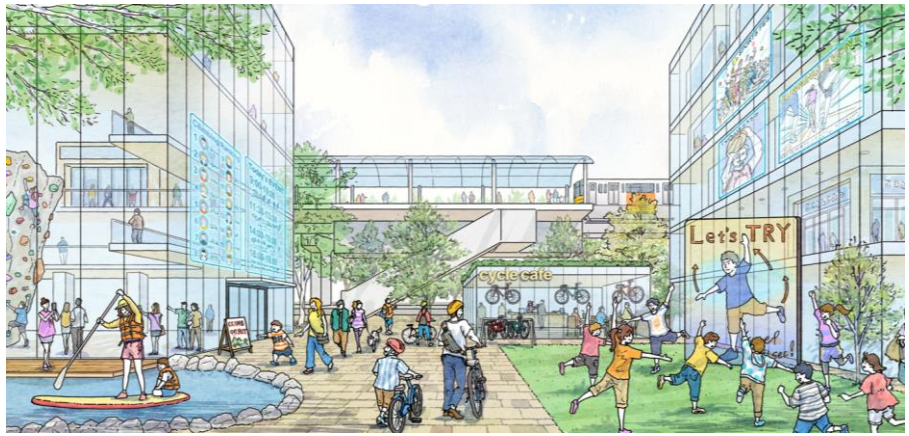


（イメージ）

『主要な駅周辺や身近な中心地に**様々な都市機能**を集積し、歩いて暮らす』

- **各駅の特徴を誘導する土地利用**を促進
  - ・主要な駅（No.3、No.6駅）周辺に商業、医療・福祉、サテライトオフィスなど必要な都市機能を適切に集積
  - ・駅周辺や身近な中心地の徒歩圏に住宅市街地を誘導
  - ・各駅の特徴を実現する機能を誘導

（イメージ）

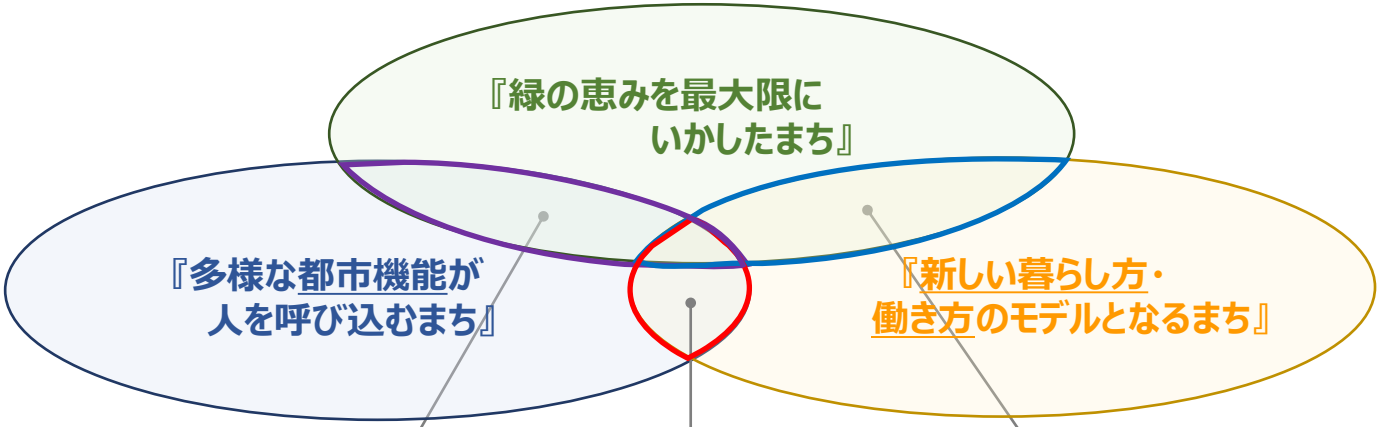


（イメージ）

3 各駅周辺等のまちづくりの方向性

- 地域の将来像を実現するため、多摩都市モノレール延伸部沿線地域のエリアごとで担う主な機能とまちづくりの方向性を、以下に示す。

（地域の将来像）



（エリアごとで担う主な機能とまちづくりの方向性）

緑の恵み＋都市機能

（WEST）

最新技術を活用した**産業の育成**、**集約**、**新たな農業**などにより産業のエリアを形成

都市機能＋新しい暮らし方・働き方

（MIDDLE）

商業、医療、スポーツ、行政機能など**多様な都市機能が集積**したにぎわいのエリアを形成

緑の恵み＋新しい暮らし方・働き方

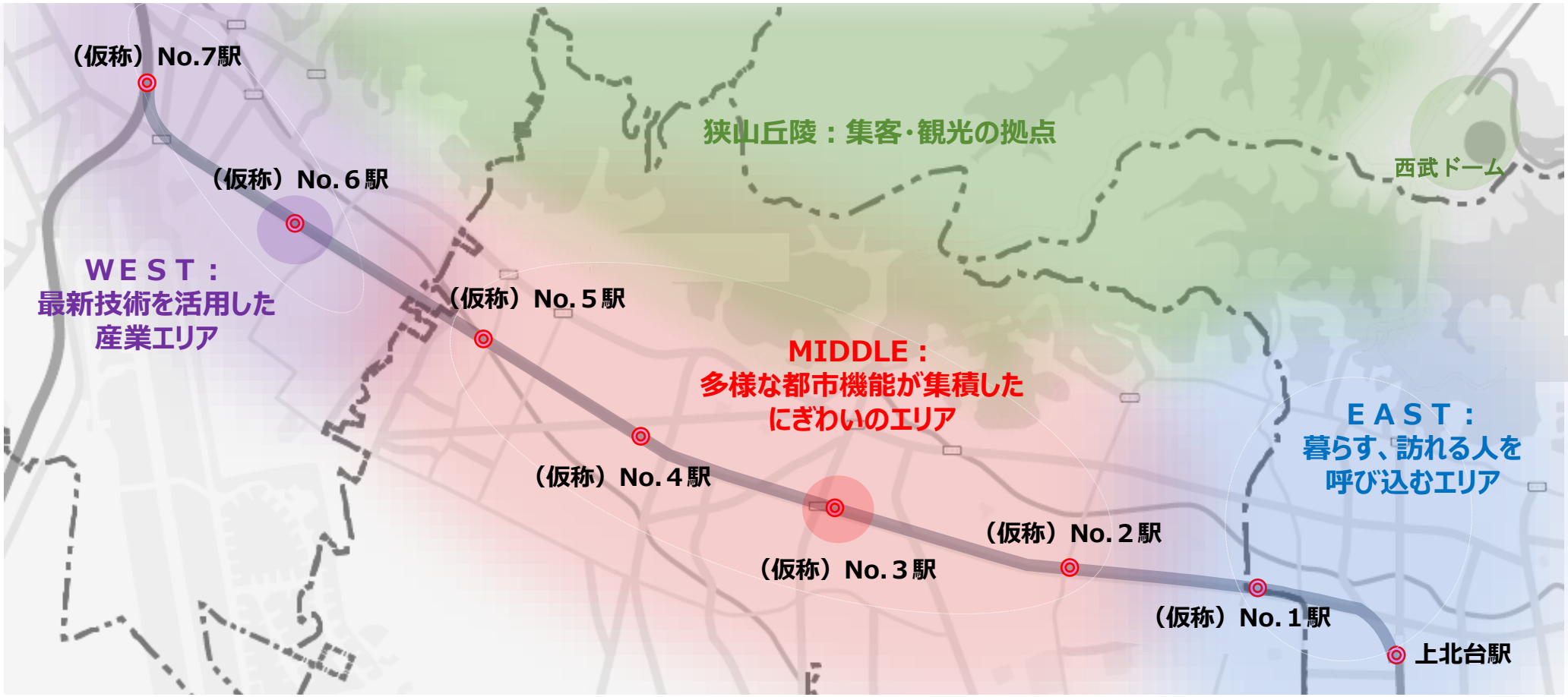
（EAST）

狭山丘陵を生かした**特長ある教育や働き方**、**アクティビティ**などが、暮らす、訪れる人を呼び込むエリアを形成

8 TAMAまちづくり推進プロジェクト

（各駅周辺等のまちづくりの方向性）

- エリアごとのまちづくりを支える各駅周辺等のまちづくりの方向性を、以下に示す。
- 多摩都市モノレール延伸部沿線地域の特徴である狭山丘陵を集客・観光の拠点として活用する



（仮称）No.7駅： モノレールとJRで結ばれる**西側の玄関口**

（仮称）No.6駅： **先進農業**などイノベーションを創出するまち

（仮称）No.5駅： **多世代が交流**する活力あふれるまち

（仮称）No.4駅： **スポーツアクティビティ**が人を呼び込むまち

（仮称）No.3駅： 機能が集積された**コアシティ**

（仮称）No.2駅： **医療**を中心としたメディカルタウン

（仮称）No.1駅： 先進的な**子育て**で主体的に子供が成長できるまち

上北台駅： 狭山丘陵の**ゲートシティ**

4 各駅周辺のまちづくりの取組の方向性

上北台駅：狭山丘陵のゲートシティ　【共通ポリシー：1,2,5,6】

- 集客拠点である**西武ドームまでのアクセスを向上**
- 新たに整備するローラースライダーやプラネタリウム等の**子供の遊び場までの アクセスを向上**
- 上北台駅から西武ドームに至る道路を**にぎわいの軸**とし、**自動運転バス**を導入する等、**新技術を活用**

（仮称）No.1駅：先進的な子育てで主体的に子供が成長できるまち　【共通ポリシー：1,5,6】

- **子供の遊び場や教育、オフィス、住居の機能等を集積**し、子育て世代が住みやすい環境を誘導
- **村山団地の創出用地等**を活用し、子供の**遊び場**や**ワークスペース等**の整備を誘導
- **先進的な教育**や狭山丘陵の緑をいかした**自然教育等の特長ある教育**を誘致

（イメージ）

（仮称）No.２駅：医療を中心としたメディカルタウン　【共通ポリシー：3,5,6】

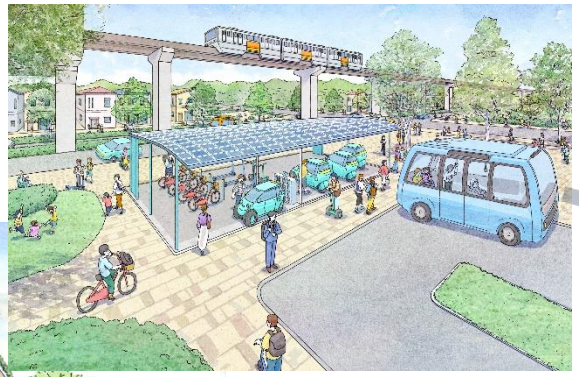
- **リハビリやパラスポーツ等が行える公園**や**施設**の整備を誘導
- 患者の家族や関係者が安心して看護できるよう、**医療施設の周辺に宿泊機能等**を導入
- 地域の医療拠点として、**アクセス利便性の向上、移動手段の充実**を図る

（イメージ）

4 各駅周辺のまちづくりの取組の方向性

（仮称）No.３駅：機能が集積されたコアシティ **【共通ポリシー：２,４,５,６】**

- 人々が集まり、地域の顔となる**駅前広場**の整備を促進
- No.３駅**周辺**に、都市機能（業務、商業、飲食等）が集積した**中高層建築物**を誘導
- **既存商業エリア**において、**集客を生み出す新たな機能**を誘導
- 駅、既存商業エリア、狭山丘陵の**にぎわいをつなぐ軸**を形成
- 再生可能エネルギーの**発電設備等**を導入し、周辺施設の電力を賄う



（イメージ）

（イメージ）

4 各駅周辺のまちづくりの取組の方向性

（仮称）No.４駅：スポーツアクティビティが人を呼び込むまち　【共通ポリシー：１,２,５,６】

- にぎわい拠点に隣接するエリアとして、土地利用の変換などにより、**中高層住宅**を誘導
- **気軽に球技**等ができ、**子供が安心して遊べる公園**の整備を促進
- 自転車通行空間や駅周辺等に**スポーツアクティビティ施設**を誘致し、スポーツによる**健康増進**や**地域活性化等**の効果をまちに浸透
- **生活利便施設**の誘致や**夜も明るい公園や道路**を整備し、安全で暮らしやすいまちを形成

（イメージ）

（仮称）No.５駅：多世代が交流する活力あふれるまち　【共通ポリシー：１,４,５,６】

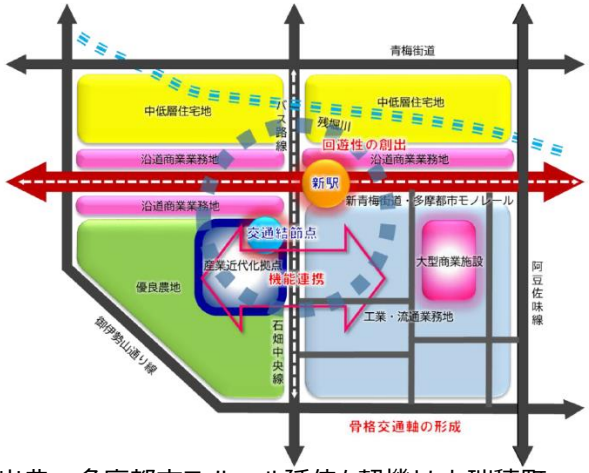
- **地元学生等が企画するダンス教室や**ダンスを通じて**地域住民が交流できる環境**を形成
- ダンス等を通じて、健康寿命の延伸など**高齢者の健康増進**を図る
- **自動配送ロボット**の導入や**発電住宅**の誘致等、**先進技術を取り入れた暮らしやすい住環境**を誘導
- **生活利便施設**の誘致や**夜も明るい公園や道路**を整備し、安全で暮らしやすいまちを形成

出典：都立武蔵村山高校提供

4 各駅周辺のまちづくりの取組の方向性

（仮称）No.６駅：先進農業などイノベーションを創出するまち　【共通ポリシー：３,５,６】

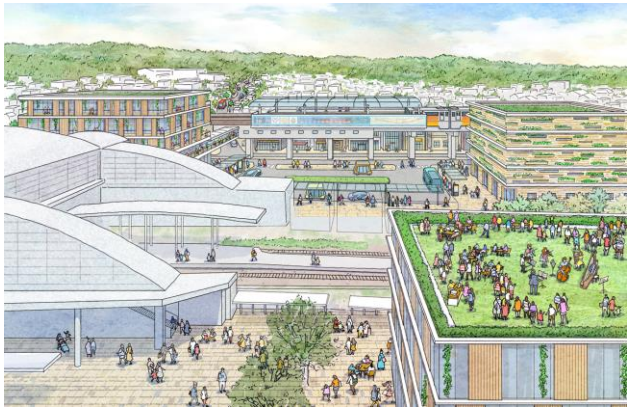
- No.6**駅南側の農地**において、デジタル技術を活用した**スマート農業**を展開
- スマート農業を通じた**様々な産業の交流**と**新たな担い手づくり**を促進
- **自動運転バス**の導入などの新たな技術を活用
- インキュベーションオフィスを整備し、スタートアップ企業を誘致するなど、**イノベーション創出環境**を構築
- **地域の産業等と連携**し、**見学会等**を行い、地域内外から人を呼び込む



出典：多摩都市モノレール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画（案）（瑞穂町）

（仮称）No.７駅：モノレールとJRで結ばれる西側の玄関口　【共通ポリシー：２,３,５,６】

- **ＪＲとの乗換利便性の確保**、機能的で人にやさしい**駅前広場**の整備を促進
- 駅周辺の空間を活用し、**先進技術の見本市の開催**等、**企業連携や交流等**を促進し、イノベーションや地域活力の向上を実現
- 東側の公共施設群及び狭山丘陵までのアクセス利便性向上のため、**自動運転の導入等、フィーダー交通**を充実



（イメージ）

4 各駅周辺のまちづくりの取組の方向性

狭山丘陵：豊かな自然をいかした集客施設を分散して配置 **【共通ポリシー：1,2,3,4,5,6】**

- 地域の資源を生かして、**ここでしか体験できない「コト消費」**につなげる
- 豊かな自然をいかした**新たな集客施設**を、立地を踏まえて**適切に分散配置**
- 自然をいかした**遊び場**、**自然学習施設**、**ワーケーション施設**等を誘致
- 自然を感じ、**富士山**等の眺望が楽しめる**トレッキングコース**を整備
- 集客拠点や、狭山丘陵とまちをつなぐ道路空間に**モビリティハブ**等を整備
- エネルギーの地産地消の実現に向けて、**発電する遊び場**等、**新たな発電装置**を導入
- 里地里山や農地の保全など適切なマネジメントを推進するとともに、公有施設や民間施設等で**グリーンインフラ**を導入

出典：株式会社プロジェクトアドベンチャージャパン提供　出典：武蔵村山市提供　出典：多摩振興アクションプラン（東京都総務局）

5 まちの象徴となる駅デザイン

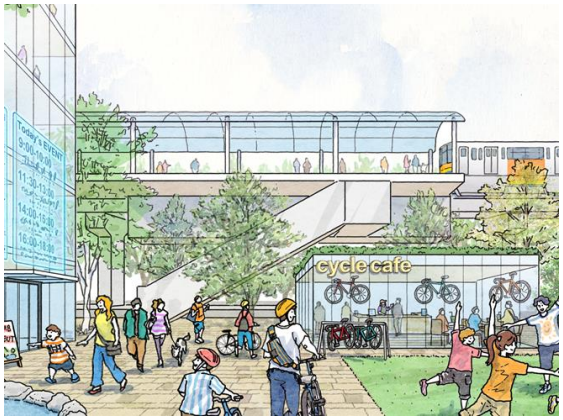
- まちの象徴となる駅について、以下の考え方に基づき検討を進める。

（駅デザインの考え方）

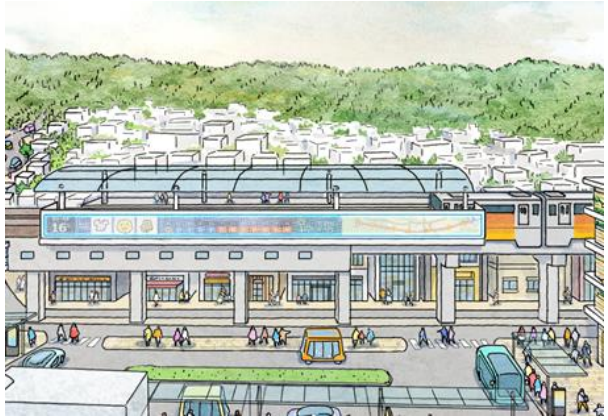
・**共通コンセプトを設定**し、多摩都市モノレールのブランディングにつなげる

・延伸部の**まちを象徴する、特徴ある駅舎とする**

・**環境に配慮した材料の使用**や**太陽光パネルの導入等**を通じて、持続可能なまちのモデルとする。



（イメージ）



（イメージ）

（事例） ＪＲ東日本 石巻線（女川駅）

（事例）京王電鉄京王線（芦花公園駅）イメージパース

8　TAMAまちづくり推進プロジェクト

ロードマップ

	令和６年度	令和７年度　～　2030年代半ば
沿線まちづくりの推進	まちづくりの将来像、土地利用・　導入機能の方向性、プロジェクトの方向性等の検討	事業の実施主体・手法・内容、事業ステップ、実施主体間の連携の仕組づくり等の検討 → 順次、事業の展開（公有地の活用も視野）
	プロジェクトのコンセプト取りまとめ	**地元市町と連携し、事業実施に向けた計画策定**
		まちの象徴となるような駅デザイン検討
多摩都市モノレール箱根ケ崎方面延伸	都市計画等手続、事業を推進	
	都市計画決定	**2030年代半ばの開業を目指す**

Column　多摩都市モノレールってな～に？

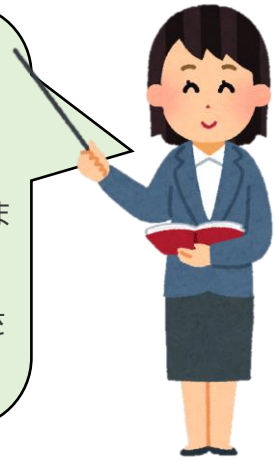
鉄　道

多摩都市モノレールは、平成10年の開業以来、多摩地域の基幹交通として南北移動を支えています。

令和５年2月には累計乗車人数10億人を達成し、８月には多摩地域唯一の日本夜景遺産にも認定されました。

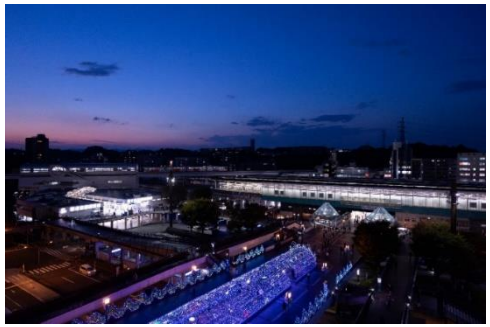
多摩都市モノレールの沿線には、多摩動物公園、昭和記念公園、サンリオピューロランドなど、親子で楽しめる施設が多くあります。また、たまモノ子育て応援事業として、子供向け企画乗車券を販売し、子育てにやさしいまちづくりにも貢献しています。

今後は、箱根ケ崎方面への延伸などにより、多摩地域で暮らし、働き、遊ぶ人にとって、ますます大事な公共交通になることが期待されます。末永く地域に愛される「マイレール」として、これからも多摩地域を支えていきます。



多摩モノレール
PR担当タマオ

たまモノこどもワンデーパス



夜景（多摩センター駅周辺）

累計乗車人数10億人達成ノベルティ配布

TAMAMONO ぐるっと
プレミアムガイド

写真及びタマオイラスト提供：多摩都市モノレール㈱

8.2 首都東京のレジリエンスを高めるプロジェクト（立川周辺のまちづくり）

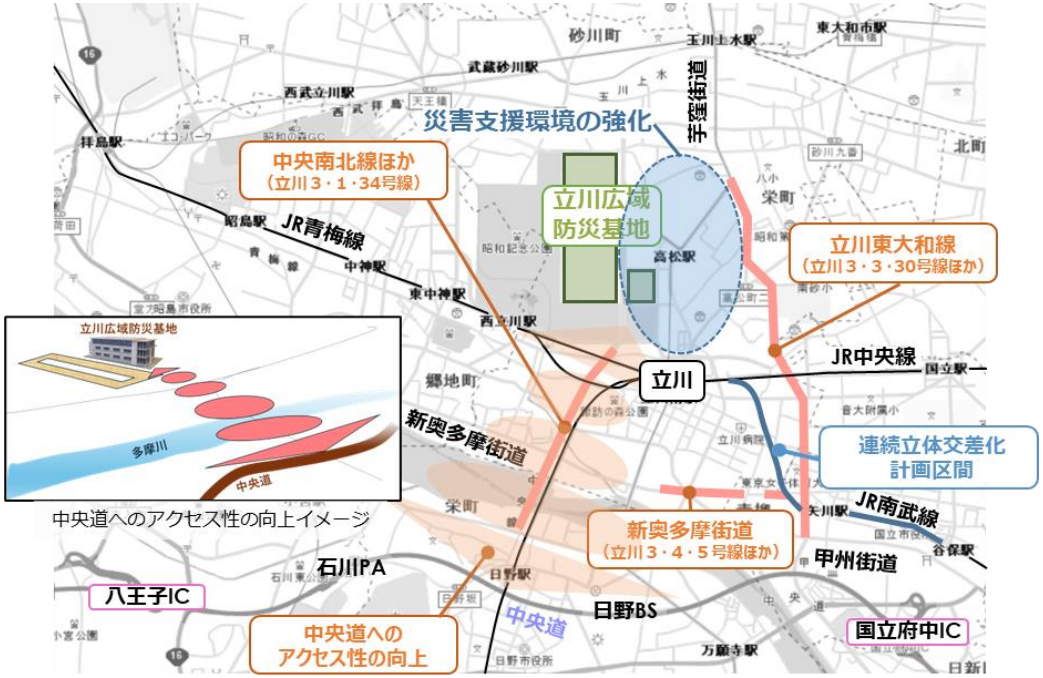
～利便性とレジリエンスを高め、人・モノが自由自在に交流するまち～

考え方

- 広域防災拠点の周辺において、新たな防災拠点整備や民間開発の機会もとらえ、多摩地域の防災活動の拠点となるまちづくりを展開するとともに、防災拠点への複数ルート確保等によるアクセス強化を図り、首都東京のレジリエンスを高める。

プロジェクト

- **広域防災拠点へのアクセスルートとなる道路等**の事業推進
  - 中央南北線（立川3・1・34号線）等の整備やJR青梅線との立体交差化を実現
    - →関係機関との会議体を活用し、鉄道との立体交差構造や事業手法等の検討を推進
  - 立川東大和線（立川3・3・30号線ほか）等の整備やＪＲ南武線の連続立体交差化を実現
    - →立川3・３・30号線事業中区間について整備を推進するとともに、未着手区間の事業化に向けて検討を推進
    - →JR南武線連続立体交差化及び交差する道路（国立3・3・15号線、国立3・4・5号線）の都市計画手続等を推進　（令和５年度より開始）
  - 中央道へのアクセス性の向上
    - →関係機関との調整などを踏まえ、スマートインターチェンジなど、防災拠点方面から中央道へのアクセス性を高める取組を検討



中央道へのアクセス性の向上イメージ

出典：©PASCO CORPORATION, ©GeoTechnologies, Inc.

- 広域防災拠点周辺の**災害支援環境**の強化　（災害時支援協定締結民間事業者の事業地とその周辺）
  - 物資輸送従事者が待機しやすい環境の確保
  - 域内移動の確保（従事者、物資）
    - →再生可能エネルギーなどを導入しエネルギーの自立化やモビリティの確保など、非常時のレジリエンスのみならず**脱炭素化や交通環境の改善**などについて、まちづくりの観点から検討
    - →開発計画も踏まえて、関係者間による検討体制を構築

8 TAMAまちづくり推進プロジェクト

ロードマップ

	令和6年度	令和7年度～	2030年頃
中央南北線（立川3･1･34号線）等の整備やJR青梅線との立体交差化	関係機関との会議体を活用し、鉄道との立体交差構造や事業手法等の検討を推進		立体交差構造等を踏まえた都市計画等手続を推進
立川東大和線（立川3･3･30号線ほか）等の整備やJR南武線の連続立体交差化	立川３・３・30号線事業中区間について整備を推進するとともに、未着手区間の事業化に向けて検討を推進 JR南武線連続立体交差化及び交差する道路（国立3・3・15号線及び国立3・4・5号線）の都市計画手続等を推進		連続立体交差事業等の整備推進
広域防災拠点周辺の災害支援環境の強化	関係者との調整を推進		民間の開発機会もとらえ整備促進

9　TAMAニュータウンプロジェクト

9 TAMAニュータウンプロジェクト

～みどり豊かで誰もが活躍できるまち～

考え方

- 多摩ニュータウンは近隣住区の考え方に基づき、一つの住区を日常生活の単位として、生活に必要な施設を計画的に配置している。
- 現在、少子高齢化や施設の高経年化、商業機能の低下等の課題が顕在化している。
- 駅周辺等に商業、業務等の機能集積を図り利便性の高い市街地を形成、多様な住まいや学びの場を提供することで、子育て世代から選ばれ誰もが安心して住み交流できる住育職が連携した新たなまちを目指す。

３つの先行プロジェクト

- 都が今後のモデルとなる地区での都有地等を活用した先行プロジェクトの実施によりまちづくりを先導するとともに、モビリティの実装を加速していく。
- 地元市と連携することでニュータウン全域に横展開を図る。

駅周辺の再構築イメージ
（業務、商業、子育て等の多様な機能を集積）

諏訪・永山まちづくり

1 まちづくりのイメージ

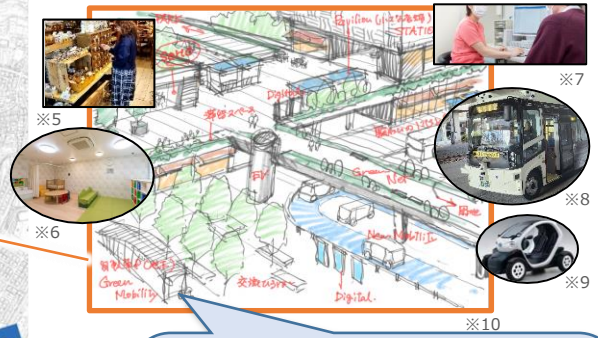
- 子育て世代に選ばれ、ライフステージに合わせて、多様な住まいにより様々な世代が住み続けられるまち

・福祉、子育て機能、シェアオフィスなどの生活機能を配置し、交流拠点として整備

出典：UR都市機構HP「UR 〈らしのカレッジ」

・住替え後の住宅に新たな子育て世代の転入を図るなど、家族構成やライフスタイルの変化にあわせた多様な世代の居住を推進

出典：UR都市機構HP「UR 〈らしのカレッジ」（※1,2,4）
ブリリア多摩ニュータウン提供資料（※3）



・駅前広場の再整備等で駅利用の利便性の向上
・駅周辺施設の再構築で、商業、医療、教育、子育て、住宅など、多様な都市機能の導入

出典：東京都資料（※5、8、10）
ブリリア多摩ニュータウン提供資料（※6）
東京都立多摩南部地域病院HP（※7）
国交省ＨＰ（※9）

・南多摩尾根幹線沿道の団地の建替えにより創出された用地等を活用し、産業、商業、業務など多様な機能を誘導
・にぎわいや安らぎ等を創出

出典：多摩ニュータウンリ・デザイン諏訪・永山まちづくり計画(H30.2 多摩市)・「ネットワークの方針図」を基に作成

諏訪・永山まちづくり

2 検討の方向性

- 都と地元市など関係者間でまちづくりのイメージの実現を目指して検討を推進していく。

（住まい）

駅周辺： 土地の高度利用（都市機能の集積）
（保育施設、良質な住宅、医療・商業施設など）

住宅地： 子育てや生活に「ちょうどいい」まちへ誘導
（アフォーダブル住宅、子供のためのサードプレイス、
生活支援施設など）

南多摩尾根幹線周辺： 良質な住環境を形成
（ゆとりある戸建て住宅、特徴のある
スーパーマーケット、 緑の再生など）

（多様な住まいを支えるデジタルサービス）

・自動配送（ドローン等）、自動運転、エネルギーマネジメントなど
デジタルサービスの活用
・多様な交通モードに対応したモビリティハブの誘導

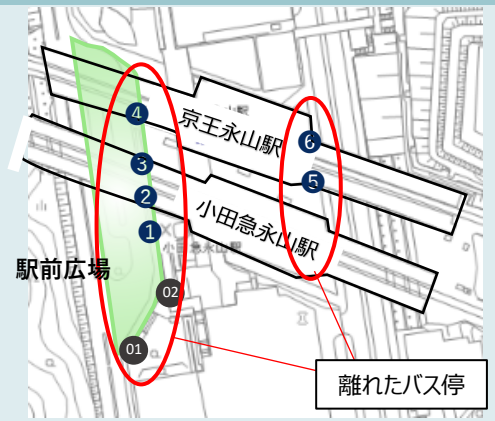
ライフステージに合わせた住替えの一例

諏訪・永山まちづくり

3 永山駅周辺再構築の現状と課題

交通上の視点

・路線バスのバス停が分散しており、また企業バスや一般車が駅前広場に乗り入れられないため、不便



駅前施設・機能上の視点

・駅周辺施設は高経年化
・京王線、小田急線の２線が乗り入れる結節点
・駅前に立体駅車場があるなど、有効な土地利用がされていない

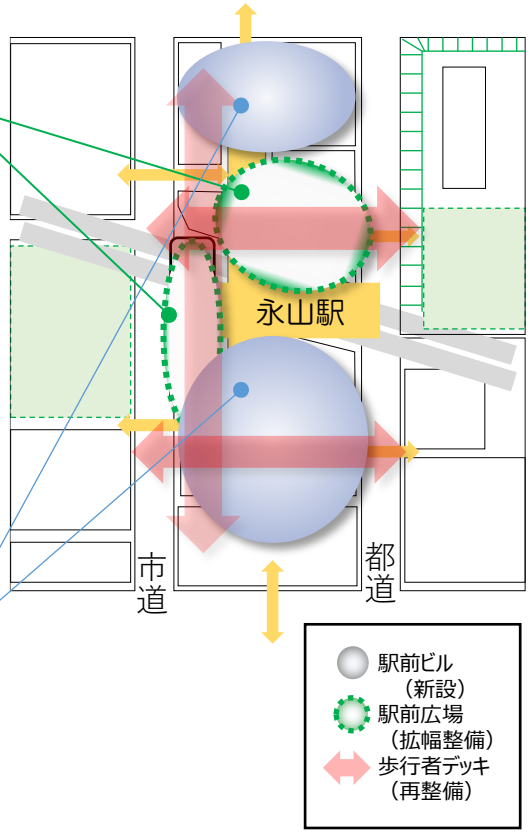
4 永山駅周辺再構築の取組の方向性

- 各権利者の開発意欲を醸成し、まちづくりへの参画を促していく

・駅前広場を拡幅整備し、案内誘導サインの設置等、駅利用者の利便性向上を図る。

・駅周辺施設を一体的に再整備し、商業、医療、教育、子育て・住宅などの多様な都市機能の導入を図る。

永山駅周辺再構築イメージ



・上図は、仮に駅前広場を駅北側に拡幅整備した場合の土地利用をイメージしたものであり、現時点で駅前広場の位置や規模、土地利用等は未定

9 TAMAニュータウンプロジェクト

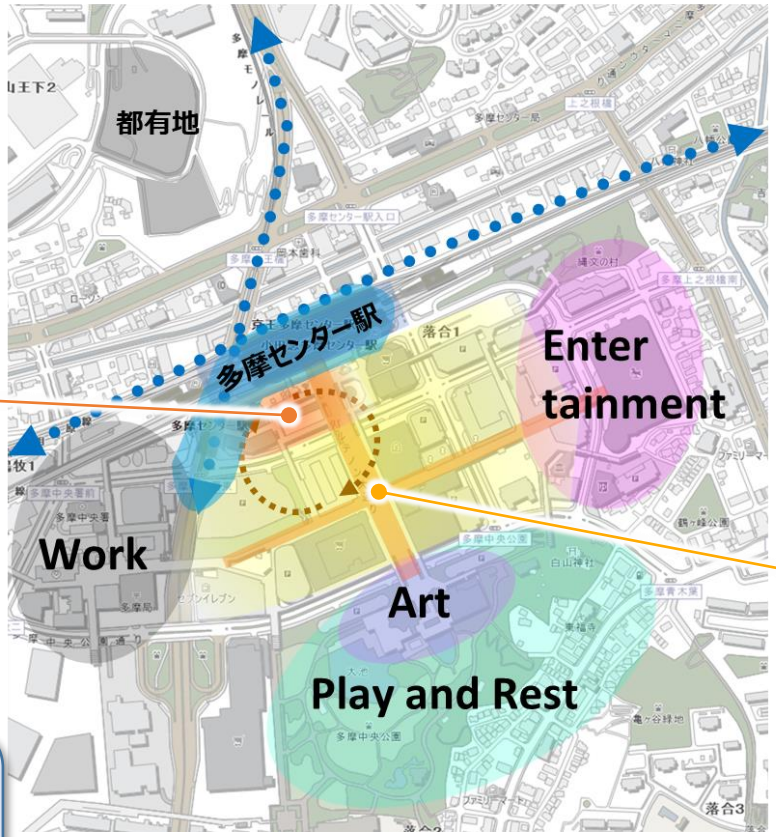
多摩センター駅周辺再構築

1 まちづくりのイメージ

- 都市機能が集積し、利便性の高い交通結節機能を生かして人々のにぎわい・交流が生まれるまち

出典：Adobe Stock

・リニア中央新幹線の開通を見据え、東京の西の玄関口として、利便性を向上
・鉄道、バス、タクシーに加え、次世代モビリティなど多様な交通モードへのシームレスな乗換え
・駅周辺には、商業、医療、子育てなど多様な都市機能を集積



将来の駅周辺のイメージ

・まち全体の回遊性を高め、にぎわいや安らぎを感じるとともに、快適な移動を確保
・低未利用地などを活用し地域の再構築を促進するとともに、エリア全体に多様な住機能を適切に配置

※1

※2

出典：東京都都市整備局資料（※1）
出典：2040年、道路の景色が変わる（国土交通省）（※2）

多摩センター駅周辺再構築

2 検討の方向性

- 都と地元市など関係者間でまちづくりのイメージを共有し、以下の事項を検討していく。

交通利便性の向上

・リニア中央新幹線の開通や多摩都市モノレールの延伸を見据えたターミナル機能の向上

・駅とその周縁部を結ぶ移動の円滑化を図るための、フィーダー交通機能の向上

魅力的で機能的な都市空間の形成

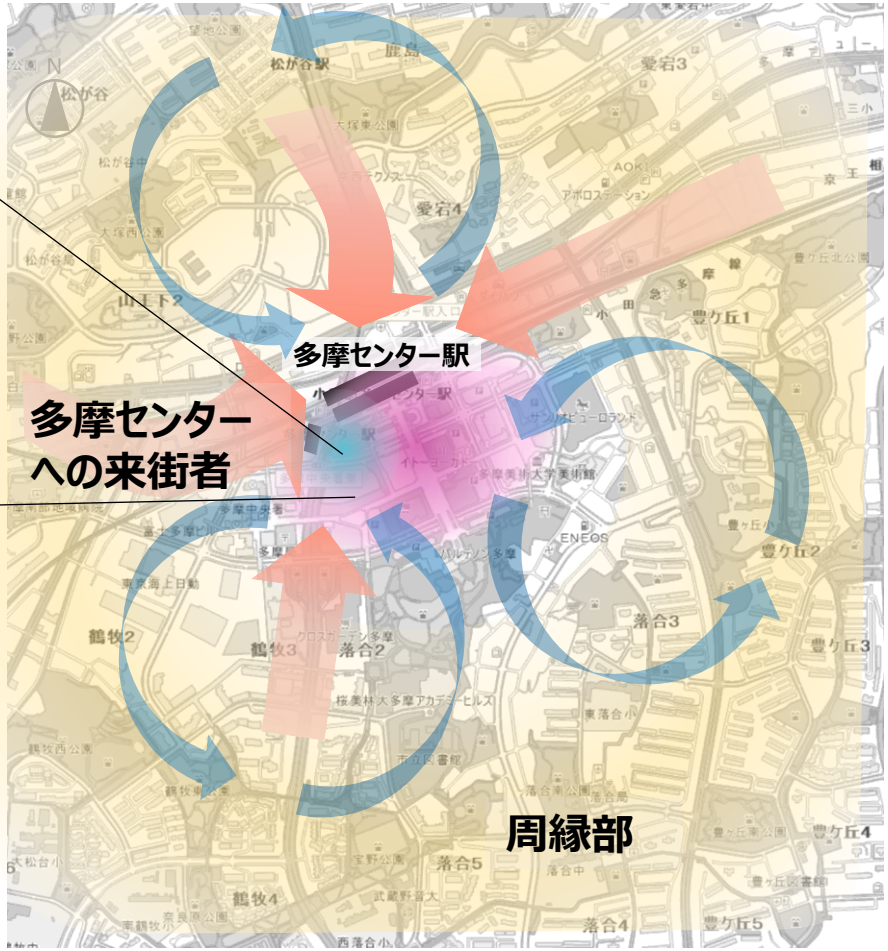
・駅前空間や、駅周辺やパルテノン大通り等も含めた魅力的でシンボリックな空間形成

・歩いて楽しいウォーカブルな空間を形成し、駅周辺の回遊性や周辺の建物と一体となったにぎわいや憩いを創出。周縁部との歩行者ネットワークの向上

多様な都市機能の誘導

・低未利用地等を活用し地域の再構築を促進するとともに、住機能を含めて多様な都市機能の導入検討

・周縁部との機能分担を図り、より魅力的な拠点を形成



9 TAMAニュータウンプロジェクト

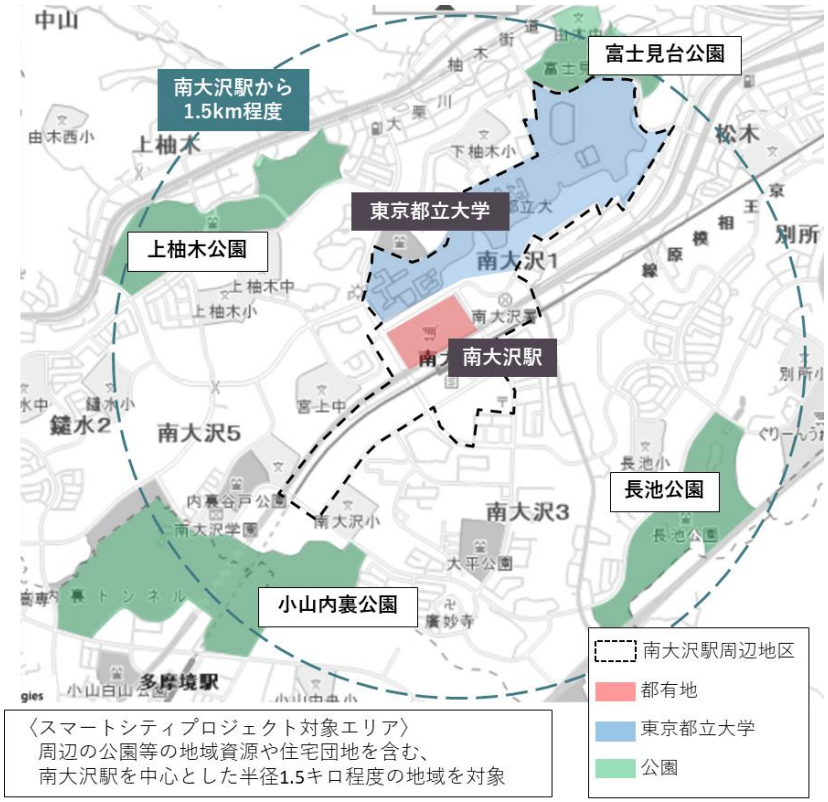
南大沢スマートシティ

1 まちづくりのイメージ

- 人々が出会い、交流し、新たな技術によって多様な住まい方・働き方・憩い方が融合し進化する、活力と魅力に満ちたまち

2 現状と課題

- 南大沢駅周辺地区は、大学、広域商業施設等が立地し、地区内外から多くの人が訪れる拠点が形成され、学術研究とまちづくりが連携するエリア。一方、丘陵地のため、居住者や来街者の移動負担の軽減やまちのにぎわいの創出等が課題となっている。



〈スマートシティプロジェクト対象エリア〉
周辺の公園等の地域資源や住宅団地を含む、
南大沢駅を中心とした半径1.5キロ程度の地域を対象

出典：南大沢スマートシティ協議会ＨＰを基に作成

«具体的な課題»

モビリティ	まちのにぎわい	情報・その他
• 丘陵地の高低移動の負担軽減 • 住宅団地から駅・バス停までのアクセス交通の確保	• まちのイベント等の地域情報発信、個人のニーズに応じた多様な情報や快適な買い物サービスの提供 • 住民や来街者の回遊性・滞留性向上によるにぎわい創出	• 誰もが安心で快適な地域の多様で即時性のある情報の活用や高度化 • 多様化するニーズを踏まえた新たな生活環境づくり

住民ニーズを踏まえ、東京都立大学・地元自治体・地元事業者と連携し、新たな技術によってこれらの課題を解決していく

南大沢スマートシティ

3 取組の方向性

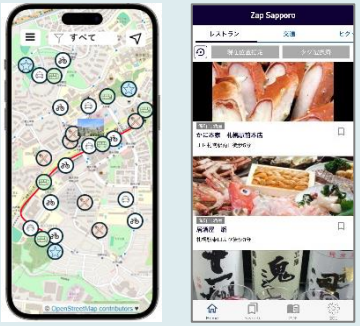
- モビリティを核とした様々なスマートサービスを充実させ、都有地活用事業と連携して、更なるにぎわいを創出していく。

民間事業者の創意工夫による新たなモビリティ・地域の情報を一元的に提供するアプリ等のスマートサービスを実装

新モビリティ※1
丘陵地の高低移動の負担を軽減

自動配送ロボット※2
買い物の利便性を向上

地域情報アプリ※3
様々な地域情報へのアクセス向上



※すべてイメージ画像

南大沢地区の更なるにぎわいを創出

南大沢駅北側都有地を活用したにぎわいの創出（アウトレットモールのリニューアルを予定）

都有地の活用イメージ※4

※1　出典：WHILL株式会社より提供　※2　出典：LOMBY株式会社より提供
※3　出典：（左）© OpenStreetMap contributors　（右）東京都立大学/国立情報学研究所 相原研究室より提供　※4　出典：三井不動産株式会社より提供

9 TAMAニュータウンプロジェクト

ロードマップ

		令和６年度	令和７年度	～	2030年頃
多摩ニュータウンの新たな再生方針		（仮称）再生方針検討	（仮称）再生方針策定 (仮称)再生プログラム策定	（仮称）再生プログラム更新検討	
先行プロジェクト	諏訪・永山まちづくり	永山駅周辺再構築の計画策定・事業手法等の検討		都市計画等手続　事業着手	
		都住建替創出用地の活用方針の検討		事業者選定方法の検討	事業者選定手続　創出用地の活用
		団地再生（近隣センター再生）の検討・調整		計画策定・近隣センター再生（着手）	
	多摩センター駅周辺再構築	将来像の検討等	再構築会議の設置 再構築の取組方針、施策検討	施策の実施	
	南大沢スマートシティ	先端技術を活用した実証プロジェクトの展開		地域によるスマートサービスの実装	
				新たな運用体制の構築　他地域への横展開	
		都有地活用事業事業者決定 ●	都有地活用事業契約手続	新契約期間開始	

巻末掲載　6.2 既存施策の活用によるまちづくりの推進

既存施策一覧

戦略 1 持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成

部署名	施策	施策概要	備考欄
デジタルサービス局 デジタルサービス推進部 デジタルサービス推進課	**地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業**	• 地域課題解決や住民のニーズの充足といったまちのスマート化に関する取組を推進し、まちのスマート化の展開につなげていく。	
デジタルサービス局 デジタルサービス推進部 つながる東京推進課	**アセット開放の取組**	• 通信事業者による5Gアンテナ基地局等の設置促進に向けて、多摩地域に所在する都の保有アセット（土地・建物）約6,500件に加え、街路灯・都立公園を開放する。各自治体の実情にあわせた伴走型支援を実施することで、市町村の保有アセット開放を促進する。また、まちづくりやビル建築等と連携した民間アセットの開放を実施していく。	
総務局 行政部 行政部振興企画	**まちづくり推進コンシェルジュ**	• 行政分野がまたがる事業を対象とし、市町村からの相談を一元的に受け付け、庁内調整を行い、支援に結び付けるための窓口	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩の魅力発信プロジェクト**	• 多摩地域の市町村が実施する先進的・特徴的な取組を、幅広い媒体で発信する。あわせて、地域の魅力スポット、地域資源を活かした子供向けのイベントなどを市町村や地域の多様な主体と連携し、発信する。	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩地域における多様な主体との連携活動促進支援事業**	• 多摩地域において、複数の市町村と多様な主体との連携による広域的な地域課題の解決や、新たな価値の創造など、先進的な取組に対し、技術的・財政的支援を実施し、多摩地域の多様な魅力を向上させる。	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩・島しょ地域への移住・定住促進に向けた相談窓口**	• 多摩・島しょ地域への移住・定住等に関する情報を提供する常設の相談窓口を設置運営する。	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩島しょ移住定住ポータルサイトの運営**	• 地域の魅力や都・市町村の支援制度などを発信する総合的なポータルサイトを運営する。	
総務局 行政部 行政部振興企画	**島しょ山村地域における移住体験住宅整備補助**	• 移住体験の滞在拠点等として、町村が設置する移住体験住宅等の整備費用を補助する。	
総務局 行政部 行政部振興企画	**移住・定住促進市町村支援事業**	• 市町村の地域の実情に応じた主体的かつ計画的な移住・定住促進の取組を後押しする。	

既存施策一覧

戦略 1 持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成

部署名	施策	施策概要	備考欄
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩・島しょ移住定住発信事業**	• 空き家を有効活用した移住事例や地域で活躍する移住者・関係人口と地元住民が連携した取組を広く発信する。	
総務局 行政部 行政部振興企画	**島しょ山村地域における暮らし体験・空き家見学ツアー**	• 島しょ山村地域の生活・文化の体験等を行うとともに、空き家バンク等掲載物件や空き家活用の優良事例を見学するツアーを実施する。	
総務局 総務部 企画計理課	**スタートアップの創出・育成支援の強化及び産学公連携の推進**	• 東京都立大学日野キャンパスの「TMU Innovation Hub」を活用したスタートアップの創出・育成支援策を展開するとともに、イノベーション創出を促すためのプラットフォームである「TAMA-LEAP」により産学公連携を推進する。こうした取組を通じて、スタートアップ企業数の増加など、多摩地域の産業振興・地域の活性化に貢献する。	
総務局 総務部 企画計理課	**東京都立大学における５Ｇ等を活用した最先端研究や社会実装の展開**	• 南大沢キャンパスと日野キャンパスに整備した、日本最大級のローカル5G環境を活用し、先進的な研究や産学公連携を通じて、Society5.0に向けた社会実装に繋がる取組を推進する。	
産業労働局 商工部 調整課	**多摩イノベーションエコシステム促進事業**	• 多摩地域でイノベーションを起こし続けるエコシステムを形成するため、社会課題解決に向けた取組を行う中小企業への支援や、企業間連携を促す交流イベントなどを実施する。	令和９年度まで
産業労働局 商工部 経営支援課	**東京都立多摩産業交流センターの整備管理**	• 多摩地域の持つ産業集積の強みを生かし、都域を超えた広域的な産業交流を通じてイノベーションの創出を活性化する。	
産業労働局 商工部 創業支援課	**産業サポートスクエア・TAMA**	• 多摩地域の産業支援拠点である「産業サポートスクエア・TAMA（昭島市）」において、中小企業の経営・技術支援、農林水産業の支援、更には職業能力開発・人材育成の支援などを行う。	
産業労働局 商工部 創業支援課	**創業支援拠点（多摩）の運営**	• 創業に関心のある誰もが利用でき、情報提供から事業化支援までをワンストップで行う拠点を立川市において運営する。拠点では、自治体や大学などの地域の支援機関とも連携しながら、多摩地域全体の起業機運を高めていく。	令和９年度まで

既存施策一覧

戦略 1 持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成

部署名	施策	施策概要	備考欄
産業労働局 商工部 創業支援課	**広域ものづくりネットワーク形成支援事業**	・複数の中小企業等の連携によるものづくりネットワークを広域で組成し、新たな産業分野や市場等への参入を支援する。	令和５年度～９年度（新規採択は令和７年度終了予定）
産業労働局 商工部 創業支援課	**多摩イノベーション総合支援事業**	・大手企業等からの技術・開発ニーズに応えることや大学等との連携などを契機に成長産業分野への参入等を促し、イノベーション創出を促進する。	令和９年度まで
産業労働局 商工部 創業支援課	**多摩ものづくりスタートアップ起業家育成事業**	・ものづくり起業家の掘起しを行い、既存の多摩地域を中心とした中小企業などの製造業との連携を促進し、次世代のスタートアップ起業家へと育成することで、創業機運を醸成、ものづくり起業家を輩出していく。	令和７年度まで
産業労働局 商工部 創業支援課	**多摩地域におけるイノベーション支援施設の運営**	・多摩イノベーションパーク構想実現に向け、多摩地域のイノベーションエコシステム形成を促進するため、旧労働相談情報センター八王子事務所及び国分寺事務所を暫定的に利用し、中小企業等のイノベーション創出を支援する施設を運営する。	令和７年度まで
産業労働局 商工部 地域産業振興課	**地域産業成長支援事業**	・多様な主体の協業・参画や自己変革への挑戦を促し、地域産業を成長させる取組など、地元自治体が地域産業の振興に向けて行う事業を支援する。	令和６年度～11年度（新規採択は令和８年度終了予定）
産業労働局 商工部 地域産業振興課	**都内ものづくり企業地域共生推進事業**	・地域との共生を目指すために工場の改修等に主体的に取り組む中小企業に対して、地元自治体と連携し、必要な経費の一部を補助する。	令和８年度まで
産業労働局 商工部 地域産業振興課	**ＴＯＫＹＯ地域資源等を活用したイノベーション創出事業**	・中小企業等による東京の魅力ある地域資源（農林水産物、鉱工業品・生産技術）を活用した新製品・新サービスの開発及び改良を支援するとともに、東京の都市課題の解決につながる取組を支援する。	令和５年度～９年度（新規採択は令和７年度終了予定）
産業労働局 観光部 振興課	**アニメ等コンテンツを活用した誘客促進事業**	・国内外の観光客誘致の促進及び地域活性化を図るため、国内外で関心の高いアニメやマンガなどのコンテンツを活用して観光振興を行う地域の取組をソフトとハードの両面から支援する。	令和８年度まで

既存施策一覧

戦略 1 持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成

部署名	施策	施策概要	備考欄
産業労働局 観光部 振興課	**東京の多様性を活かした観光まちづくり推進支援事業**	• 国内外旅行者の多様なニーズを踏まえ、その地域ならではの特性を活かした観光まちづくりを推進し、東京の魅力向上を図る。	令和７年度まで
産業労働局 観光部 企画課	**多摩地域におけるMICE拠点の育成支援**	• MICEの開催効果を都内全体へ波及させるため、多摩地域におけるMICE受入れ施設が一定程度集積する地域を多摩ビジネスイベンツ重点支援エリアとして選定し、拠点としての重点的な支援を行う。	令和８年度まで
都市整備局 都市づくり政策部 広域調整課	**都市開発諸制度を活用したまちづくり**	• 主要な駅等を中心に、都市開発諸制度等の都市づくりの制度を活用し、商業、文化・交流、医療・福祉、シェアオフィスなど、生活に必要な都市機能や柔軟な働き方、暮らし方にも対応する都市機能の立地を、周辺の拠点との役割分担を踏まえて誘導する。 また、開発区域内外における緑の保全・創出の取組を評価し容積率を緩和する仕組みにより、開発の機会を捉えた緑化を促進する。	
都市整備局 市街地整備部 区画整理課	**市街化調整区域における空き家等の活用促進**	• 市街化調整区域の開発許可基準について、市街化を促進しない範囲で地域再生に資する既存建築物の用途変更を弾力化し、農家住宅や空き校舎等をシェアハウスやサテライトオフィスにするなど、既存集落の活性化を図る。	

既存施策一覧

戦略 2 人・モノ・情報の自由自在な交流を実現

部署名	施策	施策概要	備考欄
デジタルサービス局 デジタルサービス推進部 デジタルサービス推進課	**地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業**	・ 再掲	
デジタルサービス局 デジタルサービス推進部 つながる東京推進課	**アセット開放の取組**	・ 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**まちづくり推進コンシェルジュ**	・ 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩の魅力発信プロジェクト**	・ 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩地域における多様な主体との連携活動促進支援事業**	・ 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩・島しょ地域への移住・定住促進に向けた相談窓口**	・ 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩島しょ移住定住ポータルサイトの運営**	・ 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**島しょ山村地域における移住体験住宅整備補助**	・ 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**移住・定住促進市町村支援事業**	・ 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩・島しょ移住定住発信事業**	・ 再掲	

既存施策一覧

戦略 2 人・モノ・情報の自由自在な交流を実現

部署名	施策	施策概要	備考欄
総務局 行政部 行政部振興企画	**島しょ山村地域における暮らし体験・空き家見学ツアー**	• 再掲	
環境局 気候変動対策部 地域エネルギー課	**燃料電池自動車等の普及促進事業**	• 燃料電池自動車又は外部給電器を購入する地元自治体に対し、当該車両又は機器の購入に要する経費の一部を助成する。	申請期間：令和12年度まで （交付期間：令和13年度まで）
環境局 気候変動対策部 地域エネルギー課	**燃料電池バス・タクシー導入促進事業**	• 燃料電池バスを導入する地元自治体に対し、燃料電池バスの導入費の一部を助成する。	申請期間：令和12年度まで （交付期間：令和13年度まで） 産業労働局共管
環境局 気候変動対策部 地域エネルギー課	**EVバス・EVトラック導入促進事業**	• ＥＶバス・ＰＨＥＶバス・ＥＶトラック及びＰＨＥＶトラックを導入する地元自治体に対し、当該車両の導入に要する経費の一部を助成する。	申請期間：令和８年度まで （交付期間：令和９年度まで） 産業労働局共管
環境局 気候変動対策部 家庭エネルギー対策課	**充電設備普及促進事業**	• 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の普及拡大に向け、地元自治体・民間施設への公共用充電設備の設置を促進するため、充電設備の設置費及び急速充電設備の維持管理費の補助を実施する。	産業労働局共管
環境局 環境改善部 自動車環境課	**自転車シェアリングの普及促進**	• 自転車シェアリングについて、一層の普及を図るため、利便性向上や利用促進施策等を推進する。	
産業労働局 産業・エネルギー政策部 新エネルギー推進課	**水素ステーション設備等導入促進事業**	• 水素ステーションの整備又は運営をする事業者に対して、整備費及び運営費の補助を実施する。	令和10年度まで
産業労働局 産業・エネルギー政策部 新エネルギー推進課	**燃料電池バス・タクシー導入促進事業**	• 水素社会の早期実現に向けて燃料電池バス・タクシーの普及を促進するため、燃料電池バス・タクシーの導入事業者等に対し、燃料電池バス・タクシーの導入費及び燃料電池タクシーの燃料費の一部を助成する。	令和12年度まで 環境局共管
産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課 /新エネルギー推進課	**ＺＥＶ普及促進事業**	• ゼロエミッションビークル（電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド自動車（PHEV）・燃料電池自動車（FCV））、EVバイク等の普及を促進するため、購入費等の補助を実施する。	令和12年度まで

既存施策一覧

戦略 2 人・モノ・情報の自由自在な交流を実現

部署名	施策	施策概要	備考欄
産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課 /新エネルギー推進課	**シェアリング・レンタル用車両ZEV化促進事業**	• カーシェア・レンタカー等におけるZEV化を促進するため、カーシェア等の導入を行う事業者がZEV新車を導入する費用の補助を実施する。	令和12年度まで
産業労働局 産業・エネルギー政策部 新エネルギー推進課	**燃料電池等トラック実装支援事業**	• 水素社会の早期実現に向け、燃料電池等トラックを導入する事業者等に対して、導入費及び燃料費の補助を行う。	令和12年度まで
産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課	**充電設備普及促進事業**	• 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の普及拡大に向け、地元自治体・民間施設への公共用充電設備の設置を促進するため、充電設備の設置費及び急速充電設備の維持管理費の補助を実施する。	充電設備導入費は令和12年度まで ※環境局所管は令和９年度まで 充電設備維持管理費は令和20年度まで ※環境局所管は令和17年度まで 環境局共管
産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課	**EVバス・EVトラック導入促進事業**	• EVバス・EVトラックの普及を促進するため、購入費等の補助を実施する。	令和9年度まで (申請受付は令和8年度まで)環境局共管
産業労働局 観光部 振興課	**多摩・島しょ観光交通促進プロジェクト**	• 移動アクセス手段の更なる充実を図るため、新たな交通サービスの導入など、地元自治体等の交通インフラ開発を支援する。	R7年度まで
建設局 道路管理部 安全施設課	**自転車通行空間の整備**	• 誰もが安全で快適に自転車を利用できるよう、優先整備区間約250km（累計約570km）などの整備に取り組む。	令和12年度まで
建設局 道路管理部 安全施設課	**東京ストリートヒューマン１ｓｔ事業**	• 多様な人々が集う、首都東京にふさわしい快適で魅力あるみち空間の創出を図るため、まち並みと調和した道路の景観整備に取り組む。	令和12年度までに工事着手

既存施策一覧

戦略 2 人・モノ・情報の自由自在な交流を実現

部署名	施策	施策概要	備考欄
建設局 道路建設部 管理課・道路橋梁課	**第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業**	• 交通の円滑化・歩行者の安全性・利便性の向上など、地域のまちづくりに寄与することを目的として、地域にとって重要な役割を果たす都道のうち、都市計画道路の事業化計画における優先整備路線以外で、地元市町村から要望が強い路線を都と市町村が連携協力して整備を行う。	令和８年度まで
建設局 道路建設部 管理課・街路課・道路橋梁課	**市町村土木補助事業**	• 市町村に対する補助事業を通じて、市町村への財政的、技術的支援を行いながら、市町村道整備とまちづくりの促進を図る。	
住宅政策本部 住宅企画部 企画経理課	**コミュニティサロン（集会所）やコミュニティ型サービス拠点を活用した「居場所」づくり**	• 東京都住宅供給公社の専門スタッフが、公社住宅のコミュニティサロンにおいて、地元自治体やNPO等と連携し、居住者や地域に暮らす人々の交流のきっかけとなるイベントを企画・開催するとともに、公社住宅の空き店舗等を活用した地域コミュニティ拠点において、「地域交流スペース」・「生活相談窓口」等の運営や、コミュニティイベント等を実施する。	
都市整備局 都市づくり政策部 広域調整課	**集約型の地域構造への再編に向けた取組の推進**	• 「集約型の地域構造への再編に向けた指針」の活用など、地元自治体が、集約型の地域構造への再編に向けて、都市計画マスタープランの改定や立地適正化計画の作成などの取組を適切に進められるよう、誘導を図る。	
都市整備局 都市基盤部 交通企画課	**地域公共交通の充実・強化**	• 誰もが移動しやすい利便性の高い都市の実現に向け、地域における効率的な公共交通ネットワークの形成を促進するため、令和４年３月に策定した「東京における地域公共交通の基本方針」に基づき、地元自治体の主体的な取組や地域課題の解決に資する取組に対して技術的、財政的に支援する。	令和８年度まで
都市整備局 都市基盤部 交通企画課	**自転車活用推進重点地区**	• 都や地元自治体等の関係主体が連携して集中的に取組を実施し、より良い自転車利用環境の早期実現を図る「自転車活用推進重点地区」を設定している。先行的に取り組む地区として「吉祥寺・三鷹・武蔵境地区」を選定し、整備計画を策定して取組を実施している。	

既存施策一覧

戦略 2 人・モノ・情報の自由自在な交流を実現

部署名	施策	施策概要	備考欄
都市整備局 都市基盤部 モビリティ政策課	**自動運転社会を見据えた都市づくりへの展開**	• 「自動運転社会を見据えた都市づくりの在り方」（2022年3月策定）に示す将来像の実現に向けて、公共交通への地域ニーズを踏まえた自動運転サービスの導入を推進するため、導入主体となる市町村や交通事業者の取組に対し、レベル４自動運転の実現に向けて必要な運行経費を補助するなど、技術的・財政的に支援していく。	令和９年度まで
都市整備局 都市基盤部 交通企画課	**パーク・ストリート東京**	• 道路空間を活用し、人が歩いて楽しむまちを創出する取組を一体的に広報・周知する。	
都市整備局 都市基盤部 調整課	**物流拠点の整備促進**	• 「東京都西南部の流通業務施設に関する整備方針」に基づき、八王子市川口地区及び青梅市今井地区において、東京及び首都圏の物流機能を支える、物流拠点の整備に向けた関係市の取組を支援する。	
都市整備局 市街地整備部 区画整理課	**土地区画整理事業**	• 原則として、施行地区内の全域において無電柱化を実施する土地区画整理事業の施行者（個人（数人共同して施行する場合に限る、ただし無電柱化については除く）、土地区画整理組合、区画整理会社、地元自治体、都市再生機構）（市認可の事業については都の承認が必要）に対して補助を行う。	
都市整備局 市街地整備部 再開発課	**市街地再開発事業**	• 原則として、施行区域の全域において無電柱化等を実施する市街地再開発事業の施行者である市町及び同事業を施行する再開発会社・都市再生機構、組合、個人に補助金を出えんする地元自治体に対して補助を行う。	

既存施策一覧

戦略 3 あらゆる人々の暮らしの場の提供

部署名	施策	施策概要	備考欄
子供政策連携室 企画調整部 企画調整課	**子供の遊び場等整備事業**	• 子供の意見を踏まえながら、プレーパークやボール遊び場など、地域資源を活用した遊び場等の創出に取り組む地元自治体を強力に支援する。	令和８年度以降は調整中
子供政策連携室 企画調整部 企画調整課	**多文化キッズサロン設置支援事業**	• 日本語を母語としない子供の地域の居場所として、「学習」「相談」「交流」等の機能を一体的に備えた「多文化キッズサロン」を設置する地元自治体を支援する。	令和８年度以降は調整中
総務局 行政部 行政部振興企画	**まちづくり推進コンシェルジュ**	• 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩の魅力発信プロジェクト**	• 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩地域における多様な主体との連携活動促進支援事業**	• 再掲	
福祉局 子供・子育て支援部 企画課	**子供家庭支援区市町村包括補助事業**	• 地元自治体が地域の実情に応じ、創意工夫を凝らして主体的に実施する子供家庭分野における基盤の整備及びサービスの充実に資する事業を支援する。	
福祉局 生活福祉部 企画課	**地域福祉推進区市町村包括補助事業**	• 地元自治体が地域の実情に応じ、創意工夫を凝らして主体的に実施する地域福祉等の推進に係る基盤の整備及びサービスの充実に資する事業を支援する。	
福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課	**高齢者施策推進区市町村包括補助事業**	• 地元自治体が地域の実情に応じ、創意工夫を凝らして主体的に実施する高齢者分野における基盤の整備及びサービスの充実に資する事業を支援する。	
福祉局 子供・子育て支援部 家庭支援課	**子供の居場所創出事業**	• 子供やその保護者が気軽に立ち寄れる地域の「居場所」を創設し、子供に対する学習支援や保護者に対する養育支援、食事提供を始めとした生活支援を行うことで、様々な事情を有する子供と保護者に対して包括的な支援を行い、生活の質の向上と地域全体で子供や家庭を支援する環境を整備する。	

既存施策一覧

戦略 3 あらゆる人々の暮らしの場の提供

部署名	施策	施策概要	備考欄
福祉局 子供・子育て支援部 家庭支援課	**子供食堂推進事業**	• 民間団体等が行う地域の子供たちへ食事や交流の場を提供する取組について、安定的な実施環境を整備し、地域に根差した活動を支援する。また、子供食堂の開催に加え、配食や宅食を通じて家庭の生活状況を把握し、必要な支援につなげる子供食堂の取組について、支援する。	
福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課	**人生100年時代セカンドライフ応援事業**	• 多様なニーズを持つ高齢者の生きがいづくりや自己実現の機会を提供する地元自治体を支援し、人生100年時代において高齢者の誰もが地域ではつらつと活躍できる社会を実現する。	
福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課	**TOKYO長寿ふれあい食堂推進事業**	• 地域の高齢者が気軽に立ち寄り、飲食をしながら様々な交流をすることができるTOKYO長寿ふれあい食堂の取組を推進することにより、高齢者の交流機会の増加、心身の健康増進、多世代交流の促進を図る	
産業労働局 総務部 国際金融都市推進課	**金融スキームを活用したアフォーダブル住宅の供給促進**	• ファンドへの出資を通じて、子育て世帯等を対象としたアフォーダブル住宅の供給を先導的に進めようとしている事業者の取組を支援することで、空き家活用等による民間での供給を促進する。	
教育庁 グローバル人材育成部 国際交流教育課	**体験型英語学習施設の運営**	• 2023年１月に開設した体験型英語学習施設 TOKYO GLOBAL GATEWAY（TGG）GREEN SPRINGS（立川市）を活用し、世界に羽ばたきグローバルに活躍する人材を育成していく。	
住宅政策本部 民間住宅部 安心居住推進課	**東京都サービス付き高齢者向け住宅供給助成事業**	• 高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けることができるよう、地元自治体と連携し、高齢者の主要な住み替え先の一つであり、生活相談や介護・医療等、高齢者のニーズに対応するサービス付き高齢者向け住宅等の供給を促進する。	

既存施策一覧

戦略 3 あらゆる人々の暮らしの場の提供

部署名	施策	施策概要	備考欄
住宅政策本部 民間住宅部 安心居住推進課	**住宅確保要配慮者の居住の安定**	• 高齢者、子育て世帯など住宅確保要配慮者の入居を拒まない東京ささエール住宅について、住宅セーフティネット制度の普及啓発や貸主の不安軽減策等を効果的に実施することで供給を促進していくとともに、より住宅確保要配慮者の居住の安定に資する専用住宅の一層の供給促進に向けて取り組む。	
住宅政策本部 民間住宅部 安心居住推進課	**子育てに配慮された住宅の供給促進**	• 子育て世帯に適した住まいの広さや安全性等を備え、子育て支援施設の設置や子育て支援サービスとの連携等にも配慮した優良な住宅を「東京こどもすくすく住宅」として都が認定するとともに、整備費の一部を直接支援することにより、子育て世帯に配慮した質の高い住宅の供給を促進する。	
住宅政策本部 民間住宅部 計画課	**空き家利活用等区市町村支援事業**	• 空き家対策を実施する市区町村に対し、都が事業に要する費用の一部を補助することにより、地元自治体における計画的な空き家対策の実施を促進する。	
住宅政策本部 民間住宅部 計画課	**先駆的空き家対策東京モデル支援事業**	• 空き家対策に関する先駆的かつ高度なノウハウを要する共通課題の解決を図る事業を実施する市区町村に対し、都が当該事業に係る費用の一部を補助することにより、空き家対策のノウハウの普及を促進する。	
住宅政策本部 住宅企画部 企画経理課	**コミュニティサロン（集会所）やコミュニティ型サービス拠点を活用した「居場所」づくり**	• 再掲	
住宅政策本部 民間住宅部 計画課	**東京都空き家ポテンシャル発掘支援事業**	• 市区町村と連携し、空き家を地域資源として活用し、地域の課題解決に取り組む民間事業者等に対して、ひとり親世帯等を対象としたシェアハウスへの改修に係るメニューを新たに設けるなど、取組を後押しする。	
住宅政策本部 民間住宅部 マンション課	**マンション再生まちづくり制度を活用したまちづくりの推進**	• 旧耐震マンションの再生に際し、周辺との敷地の共同化などまちづくりと連携した取組を進めるため、地元自治体の策定するマンション再生まちづくり計画の提案に基づき都が推進地区を指定し、建替え等を促進する。（多摩市　諏訪・永山地区及び愛宕・貝取・豊ヶ丘地区、日野市多摩平一丁目９番地地区）	

既存施策一覧

戦略 3 あらゆる人々の暮らしの場の提供

部署名	施策	施策概要	備考欄
住宅政策本部 都営住宅経営部 指導管理課	**東京みんなでサロン**	• 都が、地域交流プログラムの実施を検討する地元自治体やＮＰＯ法人などと、都営住宅の自治会との間の橋渡しを行うことで、都営住宅の集会所等でのプログラムの実施につなげる。	
都市整備局 都市基盤部 交通企画課	**バリアフリー基本構想等の策定促進**	• 地域の面的かつ一体的なバリアフリー化を推進するため、バリアフリー法に基づきバリアフリー基本構想及び移動等円滑化促進方針を作成する地元自治体に対し計画策定経費の一部を補助する。	
都市整備局 市街地整備部 区画整理課	**市街化調整区域における空き家等の活用促進**	• 再掲	
都市整備局 市街地整備部 防災都市づくり課	**住宅市街地総合整備事業（拠点開発型）**	• 既成市街地において、快適な居住環境の創出、都市機能の更新、美しい市街地景観の育成、密集市街地の整備改善を図るため、住宅等の整備、公共施設の整備等を総合的に行う。	
都市整備局 市街地整備部 区画整理課	**土地区画整理事業**	• 再掲	
都市整備局 市街地整備部 再開発課	**市街地再開発事業**	• 再掲	

既存施策一覧

戦略 4 災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築

部署名	施策	施策概要	備考欄
総務局 行政部 行政部振興企画	**まちづくり推進コンシェルジュ**	・ 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩地域における多様な主体との連携活動促進支援事業**	・ 再掲	
環境局 総務部 環境政策課	**区市町村との連携による環境政策加速化事業**	・ 都と地元自治体が連携し、東京都環境基本計画に掲げる2030年目標の達成に向けた広域的環境課題の解決に資する地元自治体の取組に対し、支援を行う。	
環境局 気候変動対策部 地域エネルギー課	**燃料電池自動車等の普及促進事業**	・ 再掲	
環境局 気候変動対策部 地域エネルギー課	**燃料電池バス・タクシー導入促進事業**	・ 再掲	
環境局 気候変動対策部 地域エネルギー課	**EVバス・EVトラック導入促進事業**	・ 再掲	
環境局 気候変動対策部 地域エネルギー課	**水素を活用したスマートエネルギエリア形成推進事業**	・ 事業所等において業務・産業用燃料電池を設置する地元自治体に対し、経費の一部を助成する。	申請期間：令和７年度まで（交付期間：令和７年度まで） 産業労働局共管
環境局 気候変動対策部 地域エネルギー課	**グリーン水素の社会実装化に向けた設備等導入促進事業**	・ 脱炭素社会を支えるエネルギーの柱の一つとして期待されるグリーン水素の社会実装化を後押しするため、グリーン水素の製造、運搬・貯蔵、利用に用いる各設備の導入に助成する。	申請期間：令和11年度まで 産業労働局共管
環境局 気候変動対策部 家庭エネルギー課	**充電設備普及促進事業**	・ 再掲	

既存施策一覧

戦略 4 災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築

部署名	施策	施策概要	備考欄
環境局 環境改善部 環境保安課	**省エネ型ノンフロン機器普及促進事業**	• 強力な温室効果ガスであるフロン類の排出を抑制するため、省エネ型ノンフロン機器の導入に必要な経費について補助を実施する。	
環境局 気候変動対策部 環境都市づくり課	**東京ゼロエミ住宅普及促進事業**	• 東京の地域特性を踏まえて省エネ性能の高い住宅を普及させるため、都が定める基準を満たす新築住宅に対して補助を実施する。	令和13年度 （募集は令和11年度まで）
産業労働局 産業・エネルギー政策部 新エネルギー推進課	**水素ステーション設備等導入促進事業**	• 再掲	
産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課	**コージェネレーションシステム導入支援事業**	• 都内の建築物においてコージェネレーションシステム（CGS）を導入する事業者に対し、熱電融通インフラ（電力線、熱導管など）及びCGSの導入に必要な経費について補助を実施する。	令和12年度まで （募集は令和10年度まで）
産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課	**地産地消型再エネ・蓄エネ設備導入促進事業**	• 都内に地産地消型再エネ発電等設備・熱利用設備の設置、または都内に環境価値を還元することを条件に、都外（東京電力管内）に地産地消型再エネ発電等設備を設置する事業者に対して、経費の一部を補助する。	令和９年度まで （募集は令和８年度まで）
産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課	**再エネ電源都外調達事業（都外PPA）**	• 都外に再生可能エネルギー発電設備を設置し、その再エネ電気又は環境価値の利活用に取組む事業者に対して当該設備の導入に必要な経費の一部を補助する。	令和12年度まで （募集は令和８年度まで）
産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課	**ゼロエミッション化に向けた省エネ設備導入・運用改善支援事業**	• 中小規模事業所を所有又は使用する中小企業者等に対し、省エネ設備の導入又は運用改善の実践に要する費用の一部を助成する。	令和10年度まで （募集は令和７年度まで）
産業労働局 産業・エネルギー政策部 新エネルギー推進課	**燃料電池バス・タクシー導入促進事業**	• 再掲	令和12年度まで

既存施策一覧

戦略 4 災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築

部署名	施策	施策概要	備考欄
産業労働局 産業・エネルギー政策部 新エネルギー推進課	**水素を活用したスマートエネルギエリア形成推進事業**	• 業務・産業用燃料電池の設置に対して補助を実施する。	令和７年度まで 環境局共管
産業労働局 産業・エネルギー政策部 新エネルギー推進課	**グリーン水素の社会実装化に向けた設備等導入促進事業**	• 脱炭素社会を支えるエネルギーの柱の一つとして期待されるグリーン水素の社会実装化を後押しするため、グリーン水素の製造、運搬・貯蔵、利用に用いる各設備の導入に助成する。	令和11年度まで 環境局共管
産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課 /新エネルギー推進課	**ＺＥＶ普及促進事業**	• 再掲	
産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課 /新エネルギー推進課	**シェアリング・レンタル用車両ZEV化促進事業**	• 再掲	
産業労働局 産業・エネルギー政策部 新エネルギー推進課	**燃料電池フォークリフト実装支援事業**	• 業務産業用車両のゼロエミッション化を後押しするため、燃料電池フォークリフトを導入する事業者等に対して、補助を行う。	令和12年度まで
産業労働局 産業・エネルギー政策部 新エネルギー推進課	**ZEVごみ収集車実装支援事業**	• 商用燃料電池モビリティの実装化に向け、燃料電池ごみ収集車の導入を検討する地元自治体と連携し、車両の導入に向けた支援や一定期間車両の無償貸与等を行う。	令和９年度まで
産業労働局 産業・エネルギー政策部 新エネルギー推進課	**燃料電池等トラック実装支援事業**	• 再掲	
産業労働局 産業・エネルギー政策部 新エネルギー推進課	**グリーン水素製造・利用の実機実装等支援事業**	• 水素製造メーカー等からグリーン水素の製造から利用までの機器構成に係るプランを公募し、そのプランに基づき機器を設置する事業者に導入経費の補助を実施する。	令和9年度まで

既存施策一覧

戦略 4 災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築

部署名	施策	施策概要	備考欄
産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課	**充電設備普及促進事業**	• 再掲	
産業労働局 産業・エネルギー政策部 事業者エネルギー推進課	**EVバス・EVトラック導入促進事業**	• 再掲	
産業労働局 農林水産部 森林課	**中・大規模建築物の木造木質化支援事業**	• 多摩産材をはじめとする国産木材の利用を拡大し、森林循環を促進するため、都内に建築を計画する民間施設において、木造木質化の設計・施工にかかる経費の一部を補助する。	
産業労働局 農林水産部 森林課	**森林資源を活用した魅力創出**	• 多摩地域の森林の魅力をさらに引き出すため、良好な景観の支障となっている立木を伐採し、園地整備を行うなどの森林整備を進めることにより、自然・森林の恩恵を受けられるよう環境を整え、加えて地域の活性化を促進する。	
住宅政策本部 民間住宅部 マンション課	**マンション再生まちづくり制度を活用したまちづくりの推進**	• 再掲	
都市整備局 都市基盤部 調整課	**豪雨対策の推進**	• 「東京都豪雨対策基本方針（改定）」において、気候変動を踏まえた年超過確率1/20の規模の降雨に目標を設定したことを受けて、近年の浸水被害の発生状況等を踏まえて対策強化流域を設定し、地域の特性に合わせた取組を明らかにした「流域別豪雨対策計画」を順次見直し、豪雨対策を推進する。	
都市整備局 都市基盤部 調整課	**貯留浸透施設の設置**	• 河川や下水道への雨水の流出を抑制する流域対策として、公共施設において貯留浸透施設の設置を推進するとともに、民間施設における貯留浸透施設の設置を促進していく。	
都市整備局 市街地整備部 再開発課	**市街地再開発事業**	• 再掲	

既存施策一覧

戦略 4 災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築

部署名	施策	施策概要	備考欄
都市整備局 市街地整備部 防災都市づくり課	**敷地面積の最低限度等を定める地区計画等の策定支援**	• 防災性の向上を目的とした地区計画の策定に向けて、現況調査、地区計画に関する基本方針作成、新たな防火規制区域の指定等に関する事業を支援する。 • また、防災都市づくり推進計画の基本方針改定（2025年３月）に伴い防災環境向上地区に対し、防災まちづくりの検討支援を行う。	
都市整備局 市街地整備部 区画整理課	**盛土等の崩落による災害防止に向けた取組**	• 盛土規制法に基づき、既存盛土調査を実施する。 • また、人工衛星による観測データ等の活用により、地形の改変が行われた箇所を抽出し、広範囲において不適正盛土を効率的に把握する。	
都市整備局 市街地建築部 建築企画課	**ブロック塀等の安全対策推進及び耐震化**	• 通行人の安全確保のため、耐震性が不十分なブロック塀等の除却や安全な塀への建替え等を支援する地元自治体に対して補助を実施する。 • また、特定緊急輸送道路の通行障害建築物となる組積造の塀について、耐震診断を義務付ける。	
都市整備局 市街地建築部 建築企画課	**戸建て住宅等の耐震化促進**	• 「東京都耐震改修促進計画」を策定し、2025年度末までに旧耐震住宅の耐震性が不十分な住宅をおおむね解消、2035年度末まで耐震性が不十分な全ての住宅をおおむね解消にすることを目標に、地元自治体と連携し、建物所有者の耐震化に向けた取組を支援するなど、住宅の耐震化を積極的に推進する。	
都市整備局 市街地建築部 建築企画課	**土砂災害対策改修事業**	• 土砂災害から人的被害を防ぐため、土砂災害特別警戒区域等に存する既存不適格建築物に対して、外壁の改修や移転等に助成を行う地元自治体を支援し、住宅・建築物の安全対策を促進する。	

既存施策一覧

戦略 4 災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築

部署名	施策	施策概要	備考欄
都市整備局 市街地建築部 建築企画課	**建築物の構造木質化の拡大促進事業**	• 脱炭素化に重要な炭素の固定化に向けた木材の利用拡大の促進を図るため、中大規模の構造木質化に必要となることが多い防耐火構造等の大臣認定について、その取得に係る手数料を補助する。 • また、構造木質化にあたり、大きな制約となる内装制限において、その除外規定を適用するために設置する機械設備に係る費用の一部を補助する。	
都市整備局 市街地建築部 建築企画課	**既存非住宅省エネ改修促進事業**	• 都内の建築物（非住宅）ストックについて、これらを将来にわたって有効活用していくために、国の交付金を活用して省エネ化を促進し、都内の建築ストック全体の省エネ性能の底上げを図る。 • そのため、既存の建築物（非住宅）において、建築物のエネルギーに係る専門的な技術が必要な省エネ診断と省エネ設計について、その費用を補助する。 • また、実際の工事にあたっては、開口部・躯体の断熱化や設備の効率化に係る費用について補助し、部分改修についても対象とする。	
都市整備局 市街地建築部 建築企画課	**緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の促進**	• 「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」にて、緊急輸送道路のうち特に沿道建築物耐震化を推進する必要のある道路を特定緊急輸送道路に指定し、一定の要件に該当する沿道建築物に耐震化状況の報告や耐震診断の実施を義務付けた。 • 東京都耐震改修促進計画をもとに、事業を推進していく。	
都市整備局 市街地建築部 建築企画課	**区市町村における再エネ促進計画策定支援事業**	• 再エネ促進区域制度における地元自治体の促進計画策定に係る費用の一部を補助することで、都内での本制度のより広い範囲での適用と建築物への再エネ設備設置の促進を図る。	

既存施策一覧

戦略 5 利便性の高い生活の実現と多様なコミュニティの創出

部署名	施策	施策概要	備考欄
子供政策連携室 企画調整部 企画調整課	**子供の遊び場等整備事業**	・ 再掲	
子供政策連携室 企画調整部 企画調整課	**多文化キッズサロン設置支援事業**	・ 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**まちづくり推進コンシェルジュ**	・ 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩地域における多様な主体との連携活動促進支援事業**	・ 再掲	
生活文化局 都民生活部 地域活動推進課	**地域の底力発展事業助成**	・ 町会や自治会の地域活動を推進するため、町会・自治会が主催し、多くの地域住民の参加・利用により地域の課題解決を図る取組（世代間交流イベント、防災訓練、デジタル活用支援等）に対して助成する。	
産業労働局 商工部 地域産業振興課	**商店街チャレンジ戦略支援事業**	・ 商店街の振興を図り、中小商業の経営の安定・発展及び地域経済の活性化に寄与することを目指して、商店街等が行うイベント事業及び活性化事業に対し、地元自治体と連携して支援を行う。	令和９年度まで
産業労働局 商工部 地域産業振興課	**地域連携型商店街事業**	・ 商店街と地域団体とが連携し、地域のニーズに対応して商店街を含めた地域一帯の賑わい創出に向けて行う取組を支援する地元自治体に対し、補助金を交付する。	令和９年度まで
産業労働局 商工部 地域産業振興課	**東京都スマート商店街推進事業**	・ 商店街全体のキャッシュレス化の推進やデジタルスタンプカード等のアプリ開発などのデジタル化に取り組む商店街に対し、コーディネーターの派遣や必要な機器の購入等に係る経費を補助し、導入前から導入、導入後までを支援する。	令和７年度まで
産業労働局 観光部 振興課	**多摩・島しょ地域観光施設整備等補助事業**	・ 多摩・島しょ地域への観光客増加を目的として、地元自治体が行う施設整備、情報発信等の新しい観光需要に対応したきめ細かな受入体制づくりを支援する。	

既存施策一覧

戦略 5 利便性の高い生活の実現と多様なコミュニティの創出

部署名	施策	施策概要	備考欄
住宅政策本部 民間住宅部 計画課	**空き家利活用等区市町村支援事業**	・ 再掲	
住宅政策本部 民間住宅部 計画課	**先駆的空き家対策東京モデル支援事業**	・ 再掲	
住宅政策本部 住宅企画部 企画経理課	**コミュニティサロン（集会所）やコミュニティ型サービス拠点を活用した「居場所」づくり**	・ 再掲	
住宅政策本部 民間住宅部 計画課	**東京都空き家ポテンシャル発掘支援事業**	・ 再掲	
住宅政策本部 都営住宅経営部 指導管理課	**東京みんなでサロン**	・ 再掲	
住宅政策本部 都営住宅経営部 指導管理課	**都営住宅における移動販売サービス**	・ 日常の買物が困難な買物弱者への支援策として、地元自治体の選定した移動販売事業者に対し、都営住宅団地内の敷地を移動販売場所として提供する。	
都市整備局 都市づくり政策部 広域調整課	**集約型の地域構造への再編に向けた取組の推進**	・ 再掲	
都市整備局 都市づくり政策部 広域調整課	**都市開発諸制度を活用したまちづくり**	・ 再掲	

既存施策一覧

戦略 6 四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築

部署名	施策	施策概要	備考欄
総務局 行政部 行政部振興企画	**まちづくり推進コンシェルジュ**	・再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩地域における多様な主体との連携活動促進支援事業**	・再掲	
環境局 自然環境部 緑環境課	**新たな時代にふさわしい自然公園事業の促進**	・自然公園施設のリニューアルやデジタルを活用した管理運営の推進により機能・利便性の向上を図る	
産業労働局 商工部 創業支援課	**産業サポートスクエア・TAMA**	・再掲	
産業労働局 商工部 創業支援課	**多摩イノベーション総合支援事業**	・再掲	
産業労働局 農林水産部 農業振興課	**生産緑地買取・活用支援事業**	・市の生産緑地買取りを支援するとともに、高収益農業を目指す農家を育成する研修施設や農福連携のための農園を市が整備する際、必要な施設整備に対して支援する。	
産業労働局 農林水産部 食料安全課	**東京産農産物消費拡大支援事業**	・東京産農産物の消費拡大と販路開拓のため、行政、商工会、観光協会、企業等を巻き込んだ、地域一体の取組を積極的に行う地元自治体及び農業協同組合等に対して、その経費の一部を支援し、地産地消を推進していく。	
産業労働局 農林水産部 森林課	**多摩産材の利用拡大**	・多摩の森林の循環を継続するため、多摩産材の利用拡大を推進し、多摩地域の林業・木材産業の活性化を図るとともに、木の良さや木材を使う意義を普及・PRする。	
産業労働局 農林水産部 森林課	**森林資源を活用した魅力創出**	・再掲	

既存施策一覧

戦略 6 四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築

部署名	施策	施策概要	備考欄
建設局 河川部 計画課	**河川空間のオープン化**	• 自然豊かな多摩地域の河川の清流や水辺空間を活かすとともに、水辺の利活用を促進し、にぎわいの創出を図る。	
建設局 公園緑地部	**民間活力を導入した都立公園の賑わい創出**	• 民間活力を導入した都立公園の多面的な活用により、賑わいの創出を推進する。	
都市整備局 都市づくり政策部 緑地景観課	**農の風景育成地区の指定**	• 農のある風景を将来へ引き継ぐため、農地や屋敷林等が比較的まとまって残る地区を農の風景育成地区に指定。地区指定により、散在する農地を一体の都市計画公園等として計画決定することが可能なため、農業継続が難しい農地を市区長が取得し公園整備することができる。	
都市整備局 都市づくり政策部 緑地景観課	**農の風景育成地区補助（地区指定前＋指定後）**	• 地元自治体が行う「農の風景育成地区」の指定に向けた事業に要する経費について、都が費用の一部を補助することにより、「農の風景育成地区」の指定を促進。地区指定後の農を活用した取組を促すため、指定後補助をあわせて実施。	指定後補助は 令和８年度まで
都市整備局 都市づくり政策部 緑地景観課	**緑農住プロジェクト**	• 東京大学提案事業「新しい『緑農住』まちづくり事業」の取組成果を踏まえ、地元自治体と連携し、都市の貴重な緑である都市農地が減少傾向を続ける東京において、各地域の特性を踏まえて、緑地や農地を活用した「緑農住」まちづくり（農地や里山、屋敷林等の農的土地利用と住宅地が一体となったまちづくり）を推進。	
都市整備局 都市づくり政策部 緑地景観課	**生産緑地公園補助制度**	• 生産緑地を公園緑地として活用するため、都市計画公園・緑地内での生産緑地買取申出等に対応する市に対し補助を行う。	

既存施策一覧

戦略 6 四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築

部署名	施策	施策概要	備考欄
都市整備局 都市づくり政策部 緑地景観課	**緑あふれる公園緑地等整備事業**	• 都市計画施設以外の公園緑地計画地を対象に、東京の緑の骨格の保全、身近な公園の充実など、都市における緑の保全創出へ取り組む自治体に対し補助を行う。	
都市整備局 市街地整備部 防災都市づくり課	**住宅市街地総合整備事業（拠点開発型）**	• 再掲	

既存施策一覧

戦略 7 芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出

部署名	施策	施策概要	備考欄
総務局 行政部 行政部振興企画	**まちづくり推進コンシェルジュ**	• 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩の魅力発信プロジェクト**	• 再掲	
総務局 行政部 行政部振興企画	**多摩地域における多様な主体との連携活動促進支援事業**	• 再掲	
スポーツ推進本部 スポーツ施設部 経営企画課	**多摩地域のスポーツ振興の拠点形成**	• 東京2020大会やラグビーワールドカップ2019™が開催された東京スタジアム、東京2020大会が開催された武蔵野の森総合スポーツプラザ、周辺の公園を一体と捉え、多摩地域のスポーツ拠点として、スポーツに親しめる環境を創出する。	令和５年３月に東京スタジアム内に「東京都パラスポーツトレーニングセンター」が開所
スポーツ推進本部 国際スポーツ事業部 国際大会課	**「THE ROAD RACE TOKYO」の開催**	• 多摩地域における自転車ロードレース「THE ROAD RACE TOKYO」を開催することで、東京2020大会のレガシーを未来に継承し、身近なスポーツとしての自転車への興味や関心に繋げるとともに、コースとなる多摩地域の魅力発信を図る。	
生活文化局 文化振興部 文化事業課	**伝承のたまてばこ**	• 多摩地域の文化資源を活用して伝統文化・芸能の魅力を発信するフェスティバルをJR八王子駅北口周辺のまちなかや屋外ステージなどの各会場において開催するほか、郷土芸能を発信する民間の取組を支援する。	
生活文化局 文化振興部 文化事業課	**地域で芸術文化に親しめる環境創出事業**	• 市区町村やNPO等と連携し地域ニーズに即した文化事業の展開を通じて、住民が地域やまちなかで気軽に芸術文化に触れる機会を創出する。	
生活文化局 文化振興部 文化事業課	**地域芸術文化活動応援助成**	• 多摩地域を含む都内の各地域の特色ある文化の醸成・発展を促進する芸術文化活動や、各地域の文化財や文化資源を未来に向けて継承し、その魅力を地域内外に広く発信する取組を支援する。	

既存施策一覧

戦略 7 芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出

部署名	施策	施策概要	備考欄
スポーツ推進本部 スポーツ総合推進部 スポーツ課	**スポーツ空間バージョンアップ補助事業**	• 誰もが身近な場所で安全に多様なスポーツを楽しめる空間を整備し、都民の日常にスポーツが溶け込んでいる「スポーツフィールド・東京」と、スポーツを通じた共生社会の実現を目指すため、市区町村が地域のニーズ等に応じて行うスポーツ空間のバージョンアップに係る取組を支援する。	令和７年度まで
環境局 自然環境部 緑環境課	**新たな時代にふさわしい自然公園事業の促進**	• 再掲	
産業労働局 観光部 振興課	**アニメ等コンテンツを活用した誘客促進事業**	• 再掲	
産業労働局 観光部 振興課	**多摩・島しょ地域観光施設整備等補助事業**	• 再掲	
産業労働局 観光部 振興課	**東京の多様性を活かした観光まちづくり推進支援事業**	• 再掲	
産業労働局 観光部 振興課	**多摩の観光・産業振興ネットワーク事業**	• 多摩地域のコーディネート役となる団体に対し助成し、面的・広域的に事業を展開することで、多摩地域への国内外の旅行者誘致とリピーター増加を促進し、多摩地域における観光振興や、観光ビジネスの創出による産業振興の継続・発展を図る。	令和８年度まで
産業労働局 農林水産部 森林課	**森林資源を活用した魅力創出**	• 再掲	
産業労働局 観光部 振興課	**多摩地域魅力ＰＲ事業**	• WEBサイトやSNSの活用、海外・国内メディアとのタイアップ等により、多摩地域の魅力を国内外に発信する。	

既存施策一覧

戦略 7 芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出

部署名	施策	施策概要	備考欄
産業労働局 観光部 受入環境課	**観光インフラ整備支援事業**	• 持続可能な観光に向けて、地元自治体における地域の特色を活かし、地域の実情に応じた、ハード・ソフト両面における外国人旅行者の受入環境整備の計画的な実施を支援する。	令和11年度まで
教育庁 地域教育支援部 管理課	**文化財の保存助成**	• 多摩地域の国指定及び都指定文化財を良好な状態で保存し、後世に伝えるため、有形文化財の解体・復元修理、破損修理、無形文化財保存・伝承等の取組を支援する。	
教育庁 地域教育支援部 管理課	**文化財情報の外国人旅行者等への提供**	• 外国人観光客が訪れる魅力的な観光エリアを創出するため、外国語により文化財情報を発信するとともに、文化財の案内板の多言語化を進める。	

巻末掲載　7.2 各拠点におけるまちづくりの戦略

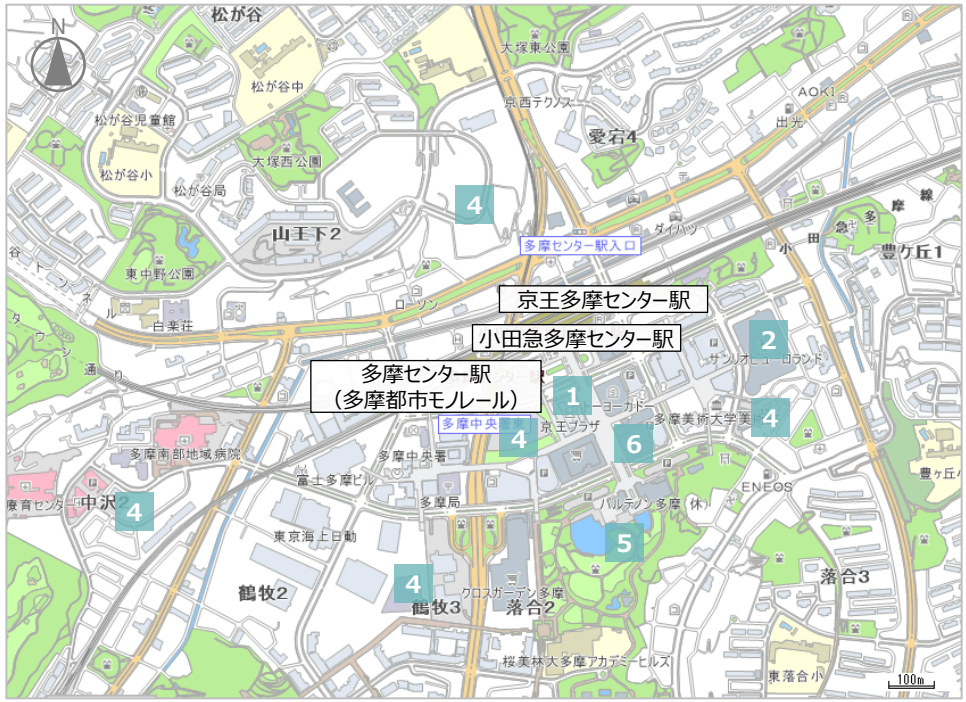
中核的な拠点：多摩ニュータウン（多摩センター）

現状と課題

- 鉄軌道３路線とバスターミナルを有する多摩ニュータウンの交通結節点であり中心駅となっている。
- 駅南側は歩車分離による基盤整備が完了しており、沿道施設と調和されたまちの魅力につながっている。
- 駅周辺の都市計画道路においては、回遊性向上に向けては、高低差による勾配や階層へのバリアフリーへの対応、老朽化対策が必要となっている。
- 商業・業務形態の土地利用から、居住も含めた複合的利用を視野に入れた検討が必要である。
- 第5次首都圏基本計画で業務核都市に位置付けられ産業立地が進められてきたが、社会情勢の変化や都市間競争により事業所等の撤退もあり、エリアの活性化のためには、駅前を中心とした新たな来街目的を創出する事業所等の立地促進が重要となる。
- リニア中央新幹線の開業や多摩都市モノレールの延伸など、交通網の整備が予定されている。
- 開発当初の使い方の想定や前提が変化し、活用されない場も増えている。
- 関係人口の増加や来街者の滞在時間の増加のために、エリア価値向上に向けた「まちづかい」を起点とした官民連携の取組が必要となる。
- まちのにぎわい創出は、地域主体の更なる意識醸成が必要である。

将来像

- 市の中心的な拠点であり、また、多摩ニュータウンの中心として、業務・産業、商業、教育・文化、アミューズメント、医療・福祉、公共・公益など、多様な機能が高度に集積するとともに、居住など新たな都市機能も加わった、利便性の高い拠点が形成されている。
- 適切な管理や更新により、これまで整備されてきたゆとりある都市基盤を有効に活用し、市内外から人々が集まり、活動できる空間があるとともに、回遊性に優れた、誰もが楽しく歩きやすい、心地よい空間が形成されている。
- 多摩都市モノレールの町田方面等の延伸や、鉄道・バス、新たなモビリティなど市内外から多くの人々が集まる交通結節点として、乗り継ぎ環境の改善や、誰もが訪れやすく、移動しやすい環境が整備されている。
- 地元企業や住民など、多様な主体による活発なコミュニティ活動や協働のまちづくりにより、新たな魅力や活力・にぎわいが生まれる拠点が形成されている。
- 低未利用地や既存建物ストックを有効に活用し、商業・業務機能などの都市機能の強化が図られている。
- 「再生可能エネルギービジョン」に基づき、脱炭素社会実現に向け推進することで新しいまちの姿が実現している。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

5 多摩中央公園改修整備工事
出典：多摩市提供

7　TAMA拠点形成プロジェクト

中核的な拠点：多摩ニュータウン（多摩センター）

拠点づくりの具体的な取組

1	**多摩センター地区の賑わいづくり**	多摩センターに立地する企業を中心とした任意団体である多摩センター地区連絡協議会と多摩中央公園の指定管理者であるTAMAセントラルパークJVが四季折々のイベントを連携しながら実施し、にぎわいづくりに取り組んでいる。	戦略5
2	**ハローキティにあえる街 多摩センター**	平成14年度からハローキティを活用した「ハローキティにあえる街」を多摩センター立地企業等と協力・協働し活性化に取り組む。多摩センター駅周辺では、サンリオキャラクターによるさまざまなイベントを開催している。	戦略5
3	**「（仮称）多摩センター地区　まちのビジョン」と地域組織との連携による取組の推進**	多摩センター地区のまちのニーズと、行政、企業の課題がマッチングしたテーマを基軸とし、作成を予定している「（仮称）多摩センター地区　まちのビジョン」を基に、地域で活動する組織と連携してシビックプライドを醸成するとともに具体的な整備内容等を検討し、実現に向けた取組を推進する。	戦略5
4	**多摩センター駅（南・北・西側地区）周辺の施設立地の推進**	機能集積が進んでいるが、引き続き未利用地の活用を促進する。	戦略1
5	**多摩中央公園改修整備工事・運営事業**	公募設置管理制度（Park-PFI制度）を活用し、改修にあわせ整備された民間施設により都市公園の質の向上や利用者の利便性の向上を図る。また、多摩中央公園及び公園内・周辺施設を核に、市民・団体、企業等が連携し、そのにぎわいの波及により、多摩センター地区の魅力を向上し、にぎわいの面的拡がりを推進する。	戦略6
6	**都市再生整備計画事業進**	平成29年度からコンパクトな都市構造への再編を目指す多摩ニュータウンの広域拠点・駅拠点にふさわしい魅力とにぎわいあふれる街づくりを目標とし実施している。 令和4年度からは官民一体となったにぎわいのある歩行者空間、滞留空間の創出、維持・活用を行うオープンカフェ事業を実施し、令和７年度からは滞在環境の創出に向け「まちなかウォーカブル推進事業」を実施する。	戦略1

7　TAMA拠点形成プロジェクト

中核的な拠点：多摩ニュータウン（多摩センター）

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	多摩センター地区の賑わいづくり	民間	協議会やイベントを都度開催			継続実施
2	ハローキティにあえる街多摩センター	民間	都度開催			継続実施
3	「（仮称）多摩センター地区　まちのビジョン」と地域組織との連携による取組の推進	市	社会実験等、都度実施 計画等策定	事業内容検討中 計画等策定	計画等策定	検討中
4	多摩センター駅（南・北・西側地区）周辺の施設立地の推進	都・市・UR	検討	検討	検討	継続実施
5	多摩中央公園改修整備・運営事業	市・民間	工事	公園運営事業	公園運営事業	継続実施
6	都市再生整備計画事業	市	（第２期） 令和４年度～令和６年度	（第３期） 令和７年度～令和９年度	（第３期） 令和７年度～令和９年度	令和９年度

中核的な拠点：多摩ニュータウン（永山）

現状と課題

- ２路線の乗換えが可能な駅であり、多摩市の中心に位置し、医療機関や生活利便施設が充実している。また、南多摩尾根幹線沿道の土地利用転換などにより、利便性やゆとりある環境を求め移転してきた先端企業が集積されるエリアが形成されている。
- 駅前商業施設の老朽化への対応と合わせバリアフリー化が求められている。
- 多摩ニュータウンの初期入居地区であることから、高低差や施設の老朽化、また少子高齢化の進展が顕著となり、団地再生を含めた対応が求められている。

将来像

- 多摩センター駅と連携しつつ、商業、医療・福祉、業務、公共・公益、文化・交流などの拠点機能や、多世代、多様なニーズに応じた住宅等が形成されている。
- 永山駅前の市有地（旧多摩ニュータウン事業本部用地）を含め、駅周辺街区の土地の高度利用化による一体的な更新が図られ、駅拠点の再構築が実現している。

7 若者のまちづくり（未知カフェ）
出典：多摩市若者会議HP

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

中核的な拠点：多摩ニュータウン（永山）

拠点づくりの具体的な取組

1	**諏訪・永山地区のまちづくり**	現在、平成30年2月市策定の「多摩ニュータウン リ・デザイン 諏訪・永山まちづくり計画」も踏まえながら、都営住宅・UR賃貸住宅の建替事業が進行している。同計画の永山駅周辺拠点の再構築プロジェクトに基づく勉強会を開催し、駅周辺地権者とともに再構築の方針・将来像を検討する。また、令和4年度に東京都が「諏訪・永山再生プロジェクト検討会議」を立ち上げ、都と市が事務局を担い永山駅周辺の再構築の検討を推進する。	戦略1
2	**たまＮＥＷプロジェクト（京王電鉄株式会社・ＵＲ都市機構・多摩市）**	3者の連携により、ＭＵＪＩ×ＵＲのモデルルーム見学などの住環境見学ツアーや、市域の魅力を再発見するフォトコンテスト、小学生を対象とした夏休みに子どもが楽しく過ごせるエリアとして学習の場や居場所の提供などを実施する。	戦略5
3	**住みたくなる街 多摩ニュータウン 運営（京王電鉄株式会社・ＵＲ都市機構・八王子市・多摩市・稲城市）**	八王子市、多摩市、稲城市、町田市にまたがる多摩ニュータウンについて、共通のテーマで５者それぞれの視点から、各エリアの持つ特徴や魅力を京王沿線口コミ情報サイト「街はぴ」を通して発信する。	戦略3
4	**住宅市街地総合整備事業**	既成市街地において、快適な居住環境の創出、都市機能の更新、美しい市街地景観の形成等を図るため、住宅等の整備、公共施設の整備等を総合的に行う事業である。諏訪・永山地区について平成23年度から実施している。	戦略1
5	**福祉のネットワーク永山**	地域住民同士が支え合い、地域課題を解決するためのネットワークを作り、自発的な地域の福祉力の向上を支えている。地域で活動をしている団体と連携し、地域内の情報の共有化を図る。	戦略5
6	**地域協創**	第六次多摩市総合計画基本理念の「多摩市らしい地域共生社会の実現」として多世代の参画、多分野の協働による誰もがつながりあえるコミュニティを形成することで、地域課題解決や地域価値創造を目指す取組であり、令和2年度から諏訪中エリア等でモデル事業を実施している。	戦略5
7	**若者のまちづくり（未知カフェ）**	2017年度の多摩市若者会議のアイデアから生まれたカフェ機能を持った街づくり拠点である。多摩市若者会議とは2017年に多摩市の事業としてスタート、多摩市を若者・子育て世代に魅力ある街にするため、アイデア創出、企画立案・実践する。	戦略1

7　TAMA拠点形成プロジェクト

中核的な拠点：多摩ニュータウン（永山）

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	諏訪・永山地区のまちづくり	都・市・地権者		地域街づくり計画の検討		検討中
2	たまＮＥＷプロジェクト	民間		魅力発信、イベント等		継続実施
3	住みたくなる街　多摩ニュータウン　運営	民間	情報の発信（令和6年7月31日終了）			令和６年度
4	住宅市街地総合整備事業	民間・都・市		事業実施		令和10年度
5	福祉のネットワーク永山	民間		地域の団体等による活動		継続実施
6	地域協創	市		検討・実践		継続実施
7	若者のまちづくり（未知カフェ）	民間		地域の団体等による活動		継続実施

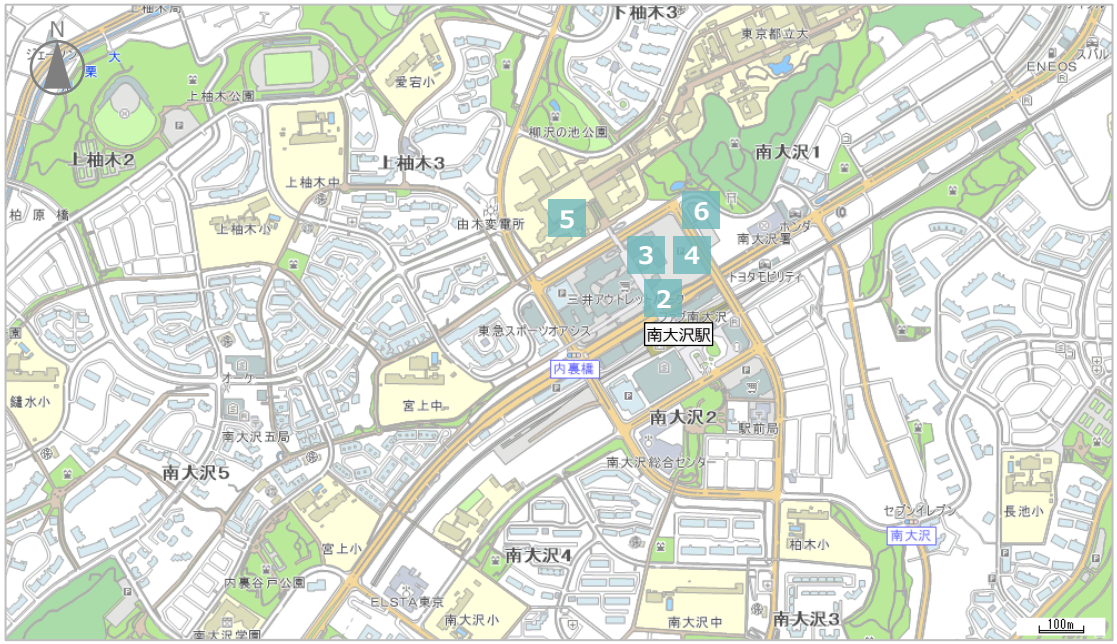
中核的な拠点：多摩ニュータウン（南大沢）

現状と課題

- 南大沢駅は大型商業施設を中心に様々な生活機能やサービス、産業・業務機能が集積している。
- 東京都立大学があり、若い世代や留学生など多様な人が行き交う場となっている。
- 周辺のみどり豊かな自然環境と調和した計画的に整備された住宅市街地を形成している。
- 老朽化した施設や、共同住宅等の建替えやストック活用への対応が求められる。
- 高低差のある地形や高齢化の進展を見据え、暮らしを支える利便機能・サービスの充実や公共交通を使って歩いて暮らせる環境づくりが求められる。

将来像

- 地域における交流や日常生活を支える拠点であり、中心拠点の機能と連携、商業、業務、生活支援サービスの都市機能の集積を図りつつ、最先端の研究とICT活用による住民生活の向上が融合した持続可能なスマートなまちになっている。
- 多摩センター駅周辺とも機能連携を図りながら、周辺のみどり豊かな自然環境と調和した地域拠点が形成されている。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

南大沢駅前

2 出典：「南大沢駅前バスロータリー」©Hachioji City (licensed underCC BY 4.0)

6 南大沢スマートシティの将来イメージ
出典：東京都HP

7　TAMA拠点形成プロジェクト

中核的な拠点：多摩ニュータウン（南大沢）

拠点づくりの具体的な取組			
1	**地域づくり推進会議による取組**	「南大沢に関わるすべての人が安心して過ごすことができる、アットホームなまちにしたい」「豊かな緑やスマートシティの取組によって、より良いまちが後世に続いてほしい」という想いを込めた地域の将来ビジョンとして「つづくつながる」を掲げ、その実現に向けて「地域ぐるみの体制づくり」や「みんながつながる機会・場づくり」などにつながる取組を、活動団体である“Joynみなみおおさわ”を立ち上げ進めている。	戦略1
2	**元気な街南大沢協力の会　運営支援**	約40の企業や団体が加盟する会。2003年に発足し、駅周辺活性化のため南大沢駅前を中心にイベントを中心とした様々なエリアマネジメント活動をしている。	戦略7
3	**南大沢マルシェの運営支援**	「子どもの笑顔と地域住民の笑い声を創ろう」とテーマに南大沢駅前歩道にて地場野菜、全国の産地直送の新鮮野菜やご当地グルメ、八王子の逸品があるイベントを開催している。	戦略1
4	**シェアサイクル実証実験事業**	回遊性向上による地域や観光の活性化や公共交通の補完、環境負荷低減等を目的として、民間事業者との共同によるシェアサイクルの事業を実施する。	戦略2
5	**多摩都市モノレール八王子ルート整備促進**	八王子ルートの早期整備の実現に向けて、新たな土地利用を図るなど、需要を高める沿線まちづくりを進めるとともに、有識者による検討会議を立ち上げ、事業性を高めるルート検討など、課題解決に向けて戦略的な検討を進める。市民の機運醸成に向けて、車両基地見学会の開催等の啓発イベントを実施する。	戦略2
6	**先端技術を活用したまちづくり**	東京都、東京都立大学、八王子市、地元企業及び通信事業者等の連携のもと、「南大沢スマートシティ協議会」を令和２年10月27日に設立し、 先端技術を活用した分野横断型サービスの令和５年度からの都市実装を目指す。	戦略1
7	**都有地を活用したまちづくり**	南大沢駅北側都有地について、令和５年３月に策定した「南大沢駅周辺地区まちづくり方針」の実現に向け、民間事業者との協力のもと、にぎわいの維持・形成、スマートシティの取組、地域に根差したエリアマネジメント実施する。	戦略1

7　TAMA拠点形成プロジェクト

中核的な拠点：多摩ニュータウン（南大沢）

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	地域づくり推進会議による取組	市	「地域づくり推進計画」に基づく取組			継続実施
2	元気な街南大沢協力の会運営支援	市	継続	継続	継続	継続実施
3	南大沢マルシェの運営支援	市	継続	継続	継続	継続実施
4	シェアサイクル実証実験事業	民間 市	本格実施へ移行 ビッグデータの活用検討	ビッグデータの施策展開活用		継続実施
5	多摩都市モノレール八王子ルート整備促進	市	啓発活動・要望行動・東京都との協議 ルート検討	沿線まちづくり検討		継続実施
6	先端技術を活用したまちづくり	都・民間	スマートサービスの実装に向けた取組を継続			継続実施
7	都有地を活用したまちづくり	都・民間	●定期借地契約終了・新規契約開始 にぎわいの維持・形成　エリアネジメント・スマートシティの取組			継続実施

中核的な拠点：多摩ニュータウン（若葉台）

現状と課題

- 多摩ニュータウン事業にて整備され、緑の豊かな住環境が形成されている。
- 「自転車のまち稲城」を掲げ、自転車利用者にとって魅力的なまちづくりを進めている。
- これまで都市基盤整備等による良好な住宅都市が形成されている。
- 概ね都市基盤整備が完了しているため、本地区では良好な住環境を今後も維持していくとともに各々の生活拠点と機能分担するなどして連携し、まちの活力を創出することが必要である。
- 「自転車のまち稲城」を掲げていることから、安全で快適な自転車通行空間等の整備や観光との連携等による自転車が走りやすい環境整備が必要である。
- 新たな都市基盤整備による安全施設の整備、街灯の増設などの安全性の確保などの取組が必要である。
- 多摩ニュータウンの良好な住宅地の景観を今後も次世代に継承していくため、風景を保全し、稲城らしい「季節が息づく、美しい都市景観」の形成が必要である。

将来像

- 多摩ニュータウン稲城地区の玄関口となる、広域的な拠点を形成している。
- 商業機能や業務機能を軸に、全市を対象とした広域的な交流や市民活動に資する機能の誘導が実現している。
- 中心地区を補完するサブ拠点として、良好な基幹空間をいかし、商業、業務機能を軸に、居住機能など様々な都市機能を維持し、成熟したまちが実現している。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 オネカン戦士稲城ペダリオン
出典：稲城市HP

1 観光案内マップ（稲城ぶらり散歩）
出典：稲城市HP

中核的な拠点：多摩ニュータウン（若葉台）

拠点づくりの具体的な取組

1	**アニメを活用したまちづくり（観光案内マップの作成）**	稲城市の魅力を知ってもらうための観光案内マップ「稲城ぶらり散歩」は、市内のみどころやスポットを、散策コースと併せて記載している。	戦略7
2	**産業振興支援（企業誘致・駅前出店時の補助）**	企業誘致制度では、立地した企業に奨励金を交付する。市民の雇用促進や、市内業者を利用して事業所建設を行った場合は加算を行う。 駅周辺店舗出店補助事業では駅周辺のにぎわい創出を目的とし、駅周辺地域に新規に出店する創業者に出店時の費用の一部を補助する。	戦略1
3	**地区計画**	地区計画は、地区の特性に応じて計画的により良い市街地環境へ誘導する制度で、若葉台センター地区、若葉台北地区で地区計画区域を定めている。	戦略1
4	**若葉台地区の施設立地の促進**	定期借地期限満了後の取扱いについて調整する。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**アニメを活用したまちづくり（観光案内マップの作成）**	**市**	更新	－	更新	継続実施
2	**産業振興支援（企業誘致・駅前出店時の補助）**	**市**		随時		継続実施
3	**地区計画**	**市**		随時		継続実施
4	**若葉台地区の施設立地の促進**	**市**		定期借地期間		令和10年

枢要な地域の拠点：吉祥寺

現状と課題

- 駅周辺は、回遊性と界わい性を特徴とした、誰もが安心して楽しく歩くことができるまちが形成されているが、一部の時間帯や通りでは、歩行者と車両の交錯や、荷さばきの駐車車両が交通安全上の問題となっている。平成 23 年よりセントラルエリアを対象に共同集配送事業を開始し、荷さばき問題に積極的に取り組んでいる。
- 交通規制により附置義務駐車場を設けることが困難な地区がある。また、駐車場の需要実態と、建築に伴う駐車場の附置義務台数がかい離している場合がある。
- ハーモニカ横丁をはじめ、駅周辺には高経年化した建物が立地しているため、安全性・防災性の向上が求められている。
- 井ノ頭通りは、広域交通を担う幹線道路と交通結節点としてバス乗場の役割を有しているが、２つの役割に対して十分な空間となっていない。また、井ノ頭通りを横断する歩行者交通量が多く、自動車や歩行者の混雑が生じている。パークロードは、駅前で路線バスの降車を行っていることから、路線バスと歩行者の通行が輻輳し、安全性・快適性が著しく低下している。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

将来像

- 個性的な店舗や商業施設を中心に、業務、医療、文化交流施設など様々な機能が集積し、都内でも有数のにぎわいが創出された回遊性が高い枢要な地域の拠点が形成されている。
- 駅周辺では、都立井の頭恩賜公園の他住宅地の緑豊かな環境とゆとりある街並みを維持し、様々な世代が安心して住み続けられる高質な住環境が形成されている。

南口駅前暫定広場
出典：武蔵野市提供

枢要な地域の拠点：吉祥寺

拠点づくりの具体的な取組

1	**吉祥寺方式物流対策事業**	吉祥寺での荷さばきの基本方針、各プレイヤーの取組目標、荷さばき問題への取組状況を整理し、平成24年に「きっちり・すっきり・吉祥寺　荷さばきガイドライン」を発行。定期的に「荷さばきルール徹底週間」を実施している。	戦略2
2	**吉祥寺パークエリアまちの将来像立案**	吉祥寺パークエリアが今後も魅力的なまちとして発展、継続していくため、それぞれの事業や実施主体が同じ方向を目指し、ともにより良いまちづくりを進めていくための"共通の行き先"を示す「吉祥寺パークエリアのまちの将来像」を立案する。	戦略1
3	**武蔵野公会堂の改修**	老朽化が進む武蔵野公会堂の更新について検討し、有識者会議等の実施を経て、「武蔵野公会堂改修等基本計画」を令和５年４月に策定した。	戦略5
4	**武蔵野3･3･14号線南口駅前広場事業**	歩行者の安全性・利便性の向上、また井ノ頭通りのバス停の削減による交通の円滑化を図るため、平成12年に面積約1,900㎡の交通広場を都市計画決定した。	戦略2
5	**区画道路（市道第104、151、190、298、299号線）の整備**	駅周辺の利便性の向上や地区内の合理的な土地利用を図る。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**吉祥寺方式物流対策事業**	**民間･市**		実施		継続実施
2	**吉祥寺パークエリアまちの将来像立案**	**市**	周知･機運醸成	将来像の検討		令和10年
3	**武蔵野公会堂の改修**	**市**	設計		改修	令和９年
4	**武蔵野3･3･14号線南口駅前広場事業**	**市**		用地交渉･整備		継続実施
5	**区画道路（市道第104、151、190、298、299号線）の整備**	**市**		用地交渉･整備		継続実施

枢要な地域の拠点：武蔵境

現状と課題

- 駅周辺には大規模店舗が立地し、その周辺には生活に密着した路線商店街が広がっている。
- 鉄道の連続立体交差事業により、南北を接続する道路が整備され南北一体のまちが形成されている。
- 武蔵野プレイスや境南ふれあい広場公園の他、高架の側道、北口駅前広場など多くの都市基盤整備が進んだため、駅周辺の利便性が著しく向上した。一方で、駅周辺の未整備の都市基盤について、引き続き事業の推進が必要となる。

将来像

- 土地の有効活用により、商業等の生活利便施設が集積し、南北一体のにぎわいや交流の生まれる枢要な地域の拠点が形成されている。
- 駅周辺の道路整備が進むことで、地域の利便性や安全性が向上している。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 武蔵野３・４・２号線

出典：武蔵野市提供

2 武蔵境駅北口の区画道路

出典：武蔵野市提供

3 境南ふれあい広場公園

出典：武蔵野市提供

枢要な地域の拠点：武蔵境

拠点づくりの具体的な取組

1	**武蔵野３・４・２号線（天文台通り）の整備**	東京都と武蔵野市が連携・協力して整備（第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業）を行うことで、駅周辺のまちづくりの促進のほか、地域の利便性や防災性の向上を図る。	戦略2
2	**武蔵境駅北口の区画道路（市道第262、263、264、266、267、269号線）の整備**	適正な土地利用の促進と防災機能の向上を図る。	戦略2
3	**境南ふれあい広場公園のあり方検討**	境南ふれあい広場公園は、「武蔵境のまちづくり」の拠点として、武蔵野プレイスと一体となった緑豊かな憩いの場となっており、多くのイベントが開催されるなど、地域の活性化とにぎわい創出の観点から柔軟な利用ができる公園となっている。開園当初、緑あふれる空間として親しまれていたが、現在では、芝生の擦り切れや裸地化等が進んでおり、改めて公園のあり方について地域とともに検討を進めていく。	戦略7

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**武蔵野３・４・２号線（天文台通り）の整備**	**都・市**	用地交渉・整備			令和7年度（事業認可期間）
2	**武蔵境駅北口の区画道路(市道第262、263、264、266、267、269号線）の整備**	**市**		用地交渉・整備		継続実施
3	**境南ふれあい広場公園のあり方検討**	**市**		検討・設計		検討中

枢要な地域の拠点：三鷹

現状と課題

（武蔵野市側）
- 北口駅前広場に放射状に４つの路線が接続しており、交通錯綜するほか交通需要に見合った交通結節点として必要な交通機能を満たせていない。
- 三鷹駅は駅乗降客数が多く、一定の業務集積が進む一方で低利用地が散在し、商業店舗の連なりが途切れている。
- 玉川上水、中央大通りなど豊かな緑や、空が開けた駅前広場などによって落ち着いた雰囲気となっている。

（三鷹市側）
- 三鷹駅前地区を市の活性化の拠点として整備し、その効果を市全体へ波及させていくことが必要。
- 三鷹駅前地区は人口密度が高く、他の地区に比べて緑が少ない。
- 三鷹駅前広場は通勤時等における交通混雑の課題があり、また、駐輪場不足などの問題もある。
- 大規模なマンション等の開発により商業店舗が減少している一方、放置自転車などが多い。
- 多くの市民・事業者から散策できるまちを望む声がある。

将来像

（武蔵野市側）
- 補助幹線道路の整備による交通環境の変化を契機とした「歩行者を中心とするにぎわいのエリア」として、新しい交通体系を構築し、街のにぎわいを楽しめる歩きやすい街が形成されている。
- 三鷹駅を交通結節点として、誰もが安全で快適に利用できる交通環境を整え、業務集積と商業店舗の連なりを誘導し、住む人と働く人が集う、活力のある持続可能な街が形成されている。
- 駅から広がる歩きやすい空間によって緑豊かでゆとりあるパブリックスペースをつなぎ、住む人と働く人が知的活動や知的交流などによって思い思いに居場所を楽しみ、ゆとりの中で心地よく過ごす街が形成されている。
- 市街地整備や商業などの活性化に加え、民間施設を活用した誘導策として産業の集積が推進されている。

（三鷹市側）
- 緑をつないで市全体をにぎわいのある「緑のまち」にする“百年の森”構想の実現への第一歩として、子どもの笑顔と夢であふれる“子どもの森”（仮称）のコンセプトに基づき、市の内外からたくさんの人が集い、憩える、緑豊かな空間が整備されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

3 三鷹駅北口地区補助幹線道路
出典：三鷹駅北口街づくりビジョン
（平成29年５月）

枢要な地域の拠点：三鷹

拠点づくりの具体的な取組

（武蔵野市側）

1	**三鷹駅北口街づくりビジョンに基づく施策の推進**	「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」の実現に向け、三鷹駅北口らしい企業展開の促進や玉川上水の活用と顔となる空間づくり等施策の推進を図る。	戦略1
2	**新たな交通体系の構築に向けた取組**	三鷹駅北口交通環境基本方針に基づき、交通環境課題の解決やウォーカブルなまちづくりの推進を目指し、協議・検討を進める。	戦略2
3	**三鷹駅北口地区補助幹線道路(市道第129、293号線)の整備**	駅前広場に進入する通過交通を迂回させ、沿道の土地利用の促進を図る。	戦略2

（三鷹市側）

4	**三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業**	「緑と水の公園都市」の玄関口のシンボルとして、三鷹駅前地区の活性化の拠点となるよう整備を進め、「付加価値の向上」や「三鷹の魅力向上」を目指す。	戦略1
5	**緑化推進整備事業**	“百年の森”構想の実現に向け、三鷹駅前地区で積極的に緑化を推進する。	戦略6
6	**交通環境改善事業**	交通課題の改善に取り組み、利便性、安全性の向上を図るとともに、駐輪場の整備を検討する。	戦略2
7	**中央通り商業空間整備事業**	歩行者の回遊性とにぎわい創出、景観づくりに重点を置いた整備に取り組み、商業者を支援していく。	戦略1
8	**回遊性を生む道路環境整備事業**	歩行者と自転車利用者を基本とした歩きたくなる（ウォーカブルな）まちづくりを推進する。	戦略2
9	**バリアフリー基本構想の改定**	心のバリアフリーの推進や、重点整備地区内で特定事業の推進を図る。	戦略2

枢要な地域の拠点：三鷹

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	三鷹駅北口街づくりビジョンに基づく施策の推進	武蔵野市	継続			継続実施
2	新たな交通体系の構築に向けた取組	武蔵野市	三鷹駅北口交通環境基本方針に基づく調査・検証・事業化の検討			概ね2030年代
3	三鷹駅北口地区補助幹線道路（市道第129、293号線）の整備	武蔵野市	用地交渉・整備			継続実施
4	三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業	三鷹市・UR	計画検討・合意形成・調整			継続実施
5	緑化推進整備事業	三鷹市	調査・研究			継続実施
6	交通環境改善事業	三鷹市	調査・研究			継続実施
7	中央通り商業空間整備事業	三鷹市	調査・研究			継続実施
8	回遊性を生む道路環境整備事業	三鷹市	調査・研究			継続実施
9	バリアフリー基本構想の改定	三鷹市	改定			令和6年度

枢要な地域の拠点：府中

現状と課題

- 府中駅・府中本町駅周辺は府中市都市計画に関する基本的な方針において中心拠点として位置づけられ、市域各所から公共交通アクセス性に優れ、市民に行政中枢機能、相当程度の商業集積などの高次の都市機能を提供する拠点である。
- 武蔵国府が置かれていたことから、大國魂神社をはじめとした寺社や国天然記念物馬場大門のケヤキ並木等の歴史・文化資源が多く存在する府中市の玄関口となっている地域である。
- ケヤキ並木は国の天然記念物としての保護が第一であることは言うまでもないが、古木（危険木）が多いため、落枝等も発生し、関係課と連携した安全・安心な保護管理が課題となっている。
- 経済活力の向上・回遊性の創出・市民交流の増進・SDGｓの推進といった課題を踏まえ、府中市ならではの持続可能なまちづくりを進めるため、中心市街地活性化ビジョンを運用している。
- 馬場大門のケヤキ並木は、府中を代表する景観資源の一つで、この景観資源をいかしつつ府中駅周辺の中心市街地のにぎわいが調和する景観づくりが必要である。

将来像

- 府中駅・府中本町駅周辺は、土地の高度利用を促進し、商業・業務・文化機能を中心とした、にぎわいのある都市機能の集積を誘導するとともに、歴史・文化資源等の活用により回遊性を創出しながら、景観に配慮した魅力ある拠点を形成している。
- 国天然記念物馬場大門のケヤキ並木と調和した、商業・業務・サービス機能を中心とするにぎわいのある都市機能の集積を図り、憩いの空間の創出、オープンスペースを活用し歩きたくなるまちづくりが推進されている。
- 各種イベントを連携させるなどの地域マネジメントを進め、商業のにぎわいを創出。中心市街地に存在する歴史・文化資源や東京競馬場を活用し、回遊性が創出されている。
- けやき並木通り沿道での建築物の建築の際に、公開空地の確保や緑化の促進、商業施設の誘導などが実現している。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

府中市新庁舎イメージ
出典：府中市HP

けやき並木通り
出典：一般社団法人まちづくり府中HP

枢要な地域の拠点：府中

拠点づくりの具体的な取組

1	**通り庭の活用**	新庁舎建設の1期工事である「おもや」が完成。2期工事では「通り庭」に面して庁舎機能や市民協働の場を設け、市役所を訪れた人だけでなく、誰もが気軽に訪れやすく、多様な活動が生まれる開かれた庁舎を計画する。	戦略5
2	**けやき並木など府中駅周辺地域における パブリックビューイング等の実施**	第2次府中市スポーツ推進計画」を策定。トップスポーツの観戦・応援機会の充実として、市内施設を利用したパブリックビューイングの実施などを挙げている。	戦略7
3	**国史跡武蔵国府跡（国司館地区）整備**	平成30年11月から一般公開。歴史的価値を高め、駅前のにぎわい創出を目指した第2期整備に取り組む。	戦略7
4	**大國魂神社・けやき並木周辺地区の景観整備**	けやき並木の景観を保全するとともに、府中市景観計画に基づき、けやき並木通り沿道の景観形成を促進する。	戦略6
5	**けやき並木周辺地区空間活用事業**	都市再生特別措置法における「都市再生整備計画」「都市利便増進協定」に基づき、(一社)まちづくり府中（都市再生推進法人）などの各団体が、道路等を活用した事業を行うことにより、にぎわいを創出する。	戦略1

枢要な地域の拠点：府中

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	通り庭の活用	市	既存庁舎 解体工事	「はなれ」建設工事		令和８年度
2	けやき並木など府中駅周辺施設における パブリックビューイング等の実施	市	各年度開催			継続実施
3	国史跡武蔵国府跡（国司館地区）整備	市	・基本計画素案策定 ・同素案に添った実証実験イベントの実施及び検証	・基本設計策定 ・実施設計策定 ・ガイダンス設計策定	・業者選定 ・文化庁許可申請	令和10年度
4	大國魂神社･けやき並木周辺地区の景観整備	市	・ケヤキ並木保護巡回 ・ケヤキの苗木の植樹	・ケヤキ並木保護巡回 ・ケヤキの苗木の植樹	・ケヤキ並木保護巡回 ・ケヤキの苗木の植樹	継続実施
		民間	建築計画の際に景観計画に基づき協議を行う			
5	けやき並木周辺地区空間活用事業	一般社団法人まちづくり府中	民間事業者へ、府中駅前公共空間の貸出しを行う（予定）			継続実施

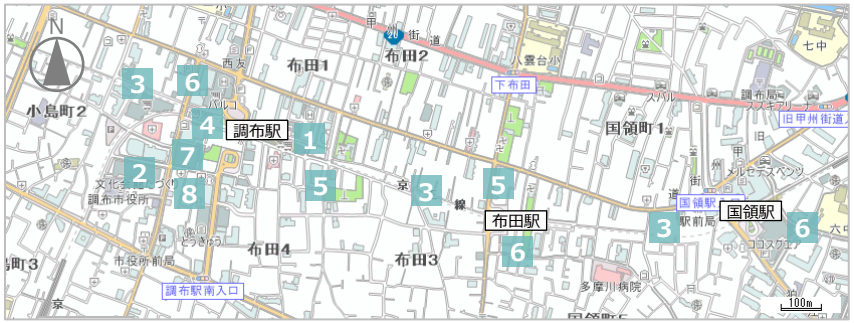
枢要な地域の拠点：調布

現状と課題

- 都市計画マスタープランにおいて、調布駅周辺を行政、商業、業務、文化、医療等の重要な機能が集積し、市政や市民生活の中心となる場所であり、鉄道乗車人員が特に多い駅周辺に位置付ける「中心拠点」としている。
- 調布駅及び都市計画マスタープランにおいて地域拠点に位置付けた布田駅・国領駅を中心とした地域を、歴史や業務・商業・文化・コミュニティなどの集積をいかし、まちの中心地にふさわしい市街地の形成を図る「中心市街地ゾーン」として位置付けている。
- 平成24年8月の駅の地下化により、調布駅・布田駅・国領駅で南北一体化が実現した。
- 鉄道の地下化により創出された都市空間や調布駅周辺における市街地再開発事業の実施に伴い、大規模商業・業務施設が整備されている。
- 布田駅・国領駅周辺では市街地再開発事業や土地区画整理事業を実施し、平成29年度には両駅の駅前広場が完成している。
- 鉄道敷地の歩行者の回遊性や滞在の快適性の向上を図るため緑道の整備や、京王線連続立体交差事業の完了区間における都市計画道路の整備が進められている。
- 交通結節点としての更なる機能強化による駅前広場の整備が進められており、多様な都市機能の集積が求められる。

将来像

- 調布駅周辺を中心拠点と位置付け、多摩地域内の主要な玄関口、交通ターミナルにふさわしい広域的な中心性を備えた拠点として、魅力ある市街地が形成されている。
- 京王線連続立体交差事業の完了によって創出された貴重な都市空間である鉄道敷地を活用した歩行者回遊軸の整備や、交通結節機能はもとより人々の活発な活動を促す駅前広場の整備等により、都市空間の更なる質の向上に資するまちづくりが進められている。
- 道路等の都市基盤施設の整備の推進・促進と市街地再開発事業等による土地の有効・高度利用を図り、行政・商業・業務・文化・医療・学術・研究・居住等の生活機能がバランスよく整えられた、市の中心として魅力ある市街地が形成されている。
- 布田駅周辺は、中心市街地を担う拠点として、日常生活に密着した商業や良好な住宅環境を保った都市型住居の保全・誘導を図り、拠点としての機能向上を図りつつ、安全で快適な拠点が形成されている。
- 国領駅周辺は、中心市街地を担う拠点として、既存商店街の活性化を図るとともに、商業・業務等の多様な機能の集積により、地域の個性をいかした魅力的な拠点が形成されている。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

調布駅
出典：調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画

枢要な地域の拠点：調布

拠点づくりの具体的な取組

1	**調布市観光案内所「ぬくもりステーション」の運営**	調布駅改札外コンコースに設置されている。市内の観光案内やイベント等の情報発信を行い、調布市の魅力を伝えていく。	戦略7
2	**映画のまち調布　シネマフェスティバルの開催**	授賞式をはじめ、映画制作者のトークショー付きの映画上映会、映画・映像関連の展示やワークショップなど、さまざまなイベントを開催し、まちのにぎわい創出を図る。	戦略7
3	**京王線地下化後の鉄道敷地等の歩行者空間ネットワークの形成**	京王線地下化後の鉄道敷地（調布駅・布田駅・国領駅の駅前広場と各駅をつなぐ連続した空間）を有効に活用し、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間の整備を進めている。	戦略2
4	**調布駅前広場の整備**	調布駅前広場について関係機関協議や市民参加を実践し、調布駅前広場整備計画図を決定・公表している。整備計画図を基に、令和7年度の完成（一部を除く）に向けて整備を進めている。	戦略1
5	**都市計画道路の整備**	調布駅の東側に位置する調布３・４・２８号線は、品川通り～京王線の区間について、事業を推進している。 布田駅の西側に位置する調布３・４・２６号線は布田駅～旧甲州街道区間及び旧甲州街道～甲州街道区間について、事業を推進している。	戦略2
6	**重点整備地区におけるバリアフリー整備**	調布駅・布田駅・国領駅周辺地区は重点整備地区として位置付けている。連続立体交差事業による京王線地下化後の鉄道敷地を活用して整備した緑道、上布田公園や国領駅周辺の公園等を生活関連施設に位置付けている。	戦略2
7	**グリーンホールの建替え**	昭和52年に開館したグリーンホールは、施設・設備の経年劣化やバリアフリーへの対応等が課題となっている。こうした課題への対応や駅前に新たなにぎわいを創出するため、公民連携手法を活用しながら駅前広場に隣接した立地を最大限生かした現敷地での建替えに向けた検討を進めている。	戦略1
8	**調布駅南口中央地区市街地再開発事業の検討**	調布駅南側の駅前広場に面した約1.9haの区域において、地域住民が主体となり市街地再開発事業を検討。令和３年４月に再開発準備組合を設立した。	戦略1
9	**調布スマートシティ協議会（産学官民やＤＸを活用したまちづくり）**	調布スマートシティ協議会は、産学官民の連携の下、デジタル技術等を活用し、調布市が抱える社会的課題を解決することを目的として、調布市民の生活の豊かさや、地域の持続的成長につながる新しいサービス・事業の創出等に向けた取組を推進している（市域全体）。	戦略1

枢要な地域の拠点：調布

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	調布市観光案内所「ぬくもりステーション」の運営	市	調布駅改札外コンコースに一時移転			令和８年度以降の設置場所は未定
2	映画のまち調布シネマフェスティバルの開催	民間・市	各年度開催			未定
3	京王線地下化後の鉄道敷地等の歩行者空間ネットワークの形成	市	整備			令和６年度末整備完了予定
4	調布駅前広場の整備	市	整備			令和７年度末整備完了予定（一部を除く）
5	調布3･4･28号線の整備	市	整備			令和８年度末整備完了予定
	調布3･4･26号線の整備	市	整備			未定
6	重点整備地区におけるバリアフリー整備	市	毎年、進捗状況を確認			令和12年度まで
7	グリーンホールの建替え	市	事業採算性調査	基本構想策定・事業者選定等		未定
8	調布駅南口中央地区市街地再開発事業の検討	民間	通年で検討			事業計画について検討中のため未定
9	調布スマートシティ協議会（産学官民やＤＸを活用したまちづくり）	民間・市	取組推進			未定

枢要な地域の拠点：武蔵小金井

現状と課題

- 北口の核店舗であった商業施設が閉店したままの状態が続いていることに加え、南口の再開発事業が完了したことにより、北口のにぎわい不足が目立っている。
- わくわく都民農園小金井は、都心からのアクセスが良く、武蔵小金井駅からも近い立地にある。
- 高齢者セミナー農園区画の他、こども農園、福祉農園、地域農園及び共菜園の区画があり、子どもから高齢者まで農業に触れる機会を提供するとともに、収穫体験等のイベントを通して市民の都市農業に対する理解及び関心を高めるための取組が行われている。
- 各農園区画において、農業者、商店会、福祉及び教育等の様々な分野の団体等と連携しながら農園を運営しており、活動内容についても、運営団体である小金井市観光まちおこし協会のＨＰ及びＳＮＳ等にて積極的に情報発信がされているが、まちのにぎわい創出に向けた地域における具体的な検討はこれからである。

将来像

- 武蔵小金井駅周辺を中心拠点と位置付け、市の中心でにぎわいがあり、楽しく歩くことができ、みどりある魅力的な拠点が形成されている。
- 農地を活用した取組・イベントなどを通じて地域における魅力創出の輪が広がり、様々な分野間の連携・協力関係の構築及び交流の機会が増大し、まちににぎわいが形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

2 セミナー農園等の運営
出典：（一般社団法人）小金井市観光まちおこし協会HP

枢要な地域の拠点：武蔵小金井

拠点づくりの具体的な取組

1	北口のまちづくり	平成２０年北口再生協議会発足、令和３年準備組合発足、地元と協力して武蔵小金井駅北口のまちづくりを推進していく。	戦略1
2	高齢者向けのセミナー農園等の運営支援	都市農地の保全、高齢者の活躍及び多世代交流を併せて推進するため、都、農園運営事業者、農地所有者及び市で締結した協定に基づき本事業を実施・運営している。	戦略6
3	駅周辺の無電柱化の推進	都市計画道路に合わせた整備や人通りが多く歩道が整備されているムサコ通りを優先的に推進する。	戦略2
4	駅周辺の都市計画道路の整備	安全で快適に移動できる歩行空間の確保及び災害時の防災機能など多様な機能の整備を行う。	戦略2
5	武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発事業	地元地権者により武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発準備組合が設立し、令和６年１２月に都市計画決定した。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	北口のまちづくり	民間・市・協議会	進捗により、協議会等を随時実施			継続実施
2	高齢者向けのセミナー農園等の運営支援	小金井市観光まちおこし協会		運営支援		継続実施
3	駅周辺の無電柱化の推進	市			ムサコ通り整備完了予定	令和8年度
4	駅周辺の都市計画道路の整備	都・市	用地取得・道路整備			継続実施
5	武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発事業	民間	都市計画決定	組合設立	工事着手	令和11年度

枢要な地域の拠点：国分寺

現状と課題

- 国分寺駅は国分寺市の中心駅となっている。
- 鉄道の交通結節点で、商業・業務の集積地である。
- 駅北口については、国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業の完了により駅前広場が整備された。引き続き、交通結節機能の向上を図るため、駅周辺の都市計画道路の整備を進めている。また都市計画道路の整備にあわせた、駅前通りの歩行者優先の空間の形成が求められており、市民主体のまちづくり協議会により検討が行われている。
- 駅南口については、JRにより30年以上前に一定整備されたが、老朽化が進み、バリアフリーや利便性等の点でも課題がある中で、駅前広場に公共空間としての機能向上が近年求められていることから、表面管理をJRから市へ引き継ぎ、南口再整備検討を進めている。
- 都市基盤整備の推進、基盤整備の進捗に合わせた魅力的なまちづくり、公共施設の再整備、多様な都市機能の集積などが求められている。

将来像

- 都市基盤の整備や、商業、文化、居住などの集積が進み、利便性が高くにぎわいのある生活と文化交流が育まれる枢要な地域の拠点が形成されている。
- 駅北口周辺では、交通広場、都市計画道路、区画道路の整備により交通結節点としての機能が強化され、再開発事業の進行に伴って、商業、業務、居住などの機能が集積することにより、地域の利便性が向上し、歴史や自然と調和した地域の顔となる拠点が形成されている。
- 国分寺市都市計画マスタープランにおいて、『都市生活・文化交流の拠点』に位置づけ、多くの人々が集まり、様々な文化交流が創出されている。
- 「都市生活・文化交流の拠点」を形成していくため、国分寺駅北口地区地区計画により以下の目標が達成されている。
  ① 多様な機能が集積するにぎわいと魅力ある都市空間の形成
  ② 回遊性のある快適で安全な都市基盤を形成
  ③ 国分寺市の顔にふさわしい都市景観を創出
  ④ 人や環境にやさしい快適な環境を創出
- 国分寺３・４・12号線沿道・駅前通り沿道地区地区計画により、商業・業務機能と周辺の住環境の調和及び歩行者・自動車の共存を実現し、国分寺の新たな都市活力の源泉となり、エリア一帯が連携した複合市街地の形成を目指し、以下の目標が達成されている。
  ① 多様な機能が集積するにぎわいと魅力ある都市空間を形成
  ② 安全・安心に買い回りや散策が楽しめる空間の形成、市の新しいシンボル空間の形成、エリア一帯の回遊性を創出
  ③ 安全・安心で快適な環境を創出

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

2 こくベジ定例直売
出典：国分寺市HP

枢要な地域の拠点：国分寺

拠点づくりの具体的な取組

1	**北口駅前広場における太陽光・風力発電機・マンホールトイレの設置**	防火水槽やマンホールトイレなど、充実した防災設備や、自然力をいかした風力・太陽光発電設備の配備・維持管理を通して、多機能で先進的な駅前空間を創出する。	戦略1
2	**国分寺駅北口駅前広場イベント広場におけるこくベジ定例直売支援**	「こくベジ」は、国分寺市内の農家が販売を目的に生産している農畜産物の愛称である。市内各所に直売所があり、国分寺駅北口駅前広場イベント広場においても定期的に直売をしている。	戦略6
3	**バリアフリー基本構想において重点整備地区に指定し、バリアフリー化を推進**	バリアフリー基本構想において、国分寺駅周辺地区を重点整備地区に定め、各事業者がバリアフリー化に取り組むよう、特定事業計画を推進する。	戦略2
4	**駅周辺の都市計画道路の整備**	国分寺３・４・12号国分寺駅上水線(本町三丁目地内～本多二丁目地内)において、国分寺駅北口へのアクセス性及び周辺地域の防災性・安全性の向上、快適な都市空間の創出などに資するため整備を推進する。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**北口駅前広場における太陽光・風力発電機・マンホールトイレの設置**	**市**		整備済み・ 維持管理を実施		継続実施
2	**国分寺駅北口駅前広場イベント広場におけるこくベジ定例直売支援**	**JA東京むさし国分寺ファーマーズ・マーケット/国分寺産直会**		継続予定		継続実施
3	**バリアフリー基本構想において重点整備地区に指定し、バリアフリー化を推進**	**市を含む各事業者**	各事業者において バリアフリー特定事業の実施			令和13年度
4	**駅周辺の都市計画道路の整備**	**市**		整備実施		令和８年度末

枢要な地域の拠点：国立

現状と課題

- 市北部をＪＲ中央線が東西方向に横断し、国立駅を中心とする地区を「都市拠点」に位置づけ、幅広いサービスを提供できる広域的な中心性を備えた拠点として、公共公益機能や商業・サービス機能、文化芸術・交流機能等の集積を図っている。
- 旧国立駅舎と大学通りによるシンボル的な軸線を形成し、駅前の円形公園から放射状に伸びる通りを骨格とした都市空間は、長い歴史の中で育まれ、大切に継承されてきた国立市ならではのかけがえのない貴重な地域資源となっている。
- 駅南口の開発や駅前広場整備を契機として、関係者との協議や市民からのアイデアを設計に反映するなど、子ども、若者、子育て世代から高齢者まで、より多くの市民が快適で暮らしやすい都市空間の形成に継続して取り組むことが必要である。

将来像

- 国立駅南口駅前広場整備により、国立らしい象徴的な空間や景観となっている。
- 各地域拠点の整備及び文化・芸術等のイベント等の実施など、ハード・ソフトの両面から回遊性の向上を図り、「楽しく喜びにあふれるウォーカブルなまち」を実現する。
- 国立駅南口子育て支援施設は、矢川プラスとともに子育ち・子育て「二大拠点」として機能する施設となっている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

4 くにたちマルシェ
出典：国立市提供

5 LINKくにたち
出典：国立市提供

枢要な地域の拠点：国立

拠点づくりの具体的な取組

1	産業振興（商店街イベント等支援）	商店会以外の「個別商店の連携団体」が行うイベント事業に対して補助金を交付する制度により、市内のにぎわいを創出する。	戦略1
2	ウォーカブルなまちづくり	国立市とＪＲ東日本は、国立駅南口の開発について協議し、用地交換に合意、取得用地を歩行者空間の創出等、広場空間として利活用する。	戦略2
3	国立駅南口駅前広場整備	旧国立駅舎東西広場・円形公園・南口ロータリーはリニューアルオープンに向けて、市民から自由で新しい発想のデザインやアイデアの募集を実施した。	戦略1
4	農作物直売イベントの開催	地元農家による、新鮮な地場産野菜の販売会である「くにたちマルシェ」をJR国立駅北口で定期的に開催している。	戦略6
5	LINKくにたちの開催	大学通りにて、市民が協力しつながりを強め、スポーツに親しみを持つことを目的としたスポーツイベントを開催する。	戦略7

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	産業振興（商店街イベント等支援）	市	随時実施			継続実施
2	ウォーカブルなまちづくり	市	基本設計	実施設計	工事	令和10年度
3	国立駅南口駅前広場整備	市	基本設計	実施設計	工事	令和10年度
4	農作物直売イベントの開催	市・農家	くにたち野菜の販売会の開催・活動支援			継続実施
5	LINKくにたちの開催	市・市民	5月開催	5月開催	未定	毎年5月実施

枢要な地域の拠点：拝島

現状と課題

（昭島市側）

- 拝島駅は、JR青梅線・五日市線・八高線・西武鉄道拝島線の４路線が乗り入れ、乗降客数は市内で最も多い駅となっており、鉄道の乗換えやバス路線の発着所としての交通結節点機能を担っている。また、南口駅前広場を含む周辺道路の整備や国道16号の6車線化整備が完了したことにより、交通渋滞の解消が進むとともに安全な歩行空間が確保され、駅前のまちづくりも進められている。
- 交通結節点としての機能をさらに高めるとともに、市内外からの多くの人が利用できる商業・業務機能の充実を図り、「昭島市の西の玄関口」として利便性の高い拠点を形成していく必要がある。

（福生市側）

- JR青梅線・五日市線・八高線・西武鉄道拝島線の４路線を利用でき、西多摩の主要な交通結節点としての機能を担っている。
- 拝島駅南口地区では地区計画による都市基盤の整備も進み、交通の要として利便性の高い拠点となっている。
- 拝島駅北口については、玉川上水の景観に配慮した面的整備の検討が求められており、生活拠点としては、日常生活のサービス等の商業機能の立地誘導が求められている。

将来像

（昭島市側）

- 拝島駅は、バスやタクシーなどの交通手段との乗換え機能の充実などにより、交通結節点としての機能をさらに高めるとともに、地区計画を適切に運用し、市内外からの人が利用できる商業・業務機能や交流機能が充実した「昭島市の西の玄関口」として利便性の高い拠点を形成している。

（福生市側）

- 拝島駅周辺については、立地適正化計画の適切な運用などにより、生活利便施設の立地する魅力的な拠点を形成している。
- 拝島駅南口については、地区計画の運用などにより、駅前にふさわしい美しいまちなみとにぎわいの連続性、回遊性を備えた安全で快適な買物空間を創出するとともに、国道16号の東側エリアについては、住宅と商業が共存する複合市街地を形成している。
- 拝島駅北口については、玉川上水の景観に配慮しながら面的整備などの検討を行い、にぎわいを創出している。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

拝島駅南口周辺
出典：昭島市都市計画マスタープラン

枢要な地域の拠点：拝島

拠点づくりの具体的な取組

（昭島市側）

1	**駅南口駅前のまちづくり**	地区計画と地元組織（まちづくり委員会）が策定したガイドラインの遵守により、市と地元が一体となったまちづくりを継続する。	戦略1
2	**駅南口周辺のまちづくり**	地区整備計画区域外であることや、昭島3･4･19号の事業化では段丘であることなどの課題がある。	戦略2

（福生市側）

3	**立地適正化計画による都市機能の誘導**	平成30年６月に福生市立地適正化計画を公表し、令和６年３月に改定した。 「拝島駅周辺を中心とする拠点」では、地域住民の利便性の維持･向上を図る観点から、スーパーマーケット等の生活利便施設の立地誘導を図る。	戦略1
4	**サイクルシェアリングの運用**	地球温暖化対策の推進、交通利便性の向上、地域振興及びその活性化を図るため「HELLO CYCLING」によるサイクルシェアリングを実施している。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**駅南口駅前のまちづくり**	**民間**	随時実施			継続実施
2	**駅南口周辺のまちづくり**	**昭島市･民間**		計画段階		未定
3	**立地適正化計画による都市機能の誘導**	**福生市**	届出による誘導を実施			令和19年度
4	**サイクルシェアリングの運用**	**民間**	令和４年度より運用			継続実施

地域の拠点：高尾

現状と課題

- 高尾山や甲州街道のいちょう並木、南浅川のさくら並木などの自然環境と景観資源、多摩御陵をはじめとした歴史・文化資源など、多くの地域資源が存在する。
- 市街地の背景となる高尾山一帯に広がる山林は、広域的な水源涵養機能や観光・レクリエーション機能など多様な役割を担っており、国定公園・都立自然公園や保安林などの豊かな自然環境を有している。
- 近年、大規模工場跡地に商業施設と住居の複合的な施設が建設され、拠点性が高まっている。
- 京王線とJR中央線の2路線を抱え、町田街道や国道20号などの幹線道路が交わる拠点として、周辺道路の交通渋滞緩和やJR高尾駅の南北自由通路の整備による交通結節機能の強化が求められる。
- 高尾山観光の玄関口にふさわしい拠点づくりと、歴史や文化をいかした地域づくりが求められる。

将来像

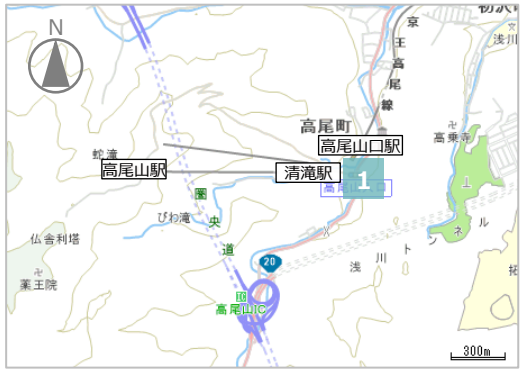
- 地域における交流や日常生活を支える拠点と位置づけ、中心拠点の機能と連携し、商業、業務、生活支援サービスなどの都市機能が集積されている。
- 観光客の利便性向上も視野に商業など様々な利便機能の強化、高尾駅の北口駅前広場と南北自由通路の整備による交通結節点が機能強化されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 高尾山口駅
出典：「高尾山口駅前」©Hachioji City (licensed underCC BY 4.0)

高尾599ミュージアム
出典：八王子市提供

八王子城跡
出典：©Hachioji City (licensed underCC BY 4.0)



高尾山口駅周辺地区
都市計画方針（八王子市編）より加工

7　TAMA拠点形成プロジェクト

地域の拠点：高尾

拠点づくりの具体的な取組

1	**高尾山口駅周辺地区まちづくり**	高尾山口駅周辺地区のまちづくりについて、地元組織（町会・商店会等）、事業者等及び行政が連携した会議体を設置し、観光交流と暮らしの調和のための協議・調整を行っていく。	戦略7
2	**高尾駅周辺基盤整備**	高尾駅周辺地域の安全性・利便性を高めるため、観光拠点及び交通結節点として重要な高尾駅及び駅周辺の整備を行う。南北自由通路整備は、施設計画を見直し、令和4年12月に鉄道事業者と変更基本協定を締結。北口駅前広場整備とあわせて、令和5年度より設計に着手している。	戦略2
3	**高尾駅周辺の景観形成に資する「高尾駅北口地区屋外広告物地域ルール」の運用**	景観計画に定める重点地区である高尾駅北口地区において、市内で初めて、屋外広告物の表示等に関する特別な基準等を定め、『自然・歴史文化と調和し、にぎわいを演出する広告景観』の実現を目指す。	戦略1
4	**シェアサイクル実証実験事業**	回遊性向上による地域や観光の活性化や公共交通の補完、環境負荷低減等を目的として、民間事業者との共同によるシェアサイクルの事業を実施する。	戦略2
5	**八王子城跡の保存・活用**	「八王子市文化財保存活用地域計画」「八王子城跡保存整備基本構想・基本計画」などに基づき、史跡としての八王子城跡の保存・活用を図る。	戦略7

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**高尾山口駅周辺地区まちづくり**	**市**		継続		継続実施
2	**高尾駅周辺基盤整備**	**市**	設計	都市計画変更	事業認可申請	継続実施
3	**高尾駅周辺の景観形成に資する「高尾駅北口地区屋外広告物地域ルール」の運用**	**市**		運用		継続実施
4	**シェアサイクル実証実験事業**	**民間** **市**		本格実施へ移行 ビッグデータの活用検討	ビッグデータの施策展開活用	継続実施
5	**八王子城跡の保存・活用**	**市**		継続		継続実施

地域の拠点：八王子みなみ野

現状と課題

- 八王子みなみ野駅を中心に様々な生活機能・サービスが集積している。
- みどり豊かな自然環境と調和する、計画的に整備された良好な住宅地を形成している。
- 南側の七国から町田市にまたがる一帯を七国・相原特別緑地保全地区に指定して 自然環境の維持・保全を図っている。
- 周辺の低未利用地では、多摩都市モノレール八王子ルートの延伸に向けた交通需要の喚起や、国道20号八王子南バイパスの沿道にふさわしい適正な土地利用誘導が求められる。

将来像

- 地域における交流や日常生活を支える拠点と位置づけ、中心拠点の機能と連携し、商業、業務、生活支援サービスなどの都市機能が集積されている。
- 様々なサービスや生活機能と、日常の活動や交流の中心を担う複合的な機能の集積により、みどり豊かな自然環境と調和した地域拠点が形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

八王子みなみ野駅

出典：「八王子みなみ野駅」©Hachioji City (licensed underCC BY 4.0)

4 景観協定の認可
出典：八王子市提供

栃谷戸公園の棚田と石橋

出典：「栃谷戸公園の棚田と石橋」©Hachioji City (licensed underCC BY 4.0)

7　TAMA拠点形成プロジェクト

地域の拠点：八王子みなみ野

拠点づくりの具体的な取組

1	**地域づくり推進会議による取組**	地域の将来ビジョンに「集まり、つながり、風の生まれるまち～人、自然を豊かに愉しむ　八王子みなみ野～」を掲げ、その実現に向けて「地域の魅力の発信・共有」や「みんなが楽しくつながる機会づくり」などにつながる取組を、活動団体である“みなみ野座”を立ち上げ進めている。	戦略1
2	**シェアサイクル実証実験事業**	回遊性向上による地域や観光の活性化や公共交通の補完、環境負荷低減等を目的として、民間事業者との共同によるシェアサイクルの事業を実施する。	戦略2
3	**多摩都市モノレール八王子ルート整備促進**	八王子ルートの早期整備の実現に向けて、新たな土地利用を図るなど、需要を高める沿線まちづくりを進めるとともに、有識者による検討会議を立ち上げ、事業性を高めるルート検討など、課題解決に向けて戦略的な検討を進める。市民の機運醸成に向けて、車両基地見学会の開催等の啓発イベントを実施する。	戦略2
4	**景観協定の認可**	八王子市は平成23年4月に景観行政団体となり、同年10月「豊かな自然に抱かれた住み続けたいまち 八王子」を基本理念に掲げた「八王子市景観計画」を策定。「八王子みなみ野シティ結びのまち景観協定」を令和2年3月に認可し、良好な景観づくりを推進している。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**地域づくり推進会議による取組**	**市**	「地域づくり推進計画」に基づく取組			継続実施
2	**シェアサイクル実証実験事業**	**民間**		本格実施へ移行		継続実施
		市	ビッグデータの活用検討		ビッグデータの施策展開活用	
3	**多摩都市モノレール八王子ルート整備促進**	**市**	啓発活動・要望行動・東京都との協議			継続実施
			ルート検討			
				沿線まちづくり検討		
4	**景観協定の認可**	**市**	継続			継続実施

地域の拠点：分倍河原

現状と課題

- 分倍河原駅周辺地区は、市の中心拠点である府中駅・府中本町駅周辺を補完する役割を担う地域拠点として、まちの更なる発展が期待されているものの、府中崖線や線路によって分断された地域特性から、駅周辺の回遊性の向上や更なるにぎわいの創出に課題があるほか、駅北側の駅前空間の不足、老朽化した南北こ線橋への対応など様々な課題を抱えている。
- 平成３０年に市が策定した都市・地域交通戦略及びまちづくり協議会より提出されたまちづくり提案書を踏まえ、令和2年にまちづくり基本計画を策定した。また、令和6年にスケジュール等の見直しを反映した都市・地域交通戦略（令和6年修正）を策定した。
- 令和４年に駅舎改良を含む駅周辺の基盤整備について、鉄道事業者と基本協定を締結し、令和5年と6年に基本設計を行った。

将来像

- 駅周辺の基盤整備や駅舎改良等を推進することにより、商業・業務・サービス及び居住機能などが集積し、駅周辺の利便性・拠点性が向上されている。
- 北側溜まり空間、西側溜まり空間、南側駅前広場、南北自由通路、東西自由通路、駅舎改良、自転車駐車場の移転・再整備、駅へのアクセス道路及び周辺道路の整備を鉄道事業者とともに取り組む。
- 良好な市街地環境の形成に向けて、市民協働によるまちづくりが推進されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

分倍河原駅
出典：府中市提供

分倍河原駅（空撮）
出典：府中市提供

地域の拠点：分倍河原

拠点づくりの具体的な取組

1	**分倍河原駅周辺整備事業**	まちづくり基本計画に基づき、北側溜まり空間、西側溜まり空間、南側駅前広場、南北自由通路、東西自由通路、駅舎改良等のハード整備を実施する。	戦略2
2	**分倍河原駅周辺まちづくり協議会**	分倍河原駅周辺地区では、令和 2 年 に策定した「分倍河原駅周辺地区まちづくり基本計画」に掲げる施策の進捗状況や内容について、地元の自治会や商店会等の代表により組織された分倍河原駅周辺まちづくり協議会と意見交換を行っており、市民協働のまちづくりを推進する。	戦略1
3	**良好な市街地環境の形成**	分倍河原駅周辺地区では、府中市地域まちづくり条例に基づき、まちづくりの目標・方針等を定める「まちづくり誘導計画」を策定し、将来、地域特性を踏まえた良好なまちのルールづくりを検討する。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**分倍河原駅周辺整備事業**	**市**	基本設計	実施設計		令和18年度
2	**分倍河原駅周辺まちづくり協議会**	**協議会**		適宜開催		令和19年度
3	**良好な市街地環境の形成**	**市**	協議・検討	まちづくり 誘導計画の策定		令和19年度

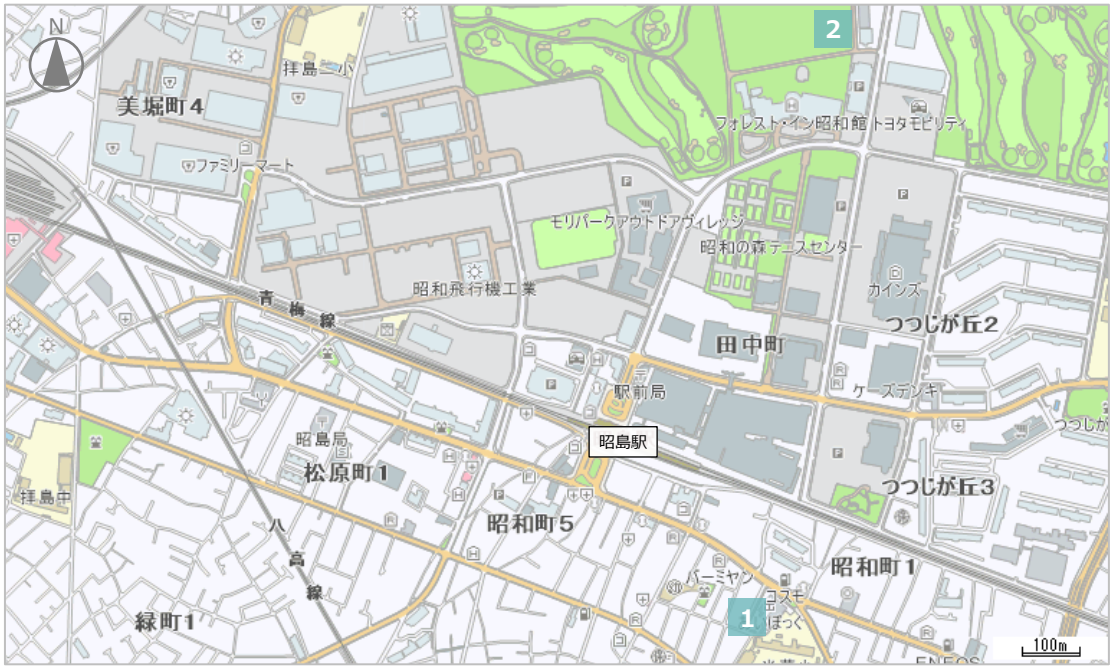
地域の拠点：昭島

現状と課題

- 昭島駅周辺は、市内で唯一商業地域に指定され、大型商業施設から小規模な店舗までが立地するなど、多様な商業・業務機能が集積している。また、アキシマエンシス （教育福祉総合センター）や保健福祉センター（あいぽっく）などの公共・公益施設も多く立地しており、昭島市の中心部として位置づけられている。
- 昭島駅周辺は商業・業務機能が集積した市民や来街者との交流空間であり、「知の拠点」であるアキシマエンシス（教育福祉総合センター）やいちょう並木を含め、駅周辺一帯における南北の回遊性を高める取組が必要となっている。
- 昭島駅北側は週末を中心に交通渋滞が発生することが多く、その対策が求められている。

将来像

- 商業・業務機能のほか公共・公益施設が集積した、「昭島の顔」として、市民や来街者との交流の場としてふさわしい、にぎわいと回遊性のある魅力的な拠点が形成されている。
- 昭島駅周辺の交通渋滞の緩和方策を検討し、都市軸としての機能強化がなされている。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 保健福祉センター（あいぽっく）
出典：昭島市HP

2 昭島・昭和の森武藤順九彫刻園の運営
出典：昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園HP

地域の拠点：昭島

拠点づくりの具体的な取組

1	**保健福祉センターの改修工事**	保健福祉センター（あいぽっく）は、保健、福祉などのほか、社会福祉協議会などを含めた複合施設。屋上に太陽光発電及びソーラー、非常用発電機が設置され、トイレの洗浄水には雨水を利用している。環境にもやさしい施設である。 今回の改修工事により施設の更新及び増設を図り、子供、大人、高齢者など多くの市民の交流の場にふさわしい魅力的な拠点の形成を図っていく。	戦略3
2	**昭島・昭和の森武藤順九彫刻園運営事業**	「保全すべき樹林地に、木洩れ日に溶け込むように作品を配置し、自然とともに芸術に触れあうことができる空間」。行政、企業、作者が協力し世界に発信する日本で初めてのプロジェクトである。事業の継続により市民や来街者との交流の場としてふさわしい、にぎわいと回遊性のある魅力的な拠点の形成を図っていく。	戦略7

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**保健福祉センターの改修工事**	**市**			工　事	令和 ９年度末
2	**昭島・昭和の森武藤順九彫刻園運営事業**	**市・民間**		事業実施		継続実施

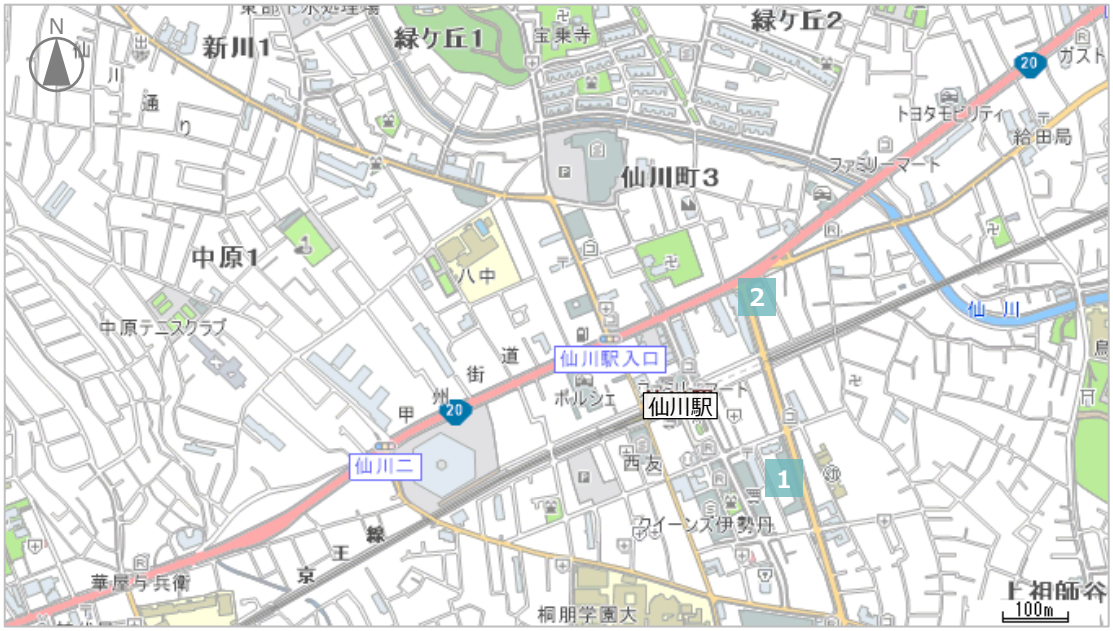
地域の拠点：仙川

現状と課題

- 都市計画マスタープランにおいて、個性ある多様な都市機能や生活に密着した商業等の機能が集積する地域の核となる「地域拠点」に位置付けた。
- 活気ある商店街があり、商店街周辺にも特色ある店舗が点在している。
- 近隣に文化・交流の拠点となる桐朋学園や白百合女子大学等の学校や劇場が立地している。
- 良好な街なみの景観の形成、職住融合のまちづくりの推進が求められている。

将来像

- 駅を中心に商業・業務・文化芸術・コミュニティ等の多様な都市機能が集積している。
- 駅周辺では自然環境と調和する利便性とゆとりある生活空間を備えた良好な都市型住宅が立地するなど、多様なニーズに応える個性的で魅力ある拠点が形成されている。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

仙川駅
出典：調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画

地域の拠点：仙川

拠点づくりの具体的な取組

1	**調布国際音楽祭の開催**	新緑の季節に開催されるクラシック音楽の祭典として2013年にはじまった調布国際音楽祭である。地域特性をいかしたまちづくりにつなげて、市のにぎわい創出を図る。	戦略7
2	**調布３・４・１７号線の整備**	甲州街道～三鷹市内までの南北方向に道路ネットワークを構築し、東京外かく環状道路へのアクセス強化を図る。これにより、避難路としての機能が強化され、地域の安全性・防災性が向上する。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**調布国際音楽祭の開催**	**市**		各年度開催		継続実施
2	**調布３・４・１７号線の整備**	**都**		事業推進		継続実施

地域の拠点：鶴川

現状と課題

- 2016年に「鶴川駅周辺再整備基本方針」を策定し、安全で便利な交通と快適でにぎわいのある駅前空間の実現を目指している。
- 鶴川駅北口は、土地区画整理事業により交通広場や道路などが整備されたものの、その後、周辺市街地での住宅地開発等による人口増加に伴う交通需要の増大への対応が求められている。
- 鶴川駅南口は、農地や駐車場といった低未利用地が広がっており、都市基盤整備と駅前にふさわしい適切な土地利用の誘導が求められている。
- 駅周辺の回遊性や駅南北のまちの連絡性の向上が求められている。

将来像

- 川崎市や横浜市の市外も含む地域一帯の拠点として商業、文化・交流、業務、居住などの 都市機能が集積した安全で利便性の高い拠点が形成されている。
- 安全で便利な交通機能の強化とともに快適でにぎわいある駅前空間が創出されている。
- 新たに橋上化する駅と自由通路を基点とした歩行者ネットワークを形成し、駅南北の連絡性の向上を図り、回遊性の高い空間を形成することで、面的なにぎわいが生まれ、まち全体の活性化を促進する。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

拠点づくりの具体的な取組

1	**香山緑地の整備**	私設の美術館であった建物と庭園、緑地を含む一帯を町田市が買い取り、多くの人が利用できる施設として整備を推進。	戦略6
2	**町田都市計画事業鶴川駅南土地区画整理事業**	南口交通広場や道路、下水道、調整池、公園・緑地等の公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図ることで、駅前にふさわしいにぎわいのある市街地を形成する。 令和１３年度の完了に向けて整備工事中。	戦略1
3	**鶴川駅改良事業**	自由通路整備に併せて橋上駅舎化を実施し、駅利用者の快適性・利便性の向上を図る。 令和９年度の橋上駅舎使用開始に向けて整備工事中。	戦略2

地域の拠点：鶴川

拠点づくりの具体的な取組

4	**和光大学ポプリホール鶴川の交流スペースを活用した市民活動支援**	鶴川地区の54団体で構成する鶴川地区協議会により、鶴川地域の交流促進や様々な困りごとを相談する場として、毎月第3水曜日に和光大学ポプリホール鶴川にて「３水スマイルラウンジ」が開催されている。 また、「まなびのひろば」「おやこのひろば」「スマホ教室」「折り紙教室」「無料法律相談」といったプログラムに多くの方が参加している。 ポプリホール鶴川に駐車場がないため、自動車でのアクセスが常に課題となっている。	戦略5

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**香山緑地の整備**	**市**	建物耐震改修 香山緑地整備			令和６年度完成
2	**町田都市計画事業鶴川駅南土地区画整理事業**	**市**		整備工事		令和13年度末
3	**鶴川駅改良事業**	**民間**		整備工事		令和9年度末
4	**和光大学ポプリホール鶴川の交流スペースを活用した市民活動支援**	**市**		事業実施		継続事業

地域の拠点：南町田

現状と課題

- 2015年に南町田駅周辺地区拠点整備基本方針を策定し、土地区画整理事業などの手法を用いて、官民連携で複数の街区をスーパーブロック化し、歩車分離でまちを回遊できる歩行者ネットワークを構築。
- 拠点駅に近接した都市公園の地域資源を最大限にいかしたまちとして、2019年11月にまちびらきを迎えた。
- 複合利用ゾーンにおいては、社会情勢を踏まえた土地利用を検討しており、国道246号向かいの鶴間地域との歩行者ネットワークについても、併せて検討している。

将来像

- 駅周辺は、広域的な交通結節点に鶴間公園と商業施設が一体的に立地する特性をいかし、多様な暮らし方や働き方を受け止める都市機能がコンパクトに集積した都市拠点が形成されている。
- 駅や鶴間公園、商業施設及び周辺にある地域資源が快適な歩行者ネットワークで結ばれた回遊性の高いまちが形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

南町田グランベリーパーク駅周辺地区まちづくり
出典：町田市HP

地域の拠点：南町田

拠点づくりの具体的な取組

1	**南町田拠点創出まちづくりプロジェクト**	鉄道駅に都市公園と商業施設が隣接している南町田のまちの資源を最大限に生かし、町田駅に次ぐ「にぎわいとみどりの都市拠点」として、自然とにぎわいが融合したまちの更なる魅力向上を図るため、官民が共同して運営を図る。	戦略1
2	**複合利用ゾーンの土地利用検討**	駅前の各機能を補完する機能の導入に向けて、社会情勢などを考慮して土地利用を検討。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**南町田拠点創出まちづくりプロジェクト**	**市・民間**		事業実施		継続実施
2	**複合利用ゾーンの土地利用検討**	**民間**		事業実施		継続実施

地域の拠点：東小金井

現状と課題

- 区画整理事業の進捗により、交通広場や道路の整備が進み、街並みが変わってきた。ただし、関係者との調整交渉等に時間を要し、当初計画より遅れが生じている。
- 東京農工大学連携型起業家育成施設（名称：農工大・多摩小金井ベンチャーポート）は、取組に先進性があり、まちの魅力となり得るものであるが、事業によっては専門的な分野であるため、市民になじみのないものもあり、理解してもらうまでに時間がかかる。
- 事業の開発、研究の進捗によっては、市民に周知できるまでに時間がかかる。
- 開発・研究施設であることから、本施設退去後、同様の設備を整えられるかは不透明であるため、市内定着が不透明である。

将来像

- 東小金井駅周辺を副次拠点と位置付け、個性豊かでにぎわいや活力が生まれる拠点が形成されている。
- 教育・研究機関などの地域資源をいかし、更なる魅力の創出・育成により、地域の付加価値を高めるため、JR中央線高架下空間の活用や大学などと連携したまちづくり、商店街及び地域固有の事業・産業をいかしたまちづくりが推進されている。

2 農工大・多摩小金井ﾍﾞﾝﾁｬｰﾎﾟｰﾄ
出典：小金井市提供

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

3 東小金井駅北口土地区画整理事業
出典：小金井市提供

地域の拠点：東小金井

拠点づくりの具体的な取組

1	**東小金井駅北口のまちづくり**	東小金井駅北口まちづくり協議会は、東小金井駅北口のまちづくりを円滑に推進するために地権者や学識経験者等で組織され、まちづくりに関して市と協議を行う機関となっている。	戦略1
2	**農工大ベンチャーポート入居企業に対する支援**	東京農工大学連携型起業家育成施設（名称：農工大・多摩小金井ベンチャーポート)である。中小企業基盤整備機構が東京農工大学と連携し、同大学の小金井キャンパス内に整備・運営している。	戦略1
3	**東小金井駅北口土地区画整理事業**	土地区画整理事業による４本の都市計画道路、4,400㎡の駅前交通広場、2つの公園等の都市基盤整備や土地の有効活用を図ることにより、小金井市東部地区の地域中心として魅力ある市街地環境を創出する。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**東小金井駅北口のまちづくり**	**協議会**	必要に応じて実施			令和16年度
2	**農工大ベンチャーポート入居企業に対する支援**	**国**	東京農工大学のオフィスを貸出して運営			継続実施
3	**東小金井駅北口土地区画整理事業**	**市**		事業実施		令和16年度

地域の拠点：花小金井

現状と課題

- 駅前広場、アクセス道路の都市基盤施設とともに、商業施設、集合住宅や図書館などの公益施設が整備されている。
- 駅南口を東西に抜ける都市計画道路が優先整備路線として選定されている。
- 踏切対策基本方針において、「鉄道立体化の検討対象区間」の一つに位置付けられている。
- 周辺環境と調和した質の高い幹線道路の整備を東京都へ働きかける。
- みどりの保全方策や周辺住民の利便性確保に向けて検討する。

将来像

- 都市基盤の整備や土地の有効利用を進めることで都市機能の集積を図り、また交通結節点としての機能を充実させるなど、魅力的な市街地を形成している。
- 新五日市街道線の整備と道路と鉄道の立体化の実現により、駅南北が一体となったまちの形成と多様な都市機能が集積している。市の東側の玄関口として、広域からのつながりや回遊性を育むにぎわいの拠点を形成している。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

2 灯りまつり
出典：小平市HP

7　TAMA拠点形成プロジェクト

地域の拠点：花小金井

拠点づくりの具体的な取組

1	**駅周辺のまちづくりに向けたオープンハウスの開催**	花小金井駅周辺地区の都市計画道路や道路と鉄道の立体化などのまちづくりに関する情報を説明することで、まちづくりに対する市民意識の高まりを創出する。	戦略1
2	**灯りまつり**	夏の夜に狭山・境緑道沿いの公園や、玉川上水緑道沿いの中央公園などで、住民等が作った灯篭の灯りを楽しむイベントを開催し、まちのにぎわい創出を図っていく。	戦略7
3	**小平3・3・3号新五日市街道線の整備**	「東京における都市計画道路の整備方針」（第四次事業化計画）に基づき、検討を進め、事業化を図っていく。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**駅周辺のまちづくりに向けたオープンハウスの開催**	**市**		開催		継続実施
2	**灯りまつり**	**市**		開催		継続実施
3	**小平3・3・3号新五日市街道線の整備**	**都**		検討中		継続実施

地域の拠点：高幡不動

現状と課題

- 日野市の三大拠点として位置づけられており、京王電鉄線高幡不動駅、多摩都市モノレール高幡不動駅の交通結節駅。
- 高幡不動駅周辺は日野を代表する文化・観光資源である高幡不動尊や、多摩動物公園などへのレクリエーション拠点への玄関口としてとして発展してきた。
- 南口は区画整理事業により、駅前の道路整備等が完了しているが、魅力ある駅前商業地としてまちのにぎわいとなる機能を誘致するとともに、多くの人が集いにぎわいのある拠点が求められている。

将来像

- 周辺の高幡不動尊や多摩動物公園等、広域的なレクリエーション拠点への玄関駅や大学等への通学の乗換え駅で、今後も多様な活動が展開される地域性をいかした広域交流拠点が形成されている。
- 地域性をいかした特色ある店舗づくり、駅周辺の既成市街地の更新、交通結節点として周辺駅のネットワークを強化し、観光・交流・商業の中心地として拠点が整備されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 高幡不動尊
出典：日野市提供

3 たかはたもみじ灯路
出典：日野市HP

地域の拠点：高幡不動

拠点づくりの具体的な取組

1	**高幡不動尊 ～新選組まつり～**	関東三大不動の一つである高幡不動尊では、重要文化財のほか、境内では四季折々の自然風景や催事により、年間を通して多くの来訪者を楽しませている。また、新選組副長・土方歳三の菩提寺でもあり、ひの新選組まつりでは隊士コンテストなどが行われ、全国から新選組ファンが訪れている。	戦略7
2	**商店会どっと混む！！**	駅周辺の高幡不動商店会・高幡若宮商店会・高幡不動参道会の3商店会が地元商店の魅力を発信し、さまざまなイベントを開催する。	戦略1
3	**たかはたもみじ灯路**	高幡不動駅前の商店街に多くの灯篭を並べ、照明の落とされた街並みにやわらかなろうそくの光の路を創り出すイベントを開催している。紅く色づく高幡不動尊のもみじとともに街が幻想的な雰囲気に包まれる。	戦略1
4	**第三次日野市バリアフリー基本構想**	第二次日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画を策定し、重点整備地区（移動円滑化促進地区）として福祉支援センターや高幡図書館など既存施設の改修を推進するとともに、一体的なバリアフリー化を誘導する。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**高幡不動尊　～新選組まつり～**	**市・民間**	各年度開催	各年度開催	各年度開催	継続実施
2	**商店会どっと混む！！**	**民間**	各年度開催	各年度開催	各年度開催	継続実施
3	**たかはたもみじ灯路**	**民間**	各年度開催	各年度開催	各年度開催	継続実施
4	**第三次日野市バリアフリー基本構想**	**市**		整備期間（前期）		前期（2022-2026） 後期（2027-2031） 長期（2032年～）

地域の拠点：日野

現状と課題

- 日野市の三大拠点として位置づけられており、日野駅周辺は甲州街道の「宿場町」として発展してきた。
- ＪＲ中央線日野駅周辺は日野市の中心駅であり、公共公益施設が多く立地している。
- 駅周辺では昭和40年代から土地区画整理事業が施行されており、平成16年に西側ロータリーの再整備を、平成18年に東側道路・広場の再整備を実施した。
- 駅周辺では、日野用水をはじめ歴史的資源が集積しており、都市施設や拠点の整備だけでなく、これらを利活用したネットワークも考慮した都市機能の誘導やまちのにぎわいのある拠点が求められている。

将来像

- 景観を大切にした駅周辺を整備し、崖線の緑の連続性を維持するとともに、緑や歴史を感じることのできる、甲州街道の宿場町の趣をいかした駅前空間や、駅周辺ににぎわいと安らぎを与える空間が整備されている。
- 市民の森スポーツ公園や日野宿本陣等の歴史資源、市街地を流れる用水等をいかしながら、公共施設の再編等、日野の玄関口として市民の交流の場にふさわしい市街地環境が整備されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 日野宿
出典：日野市提供

3 『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト
出典：日野市提供

地域の拠点：日野

拠点づくりの具体的な取組

1	**日野宿 ～新選組まつり～**	江戸時代、甲州道中の宿場であった日野宿には、都内で唯一残る本陣建物「日野宿本陣」をはじめ、新選組のふるさととして、その歴史に触れることのできる資料館も点在する。日野出身の新選組副長・土方歳三の命日に合わせて開催されるひの新選組まつりでは、日野宿周辺を会場とした隊士パレードなどに全国から多くの来場者を迎えている。	戦略7
2	**日野産農産物の即売事業 ～農あるまちづくり日野～**	定期的に駅前広場等で季節の野菜や特産品を販売するほか、市内小中学校へ給食用食材として日野産農産物を提供する取組を実施している。次世代を担う日野市若手農業者の団体「HINO BLUE FARMERS CLUB」が発足した。	戦略6
3	**日野宿通り周辺「賑わいのあるまちづくり」プロジェクト**	駅周辺のキョテンとして、地域主導により地域の力や資源を融合させた様々な取組を行い、日野宿通り周辺のにぎわいを創出し地域の活性化を行う。	戦略1
4	**第三次日野市バリアフリー基本構想**	第二次日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画を策定し、重点整備地区（移動円滑化促進地区）として歩道の改修による段差解消や波打ち歩道の解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置の他、公共施設等の更新を推進するとともに、一体的なバリアフリー化を誘導する。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**日野宿 ～新選組まつり～**	**市・民間**	各年度開催	各年度開催	各年度開催	継続実施
2	**日野産農産物の即売事業 ～農あるまちづくり日野～**	**民間**	各年度開催	各年度開催	各年度開催	継続実施
3	**日野宿通り周辺「賑わいのあるまちづくり」プロジェクト**	**民間**	各年度開催	各年度開催	各年度開催	継続実施
4	**第三次日野市バリアフリー基本構想**	**市**		整備期間（前期）		前期（2022-2026） 後期（2027-2031） 長期（2032年～）

地域の拠点：豊田

現状と課題

- 日野市の三大拠点として位置づけられており、ＪＲ中央線豊田駅は日野市の中心駅であり、豊田駅周辺は公団多摩平団地の開発にともなう昭和30年代における公団のまちづくりの先駆けとして発展してきた。
- 北口は団地の再編整備に伴う拠点形成を誘導し、南口は土地区画整理事業を進めている。
- 既存の都市機能の集積や公共交通の要衝としての機能が高いことから、商業・業務機能の充実のみならず医療・福祉・教育・文化等の誘導や日野の産業を活性化させ、様々な交流を促進するにぎわいのある拠点が求められている。

将来像

- 駅北口周辺は医療・福祉関連施設の集積をいかした住環境の整備や、商業施設の利用者や多数の事業者との連携による更なる活力の向上につながる駅前空間が利活用されている。
- 駅南口周辺は、背後に丘陵部を収めた風景や、崖線の水や緑をいかししつつ、地域に根差した親しみのある商業施設に近接する利便性の高い住宅地として整備されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 多摩平の森地区
出典：日野市提供

1 ＰｌａｎＴ
出典：日野市提供

4 地区まちづくり協議会
出典：日野市提供

地域の拠点：豊田

拠点づくりの具体的な取組

1	多摩平団地の再編整備に伴う拠点形成 （多摩平の森まちづくり重点地区）	多摩平団地の再編整備にあたり、駅を中心としたコンパクトなまちづくりを進める上で、拠点地区と連続性のある地域活力を創出するまちづくりを推進し、駅前の魅力向上や南北の一体的なまちづくりを段階的に推進する。また、多摩平の森まちづくり重点地区では、「多摩平の森地区地区計画」「黒川緑地地区地区計画」の2つのまちづくりのルールを定めている。	戦略1
2	住み替え支援モデル事業の実施	日野市、独立行政法人都市再生機構及び野村不動産（株）で協定、日野市民向け優先販売の実施や今住んでいる住宅の売却の支援等、住み替え支援を試験的に実施する。	戦略3
3	豊田南土地区画整理事業	昭和61年より土地区画整理事業が開始され、駅前の商業機能の充実、幹線道路・駅前広場等の整備による利便性と安全性の向上、崖線・豊田用水・湧水路等の自然景観をいかした水と親しみのある住環境の形成を図る。「豊田南地区地区計画」では、事業による効果の維持・増進を図りながら魅力あるまちづくりを目指すまちづくりのルールを定めている。	戦略1
4	地区まちづくり計画	日野市まちづくり条例に基づき、平成28年4月1日に豊田駅南口周辺、令和5年6月5日に多摩平一丁目9番地地区の地区まちづくり計画が決定し、計画に基づいた活動を住民らが主体的に行う。	戦略1
5	日野産農産物の即売事業 ～農あるまちづくり日野～	定期的に公園等で季節の野菜や特産品を販売するほか、市内小中学校へ給食用食材として日野産農産物を提供する取組を実施。次世代を担う日野市若手農業者の団体「HINO BLUE FARMERS CLUB」が発足した。	戦略6
6	第三次日野市バリアフリー基本構想	第二次日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画を策定し、重点整備地区（移動円滑化促進地区）として歩道の改修による段差解消や視覚障害者誘導用ブロックの設置など推進するとともに、一体的なバリアフリー化を誘導する。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	多摩平団地の再編整備に伴う拠点形成 （多摩平の森まちづくり重点地区）	市 都市再生機構	段階的まちづくりの誘導			継続実施
2	住み替え支援モデル事業の実施	市	事業実施			令和6年度
3	豊田南土地区画整理事業	市		事業実施		令和10年度
4	地区まちづくり計画	民間		各協議会にて活動		継続実施
5	日野産農産物の即売事業 ～農あるまちづくり日野～	民間	各年度開催	各年度開催	各年度開催	継続実施
6	第三次日野市バリアフリー基本構想	市		整備（前期）		前期（2022-2026） 後期（2027-2031） 長期（2032年～）

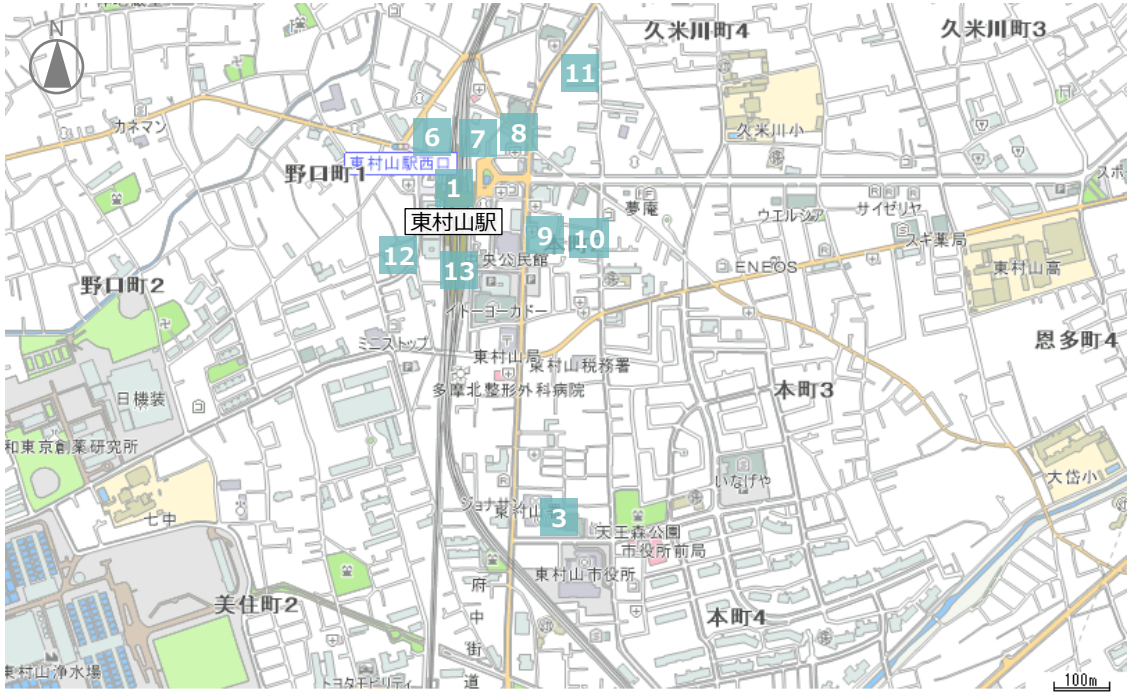
地域の拠点：東村山

現状と課題

- 都市計画マスタープランにおいて、東村山駅周辺を中心核と位置づけ、都市機能の強化・集積に取り組むとしている。
- 連続立体交差事業の整備に合わせ、駅前広場の再整備や高架下空間等の活用の検討を進めている。

将来像

- 連続立体交差事業等による東西地域の一体化、回遊性の向上等にあわせ、駅前広場の再整備や市街地開発事業等を用いた商業・業務等の機能の集積により、にぎわいと活力が創出されている。
- 高架下空間等を活用し、地域・行政・鉄道事業者が連携することで、にぎわいと交流が創出されている。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

6 東村山駅付近連続立体交差事業
出典：東京のまちづくり（東京都建設局）

1 そらいち東村山　市民ワークショップ
出典：東村山市提供

1 そらいち東村山　開催風景
出典：東村山市提供

地域の拠点：東村山

拠点づくりの具体的な取組			
1	そらいち東村山	公共空間の利活用を通して東村山駅周辺ににぎわいを創出していくことを目的に、市民や市内事業者が中心となり、マーケットイベントを開催した。	戦略1
2	起業・創業支援	支援機関と連携した個別相談や創業セミナー及び創業塾の開催など、年間を通じた支援体制を構築し、起業・創業しやすい環境を整備する。	戦略1
3	新たなワークスタイルの提供	多様化する就労ニーズに合致したオフサイト型の職住近接オフィス「ジョブシェアセンター東村山」を公民連携により、平成30年度に東村山市市民センター1階に開設した。	戦略1
4	東村山編集室	東村山市のくらしをよりよくしていくため、市公式note内のマガジン【東村山編集室】で地域ライターが投稿する記事を公開し、まちや人の魅力を伝えていく。	戦略1
5	東村山シティプロモーションプラットフォーム	まちで活動する様々な団体等を有機的に連携させるプラットフォームを設立し、各々の情報や得意分野を共有し、シティプロモーションを促進するための人的ネットワークとすることを目指す。	戦略1
6	西武新宿線、国分寺線及び西武園線（東村山駅付近）連続立体交差事業（鉄道の高架化）	用地確保、高架橋構築工事を行う。	戦略2
7	鉄道付属街路の整備	鉄道の高架化完了後、整備着手する。	戦略2
8	高架下空間の利用	鉄道事業者と連携し、必要な施設配置等を検討する。鉄道の高架化完了後、整備着手する。	戦略2
9	東村山駅東口駅前広場再整備	東村山駅東口駅前広場再整備基本計画を令和5年度末に策定した。	戦略1
10	中心核機能の向上	東村山駅東口地区約6haの地権者を対象に勉強会等を実施し、市街地再開発の機運醸成等を支援する。	戦略1
11	幹線道路網の整備	東村山3・4・10号線、31号線（市施行）、東村山3・3・8号線（都施行）の事業を推進する。	戦略2
12	駅周辺道路の整備	東村山3・4・9号線（L＝59.5m）及び市道第280号線1（新規路線）東村山3・4・9号線（L＝260m）（道路拡幅事業）市道第81号線1（鷹の道）の事業を推進する。	戦略2
13	東西動線の整備	鉄道の高架化完了後、整備着手する。	戦略2

7　TAMA拠点形成プロジェクト

地域の拠点：東村山

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	そらいち東村山	市民	毎年１回開催 （※現在は東村山中央公園で開催するなど活動を継続している）			継続実施
2	起業・創業支援	市	創業塾の開催（年３回）など、年間を通じた支援を実施			継続実施
3	新たなワークスタイルの提供	市・民間	多様な働き方のニーズに対応する検討・検証 女性デジタル人材育成とその活用方法の検証			継続実施
4	東村山編集室	市民	市より認定を受けた市民ライターが独自に 取材し、随時、記事を発信			継続実施
5	東村山シティプロモーションプラットフォーム	市民	市民や企業の方を対象に、毎回テーマを 決めて、意見交換会・勉強会を実施			継続実施
6	西武新宿線、国分寺線、西武園線（東村山駅付近） 連続立体交差事業（鉄道の高架化）	都・市・ 民間	工　事			令和10年度末
7	鉄道付属街路の整備	都・市	設計等			令和12年度末
8	高架下空間の利用	都・市・ 民間	検討、都・鉄道事業者との協議・調整等			鉄道の高架化 完了後 整備着手

地域の拠点：東村山

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
9	東村山駅東口駅前広場再整備	市	関係者協議・調整・連携方策の検討 実証実験による空間やつかい方等の検討		設計等	連立事業の進捗に合わせ整備着手
10	中心核機能の向上	市・民間	勉強会・計画作成等			連立事業の進捗に合わせ整備着手
11	幹線道路網の整備	都・市	用地取得・設計・工事等			鉄道の高架化完了後 鉄道交差部整備・供用開始
12	駅周辺道路の整備	市	用地取得・設計・工事等			(事業中)令和8年度末 (新規)令和14年度末 (道路拡幅事業）連立事業完成後鉄道交差部整備・供用開始
13	東西動線の整備	市		設計		鉄道の高架化完了後 整備・供用開始

地域の拠点：西国分寺

現状と課題

- 西国分寺駅はJR中央線と武蔵野線が交差する交通結節点駅であり、商業・業務の集積地となっている。
- 駅南口については、西国分寺駅周辺整備基本構想（以下、「構想」という。）に基づき、駅前広場や道路等の都市基盤や、商業施設・いずみホール等の施設整備が行われてきた。
- 駅南東側（鉄道学園跡地とその周辺）については、西国分寺地区住宅市街地総合整備事業により、住宅・道路・公園などの一体的な整備が行われてきた。
- 駅北東側については、都市計画緑地「姿見の池緑地」をはじめとした緑に囲まれた落ち着きある住宅地が形成されてきた。
- 一方、駅北口周辺地区は、構想において方向性が示されたものの基盤整備などが不十分なまま宅地化が進行してきている。そのため、駅北口については、西国分寺駅北口周辺まちづくり計画を策定し、将来像であるグランドデザインを掲げそれを実現するための取組を進めている。
- 西国分寺駅周辺は、東西に通るJR中央線と南北に通る武蔵野線とそれに平行する府中街道により４つのエリアに分断されている。これらの都市基盤による西国分寺駅周辺の回遊性が課題となっていることから、４つのエリアをつなぐ回遊性を検討する必要がある。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

将来像

- 都市生活・文化交流の拠点となる国分寺駅南側、西国分寺駅南側一帯や歴史文化の拠点となる武蔵国分寺跡等一帯における魅力ある空間が形成されている。
- 恋ヶ窪用水・野川等の自然資源を活用した緑豊かな空間が形成されている。
- 恋ヶ窪用水や姿見の池、西恋ヶ窪緑地（エックス山）等の貴重な自然資源を活用したまちづくりが展開されている。
- 武蔵国分寺跡を中心とした歴史文化に触れられるまちなみが形成されている。
- 地域の歴史文化や自然資源をいかし、ふるさとを感じることができる環境が形成されている。
- 駅北口においては、駅前にふさわしい交通広場などの都市基盤の整備により、交通機能及び防災機能の向上並びに安全な歩行者環境が創出されている。地区内にオープンスペースや公園等を適切に配置・整備するとともに、駅前に商業、文化などの生活関連機能の集積を進め、周辺の緑や農地と調和した、利便性と豊かな緑を併せ持つ魅力的な住宅市街地が形成されている。
- 西国分寺駅周辺の４エリアの役割をいかしつつ、各エリアをつなぐ回遊性を高め、ウォーカブル制度等を活用し、駅周辺の活力が向上されているとともに、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかが形成されている。

1 西国分寺駅北口
出典：国分寺市提供

地域の拠点：西国分寺

拠点づくりの具体的な取組

1	**西国分寺駅北口周辺まちづくり計画**	令和2年3月「西国分寺駅北口周辺地区まちづくり計画」を決定した。「暮らしやすい魅力的な住宅都市」「人が中心の都市デザイン」「まちを育て誇りを育む」を実感するよう、市民、関係団体、行政等の連携により推進する。	戦略1
2	**シェアサイクルステーションの整備**	片道利用のできる自転車サービスであり、観光をはじめとする市内の回遊性の向上や、近隣導入市（府中市等）との乗り入れ、駐輪場の混雑緩和、災害時の移動手段としての効果が期待されており、継続して実施していく。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**西国分寺駅北口周辺まちづくり計画**	**市民 関係団体 市**	整備実現に向けた検討・組織化			継続実施
2	**シェアサイクルステーションの整備**	**民間**		随時実施		継続実施

地域の拠点：福生

現状と課題

- 福生駅はJR青梅線で福生市の中心駅 となっている。
- 福生駅西口では、令和３年度に地区計画及び市街地再開発事業が都市計画決定された。
- 福生駅東口では福生3･4･7号富士見通り線の整備や沿道の地区計画による運用を実施している。
- 老朽化した建築物や耐震性不足の建築物が多く、防災面における課題を抱え、また、駅前立地にも関わらず低未利用地が多く、にぎわいや魅力の低下への懸念、交通広場における必要な交通空間機能の不足、幅員の狭い道路、歩行者空間･回遊性の不足といった課題がある。

将来像

- 市の顔となる｢中心拠点｣となっている。
- 駅西口周辺の市街地再開発事業を推進し、市の顔にふさわしい新たなにぎわいと交流が生まれる拠点を形成するとともに、市域全体にサービスを提供する多様な行政サービス施設の誘導により、更なる利便性が向上している。
- 駅東口から東方向に延びる福生3･4･7号富士見通り線の整備にあわせて、多様な都市機能の誘導を図るとともに、国際色豊かな景観形成を図り、駅周辺の一体的なエリアにおいて、だれもが歩いて楽しめるウォーカブルな都市空間を形成している。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 福生七夕まつり
出典：福生市HP

2 ウォーカブルなまちづくりの推進
出典：福生市HP

地域の拠点：福生

拠点づくりの具体的な取組

1	福生七夕まつりの開催	昭和26年、当時の町職員が発案して以来、70年以上続いている。市と地元住民や企業が協働し、伝統的な民踊パレードや市民模擬店などを実施し、例年多くの来訪者でにぎわう。	戦略7
2	ウォーカブルなまちづくりの推進	令和２年２月に福生駅東口（富士見通り地区）、令和３年７月に福生駅西口地区に地区計画を決定した。にぎわいのある商業・業務施設、利便性の高い市民サービス機能を有した公益施設、快適な居住施設を整備するとともに、良好な街並み形成、歩行者環境の創出を図る。	戦略2
3	福生３・４・７号富士見通り線整備事業	福生駅東口交差点部～産業道路の東福生交差点部までの延長350mについて、道路拡幅を伴う歩道整備及び電線地中化工事を実施することにより、延焼遮断帯を形成しつつ、歩行者空間を確保する。	戦略2
4	福生駅西口地区第一種市街地再開発事業	平成29年に準備組合を設立した。 JR福生駅西口の2.2haについて令和３年９月に都市計画決定した。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	福生七夕まつりの開催	市	毎年度開催			継続実施
2	ウォーカブルなまちづくりの推進	市	地区計画による運用			継続実施
3	福生３・４・７号富士見通り線整備事業	市	埋設管工事		電線共同溝工事	令和10年度末
4	福生駅西口地区第一種市街地再開発事業	民間	組合設立認可等に向けた検討			未定

地域の拠点：狛江

現状と課題

- 狛江市の中心駅である小田急線狛江駅を中心とした市街地が形成されている。
- 平成初期に小田急線の高架化と北口駅前の第一種市街地再開発事業が完了し、商業施設や市民ホール等の複合的施設が立地している。
- 駅周辺には図書館などの文化施設や長時間いられる商業施設が求められており、中心拠点である狛江駅周辺は地域拠点の機能強化やウォーカブルなまちを推進するための歩行空間の充実、商業空間の充実に向けた検討・取組が必要である。
- 狛江駅南口には小・中規模の商業施設が多く立地するものの、更なるにぎわい創出の可能性を有しており、また南口駅前には狭隘道路も多く存在することから、地元では市街地再開発事業を検討する動きがある。

将来像

- 都市計画マスタープランにおいて中心拠点と位置付け、市全体の玄関口として、市内外から多くの人が訪れ、快適な歩行空間の中で活発な都市活動や交流が行われる拠点を形成している。
- 立地適正化計画において都市機能誘導区域に設定し、商業施設の連続性がある道路沿道や、市役所等の公共公益施設を含む範囲において都市機能が立地している。
- 市内各地から公共交通によりつながる交通結節点機能が充実した拠点を形成している。
- 中心市街地としてふさわしい駅前空間にするため、狛江弁財天池特別緑地保全地区等の貴重な自然・歴史資源をいかした景観形成を図り、市民が誇りを持てる魅力的なまちを形成している。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 2 市民センターの改修・図書館の移転
出典：狛江市HP

3 歩行者空間を活用した社会実験の様子
出典：狛江市提供

地域の拠点：狛江

拠点づくりの具体的な取組

1	**市民センターの改修**	市役所と併設されている市民センター（中央公民館・中央図書館）については、図書館の一部機能を残しつつ公民館機能の充実を図るとともに、市民活動支援センターが加わる複合施設としてリノベーションを行う。	戦略5
2	**図書館の移転**	１と併せ、図書館本体の機能は、駅周辺の別の場所へ移転して新たに整備し、機能的で利用しやすく、多くの市民に親しまれる図書館を目指す。	戦略5
3	**駅前の滞在快適性の向上**	狛江駅北口や小田急線の側道などの狛江駅周辺エリアにおけるにぎわいの形成や地域住民の交流促進を目的として、歩道の舗装のグレードアップを行うなど快適な歩行空間を創出する。 また、民間事業者である小田急マルシェ狛江の改修と合わせて、同一の意匠により一体的な駅前空間を創出するとともに、歩行者利便増進道路（ほこみち）制度を活用して歩行者空間を有効活用したテラス席等を作り、魅力ある駅前空間を創出する。 令和５年10月には「狛江まちみらいラボ」を設立し、「ほこみち運営」及び「エキマチカイギ」を通じた地域のまちづくり人材を育成し、公共空間のデザインに市民が参画する等、駅北口周辺のエリアマネジメント等を推進している。	戦略5
4	**狛江駅南口周辺におけるまちづくり**	狛江駅南口周辺について、令和７年度を目標に市街地総合再生基本計画（案）を策定し、中心拠点・都市機能誘導区域としてふさわしいまちづくりを進めていく。また、まちづくり条例に基づき、当地区で活動する市民組織（狛江駅南口地区地区まちづくり協議会）を支援し、市民協働によるまちづくりを推進する。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**市民センターの改修**	**市**	工事			令和７年度
2	**図書館の移転**	**市**	設計	工事		令和８年度
3	**駅前の滞在快適性の向上**	**市・民間**	整備	継続的に運営		令和６年度
4	**狛江駅南口周辺におけるまちづくり**	**市・市民**	市街地総合再生基本計画（案）の策定		継続的に検討	令和7年度 市街地総合再生基本計画（案）策定

地域の拠点：玉川上水

現状と課題

（立川市側）

- 都市計画区域マスタープランの改定により地域の拠点として位置づけられており、多摩都市モノレールの延伸により更なる乗降客数の増加が期待されている。しかし、駅南側においては、戸建住宅や集合住宅が既に多く立地しており、第一種中高層住居専用地域や第一種低層住居専用地域が大部分に指定されていることから、拠点の位置づけにふさわしい機能立地が難しい状況にある。
- 多摩地域における都市計画道路のうち、主要な路線である立川３・1・34号線と立川３・３・3号線が交差していることから、将来的には周辺からのアクセス性向上が期待されるため、立川３・３・3号線の整備を進めていく必要がある。

（東大和市側）

- 駅北側には交通結節点としての駅前広場があるほか、周辺には中高層の公営住宅等が立地している。

将来像

（立川市側）

- 身近な地域における人々の活動や交流の中心地となっている。
- 鉄道、多摩都市モノレール、バス等の交通結節点としての機能の充実を図るとともに、地域のバリアフリー化に努め、生活しやすい都市空間を形成している。
- 武蔵野の面影を残す豊かな緑を保全しながら、うるおいある住宅地を形成している。

（東大和市側）

- 駅北側では、多摩都市モノレールの延伸など将来交通ネットワークの拡充を見据え、交通結節機能の強化を図るともに、玉川上水や都立東大和南公園に近接した立地をいかした、みどり豊かでにぎわいのある市街地を形成している。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

4 東大和市コミュニティバス
出典：東大和市提供

地域の拠点：玉川上水

拠点づくりの具体的な取組

（立川市側）

1	**駐輪場のあり方検討**	駐輪場の適切な配置、運営方法等について検討が必要である	戦略2
2	**立川市柏町住宅団地の建替え**	老朽化による建替えが想定され、「一団地の住宅施設」を廃止し、駅近接という立地を考慮した地区計画の検討が必要である。	戦略3
3	**立川３・３・３号線の整備**	立川の北部、都心方面と連絡する東西方向の幹線道路である。多摩都市モノレール西側は第四次事業化計画に位置付けられている。	戦略2

（東大和市側）

3	**シェアサイクル**	市内の回遊性の向上を図るとともに、新たな交通システムとしてのシェアサイクルの有効性を検証するため、実証実験を実施中である。	戦略2
4	**コミュニティバス（ちょこバス）**	公共交通空白地域と、上北台駅、東大和市駅・玉川上水駅、武蔵大和駅などを結ぶ、東大和市のコミュニティバスを運行中である。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**駐輪場のあり方検討**	**立川市**		調査	検討	継続実施
2	**立川市柏町住宅団地の建替え**	**民間**				未定
3	**立川３・３・３号線の整備**	**都**	検討中	検討中	検討中	継続実施
4	**シェアサイクル**	**民間・東大和市**	実証実験	検証	本格実施	令和7年度の本格実施に向け実証実験中
5	**コミュニティバス（ちょこバス）**	**民間・東大和市**	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

地域の拠点：清瀬

現状と課題

- 清瀬駅周辺は市域の南に位置している。西武池袋線が通過しており、清瀬駅が立地している。
- 市のにぎわいの中心地域であり、市内外を結ぶ路線の起点となっている。
- 清瀬駅の北側は駅前広場や商業ビルが整備され、商業施設などが集積している。南側は小規模な店舗が立地する商業地となっている。
- 清瀬駅周辺は平成7年度に北口再開発事業の完了以降大きな基盤整備が行われていない。駅周辺地域の基盤整備の推進、駅舎の改築などを戦略的に検討し、中心市街地としての拠点性の強化が求められている。
- 清瀬駅南口地域の公共施設の老朽化が進んでおり、再整備が求められている。

将来像

- 商業・業務などの各種都市機能の集積と南口の駅前交通広場や都市計画道路の整備により交通結節機能の強化を図ることで、円滑な移動を促進し、にぎやかで活力のある生活利便性の高い拠点が形成されている。
- 清瀬駅南口地域児童館・中央図書館等複合施設及び中央公園整備基本計画において、図書館と児童館機能を持つ複合施設を建設し、併せて公園の再整備を一体的に行い、子育て支援の拡充や多目的利用を推進し、多様化する市民ニーズへ対応がなされている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 児童館・図書館等の複合施設及び公園の整備
（出典：清瀬市提供）

4 けやき通り
（出典：清瀬市提供）

地域の拠点：清瀬

拠点づくりの具体的な取組

1	**児童館・図書館等の複合施設及び公園の整備**	児童館のない清瀬駅南口地域に、清瀬市立中央図書館との複合化や清瀬市立中央公園との一体的な整備も行う。『清瀬駅南口地域児童館・中央図書館等複合施設及び中央公園整備基本計画』を令和4年3月策定。「こころ踊る出会いがあり　のびのび・すくすく・いきいき過ごす未来創造拠点」が事業コンセプト。	戦略5
2	**清瀬駅周辺の未来構想ビジョンの基礎調査**	清瀬駅周辺のにぎわいを創出する未来構想を戦略的に検討するため、土地・建物利用状況、主要な集客施設分布等を把握する基礎調査を行う。　調査結果をもとに、清瀬駅周辺のまちづくりに関する課題を整理する。	戦略1
3	**清瀬駅開業100周年事業の実施**	令和6年度に清瀬駅が開業してから100周年を迎えることから、この節目を記念し、様々な周年事業や式典を開催。これまでの清瀬の尊い歴史を作り上げてきた清瀬市民が主体となるイベント等を企画し実施する。	戦略5
4	**けやき通りグランドデザイン策定**	清瀬市のシンボルロードである「けやき通り」が将来にわたり景観と安全性を発展的に保全するためのグランドデザインを策定する。	戦略5

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**児童館・図書館等の複合施設及び公園の整備**	**市**	複合施設整備工事	供用開始		令和8年度
			公園整備工事		供用開始	
2	**清瀬駅周辺の未来構想ビジョンの基礎調査**	**市**	まちづくりビジョンの策定			令和7年度
3	**清瀬駅開業100周年事業の実施**	**市**	事業実施			令和6年度
4	**けやき通りグランドデザイン策定**	**市**	グランドデザイン策定	グランドデザインに基づく事業実施に向けた検討		令和6年度

地域の拠点：秋津

現状と課題

- 都市計画マスタープランにおいて、秋津・新秋津駅周辺を中心核と位置づけ、都市機能の強化・集積に取り組むとしている。
- 第四次優先整備計画の対象となっている東村山３・４・２７号線、東村山３・４・１３号線整備の早期事業化が求められている。
- 秋津駅・新秋津駅の乗降客数は市内主要駅の中でも最も多く、交通結節点としての特性をいかした都市機能の誘導が求められている。

将来像

- 中心核である秋津・新秋津駅周辺において、二駅間の人の往来をいかした回遊性の高い活気ある空間が形成されている。
- 清瀬市、埼玉県所沢市と連携しながら、アクセス道路や駅前交通広場の整備などを検討し、周辺に暮らす市民や乗換えで駅を利用する人たちの日常的な生活を支える商業・サービス業を中心とした施設を誘導し、交通結節点としての特性をいかした活力のある拠点が形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 秋津・新秋津駅周辺まちづくり　ワークショップ
出典：東村山市提供

2 地元まちづくりの機運醸成の取組　あきつとんぼ楽市
出典：東村山市提供

4 東村山シティプロモーションプラットフォーム
出典：東村山市提供

地域の拠点：秋津

拠点づくりの具体的な取組

1	秋津・新秋津駅周辺まちづくり	地元住民などで組織された、秋津駅南まちづくり推進協議会において、まちづくりの調査・研究を行うとともに、まちづくりの機運醸成や新たな担い手の掘り起こし、また今後の駅周辺のにぎわい創出のため、まちづくりシンポジウムやワークショップを実施するなど、市民全体のまちづくりの検討を進めている。	戦略1
2	地元まちづくりの機運醸成	地元まちづくりの機運醸成に向けた取組として、秋津地域に暮らす楽しさや、喜びを再発見することをコンセプトに、地元住民で結成された実行委員とともにマーケットイベント「あきつとんぼ楽市」を令和５年から継続的に開催している。	戦略1
3	東村山編集室	住民が作り手となる市公式のnote内マガジン【東村山編集室】で記事を公開することで、東村山市のくらしをよりよくしていくため、また、まちの魅力を伝えていく。	戦略1
4	東村山シティプロモーションプラットフォーム	まちで活動する様々な団体等を有機的に連携させるプラットフォームを設立し、各々の情報や得意分野を共有し、シティプロモーションを促進するための人的ネットワークとすることを目指す。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	秋津・新秋津駅周辺まちづくり	市	官民連携まちなか再生推進事業の活用（エリアプラットフォーム構築・未来ビジョン策定）等			駅周辺の都市計画道路（駅前広場を含む）や面的整備が完了するまで
2	地元のまちづくり機運醸成	市	マーケットイベントの開催等ソフト施策について地域を巻き込みながら実施			上記ハード整備に合わせ、自立自走化が図られるまで
3	東村山編集室	民間	市より認定を受けた市民ライターが独自に取材し、随時、記事を発信			継続実施
4	東村山シティプロモーションプラットフォーム	市・民間	市民や企業の方を対象に、毎回テーマを決めて、意見交換会・勉強会を実施			継続実施

地域の拠点：東久留米

現状と課題

- 市内唯一の鉄道駅である東久留米駅を中心とする地域である。
- 土地区画整理事業や街路事業により東西の駅前広場が整備され、さらに駅北口改札閉鎖に伴い連絡通路も整備されている。
- 駅西口に都市計画自転車等駐車場を２か所整備した。今後は、駅周辺の放置自転車等への対応強化と、既存施設の最大限の活用を図りつつ、利用率等の推移を注視していく。

将来像

- 東久留米駅周辺を活力創出拠点と位置付け、まちのにぎわいや生活の利便性を高める都市機能・生活機能の維持・誘導がされている。
- 都市基盤を有効に活用し、駅を中心とした周辺地域が一体となり機能が強化されている。
- 駅西口地区及び東口地区は、地区計画制度の活用などにより東久留米市の玄関口にふさわしい魅力ある商業・サービス施設や、業務施設の集積が誘導されている。
- 駅北口地区は関係者と地区の在り方の検討を進め、機能の強化（活用）に向けたまちづくりが推進されている。
- 駅周辺の道路は、円滑ですべての利用者が使いやすい歩道・自転車走行空間を整備するとともに、富士見の景観を軸とした沿道の景観誘導・緑化の推進、地域のニーズを踏まえた新しい道路空間や沿道の商業施設と連携したまち歩きが楽しい道路空間の創出等により、回遊性が向上している。
- 整備した都市計画自転車等駐車場、及び既存施設の最大限の活用により、自転車利用者の利便性を向上させ、放置自転車等の解消を図る。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

3 地区計画を活用したまちづくり（まろにえ富士見通り）
出典：東久留米市提供

7　TAMA拠点形成プロジェクト

地域の拠点：東久留米

拠点づくりの具体的な取組

1	**ブラック・ジャックの銅像を活用した誘客促進**	東久留米駅西口ロータリー花壇内に建造した「ブラック・ジャック」の銅像を活用して誘客促進を行う。	戦略7
2	**防災拠点の整備**	帰宅困難者を一時的に受け入れる一時滞在施設を確保するとともに、電源喪失時を想定しポータブル電源及びソーラーパネルを配備し非常電源の確保を図る。	戦略4
3	**地区計画を活用したまちづくり**	東久留米駅周辺の地区計画に係る壁面後退部分の使用に関する協定において、将来に渡って快適な歩行空間及び都市環境空間として確保する。	戦略1
4	**東久留米駅西口駅前広場の再整備**	東久留米駅西口昇降施設を改築するとともに、駅前広場についてバリアフリー化し、高齢者や障がい者を始めとした利用者の利便性や安全性の向上を図る。	戦略2
5	**東久留米駅周辺自転車等駐車場の整備**	駅西口に都市計画自転車等駐車場を２か所整備した。今後は、駅周辺の放置自転車等への対応強化と、既存施設の最大限の活用を図るとともに、利用率等の推移を注視していく。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**ブラック・ジャックの銅像を活用した誘客促進**	**市**	「ブラック・ジャック」の銅像を活用した誘客促進			継続設置
2	**防災拠点の整備**	**市**	令和６年４月一時滞在施設へポータブル電源等の配備			令和６年４月
3	**地区計画を活用したまちづくり**	**市**	建物所有者等と随時調整			未定
4	**東久留米駅西口駅前広場の再整備**	**市**	調査・検討・都市計画手続			未定
5	**東久留米駅周辺自転車等駐車場の整備**	**市**	令和６年４月開設（東久留米駅西口第２自転車駐車場） 既存施設の最大限の活用を図り、利用率等の推移を注視			指定管理期間令和16年11月30日まで

地域の拠点：聖蹟桜ヶ丘

現状と課題

- 京王線の主要駅であり、多摩市の商業の中心駅である。
- 河川空間のオープン化を活用し、多摩川河川敷の「かわまちづくり」に取り組み、居心地の良い水辺づくりと連携したまちの活性化を推進している。
- 良好な住環境の維持・向上と低未利用地等を有効活用したにぎわいと活力ある街づくりを目指し検討を進めている。

将来像

- 市の中心的な拠点として、商業、文化・交流、公共・公益、生活サービスなど多様な機能が集積するとともに、柔軟な働き方や暮らし方に対応した、利便性が高い拠点が形成している。
- 鉄道やバスなど交通結節点として多くの人々が集まることから、移動しやすく歩きやすい空間の形成を図るとともに、回遊性があり、活気とにぎわいがある空間が形成されている。
- 国土交通省の「かわまちづくり」支援制度に「聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり」計画を登録、多摩川河川敷において、河川空間のオープン化の活用による居心地の良い水辺づくりが実現され、川を起点にまち全体のにぎわいを創出している。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 水辺でマルシェ
出典：多摩市提供

©NIPPON ANIMATION CO.,LTD.

3 ラスカル子ども映画祭
（日本アニメーション）
出典：多摩市提供

地域の拠点：聖蹟桜ヶ丘

拠点づくりの具体的な取組

1	聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり	多摩川を活用したまちの魅力やにぎわいのある河川空間を目指し、協議会を設置し、エリマネ団体と連携しながら、持続可能な管理運営体制を構築する。	戦略6
2	せいせき観光まちづくり会議	聖蹟桜ヶ丘の魅力を発信し、アニメや歴史・文化をいかしたまちづくりを推進する団体。 地域の特性をいかし、観光振興や地域イベントを通じて街と訪れる人々をつないでいる。	戦略5
3	アニメコンテンツをいかした取組	地域にゆかりのあるアニメコンテンツをいかしたイベント等を実施し、地域の活性化を推進する。	戦略5
4	聖蹟桜ヶ丘駅西側地域街づくり協議会	聖蹟桜ヶ丘駅西側地域の良好な住環境の維持・向上と低未利用地等を有効活用したにぎわいと活力ある街づくりを目指し、街づくりの目標やテーマ、街の将来像を示す地域街づくり計画を検討している。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり	民間	河川空間のオープン化による利活用			継続実施
2	せいせき観光まちづくり会議	民間	聖地巡礼の活性化や関連イベント等を実施			継続実施
3	アニメコンテンツをいかした取組	市・民間	随時			継続実施
4	聖蹟桜ヶ丘駅西側地域街づくり協議会	民間	取組状況などに合わせて開催			継続実施

地域の拠点：ひばりヶ丘

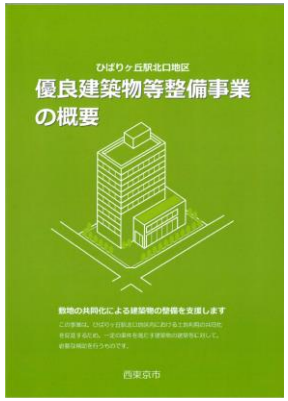
現状と課題

- 駅を中心として商業施設、商店街、集合住宅等が集積し、これらを囲むように戸建住宅を中心とする住宅地が形成されている。
- 踏切対策基本方針において、「鉄道立体化の検討対象区間」の一つに位置づけられている。
- 将来の人口減少及び高齢者人口割合の増加が予測されていることから、定住人口及び交流人口の維持、増加に向け、個性と魅力ある商業地と快適で利便性の高い住宅地の形成が必要である。
- 駅の西側は生産緑地などのみどりが少ない状況である。

将来像

- 駅の周辺では商業施設等が集積する立地状況をいかし、市内外から多くの人が訪れ、にぎわいが生まれ、交流が行われる場となるよう、多様な都市機能の誘導を図るとともに、交通結節点として市内外各地と公共交通などによりつながる拠点が形成されている。
- 駅北側は、地域に密着した小規模店舗の集積や西東京３・４・21 号ひばりヶ丘駅北口線及び交通広場の整備を踏まえ、沿道建物の更新や商店の立地など、にぎわいのある街並みの形成や防災性の向上を図るため、「ひばりヶ丘駅北口地区地区計画」を定めている。また、地区計画以外のエリアにおいてもまちづくりの検討を開始し、市街地特性から地区を３つに区分し、特に地区計画を活用したまちづくりのルールの必要性が高いと考えられるひばりヶ丘駅北口西側地区の地区計画が定められている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.



2　ひばりヶ丘駅北口の市街地誘導（優良建築物等整備事業）
出典：西東京市HP

地域の拠点：ひばりヶ丘

拠点づくりの具体的な取組

1	**ひばりヶ丘駅北口の生産緑地地区を活用した公園整備**	ひばりヶ丘駅北口西側地区については、地元からの意見でもある「道路が狭い」「オープンスペース等が不足している」などの地区が抱える防災上の課題を解決するため、市で生産緑地を購入し、都市計画公園として整備することで、地区内の住環境、防災性の向上を図る。	戦略6
2	**ひばりヶ丘駅北口の市街地誘導**	西東京3・4・21 号線の整備を契機とした敷地の統合、建物の共同建替え、土地の高度利用などによる街区再編を進め、商業施設を中心としたにぎわいの維持・創出、安全で快適な歩行者環境への改善、駅及び駅周辺施設利用者の利便性の向上を図ることにより、地区全体の防災性の向上と魅力と活力のある商業拠点の形成を目指す。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**ひばりヶ丘駅北口の生産緑地地区を活用した公園整備**	**市**	都市計画手続	公園整備		未定
2	**ひばりヶ丘駅北口の市街地誘導**	**民間**		市街地誘導		継続実施

地域の拠点：保谷

現状と課題

- 住宅系土地利用が多くを占め、駅周辺にはスーパーマーケットや小規模店舗等の商業施設、医療、子育て、福祉施設等の立地とともに「保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業」による交通広場整備と合わせた買物環境と良好な住宅環境が整備されている。
- 下保谷四丁目特別緑地保全地区をはじめとした屋敷林や天神社の社寺林などがまとまってみられ、良好な住環境が保たれている。
- 踏切対策基本方針において、「鉄道立体化の検討対象区間」の一つに位置づけられている。
- 将来の高齢者人口割合の増加が予想されていることから、定住人口及び交流人口の維持、増加に向け、多世代のニーズに即した都市機能の維持・誘導等により、更なる魅力の向上を図る必要がある。

将来像

- 日常生活の利便性を高める機能を持つ商業機能や業務機能の誘導のほか、道路や公園などの基盤整備やユニバーサルデザイン化により駅周辺の拠点性が高められている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 については市内全域

1 ネイバーフッドまちづくり
出典：西東京市HP

2 旧髙橋家屋敷林（野草園ガイドツアー）
出典：西東京市HP

地域の拠点：保谷

拠点づくりの具体的な取組

1	**北東部地域協力ネットワーク運営**	保谷駅周辺エリアでは北東部地域協力ネットワークが令和５年２月設立した。「ネイバーフッドデザインのまちづくり」講演会・パネルディスカッションを実施したほか、地域イベント等を実施するなど、まちづくりの機運醸成を図っている。	戦略5
2	**下保谷四丁目特別緑地保全地区（旧髙橋家屋敷林）の活用**	旧髙橋家屋敷林は、保谷駅の近くでありながら、武蔵野の面影を残す。市では、平成24年11月に「特別緑地保全地区」に指定しボランティアと協働でみどりの保全に努めている。令和4年度よりイベントのほか月2回程度の一般開放を実施するなど、地域資源の活用を検討していく。	戦略6

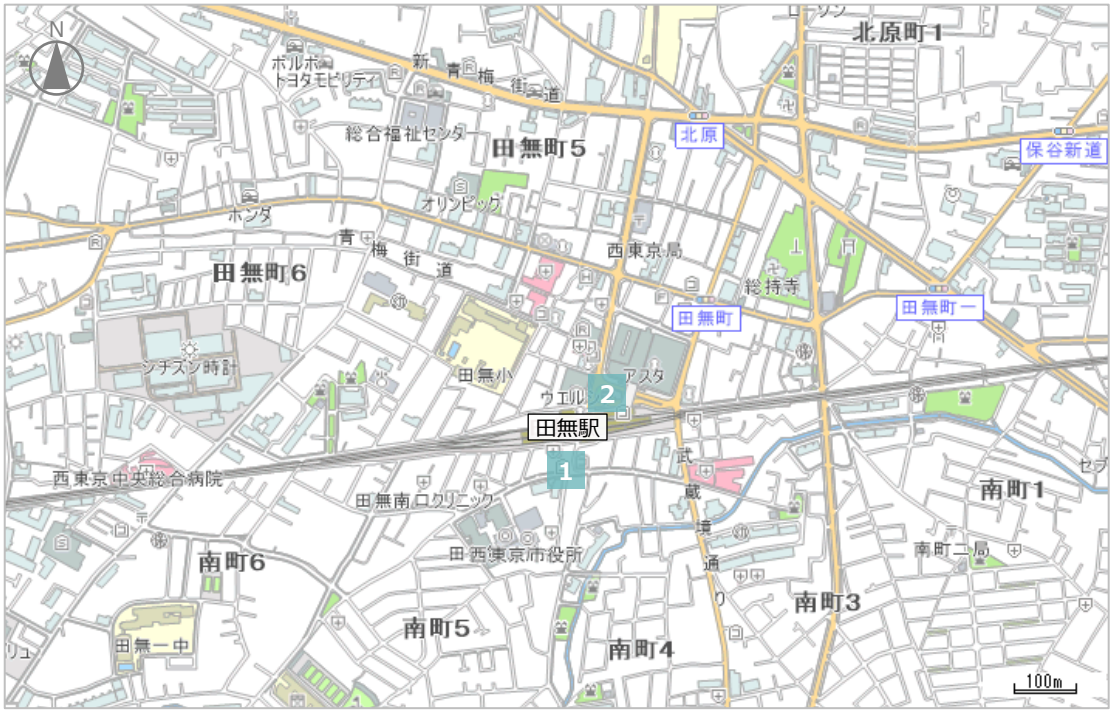
取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**北東部地域協力ネットワーク運営**	**民間**		実施		継続実施
2	**下保谷四丁目特別緑地保全地区（旧髙橋家屋敷林）の活用**	**市**		実施		継続実施

地域の拠点：田無

現状と課題

- 駅北側には商業施設や商店街をはじめ社寺や東大生態調和農学機構のみどりが、駅南側には公共施設が集積し、これらを囲むように住宅地が形成され石神井川が流れている。また、市街地再開発事業により整備した大型商業施設があり、駅前から西東京３・４・23 号田無駅北口線沿道にかけて小規模店舗が建ち並んでいる。
- 駅南側では、駅前に小規模店舗が立地し、田無庁舎をはじめとする公共施設のほかは、住宅が広がっている。また、現在、西東京３・４・24 号田無駅南口線の事業認可準備を進めており、街路整備にあわせて建物の更新が進むことが予想される。
- 踏切対策基本方針において、「鉄道立体化の検討対象区間」の一つに位置づけられている。
- 将来の人口減少及び高齢者人口割合の増加が予測されていることから、定住人口及び交流人口の維持、増加に向け、個性と魅力ある商業地と快適で利便性の高い住宅地の形成が必要となる。
- 都市基盤の整備とあわせて、適切に土地利用を誘導するなど、中心拠点にふさわしいまちづくりを進めていくことが必要である。
- 南口交通広場の整備完了により、駅を中心とした交通の結節点としての機能の向上を図ることが必要である。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

将来像

- 日常生活の利便性を高める機能を持つ商業施設、金融機関等の誘導、市民ニーズに応える施設の誘導により拠点性が高められている。
- 西東京３・４・ 24号田無駅南口線（交通広場・街路）の整備を推進及び西東京３・３・３号新五日市街道線の整備を促進し、体系的な道路ネットワークを構成することによって、住宅地内への通過交通の流入抑制等を図り、安全な道路環境を形成している。

2　まちテナ西東京（駅前情報発信拠点）
出典：西東京市HP

地域の拠点：田無

拠点づくりの具体的な取組

1	**西東京３・４・24号田無駅南口線（交通広場）の整備**	田無駅南口交通広場を整備することにより、駅周辺での交通結節機能及び防災機能の向上、コミュニティバスの乗り入れによる田無駅南部地域から鉄道駅へのアクセス強化、歩車道の分離による歩行者・自転車等の通行の安全確保を図る。	戦略1
2	**駅前情報発信プロジェクト**	住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを目指すため、住民や企業・団体等が行政の制約に捉われない主体的な情報発信を行う環境を構築するため、民間活力により、駅前情報発信拠点「まちテナ西東京」とLEDビジョンを運用している。また、市に訪れた方の利便性や情報へのアクセス性の向上を目的として公衆無線ネットワークを運用している。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**西東京３・４・24号田無駅南口線（交通広場）の整備**	**市**	用地取得		道路築造工事	令和９年度
2	**駅前情報発信プロジェクト**	**市・民間**	実施			継続実施

生活の中心地：三鷹台

現状と課題

- 三鷹台駅周辺は、道路状況等からバス交通が不便な地域になっていることから、地域内での移動利便性の向上を図るとともに、三鷹台駅を地域交通拠点とした地域内交通と他の公共交通機関との接続による交通ネットワークの充実に向け、ＡＩデマンド交通を活用した運行を行っている。
- 狭あい道路が多く木造住宅密集地域となっており、主要生活道路の整備や住区内の狭あい道路の解消への取組等による防災性の向上が求められる。
- 駅前広場の完成を契機に、三鷹市東部地区の玄関口としてにぎわいの創出による地域を活性化が求められる。

将来像

- 三鷹台駅周辺は、三鷹台駅前通りや駅前広場等の都市基盤の整備にあわせ、商業の活性化を促進するとともに、道路整備事業により安全で快適な道路空間を創出し、三鷹市東部地区の玄関口にふさわしい都市空間が形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 AIデマンド交通

2 三鷹市道第135号線の整備

生活の中心地：三鷹台

拠点づくりの具体的な取組

1	ＡＩデマンド交通の運行について	三鷹台駅周辺は、人口密度が高いにもかかわらず道路状況等からバス交通が不便になっている地域であるため、AIデマンド交通の運行により、交通不便地域の解消を図る。	戦略2
2	三鷹市道第135号線の整備	三鷹台駅前通りを安心して通行できる歩行空間として整備し、人と自転車が共生する安全で快適な道路空間を創出する。	戦略2
3	三鷹台駅周辺のまちづくりを考える会	市の東部地区の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいの創出に向けて、多様な団体と連携し、地域と市が一体になって、まちの将来像の検討を進める。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	ＡＩデマンド交通の運行について	市	評価・検証	運用		継続実施
2	三鷹市道第135号線の整備	市		調査・検討		継続実施
3	三鷹台駅周辺のまちづくりを考える会	市・民間		随時開催		継続実施

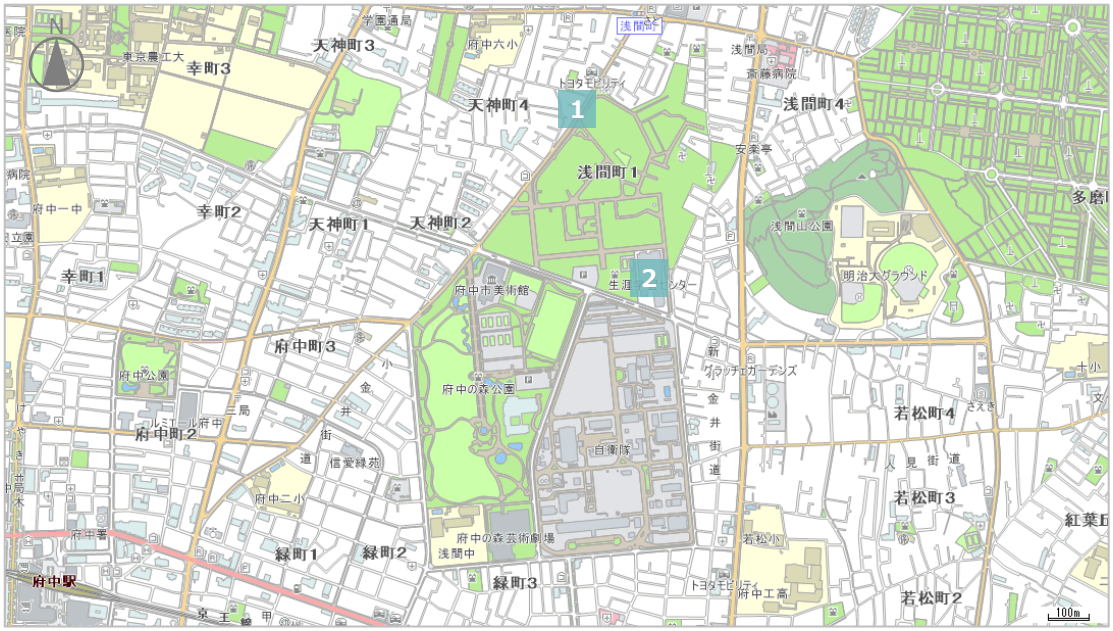
生活の中心地： 府中基地跡地

現状と課題

- 当該地は、米軍府中基地跡地のうち、留保地に該当する国有地。
- 平成15年に留保地は「原則利用、計画的有効活用」する方針に変わったことにより、土地利用計画の提出を求められる。平成20年に利用計画を策定したものの中止となり、その後、令和２年に再度利用計画を策定した。
- 利用計画の推進に向けて準備等を進めていたところ、令和３年９月に留保地中心部に位置する米軍通信施設が日本に返還され、留保地との一体的な土地利用が可能となったことにより、より良好な土地利用を推進する観点から令和２年に策定していた利用計画の推進を一旦見合わせ、将来を見据えた府中市の発展につながるものとなるよう見直しに向けた検討を進めている。
- 総合体育館移転にあたり、現状実施している市民ニーズの調査や分析等のほか、市内トップチームの観戦・応援環境の整備といった観点を踏まえ、現在の総合体育館に代わる新たなスポーツ拠点として必要な機能の整理や規模等の検討を行う必要がある。

将来像

- 府中基地跡地留保地は、府中市が有する「緑豊かなまち」や「スポーツタウン」、「文化・芸術のまち」などのブランドイメージを一層高めるとともに、新たな魅力が創出されている。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 府中基地跡地
出典：府中市HP

生涯学習センターから見た留保地の様子
出典：府中市HP

生活の中心地： 府中基地跡地

拠点づくりの具体的な取組

1	**府中基地跡地留保地周辺地区まちづくり事業**	より良好な土地利用を推進する観点から、令和２年２月に策定した府中基地跡地留保地利用計画の推進を一旦見合わせ、米軍通信施設の返還による一体的な土地利用の可能性や、利用計画策定後の自然災害、コロナ禍等による社会情勢の変動も踏まえ、様々な活用の可能性について検証し、また、公共施設の整備及び運営については官民連携の手法を取り入れることも視野にいれて、将来を見据えた府中市の発展につながるものとなるよう利用計画の見直しに向けて検討を行っている。	戦略1
2	**総合体育館移転関連事業**	第2次府中市スポーツ推進計画 では、市民が「する」スポーツ利用に加え、「みる」視点として、市の特長・資源であるトップチームの観戦・応援環境の整備、災害時に必要な機能等、新たな市民ニーズに応じ、必要な機能の整理や規模、施設の運営手法などの検討を行う。	戦略7

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**府中基地跡地留保地周辺地区まちづくり事業**	**市**	利用計画作成	測量設計等		令和15年度 土地利用 開始
2	**総合体育館移転関連事業**	**未定**	整備方針等の策定		基本計画等 の策定に 向けた検討	令和15年度

生活の中心地：つつじケ丘・柴崎周辺

現状と課題

- 都市計画マスタープランにおいて、個性ある多様な都市機能や生活に密着した商業等の機能が集積する地域の核となる「地域拠点」に位置付けた。
- つつじヶ丘駅、柴崎駅を中心に商店街や多世代が暮らす落ち着きのある住宅街が広がる。
- つつじヶ丘駅は東部地域の交通結節点としての役割を担っている。
- 両駅周辺には５か所の踏切が残されており、すべてが開かずの踏切となっている。
- 両駅周辺にはオープンスペースが不足している。
- 調布市道路網計画において、優先整備路線に位置付けた都市計画道路の整備を推進している。

将来像

- 開かずの踏切の解消に向け、当該区間における連続立体交差事業の促進に取り組み、駅周辺における利便性の向上や歩行者及び自転車の安全性の確保など交通環境の改善が図られている。
- つつじヶ丘駅周辺は、連続立体交差事業を見据えた交通環境の改善等により、市街地の南北一体化を図るとともに、地域コミュニティ関連施設等の立地による多様な機能が集積し、にぎわいある拠点が形成されている。
- 柴崎駅周辺は、連続立体交差事業を見据えた交通環境の改善等により、市街地の南北一体化を図るとともに、駅前広場の整備等により、交通結節機能の向上に資する利便性の高い拠点が形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

つつじヶ丘駅
出典：調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画

柴崎駅前の商店街
出典：調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画

生活の中心地：つつじケ丘・柴崎周辺

拠点づくりの具体的な取組

1	調布３・４・９号線の整備	松原通り～金子地域福祉センター間について、円滑な道路ネットワークの構築、関連する都市基盤整備事業との連携、災害に強い都市基盤の整備を図る。	戦略2
2	調布３・４・２１号線の整備	幹線道路から鉄道駅に至る交通動線の確保と、沿道住民並びに駅利用者等の安全かつ快適な歩行環境を創出する。	戦略2
3	調布３・４・８号線、調布３・４・１１号線の整備	柴崎駅南北の都市計画道路は、調布市道路網計画において優先整備路線に位置付けており、事業化に向けて取組を進めている。幹線道路から鉄道駅に至る交通動線の確保と、沿道住民ならびに駅利用者等の安全かつ快適な歩行環境を創出する。	戦略2
4	街づくり協議会・準備会（柴崎・つつじケ丘）	連続立体交差化事業を見据えた交通環境の改善等により、市街地の南北一体化を図るとともに、地元商店街・地域住民との意見交換や情報共有などを行いながら、より具体的なまちの将来像やまちづくりの方向を明確にする。	戦略1
5	東部地区における交通環境の改善	つつじヶ丘駅、柴崎駅周辺における開かずの踏切の解消に向け、連続立体交差事業を促進し、駅周辺における利便性の向上や、歩行者及び自転車の安全性の確保など、交通環境の改善に取り組む。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	調布３・４・９号線の整備	市		用地取得		未定
2	調布３・４・２１号線の整備	市		工事		令和７年度末
3	調布３・４・８号線、調布３・４・１１号線の整備	市		事業化準備・用地取得		未定
4	街づくり協議会・準備会（柴崎・つつじケ丘）	市		通年で検討		継続実施
5	東部地区における交通環境の改善	市		通年で検討		継続実施

生活の中心地：飛田給

現状と課題

- 都市計画マスタープランにおいて、個性ある多様な都市機能や生活に密着した商業等の機能が集積する地域の核となる「地域拠点」に位置付けた。
- 飛田給駅は、東京スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザの最寄り駅であり、東京2020大会やラグビーワールドカップ2019の競技会場のラストマイルになった。
- 調布市をホームタウンとするサッカーJリーグ所属のFC東京を応援するため、街路灯の装飾や街路灯フラッグの掲出、壁面への装飾など、西調布駅と併せて駅前の装飾等を実施している。
- 武蔵野の森公園周辺のスポーツ施設などをいかし、スポーツの振興を通して地域の活性化を図ることとしている。

将来像

- 飛田給駅周辺は、日常生活の利便性を高める様々な都市機能の集積を図るとともに、豊かな地域資源と連携を図りながらにぎわいを創出し、多様な人々が行き交う魅力ある商業・業務が集積する拠点が形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1　飛田給駅前おもてなしガーデン
出典：調布市HP

東京スタジアム
出典：調布市HP

武蔵野の森総合スポーツプラザ
出典：調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画

生活の中心地：飛田給

拠点づくりの具体的な取組

1	**飛田給駅前おもてなしガーデン**	ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会のおもてなしの一環として、東京スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザに近い飛田給駅、西調布駅、調布駅周辺で市民等と協働で、花壇やコンテナ等に花を植え付け、装飾する。大規模大会終了後も花の植え替えは継続する。	戦略6
2	**重点整備地区におけるバリアフリー整備**	飛田給地区は重点整備地区として位置付けられている。飛田給駅や東京スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザ等を生活関連施設に位置づけている。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**飛田給駅前おもてなしガーデン**	**市**		通年で検討		継続実施
2	**重点整備地区におけるバリアフリー整備**	**市**		毎年、進捗状況を確認		令和12年度まで

生活の中心地：京王多摩川

現状と課題

- 都市計画マスタープランにおいて、個性ある多様な都市機能や生活に密着した商業等の機能が集積する地域の核となる「地域拠点」に位置付けた。
- 憩いの場となっている多摩川沿いを中心とした散歩道やスポーツ・レクリエーション施設を利用する市民や来訪者の主要な玄関口となっている。
- 日常生活に密着した商業・生活利便機能及び身近な公園・広場機能の不足や商業地における住宅への転換の進行等が進んでいる。
- 「市・京王電鉄株式会社・地元住民」の三者協働による懇談会等での意見を踏まえた「京王多摩川駅周辺地区まちづくり計画」を基に、令和５年５月に京王多摩川駅周辺地区地区計画を新たに策定した。
- 令和９年度に、現在調布駅前に立地している総合福祉センターが移転予定となっている。

将来像

- 地域共生社会の充実に向けて、総合的な福祉機能や日常に密着した生活支援機能、駅前居住機能などが誘導されている。
- 水害に備えた避難体制の強化、駅周辺の回遊性の向上などを図りながら、駅周辺にふさわしい商業を中心とした拠点が形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

3 調布花火
出典：調布花火 2024 フォトコンテスト最優秀作品

3 多摩川河川敷
出典：調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画

生活の中心地：京王多摩川

拠点づくりの具体的な取組

1	**総合福祉センターの移転**	現在、調布駅前に立地している総合福祉センターが、令和９年度に京王多摩川駅周辺地区に移転予定している。地域共生社会を充実するための総合的な福祉の拠点をコンセプトとしている。	戦略5
2	**重点整備地区におけるバリアフリー整備**	令和４年４月に策定した調布市バリアフリー基本構想において、新たに重点整備地区に設定しており、重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進する。京王多摩川駅や京王閣競輪場、京王多摩川さくら広場等を生活関連施設に位置づけている。	戦略2
3	**調布花火の開催**	例年多摩川において調布花火を開催しており、京王多摩川会場が観覧席会場の一つとなっている。例年多くの来場者が訪れる。	戦略7
4	**彫刻のある街づくり事業**	美しく調和のとれた街づくりをめざし、彫刻のある街づくりの一環として、平成３年度から５年度にかけ、多摩川桜堤通りに９体の彫刻作品を設置した。 また、調布町と神代村が誕生してから１００周年目の記念として、平成元年にモニュメントが設置された。	戦略7

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**総合福祉センターの移転**	**市**	設計・整備工事			令和９年度移転予定
2	**重点整備地区におけるバリアフリー整備**	**市**	毎年、進捗状況を確認			令和１２年度まで
3	**調布花火の開催**	**市**	実施環境により実施の可否決定			未定
4	**彫刻のある街づくり事業**	**市**	通年設置			継続実施

生活の中心地：西調布

現状と課題

- 都市計画マスタープランにおいて、個性ある多様な都市機能や生活に密着した商業等の機能が集積する地域の核となる「地域拠点」に位置付けた。
- 西調布駅周辺は、古くから宿場町として栄えた歴史があり、各種施設が整備された調布基地跡地への玄関口となっている。
- 老朽木造住宅が多い地域があり、西調布駅南側の都市計画道路が未整備となっている等、都市基盤施設も不足している。
- 居住環境の改善や防災性の向上等が求められている。

将来像

- 西調布駅周辺は、都市計画道路の整備などにより交通結節機能の向上を図るとともに、地域の歴史資源と調和をとりつつ、日常生活の利便性を高める様々な都市機能が集積する拠点が形成されている。
- 西調布駅南口では、駅前広場や都市計画道路等の整備の推進にあわせて、まちのにぎわいが創出されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

2 西調布駅前おもてなしガーデン
出典：調布市HP

3 西調布駅周辺地区街づくり協議会の様子
出典：調布市

西調布駅
出典：調布市HP

生活の中心地：西調布

拠点づくりの具体的な取組

1	**調布３・４・３１号線の整備**	調布市道路網計画において、西調布駅から品川通りまでを優先整備路線に位置付けており、事業化に向けて取組を進めている。幹線道路から鉄道駅に至る交通動線の確保と、沿道住民ならびに駅利用者等の安全かつ快適な歩行環境を創出する。	戦略2
2	**西調布駅前おもてなしガーデン**	ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会のおもてなしの一環として、東京スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザに近い飛田給駅、西調布駅、調布駅周辺で市民等と協働で、花壇やコンテナ等に花を植え付け装飾する。大規模大会終了後も花の植え替えは継続する。	戦略6
3	**西調布駅周辺整備街づくり協議会**	地元住民や商店会等とともに、駅南側の都市計画道路沿道を中心とした地区整備計画を検討している。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**調布３・４・３１号線の整備**	**市**		事業化準備・用地取得		継続実施
2	**西調布駅前おもてなしガーデン**	**市**		通年で実施		継続実施
3	**西調布駅周辺整備街づくり協議会**	**市**		通年で検討		継続実施

生活の中心地：小平

現状と課題

- 小平駅北口は駅前広場が未整備であり、バスやタクシーの乗入れができないため、交通結節点としての機能向上が必要である。また、十分な幅員を確保できていない道路や、行き止まりやクランク状の道路、接道が不十分な宅地もあり、駅周辺の円滑な交通動線やオープンスペースの確保及び防災面への配慮などが必要である。
- 市街地再開発事業により、駅前広場等の公共施設を整備し、商業施設、都市型住宅等の都市機能を集積させ、交通利便性の向上や地域の活性化を図る必要がある。

将来像

- 市街地再開発事業による都市基盤の整備と、都市機能の集積により、交通結節点としての機能を充実させ、魅力的な市街地が形成されている。また、周辺道路の整備により回遊性が向上している。
- 市街地再開発事業や都市計画道路の整備により、拠点としての更なる防災機能を有するまちが形成されている。
  また、新たなにぎわいの創出と駅へのアクセスが向上することにより、市内外からの来訪が見込まれ、小平市の新たな玄関口となる。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 花いっぱいプロジェクト
出典：小平市HP

7　TAMA拠点形成プロジェクト

生活の中心地：小平

拠点づくりの具体的な取組

1	**花いっぱいプロジェクト**	緑化意識の向上及びまちの景観向上を推進するため、「こだいら 花いっぱい プロジェクト」を実施する。活動団体、ボランティア等が連携し、市内の緑化を推進する。	戦略6
2	**小平駅北口地区第一種市街地再開発事業**	計画段階：小平駅の北側に隣接する面積約2.1ヘクタールの区域。組合施行により再開発ビル、駅前広場（小平3･4･19号線）及び地下自転車駐車場等を整備、市内外からの来訪が見込まれ、小平市の新たな玄関口である「小平駅」にふさわしい拠点として活性化を図る。令和８年度に都市計画決定、令和９年度に組合設立認可、令和１１年度に工事着工、令和１５年度の完成を目指す。	戦略1
3	**小平３・４・１９号小平駅久留米線の整備**	整備区間：東京街道～東久留米市境（453m） 幅員：16m 事業期間：平成31年4月22日～令和9年3月31日	戦略2
4	**小平市大学連携協議会（こだいらブルーベリーリーグ）**	学生の活動の充実･地域の活性化･行政と大学の連携などを目的に、嘉悦大学、職業能力開発総合大学校、白梅学園大学･白梅学園短期大学、津田塾大学、一橋大学、文化学園大学、武蔵野美術大学の大学等が参加･情報交換等を実施している。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**花いっぱいプロジェクト**	**市**		開催		継続実施
2	**小平駅北口地区第一種市街地再開発事業**	**民間**		合意形成･都市計画協議	都市計画決定	令和15年度
3	**小平３・４・１９号小平駅久留米線の整備**	**市**		用地取得･設計･工事等		令和8年度 （事業認可期間）
4	**小平市大学連携協議会（こだいらブルーベリーリーグ）**	**民間**		開催		継続実施

生活の中心地：小川

現状と課題

- 小川駅西口は駅前広場が未整備であり、バスやタクシーの乗入れができないため、交通結節点としての機能向上が必要である。
- 駅周辺は、狭あいな生活道路や老朽化した建築物が多く、防災面の向上が求められている。
- 市街地再開発事業により、一体的にまちの更新を図り、多様な都市機能を集積させ、安全で快適な利便性が高く、拠点としてふさわしいにぎわいのあるまちの形成を図る。

将来像

- 大規模事業所の機能転換等操業環境の維持による活気のあるまちとなっている。
- 市街地再開発事業による都市機能の集積、交通結節点としての機能の充実、にぎわいあふれる拠点が形成されている。
- 市民・事業者・市の参加により策定した「小川駅前周辺まちづくりビジョン」に基づくまちづくりが実現されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 小川駅西口新公共施設・広場整備
出典：小平市HP

3 小川駅西口地区市街地再開発事業
出典：小川駅西口地区市街地再開発組合提供

7　TAMA拠点形成プロジェクト

生活の中心地：小川

拠点づくりの具体的な取組

1	**小川駅西口複合施設等**	小川駅西口地区市街地再開発事業に伴い建設される再開発ビルの4、5階に整備する新たな公共施設や、再開発ビル敷地の北西部分に整備する「（仮称）小川にぎわい広場」について、条例を制定し、開設に必要な準備を進める。	戦略1
2	**鎌倉公園の整備**	農にふれあうエリアの意見交換会より整備プランを策定。遊具に関する意見収集や、民間事業者を対象にサウンディング型市場調査を実施する。	戦略6
3	**小川駅西口地区第一種市街地再開発事業**	事業中：小川駅の西側に隣接する面積約1.2ヘクタールの区域。組合施行により再開発ビル、駅前広場（小平都市計画道路3･4･12号線）及び区画道路等を整備、小平市の西地域の交通結節点として地域の拠点的役割を担うまちづくりを推進する。令和8年度の再開発ビルの完成を目指す。	戦略1
4	**小平３･４･１０号小平大和線の整備**	整備区間：富士見通り～市道第A-61号線（533m） 幅員：16～33.5m 事業期間：令和3年8月16日～令和13年3月31日	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**小川駅西口複合施設等**	**市**	工事	工事	完成	令和8年度
2	**鎌倉公園の整備**	**市**	用地取得･設計		一部完了	令和8年度 （一部開園）
3	**小川駅西口地区第一種市街地再開発事業**	**民間**	工事	工事	再開発ビル 完成	令和11年度
4	**小平３･４･１０号小平大和線の整備**	**市**	用地取得･設計･工事等			令和12年度 （事業認可期間）

生活の中心地：和泉多摩川

現状と課題

- 小田急線和泉多摩川駅を中心とした市街地が形成されている。
- 駅周辺には生活利便施設や、商店街の小規模店舗が並び、日常の利便性が確保されているが、駅・ロータリーと商店街等との関係性の強化など、地域全体としてのにぎわい創出が求められる。
- 狛江駅と600mほどの距離にあるが、駅北口の高架下や側道において、連続性のあるにぎわいの形成が求められる。
- リバーサイドとして多摩川の豊かな自然環境を間近に感じられる地域である一方で、洪水浸水想定区域内であることから、防災性の向上が求められる。
- 駅から多摩川河川敷までの間にあるぽかぽか広場や、小田急線高架側道沿いの緑道では、イベント利用できる空間が創出されている。
- 地元では、水害対策やにぎわい創出に資する市街地再開発事業を検討する動きがある。
- 北西側の約20haの区域は、昭和17年に都市計画緑地として和泉多摩川緑地に位置付けられているが、大部分が未開設である。市では、当該地への都立公園の誘致を目指し、平成27年に「狛江市和泉多摩川緑地都立公園誘致推進構想」を公表している。

将来像

- 都市計画マスタープランにおいて地域交流拠点と位置づけ、通勤・通学の交通結節点や日常生活の活動の場として、利便性の高い拠点を形成している。
- 立地適正化計画において都市機能誘導区域に設定し、和泉多摩川駅周辺だけでなく狛江駅周辺とも連続したにぎわいある道路沿道や、狛江第三中学校等の公共公益施設を含む範囲において都市機能が立地している。
- 市内各地から公共交通によりつながる交通結節点機能が充実した拠点を形成している。
- 一時的な避難施設となる民間施設が確保される等、地域の防災性が向上し、自然環境と調和した交流拠点を形成している。
- 和泉多摩川緑地において、多摩川の水辺空間と連携した自然景観が形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 狛江市かわまちづくり計画における賑わい・交流ゾーンのイメージ
出典：狛江市HP

3 グリーンスローモビリティの実証運行の様子
出典：狛江市提供

7　TAMA拠点形成プロジェクト

生活の中心地：和泉多摩川

拠点づくりの具体的な取組

1	**多摩川をいかしたまちづくり（狛江市かわまちづくり計画）**	狛江市では令和4年に「多摩川周辺エリア未来デザインノート」を公表し、多摩川周辺の空間をリノベーションしていく上でのコンセプト等を示した。 多摩川を中心とした「かわ」と「まち」が有する様々な資源や魅力をいかし、市外から集う新たな人の流れとにぎわいを創出しながらも、市民と来訪者の双方に親しまれる「かわまちづくり」を国・市・市民等の参加と協働によって実現するため、市では令和5年度に「狛江市かわまちづくり計画」を策定し、令和６年度に国に登録された。国の支援を受け、計画期間を10年間としてかわまちづくりを進めていく。	戦略6
2	**和泉多摩川駅周辺におけるまちづくり**	まちづくり条例に基づき、当地区で活動する地区まちづくり協議会（狛江・和泉多摩川リバーサイド賑わいのある街づくり推進会）を支援し、市民協働によるまちづくりを推進する。狛江市では令和4年に都市計画マスタープラン・立地適正化計画を策定した。当地区の方針として示した、駅周辺の土地利用にふさわしい利用頻度の高い各種施設の立地・誘導や、地区まちづくり協議会と連携した水害対策のための高層建築の検討、駅周辺のにぎわいのあるまちづくりや細街路の解消等を進めていく。	戦略1
3	**次世代モビリティの導入検討**	高齢化等による地域の公共交通の課題解消や、多摩川周辺エリアのにぎわい創出に向けて、次世代モビリティ（移動ツール）導入の可能性の検討を進めるため、庁内プロジェクトチームを組成した。令和５年11月13日～22日には、多摩川周辺エリアにおいて、グリーンスローモビリティの実証運行を実施した。	戦略2
4	**創業支援**	狛江市と（株）小田急SC ディベロップメントとで包括連携協定を締結し、令和2年に「飲食店の開業を支援するための場所」として「FORT MARKET 和泉多摩川」を実現した。継続的に創業支援の取組を行っていく。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**多摩川をいかしたまちづくり（狛江市かわまちづくり計画）**	**国**	計画登録	国と市とで整備に関する協議 ハード施策（設計・整備）		令和15年度
		市・市民など		ハード施策（設計・整備） ソフト施策（企画・実施）		
2	**和泉多摩川駅周辺におけるまちづくり**	**市・市民**	継続的に検討			継続実施
3	**次世代モビリティの導入検討**	**市**	継続的に検討			継続実施
4	**創業支援**	**市・民間**	継続的に支援			継続実施

生活の中心地：北野

現状と課題

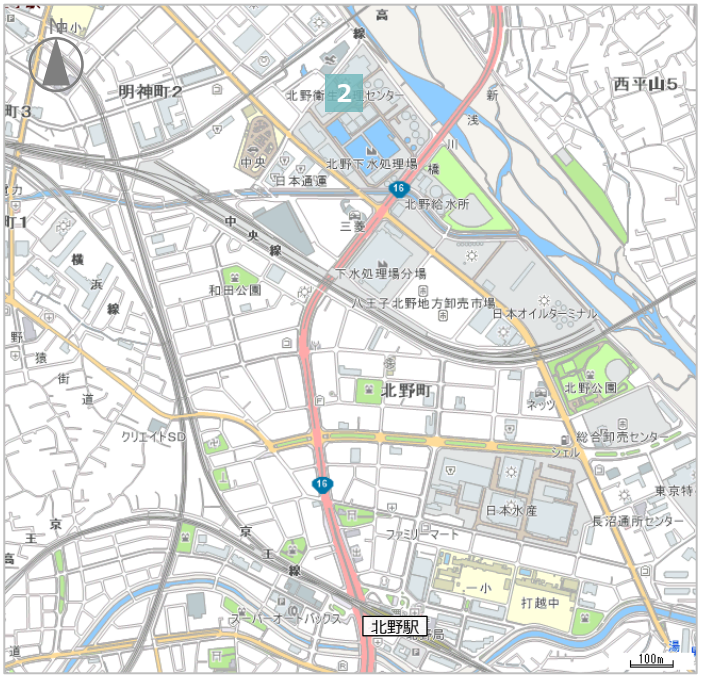
- 国道 16 号と京王線が交わる交通結節点となる地区であり、交通利便性の高さをいかした活力ある地域づくりが求められている。
- 北野駅前は商業施設が集積し、後背地には産業と居住機能が混在する市街地を形成している。
- 北野工業団地とその周辺では、製造業や物流などの工業と住宅地が調和する土地利用誘導を図るとともに、操業環境の維持・向上が求められる。
- 北野下水処理場・清掃工場の跡地では、公共施設の再編を契機に、浅川など周辺の自然環境、交通利便性を生かし、産業機能を核にエリア価値を高める都市空間への再構築が求められる。

将来像

- 幹線道路と鉄道との交通結節点である北野駅周辺では、地域における交流や日常生活を支える拠点として、中心拠点の機能と連携し、商業、業務、生活支援サービスなどの都市機能が集積されている。
- 周辺の工業地においては公共施設の再編と合わせて、既存産業の振興とともに、産業構造の変化に対応して生産から研究開発に向けた機能更新も進み、産業と自然が調和した、活力ある市街地が形成されている。

浅川（北野下水処理場付近）

出典：浅川の朝日を走る八高線」©Hachioji City(licensed underCC BY 4.0)



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

2 北野下水処理場・清掃工場跡地活用

出典：国土交通省HP project PLATEAU XR技術を活用した市民参加型まちづくり
©東京都立大学饗庭研究室・㈱ホロラボ

生活の中心地：北野

拠点づくりの具体的な取組

1	シェアサイクル実証実験事業	回遊性向上による地域や観光の活性化や公共交通の補完、環境負荷低減等を目的として、民間事業者との共同によるシェアサイクルの事業を実施し、効果等を検証した上で本格実施へ移行する。	戦略2
2	北野下水処理場・清掃工場跡地活用	下水処理場・清掃工場などの公共施設の再編を契機に、し尿処理の広域化とともに創出用地を活用し、官民連携による新たなまちづくりを進める。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	シェアサイクル実証実験事業	民間	本格実施へ移行			継続実施
		市	ビッグデータの活用検討	ビッグデータの施策展開活用		
2	北野下水処理場・清掃工場跡地活用	市	既存施設の整理・事業手法の検討			検討中

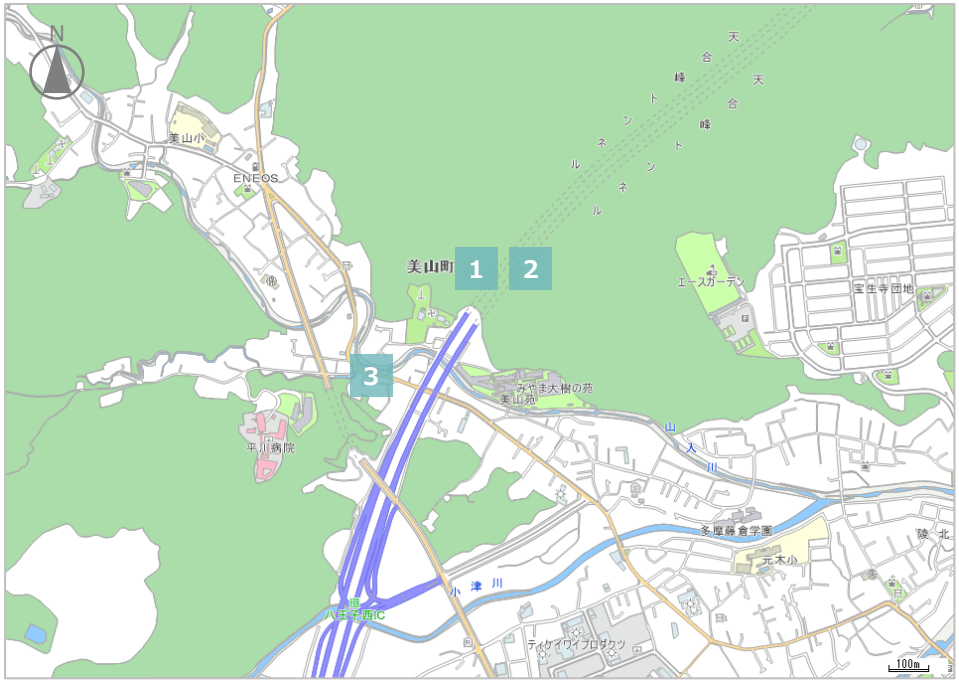
生活の中心地：圏央道八王子西インターチェンジ周辺

現状と課題

- 圏央道八王子西インターチェンジは2016年にスマートインターチェンジ方式によりフル機能化され、利便性が向上している。川口物流拠点の整備が進み、産業機能の集積による地域経済の活性化が期待される。
- 圏央道八王子西インターチェンジ美山地区では、良好な自然環境の保全や周辺環境との調和に配慮しながら、川口物流拠点を補完する機能と地域の利便性向上に資する土地利用が求められる。
- 八王子西インターチェンジへのアクセス性及び、川口物流拠点等の整備効果を高めるため、八王子３・３・７４号左入美山線の着実な整備が求められる。

将来像

- 圏央道八王子西インターチェンジ周辺を、地域経済の持続的発展に向けて産業機能を導入・育成する拠点として位置づけ、企業が経済活動を行いやすい環境づくりを進めて工業、流通・物流、研究・開発などの機能が集積されている。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 圏央道八王子西インターチェンジ地区の企業立地の促進（撮影日：2023年7月）
出典：川口土地区画整理組合HP

1 圏央道八王子西インターチェンジ地区の企業立地の促進（撮影日：2023年2月）
出典：川口土地区画整理組合HP

「里山が残る上川の里」
出典：「里山が残る上川の里」
©Hachioji City (licensed underCC BY 4.0)

生活の中心地：圏央道八王子西インターチェンジ周辺

拠点づくりの具体的な取組

1	**圏央道八王子西インターチェンジ地区の企業立地の促進**	製造業、物流系産業の企業立地促進地域を指定し、企業を誘致することで市の活性化を図る。	戦略1
2	**環境配慮型物流拠点の形成促進**	八王子市低炭素都市づくり計画にて、多様なエネルギーの利用による災害時にも機能する環境配慮型の物流拠点を形成する。この取組については官民連携により実現を目指す。	戦略4
3	**圏央道八王子西インターチェンジ周辺のまちづくり**	圏央道八王子西インターチェンジ周辺のまちづくりの核となる拠点形成に向けて、川口地区では、地域経済の振興や首都圏物流の効率化等を目的とし、自然環境に十分に配慮しながら圏央道の整備効果をいかした広域物流拠点の基盤を整備している。また、八王子３・３・７４号線、（仮称）戸沢トンネルや八王子西インターチェンジ美山地区の整備などの周辺基盤の強化を進めていく。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**圏央道八王子西インターチェンジ地区の企業立地の促進**	**民間**	企業誘致	立地企業が決定	一部立地企業が建築工事開始	継続実施
		市	改正条例による企業立地支援制度の運用			運用開始後５年間
2	**環境配慮型物流拠点の形成促進**	**民間**	関係者との調整	工事実施		継続実施
3	**圏央道八王子西インターチェンジ周辺のまちづくり**	**民間（川口地区）**	組合事業支援		工事完了	令和８年度
		民間（美山地区）	事業計画検討・組合設立準備			継続実施
		都（戸沢トンネル等）	関係者との調整			継続実施

生活の中心地：西国立

現状と課題

- 踏切対策基本方針において、「鉄道立体化の検討対象区間」の一つに位置付けられており、連続立体交差事業の事業化に向け、都市計画等の手続が進められている。
- 西国立駅前に交通広場がないため、公共交通機関への乗換えに安全性、利便性を欠いている。
- 西国立駅周辺の歩道が狭く、歩行空間が不足している。

将来像

- 周辺地域と連携するにぎわいと住みよさが調和するまちを形成。
- JR南武線連続立体交差化に併せ、交通広場の整備など駅周辺のまちづくりが進められ、日常生活を支える生活・文化・交流・医療福祉等の機能が集積した利便性の高い生活の中心地が形成されている。
- 西国立駅と地域内の各施設及び周辺地域を結ぶ連続した歩行空間が形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

拠点づくりの具体的な取組

1	**JR南武線連続立体交差化**	道路と鉄道の立体交差化により、踏切を除却し、交通渋滞や地域分断を解消することにより沿線地域の活性化を図る。	戦略2
2	**西国立駅交通広場（立川７・４・５号線）の整備**	西国立駅西側に誰もが利用しやすい交通広場及びアクセスする道路の整備を行い、安心安全な道路交通環境の形成を図る。	戦略2
3	**西国立駅周辺地域まちづくり**	JR南武線連続立体交差化の進捗にあわせて、まちづくりの具体的取組を検討し、順次、実現を図る。	戦略1
4	**西国立駅西地区地区計画の変更**	JR南武線連続立体交差化及び西国立駅交通広場（立川７・４・５号）の整備を踏まえた変更を行う。今後、西国立駅周辺の土地利用を見据えた地区整備計画の変更の検討を進める。	戦略1
5	**立川市子育て支援・保健センター（愛称　はぐくるりん)の整備**	既設施設である「健康会館」「子ども未来センター（一部）」「ドリーム学園」の機能を集約した施設の整備を行い、生活の中心地にふさわしい機能集積を図る。	戦略5

7　TAMA拠点形成プロジェクト

生活の中心地：西国立

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	JR南武線連続立体交差化	都･JR･国立市･立川市	事業推進			未定
2	西国立駅交通広場（立川７・４・５号線）の整備	市	事業推進			未定
3	西国立駅周辺地域まちづくり	市･市民	まちづくりの具体的な取組に向けた検討、取組の実施			継続
4	西国立駅西地区地区計画の変更	市	都市計画変更検討			継続
5	立川市子育て支援･保健センター（愛称　はぐくるりん)の整備	市	施設整備	しゅん工･引越し	運用	令和6年度末

7 TAMA拠点形成プロジェクト

生活の中心地：多摩境

現状と課題

- 多摩ニュータウン建設の一環で、相原・小山土地区画整理事業等による計画的な市街地整備が行われた。
- リニア中央新幹線の神奈川県駅開業による効果を、まちづくりにいかしていくことが課題である。

将来像

- リニア中央新幹線の神奈川県駅から多摩地域への玄関口とし、国内外の人やモノが交流、大学や産業機能の集積、様々なイノベーションが創出する都市拠点が形成されている。
- 整えられた道路等の都市基盤や、隣接する小山内裏公園のみどりをいかし、多摩境通り沿いの大規模店舗等の生活利便施設、中高層住宅地を中心に潤いのある便利なまちが形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

拠点づくりの具体的な取組

1	**スポーツ施設の有効活用の検討（小山上沼公園）**	「スポーツ環境の充実」を目標に掲げ、市民が身近な場所でスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設を整備し、グランドの有効利用を官民共同で検討していく。	戦略7
2	**小山・小山ヶ丘地区ネットワーク協議会（ONW協議会）**	小山・小山ヶ丘地区の特性と資源をいかして、地区の課題を自ら解決し、さらに魅力発信や向上に主体性を持って取り組む団体同士のネットワークとして、ONW協議会が設置され、現在18の団体により構成されている 。 本協議会のコア組織である小山連合町内会への加入率を高めることで、よりプラットフォームとしての役割が高まる。	戦略1

生活の中心地：多摩境

拠点づくりの具体的な取組

3	**小山・小山ヶ丘オープンガーデン**	毎年、4月～5月に計6日間にわたって、個人宅や地域の花壇などを公開し、花や緑を通じて人々が触れ合うオープンガーデンを開催している。 2015年から開催しており、このイベントを通して美しい街づくりを目指している。 地域に住む多くの方々に実際に歩いて、小山・小山ヶ丘地区の良いところを多く発見してもらうため、より地元での定着を図るためのPRが課題である。	戦略6

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**スポーツ施設の有効活用の検討（小山上沼公園）**	**市**	令和６年度 指定管理者 導入	有効活用の検討		※指定管理者による有効活用の検討を継続実施
2	**小山・小山ヶ丘地区ネットワーク協議会（ONW協議会）**	**市**		事業実施		継続実施
3	**小山・小山ヶ丘オープンガーデン**	**市**		事業実施		継続実施

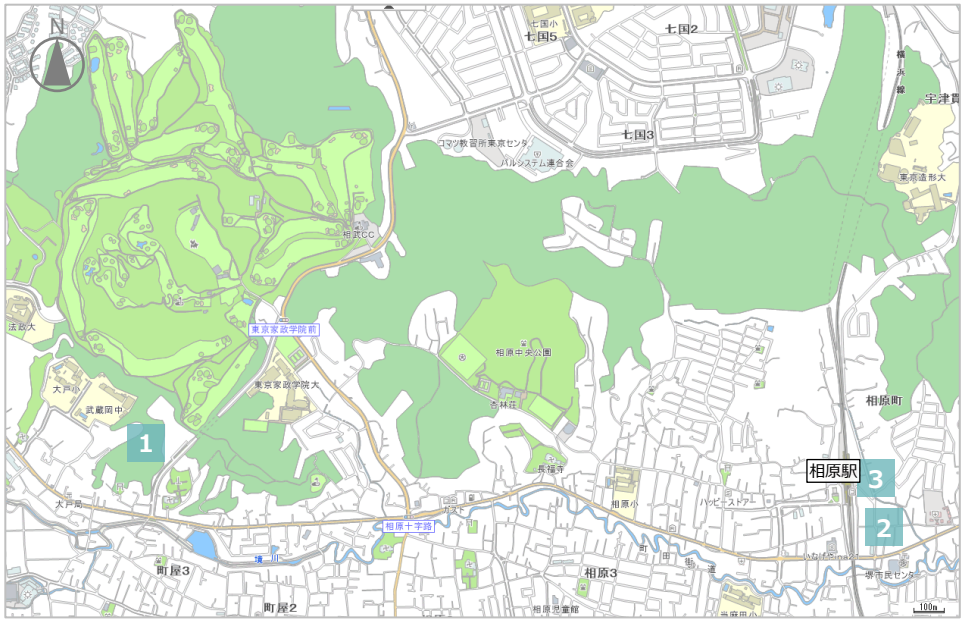
生活の中心地：相原

現状と課題

- 相原は、大戸緑地をはじめとした多摩丘陵の一部をなす豊かな自然が残る地域である。
- 相原駅周辺では、町田街道と鉄道との立体交差化などにより、地域の骨格となる道路網の構築を促進・推進している。
- また、駅周辺は、地域を支える生活利便施設を充実させることで、市内外の人々が集い、自然や歴史・文化に触れながら学び楽しめる拠点を目指している。
- 相原駅東口地区では、町田街道と鉄道との立体交差化を契機として、駅前広場と東口に至るアクセス道路の整備を進めている。
- バリアフリー基本構想に基づき相原駅周辺の施設・経路の面的なバリアフリー化を推進しており、移動や施設利用の安全性・利便性が高いまちづくりを進めている。

将来像

- 都市基盤整備にあわせた土地利用促進により、生活に便利でにぎわいが形成され、また、誰もが安心して住み続けられ、訪れたくなる活気と魅力のあるまちとなっている。
- 隣接するリニア中央新幹線の神奈川県駅と連携したまちが形成されている。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

大戸広場基本計画
出典：町田市提供

東口駅前広場鳥瞰図
出典：町田市提供

生活の中心地：相原

拠点づくりの具体的な取組

1	(仮称)大戸広場の整備	相原資源ごみ処理施設計画において併設される（仮称）大戸広場。テーマは「森を守り、遊べる、学べる、癒されるみんなの広場」。	戦略6
2	相原駅東口アクセス道路の整備	町田街道立体交差化事業による拡幅整備にあわせて、町田街道から東口駅前広場へ至るアクセス道路（主要区画道路）を整備するとともに、駅周辺の歩行空間の充実を図る地区内の区画道路を整備し、生活環境に配慮した安全で円滑な交通ネットワークを形成する。令和６年度から工事に着手する。	戦略2
3	相原駅東口駅前広場の整備	相原駅東口への交通アクセスを受け止めるとともに、拠点としてのにぎわいや交流を創出するため駅前広場を整備。令和５年度から令和６年度にかけて設計を行い、令和7年度から工事に着手する。	戦略1
4	バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー化の推進	相原駅周辺を重点整備地区に定めた「相原駅周辺地区バリアフリー基本構想」に基づき、各施設の設置管理者におけるバリアフリー化の取組を推進する。	戦略2

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	（仮称）大戸広場の整備	市		実施設計	整備工事	令和10年度末
2	相原駅東口アクセス道路の整備	市	整備工事	整備工事	整備工事	令和９年度末
3	相原駅東口駅前広場の整備	市		詳細設計	整備工事	令和９年度末
4	バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー化の推進	市	基本構想に基づくバリアフリー化の取組実施	基本構想に基づくバリアフリー化の取組実施	基本構想に基づくバリアフリー化の取組実施	継続実施

生活の中心地：久米川

現状と課題

- 都市計画マスタープランにおいて、久米川駅周辺を中心核と位置づけ、都市機能の強化・集積に取り組むとしている。
- 完成から50年以上が経過する久米川駅南口の駅前広場は十分な活用がなされておらず、老朽化が進んでいる。

将来像

- 中心核と位置づけた久米川駅周辺では、飲食店等の集積をいかした商業・業務等の機能の強化や、北口の駅前広場整備等による交通動線の変化を踏まえ、南口の駅前広場や踏切の改善等、安全で快適な利便性の高い都市空間が形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

2 KUMERAKUの夏
出典：東村山市提供

3 KUMERAKU FRIDAY NIGHT
出典：東村山市提供

4 マルシェ久米川
出典：東村山市提供

生活の中心地：久米川

拠点づくりの具体的な取組

1	**久米川駅南口駅前広場整備の検討**	市民から提出された南口駅前広場再整備の将来像実現を目指し、令和６年度末に久米川駅南口駅前広場再整備基本計画を策定し、令和７年度からは基本計画の具体化に向けて、基本設計及び周辺エリアのまちのデザイン方針を検討する。	戦略1
2	**KUMERAKUの夏**	久米川駅まちづくり研究会とは、久米川駅周辺の活性化を目的としている市民団体で、久米川駅を中心とした地域の、良好なまちづくりの実現と推進を図るため、地域に密着したイベントを展開する。KUMERAKUの夏では盆踊りを実施する。	戦略1
3	**KUMERAKU　FRIDAY NIGHT**	久米川駅まちづくり研究会とは、久米川駅周辺の活性化を目的としている市民団体で、久米川駅を中心とした地域の、良好なまちづくりの実現と推進を図るため、地域に密着したイベントを展開する。KUMERAKU　FRIDAY NIGHTではJAZZ演奏イベントを実施する。	戦略1
4	**マルシェ久米川**	東村山で採れた新鮮で美味しい農産物を購入したいという市民の声と、それを市民に届けたいという農家の思いを結ぶ場として、毎月第3日曜日に久米川駅北口広場にて開催している。新たな食材との出会いや、生産者の商品への想いが聞ける場にもなっている。	戦略6
5	**東村山編集室**	住民が作り手となる市公式のnote内マガジン【東村山編集室】で記事を公開することで、東村山市のくらしをよりよくしていくため、また、まちの魅力を伝えていく。	戦略1
6	**東村山シティプロモーションプラットフォーム**	まちで活動する様々な団体等を有機的に連携させるプラットフォームを設立し、各々の情報や得意分野を共有し、シティプロモーションを促進するための人的ネットワークとすることを目指す。	戦略1

7　TAMA拠点形成プロジェクト

生活の中心地：久米川

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	久米川駅南口駅前広場整備の検討	市	南口広場再整備基本計画策定	設計等 周辺エリアのまちのデザイン検討		久米川第１号踏切と整合性を図りながら実施
2	KUMERAKUの夏	市・民間		毎年１回開催		継続実施
3	KUMERAKU　FRIDAY NIGHT	市・民間		毎年2～3回開催		継続実施
4	マルシェ久米川	市・民間		毎月１回開催		継続実施
5	東村山編集室	民間	市より認定を受けた市民ライターが独自に取材し、随時、記事を発信			継続実施
6	東村山シティプロモーションプラットフォーム	市・民間	市民や企業の方を対象に、毎回テーマを決めて、意見交換会・勉強会を実施			継続実施

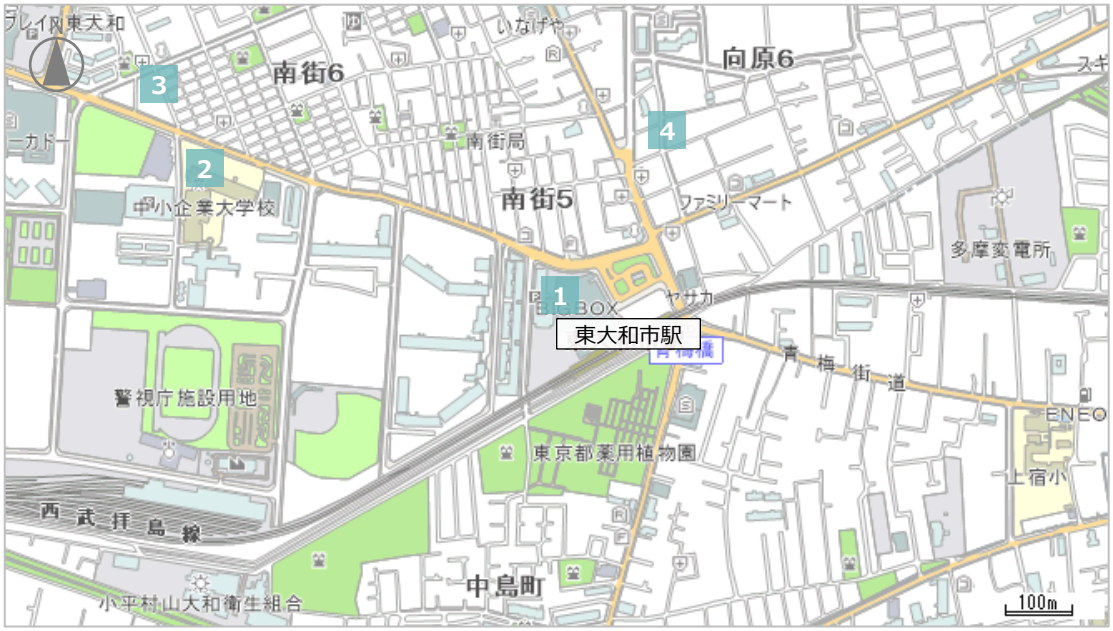
生活の中心地：東大和市駅周辺

現状と課題

- 東大和市駅周辺は建築物が高経年化しており、また、商業・業務などの都市機能の集積度合いが低いことから、市街地の更新や拠点性を高めるための都市機能の誘導などによるにぎわいの創出が必要である。
- 駅北側に立川３・４・17号線の未整備区間が存在する。都市計画道路ネットワークを形成し、東大和市駅前交差点におけるピーク時の渋滞解消、歩行者の安全性・快適性の向上、地域の防災性の向上などを図るため、整備手法等の検討が必要である。
- 東大和市駅周辺を含む空堀川上流南部地域では、地盤が低いなどの地形的な理由により、空堀川に雨水を排除することが困難な箇所があるなど豪雨時に浸水被害が頻発している。

将来像

- 都市計画道路の整備とあわせ、密集市街地の解消や高経年化した建築物が更新されている。
- 商業・業務、居住、医療・福祉、教育、公共公益など の都市機能が高度に集積した東大和市の玄関口にふさわ しい活力ある市街地が形成されている。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 東大和市駅前
出典：東大和市提供

2 東大和市創業塾
出典：東大和市提供

7　TAMA拠点形成プロジェクト

生活の中心地：東大和市駅周辺

拠点づくりの具体的な取組

1	**東大和市駅周辺の拠点形成調査検討**	東大和市駅周辺におけるにぎわい・交流・活力のある魅力的な拠点形成に向け、基礎調査や市民意向調査などを踏まえた検討課題や取組手法の整理などの調査検討を行う。	戦略1
2	**創業支援事業**	地域経済活性化に向けた取組として、（独）中小機構の中小企業大学校東京校（BusiNest）と連携して「東大和市創業塾」を開講し、創業希望者に対し経営、財務、販路開拓等に関する講義を行っている。また、東大和市創業チャレンジ施設の運営事業者に対する施設借り上げ料等の補助も実施している。	戦略1
3	**立川３・４・１７号線整備事業**	交通処理機能の確保や避難場所へのアクセス向上等のために必要な都市計画道路である立川３・４・１７号線について、第四次事業化計画の優先整備路線として事業化している区間の整備を進めていく。	戦略2
4	**空堀川上流域南部地域浸水対策事業**	浸水被害が頻発する空堀川上流域南部地域における浸水対策として、市単独による雨水排除が困難であるため、都が新たに複数市に跨る空堀川上流雨水幹線の整備を、市が幹線に接続する雨水管の整備を進めていく。	戦略4

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**東大和市駅周辺の拠点形成調査検討**	**市**	調査・検討			令和７年度（調査検討期間）
2	**創業支援事業**	**市**		事業中		創業目標４件/各年度
3	**立川３・４・１７号線整備事業**	**市**		事業中		令和13年度（事業認可期間）
4	**空堀川上流域南部地域浸水対策事業**	**都・市**		事業中		令和7年度末（当該区間幹線整備完了）

生活の中心地：羽村

現状と課題

- JR青梅線羽村駅前に位置している羽村駅西口地区は、既成市街地で駅前交通広場がなく、狭あい道路が５割を占めており、計画的な基盤整備がなされていないため、市街地の進展や商業集積が立ち遅れた状態にある。
- 羽村駅西口地区は、狭あい道路に沿って住宅が建ち並ぶなど、スプロール化現象が生じていることや崖線の緑地の一部が宅地化されている。
- JR青梅線羽村駅は、西口駅前に交通広場が無く、交通結節点としての機能が十分に発揮できていないことが課題となっている。
- 羽村駅西口駅前は、市の玄関口にふさわしい駅前整備による活性化が求められている。
- 羽村駅西口駅前は、市街地の再編により良好な居住環境の確保や宅地化された崖線の緑地の復元が課題となっている。

将来像

- 羽村駅西口土地区画整理事業により、JR青梅線羽村駅を中心とした利便性の高い駅前市街地や都市施設と自然が調和した市街地の再編が行われている。
- 商業機能の集積を図り、商業地として地域住民等の利便性を高め、活気のある地区となっている。
- 都市計画道路を整備し、幹線道路から住宅街に流入する通過交通を排除し、安全な居住環境が創出されている。
- 緑地や公園を適正に配置・整備するとともに崖線の緑地を復元することで緑豊かな環境のよい「美しい街並み」が形成されている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

2 現在の羽村駅西口駅前

出典：羽村市提供

3 駅前広場（羽村駅）の整備 イメージパース

出典：羽村市提供

生活の中心地：羽村

拠点づくりの具体的な取組

1	羽村駅西口土地区画整理事業による都市基盤整備	「美しく快適で住みよい活力に満ちたまち」を基本目標に、JR青梅線羽村駅を中心とした利便性の高い駅前市街地の再編を図るとともに、商業機能の集積を行う。 また、道路、交通広場、公園等の都市基盤整備により良好な居住環境を確保する。	戦略1
2	羽村駅西口周辺の活性化	羽村駅西口を中心とした商業の活性化に向けて地域の商業者などと連携し検討する。	戦略1
3	駅前広場（羽村駅）の整備	羽村駅西口駅前広場について、関係機関協議や市民などと連携し交通結節点としての整備を検討する。	戦略2
4	緑地・崖線の保全活動	都市施設と自然が調和した市街地の再編を目的に崖線・緑地を市民団体と連携して復元し保全・保存を図っていく。	戦略6

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	羽村駅西口土地区画整理事業による都市基盤整備	市		事業実施		令和18年度
2	羽村駅西口周辺の活性化	市	調査検討・情報収集		活性化検討	令和18年度
3	駅前広場（羽村駅）の整備	市・民間	状況把握・対応検討	状況把握・対応検討	状況把握・対応検討	令和18年度
4	緑地・崖線の保全活動	市・市民団体		活動実施		継続実施

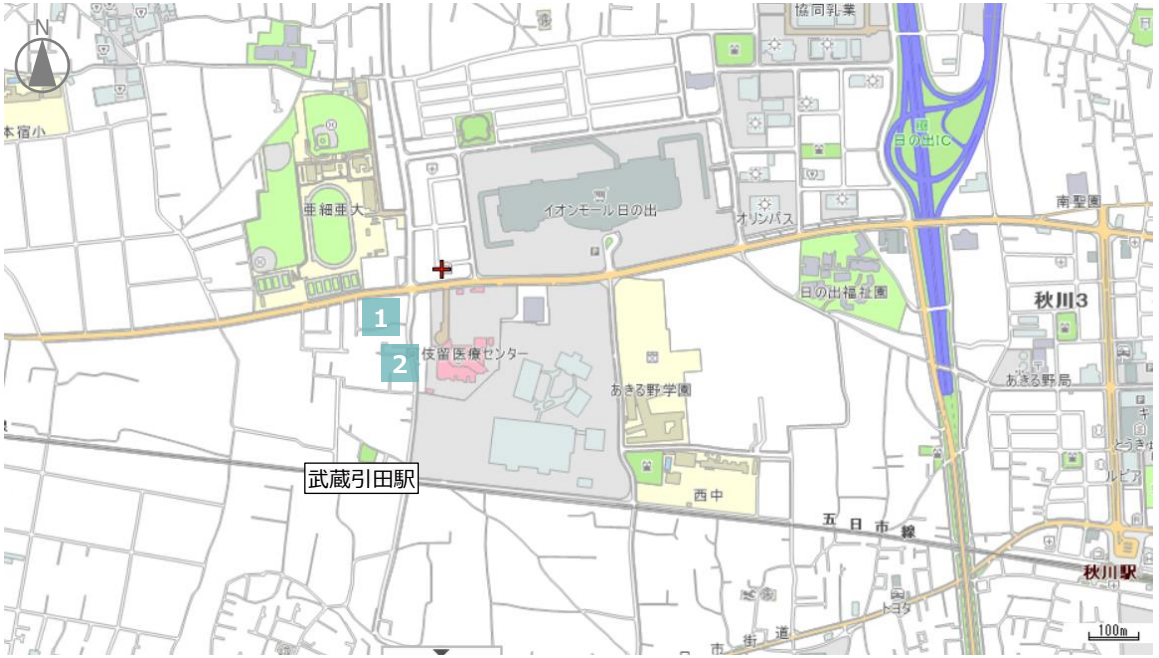
生活の中心地：武蔵引田

現状と課題

- 秋留台地のほぼ中央に位置し、JR五日市線武蔵引田駅、一般都道165号 伊奈福生線及び圏央道日の出インターチェンジが隣接・近接し、都市的土地利用を図る上で好立地な位置にある地区である。
- 武蔵引田駅北口では現在土地区画整理事業による基盤整備を行っている。
- 地区内を通る秋多３・４・１３号線（引田平井線）東側に地域医療拠点である公立阿伎留医療センターや産業施設の立地が進んでいる。
- 圏央道や面的整備の活用による工業立地の促進やアクセス基盤の充実が求められている。

将来像

- 武蔵引田駅周辺では、駅近接の利便性を生かし、職住近接による住・商・工・農のバランスの取れた利便性の高い産業系複合市街地の形成を進める。また、武蔵引田駅北口地区では、秋川高校跡地を含むその周辺の産業系の市街地整備と連携するとともに、駅前広場や道路・公園などの都市基盤が整備されている。
- 市街地整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との十分な調整を行い、市街化調整区域から市街化区域に編入し、土地区画整理事業による交通広場などの基盤整備と併せて、職住近接のバランスのとれた産業複合市街地である生活の中心地が形成されている。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

3 は地区全域

1 秋多都市計画事業　武蔵引田駅北口土地区画整理事業
出典：あきる野市提供

生活の中心地：武蔵引田

拠点づくりの具体的な取組

1	**秋多都市計画事業 武蔵引田駅北口土地区画整理事業**	産業の活性化と良好な居住環境の創出を図るため、業務地、商業地、住宅地、農地がバランスよく配置された産業系複合市街地の整備を目指して、市施行による土地区画整理事業を実施し、駅前広場、道路や公園など公共施設の整備改善を行う。令和７年度末に事業の完了を予定している。	戦略1
2	**秋多３・４・１３号線の整備**	武蔵引田駅の東側に位置する都市計画道路で、一般都道165号伊奈福生線及びJR五日市線と交差し、新五日市街道線まで至る南北方向の幹線道路として道路ネットワークを形成する。東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）における優先整備路線である。道路整備へ向け、令和５年度に測量調査委託を実施し、令和６年度から概略設計委託を実施している。令和7年度以降は概略設計を基に事業化へ向けての検討を継続する。	戦略2
3	**公民学連携及びDX活用の検討**	土地区画整理事業により新たに市街地が整備されつつある当該地区及びその周辺において、地区内で操業している企業等との連携やDXの活用を検討する。	戦略1

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**秋多都市計画事業 武蔵引田駅北口土地区画整理事業**	**市**	事業実施			令和７年度
2	**秋多３・４・１３号線の整備**	**市**	概略設計	整備方向性検討		未定
3	**公民学連携及びDX活用の検討**	**市 民間**	連携及び活用検討			継続実施

生活の中心地：箱根ケ崎

現状と課題

- JR八高線の箱根ケ崎駅が瑞穂町にとって唯一の駅であり、町の中心となっている。
- 多摩都市モノレールの延伸（上北台～箱根ケ崎）について都市計画等の手続が進められている。
- 多摩都市モノレール延伸に合わせ、瑞穂町ではまちづくりの検討が進められている。

将来像

- 町の都市計画マスタープランにおいては、「みずほの顔交流拠点」として位置付け、多摩都市モノレール延伸と一体的に交通ターミナル機能を高め、商業・業務及び各種利便施設の集約化により、商店の活性化を図り、人、交通、情報が集積する、景観的にも美しいまちの表玄関・顔となっている。
- にぎわいのある駅前空間づくりへ向け、JR箱根ケ崎駅と多摩都市モノレール（仮称）NO.7駅間の乗換流動を活用した商業・業務機能を集積し、回遊性向上と歩行者ネットワークが強化されている。
- 多摩都市モノレールの延伸により、交通利便性が向上するため、駅周辺に病院、スーパー等の生活利便施設の誘致が図られるとともに、魅力のある都市機能の集積を誘導し、交流人口が増加している。
- 駅周辺の魅力向上とあわせて、駅周辺に効率の高い土地利用を誘導し、居住環境が向上されている。
- 箱根ケ崎駅西地区の公有地は、駅前という好条件をいかし、住民と協働して、イベントやコミュニティスペース等の利活用が進んでおり、モノレール開業を見据えた段階的なにぎわい創出が行われている。

出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 2 3 については町内全域

4 箱根ケ崎駅西公有地活用プロジェクト
出典：瑞穂町提供

6 箱根ケ崎駅東口駅前広場の将来像
出典：瑞穂町提供

生活の中心地：箱根ケ崎

拠点づくりの具体的な取組

1	**瑞穂町コミュニティバスの運行**	町内における地域間の移動や、町内各地域から町外への玄関口であるJR箱根ケ崎駅を結ぶ公共交通が充実し、住民誰もが円滑に移動することができることを目指し、今後のコミュニティバスを含め公共交通のあり方について検討する。	戦略2
2	**地域公共交通計画の策定**	地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにし、町内における地域間の移動や箱根ケ崎駅や（仮称）NO.７駅と町内各地域との移動についてあるべき姿を検討する。	戦略2
3	**立地適正化計画の策定**	効率的かつ持続可能な都市経営を目指し、多摩都市モノレールの箱根ケ崎方面延伸や新駅周辺のまちづくり等も含めて検討を進める。	戦略1
4	**箱根ケ崎駅西公有地活用プロジェクト**	箱根ケ崎駅西地区の公有地を活用し、にぎわい創出を行うため、暫定的インフラ整備やイベントを実施し、多摩都市モノレール開業に合わせ、地域交流の活性化される居場所を創出する。	戦略5
5	**福生都市計画事業瑞穂町箱根ケ崎駅西土地区画整理事業**	町の中心市街地を形成する地区であるものの、都市基盤が未整備のまま市街化が進み、交通、排水等居住環境が悪化していた。このため、道路、公園等の整備を行うとともに宅地の利用増進を図り駅周辺の活性化と健全な市街地形成を図る。	戦略1
6	**JR箱根ケ崎駅と（仮称）No.7駅乗換連絡通路の整備**	JR箱根ケ崎駅自由通路と、（仮称）NO.7駅コンコースをデッキで連絡し、利用者の安全かつ円滑な乗換を支援するとともに、駅西側にも人の流れを誘導することで、箱根ケ崎駅周辺の回遊性向上やにぎわいの創出を図る。	戦略2
7	**福生３・５・１７号線（箱根ケ崎陸橋）**	青梅街道踏切の渋滞解消、歩行者の安全確保を目的として、道路とJR八高線をオーバーパスで立体化する事業を東京都にて実施する。	戦略2
8	**瑞穂町デマンド交通の実証実験運行**	コミュニティバスではカバーできない交通不便地域解消の補完及び高齢者等の免許返納や外出促進に寄与する公共交通手段としての有用性を検証するため、実証実験を行った上で、今後のデマンド交通を含め町内における公共交通のあり方について検討する。	戦略2

7　TAMA拠点形成プロジェクト

生活の中心地：箱根ケ崎

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	瑞穂町コミュニティバスの運行	町	実証実験	実証実験、町内の公共交通の実態を踏まえ、本格運行を実施		継続実施
2	地域公共交通計画の策定	町	計画策定		計画に基づき実施	令和７年度
3	立地適正化計画の策定	町	計画策定	計画に基づき実施		令和６年度
4	箱根ケ崎駅西公有地活用プロジェクト	町（住民との協働事業）	暫定インフラ整備、イベント実施、住民懇談会等	公有地の恒久的な利活用を行うまで、プロジェクトは継続		令和13年度
5	福生都市計画事業瑞穂町箱根ケ崎駅西土地区画整理事業	町	換地処分			令和13年度
6	JR箱根ケ崎駅と（仮称）No.7駅乗換連絡通路の整備	町	都市計画決定後、事業実施			2030年代半ば
7	福生３・５・１７号線（箱根ケ崎陸橋）	都	事業実施			継続実施
8	瑞穂町デマンド交通の実証実験運行	町		実証実験	実証実験、町内の公共交通の実態を踏まえた本格運行の開始を検討	継続実施

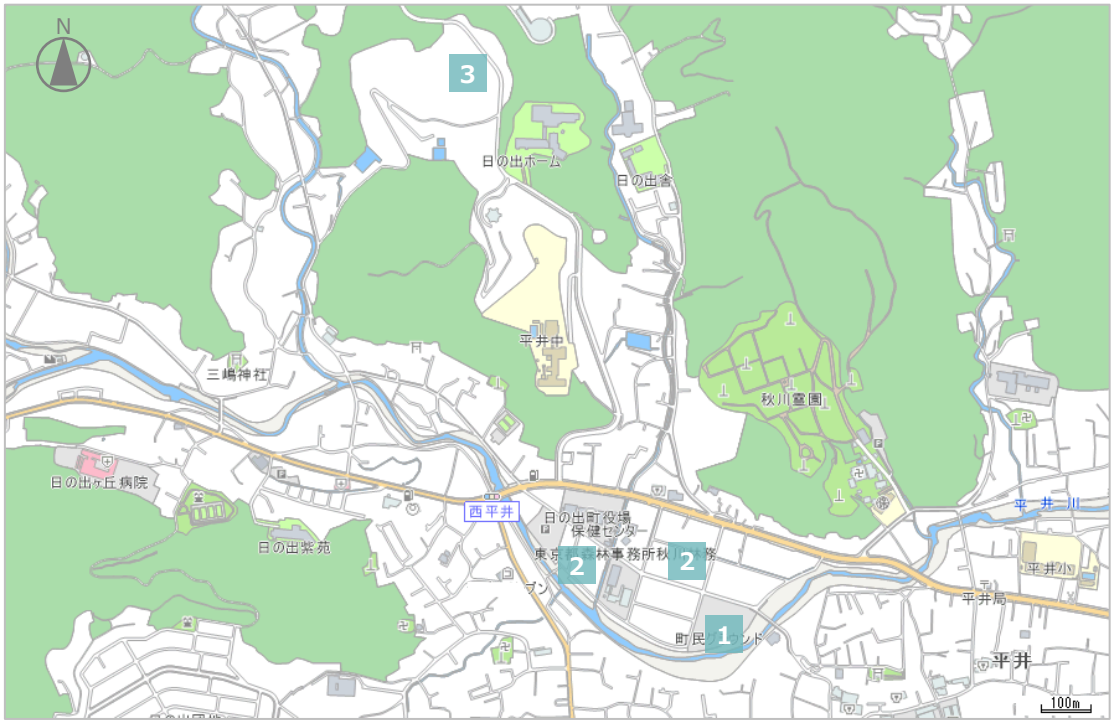
生活の中心地：谷戸地区・塩田地区

現状と課題

- 「日の出町都市計画マスタープラン」では、商業・サービス機能の充実を図るとともに、ひのでグリーンプラザの活用や観光農園・体験農園等の整備を検討し、地域農業の活性化と食・農文化を生かした交流機能として地産地消の推進を図る中心交流地区として位置づけている。
- 農地を利用して、日の出町観光協会による「いもほり収穫体験」や町内保育園児を対象に「大根種まき・収穫体験」を実施している。
- 役場、保健センター、教育センター、図書館、町民グランド等の公共施設が集積されており、町内の生活中心地の一つとなっている。
- 平井川沿いには、桜並木が形成されており、春には日の出町観光協会による「桜まつり」を開催している。
- 都市計画マスタープランの見直しを行い、令和7年3月に策定・公表した。
- 農地を保全する観点からは、農業後継者の減少は課題となっている。
- 第五次長期総合計画では、総合文化体育センターの設置推進を掲げており、交流拠点を整備することで、まちのにぎわい創出が期待されるため、建設に向けた関係者の調整が必要である。

将来像

- 農地の保全が進み、観光農園や体験農園として広く開放されることにより、自然と親しむ憩いの空間を形成している。
- 交通機関の利便性を生かし、教育・文化・スポーツ・サービス機能が充実した生活の中心地を形成している。
- 地域の利便性を高める商業やサービス機能が充実し、農地が保全され、一部は住民や観光客に開放されるなど、自然環境と調和した、ゆとりのある生活の中心地を形成している。



出典：© PASCO CORPORATION, © GeoTechnologies, Inc.

1 桜まつり
出典：日の出町提供

3 総合文化体育センターイメージパース
出典：日の出町提供

7　TAMA拠点形成プロジェクト

生活の中心地：谷戸地区・塩田地区

拠点づくりの具体的な取組

1	**桜まつりの開催**	日の出町観光協会が開催しており、イベントを盛り上げる桜まつりサポータなどのボランティアスタッフを募集するなど、観光やイベントを通じた関係人口の増加を図っていく。	戦略7
2	**農地を活用した拠点づくり**	農家の協力を得ながら、既存農地を使用した様々な体験を実施していくことで、農地の保全に向けた農業従事者の確保に取り組む。	戦略6
3	**総合文化体育センターの建設**	三多摩都民と多くの町民が交流できる拠点施設の設置を推進し、交流を活性化させ、まちの活力を増進させる。	戦略5

取組スケジュール

	事業名	事業者	令和６年度	令和７年度	令和８年度	目標年次
1	**桜まつりの開催**	**観光協会**		毎年度開催		継続実施
2	**農地を活用した拠点づくり**	**町**		毎年度開催		継続実施
3	**総合文化体育センターの建設**	**町**		調整		継続実施

掲載されている画像の一部は、ピクスタから提供を受けています。

附属資料

有識者意見

饗庭 伸　東京都立大学　都市環境学部教授

『多摩地域の都市と産業の可能性』

- 住宅と第三次産業だけでは都市は衰退する。
- 職場と家が近くクリエイティブなことができるなどの観点や学び直し世代や移民・留学生などを巻き込んでいくことが重要

平山　雄太　名古屋大学　准教授

『まちづくり大革命におけるスマートシティ』

- 人口減少などの社会課題の解決方法の一つがテクノロジーやデジタルの社会実装、スマートシティ化である。
- 既に自治体でもデータのオープン化の取組はスタートしていて、自助・共助を促すことで地域が活性化する。

長島 剛　多摩大学　経営情報学部教授

『多摩エリアよもやま話』

- 多摩の特徴は、自然が豊かでそこそこ便利、30の市町村に400万人が居住、12万の事業所が立地、144万人が仕事に従事、研究開発機関が多い、東京都「内」にある
- 昼間人口にも関心を持ち、多くの従業員を抱える事業所との共創も重要

馬場　正尊　東北芸術工科大学教授

『公共空間の新たな可能性について』

- コロナを契機に、郊外の価値が見直されていて、自分のまちのアイデンティティやシビックプライド※をどう作っていくかということが重要
- パブリックとプライベートの中間領域が活性化することで都市の風景を豊かにする、ひいては都市の価値を上げていく。

佐藤　留美　NPO法人 Green Connection Tokyo 代表理事

『グリーンインフラを活かした「みどりのまちづくり」』

- みどりの力を引き出し、まちづくりにいかしていくには、産官学民の力を集結することが必要。多摩には、緑があるのが大きな強み
- 公園をいかにまちの資産としていくのか。そのための戦略として、まちづくりの場としていくこと、仕組みを作ること、担い手を広げていくことが重要

※「シビックプライド/CivicPride」「CIVIC PRIDE」は株式会社読売広告社の登録商標です。

有識者意見

【分野】 建築、スマートシティ

豊田　啓介　東京大学生産技術研究所 特任教授

- 他の地域と差別化、選択と集中が必要
- 大都市と郊外が相互に対等に連携をして、特徴を活用しあうことが必要
- 二拠点居住とか多様なライフスタイルを志向する上で、多摩の方が都心よりも最先端、次世代のライフスタイルということのモデルケースとすることが重要

【分野】 観光

関　裕之　株式会社JTB 全社ユニバサールツーリズム推進担当課長

- 多摩には自然があって、独特の文化やアクティビティがあり、都心から近いというのが魅力、サステナブルツーリズムやアドベンチャーツーリズムの観点も必要
- ユニバーサルツーリズム（アクセシブルツーリズム）推進で、多様な人が安心して旅行ができる環境づくり・サービスの提供が必要

【分野】 モビリティ、自動運転

鎌田　実　（一財）日本自動車研究所　所長

- 集約型都市構造を目指していく中で、公共交通をうまく当てはめていくことが必要
- 観光MaaSは、もともとのフリー切符のデジタル化や技術展開なので、進むかもしれない。
- 全国どこでも高齢者人口が増加していく中で、地域包括ケアやDXとかICTとかの手段を活用していくことが大事

【分野】 福祉、交通

秋山　哲男　中央大学研究開発機構　教授

- 今多摩でやるべきことは、中心部を再生してもっと魅力的な街に生まれ変わらせること。全ての拠点に均等にやっても無駄なので、テーマを持って投資する（偏在しても可）ことが大事
- モビリティハブ（バスが来る、タクシーが来る、ウーバーが来る。そこにはスクーターでアクセスできるような場所）のような、交通の拠点は重要

【分野】 都市防災、都市計画

廣井　悠　東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻　教授

- 「良好な住環境」、「都心部に比べて巨大災害リスクが低い」というのは多摩の付加価値
- 土砂災害対策と高齢者の避難については重点的な対策が必要
- 農は多摩の魅力の一つ。農地は災害時に使う空間としても活用用途がさまざまある。

【分野】 子育て

坂本　純子　NPO法人 新座子育てネットワーク　代表理事

- エビデンスベースの子育てが着目されており、デジタルのデータが共有されるまちは魅力が高まる
- 誰もがアクセスしやすい駅周辺にいろいろなテーマ型のコミュニティが作れるような、共同空間があるといい。

子供の意見

- 本戦略の作成に当たっては、子供の意見表明の機会を充実させるとともに、その意見が適切に施策に反映されるよう、出前授業、アンケート調査及びこどもワークショップを実施した。

1　出前授業

（１）　実施した小学校と対象学年

鑓水小学校（八王子市）	令和５年７月18日	５年生３クラス（104名）
布田小学校（調布市）	令和５年７月13日	５年生３クラス（　83名）
第三小学校（東大和市）	令和５年７月14日	６年生１クラス（　34名）
瑞穂第一小学校（瑞穂町）	令和５年７月12日	４年生２クラス（　58名）

（２）　授業内容

- 「まち」という概念の認識、まちの変化、まちづくり、将来の可能性や課題を多角的な視点で説明した上で、４、５人のグループに分かれて、将来どんなまちになってほしいかグループワークを行い意見をもらった。

（３）　子供たちの意見の概要

- 279名の子供たちから、どんな街になってほしいか約400件の意見を確認した。
- 安全なまち、子供やお年寄りにやさしいまち、自然が多いまち、などの意見が多いものの、交通手段の充実や経済性などに関する意見もあった。
- その他、駄菓子屋が多い、動物とのふれあいなどの回答があった。

子供の意見

（４）　「将来どんなまちになってほしいか」 子供たちの主な意見

鑓水小学校（八王子市）

布田小学校（調布市）

・大きな会社があるまち　・家の近くに会社がありすぐに通えるまち

・道路が広いまち　・段差が少ないまち　・スロープに手すりを増やしてほしい

・安全なまち　　・大人も子供も楽しめるまち

・スーパーをふやす　　・老人や障害者が安全に暮らせるまち

・年齢関係なくみんなで楽しく暮らせるまち

・人と動物が共存するまち　　・自然が多いまち

・楽しくて遊べる場所がたくさんあるまち

・科学未来的なまち　・AI技術が発達したまち

・物をすぐ運べるまち　・地震に強いまち

・温室効果ガスをなくして涼しいまち　　・バリアフリーが充実したまち

・遊びやすいまち　　・働く時に楽しくできる会社

・たくさんおいしい物が食べられるまち

・森とともに暮らすまち

子供の意見

第三小学校（東大和市）

・経済がまわるようになってほしい　・外国人に対する通訳が多い

・電車がいろんなところに行けるようになってほしい

・地震に強いまち　・不自由のないまち

・動物病院をふやしてほしい

・公園がいっぱいあってほしい

・公園の近くにコンビニがあってほしい

・日本らしさが多くなってほしい。

瑞穂第一小学校（瑞穂町）

・豊かなまち　・ほとんどの場所が電車で行けるようになってほしい。

・モノレールで色々なところに行きたい

・車で行きやすく、歩きやすいまち　・地震がきても平気なまち

・子供も大人もお年寄りも安心して暮らせるまち

・動物も人も住みやすいまち

・いろんな人が協力しているまち

・お店やスーパーがたくさんあるまち

・自然が多いまち　・みんなが楽しめるまち

子供の意見

2　アンケート調査

- アンケート期間　令和５年７月31日～令和５年８月９日
- アンケート方法　インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。
- モニター数　　1,200人
- 回答者数　　1,134人　（うち約３割は０～５歳保護者）

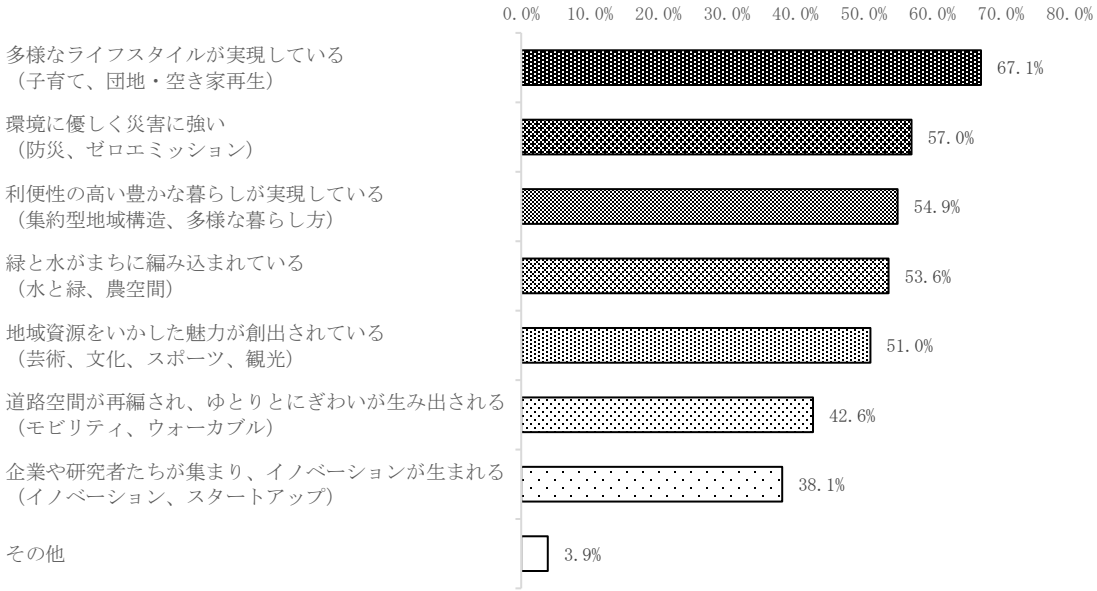
※「こども都庁モニター」第２回アンケートテーマの1つとして実施

		モニター人数	回答人数
全体		1,200	1,134
性別	男性	591	555
	女性	591	563
	その他／回答しない	18	16
学年別	０歳～２歳保護者	200	196
	３歳～５歳保護者	200	195
	小学校低学年	200	188
	小学校高学年	200	192
	中学生	200	186
	高校生	200	177
居住地域別	東京都区部	800	763
	東京都市町村部	400	371

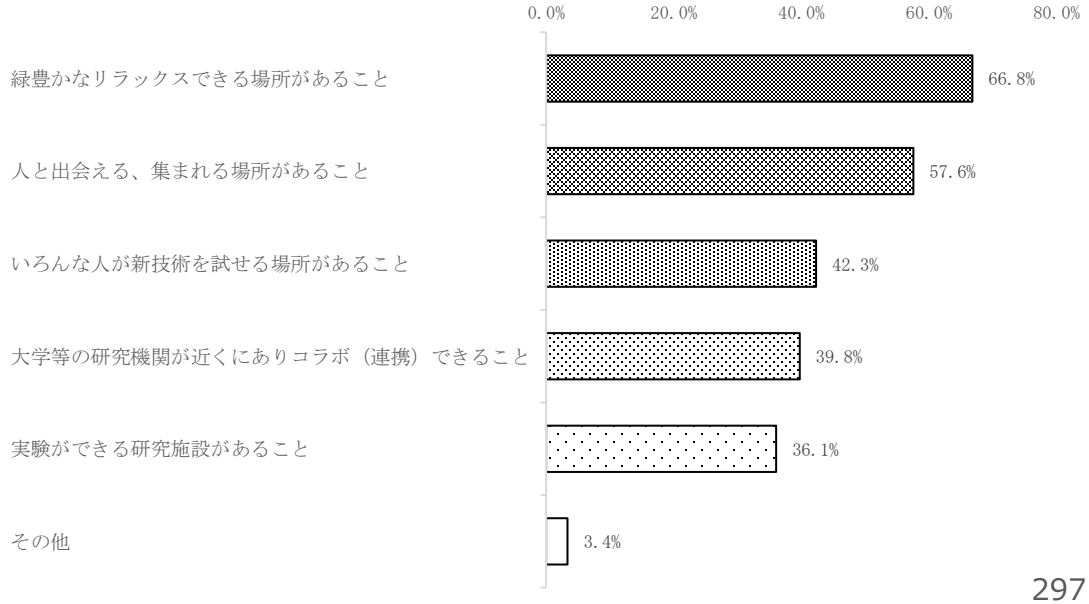
※「高校生」には、高校生年齢相当（15～18 歳）の子供を含む。

子供の意見

問１　多摩地域の持続的な発展に必要なこと

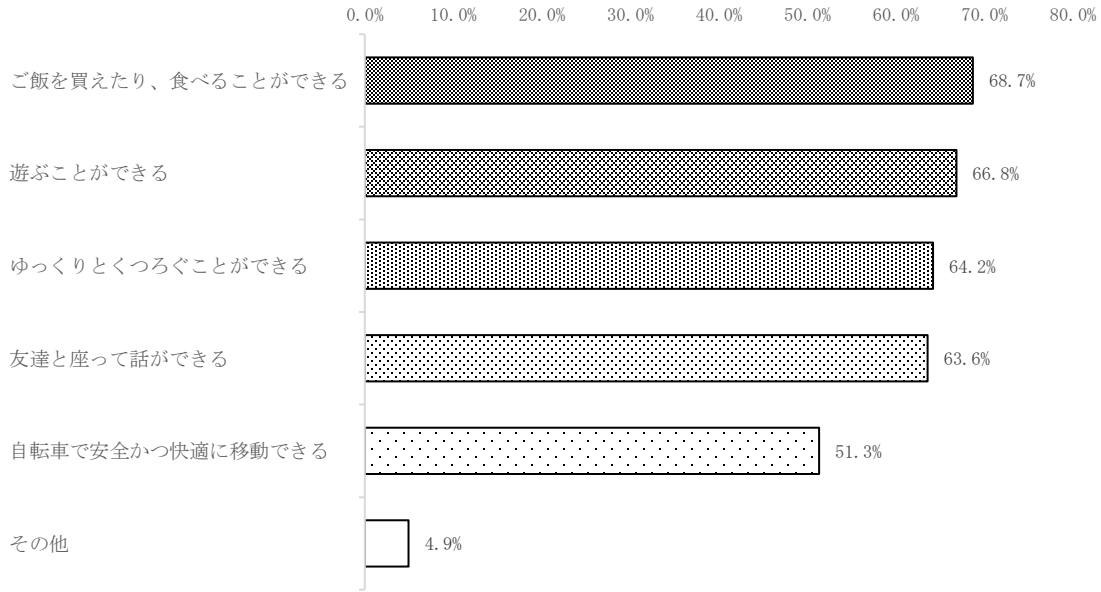


問２　多摩地域の産業を発展させるために必要なこと

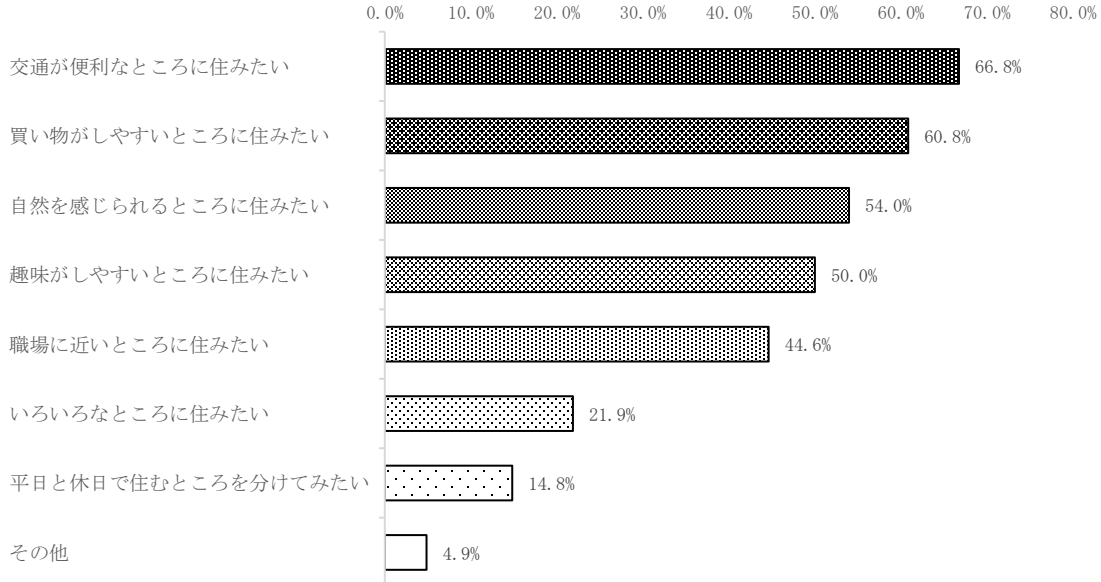


子供の意見

問３　道路の場の活用方法

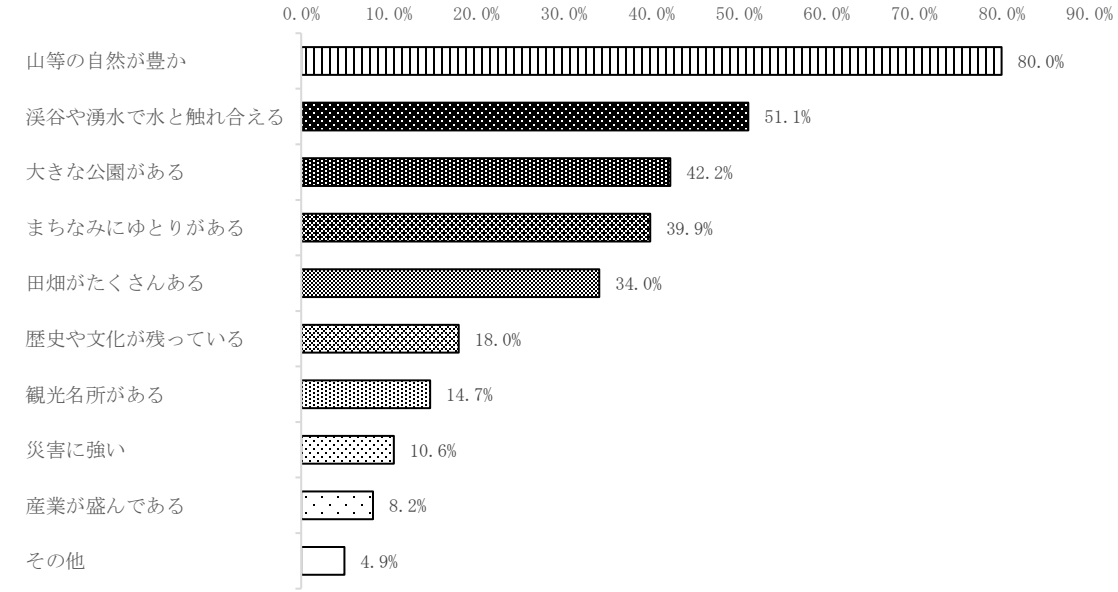


問４　将来、住みたいと思うところ

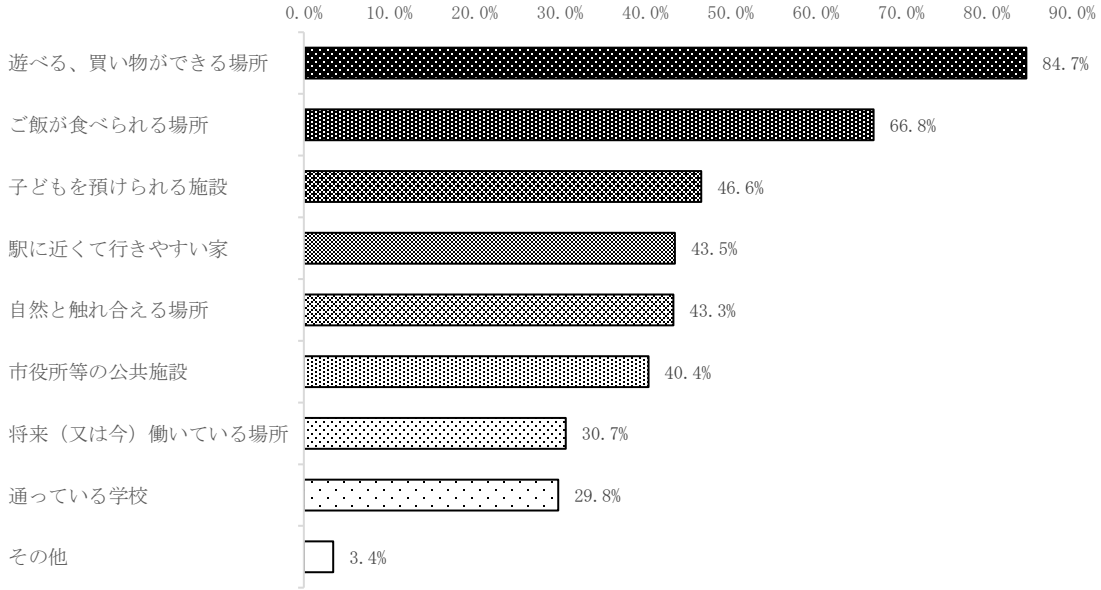


子供の意見

問５　多摩地域のイメージ



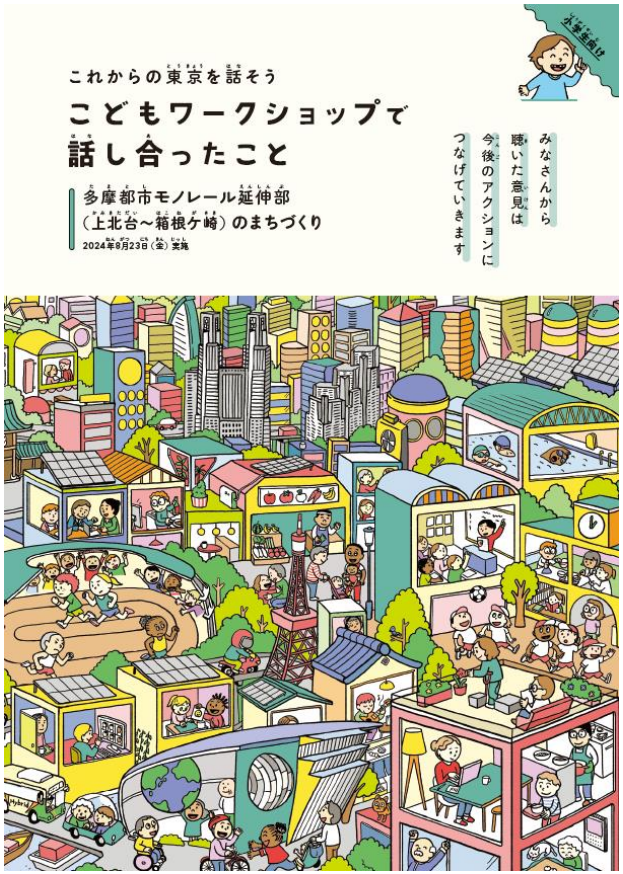
問６　駅のまわりに必要なもの

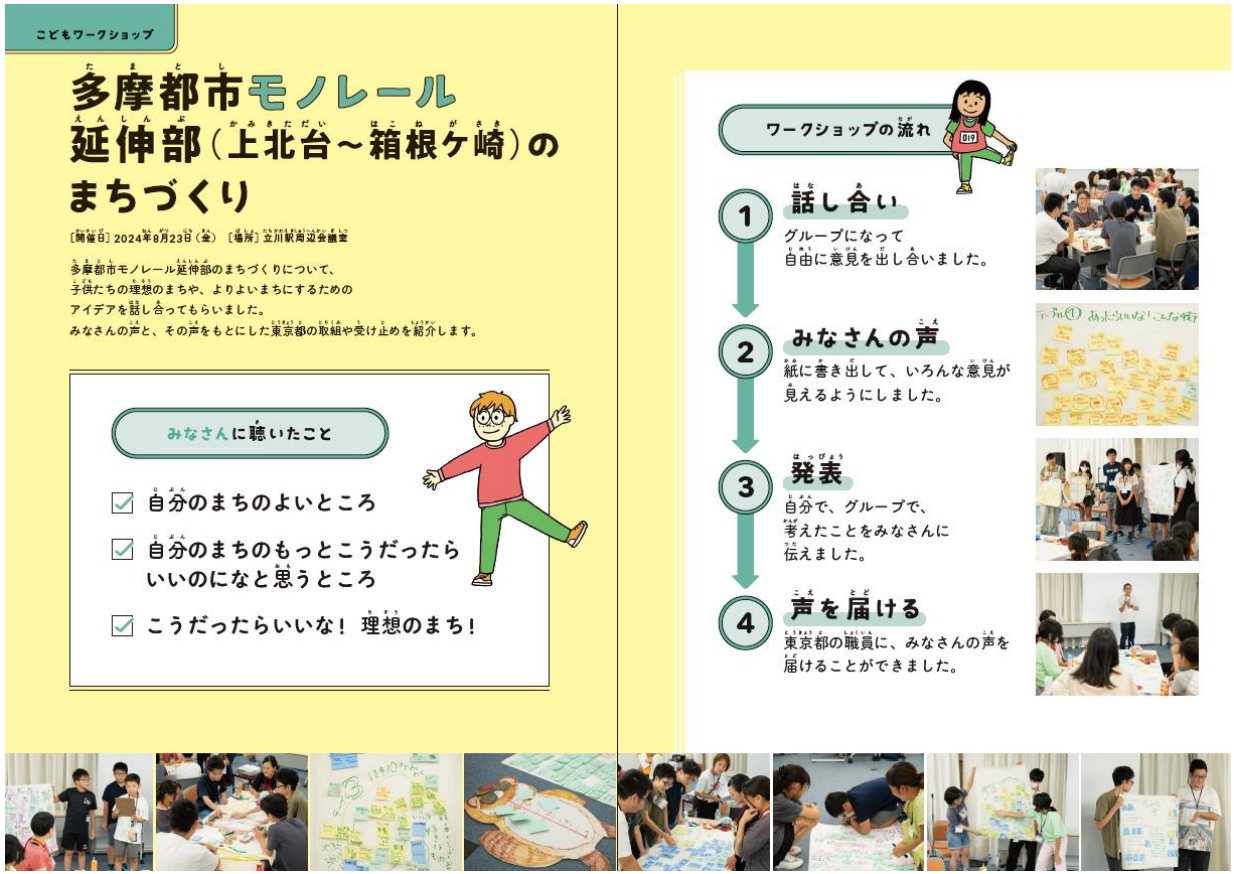


子供の意見

3　こどもワークショップ

- 実施日時　令和６年８月23日（金）13:00～15:30
- 開催場所　立川駅周辺会議室
- 参加人数　19人　（小学生（４～６年）　10名　中学生　５名　高校生　４名）





子供の意見

これからの東京を話そう

こどもワークショップで話し合ったこと

話し合いをビジュアル化する「グラフィックレコーディング」で、子供たちの意見やアイデアをまとめました。

子供の意見

こどもワークショップ

みなさんの意見やアイデア

安心・安全について

- 薄暗いところがないまちにしてほしい（小4）
- 街灯をつくる（小4）
- 安全の観点からも道は広くした方がいい。街灯がないと、夜は危ない（高1）

子育てについて

- 子育てしやすいまちであることも大事（高1・高3）
- 子供がいっぱいいるといい（小4）

暮らしについて

- コミュニティがあるのがいい（高3）
- 住んでいる人もいるし、観光している人もいるのがいい（高3）
- 人との繋がりはあったほうがいい（高3）
- すみわけできるのがいい、観光（お金を落とす人）と住む人が行くところを分ける（高1）

自然について

- 安らぎがあるまち（高1・高2）
- 自然のあるまちがいい（高3）

遊び場について

- 土地は余っているはず（高1）
- 図書館。大きいの一つでなく、小さいのもたくさんほしい（小4）
- キャンプ場（BBQできるとこ）がほしい（小6）
- 遊園地があるまち（小5）

農業について

- モノレールで野菜を運ぶ（小6）
- 地産地消すれば、地域の活性化にもつながる（小6）
- 箱根ケ崎で作って立川で売る（小6）
- 住んでる近くに家庭菜園があるといい（小6）

こどもワークショップ

ブランド力について

- モノレールをまちの誇れるシンボルに（高2）
- 駅にシンボルを置いてほしい（高2）
- ブランド力があったほうがいい（高2）
- 駅舎を玉造駅の駅ビルみたいにしてほしい（中1）

こんな意見もありました

- バスの本数少ないと不便（小4）
- おもしろい音楽がまちに流れているといい（小5）

東京都の受け止め

ワークショップでいただいた意見を踏まえて検討した延伸部エリアのまちづくり計画を、「多摩のまちづくり戦略」に反映しました（TAMAまちづくり推進プロジェクト）。

子育てしやすく、豊かな緑による安らぎがあるなど、地域の特徴を生かしたまちづくりや、特徴のある駅デザインの取組を進めていきます。

多摩のイノベーション創出拠点の形成に向けた取組

1 概要

○基本的な考え方

「都市づくりのグランドデザイン」及び「未来の東京」戦略ビジョンを踏まえ、令和２年２月、多摩ならではの多様なイノベーション創出拠点の形成に向けた取組の基本的考え方や具体的な取組を示した、「多摩イノベーション創出拠点の形成に向けた取組方針」を策定した。

○具体的な取組

・「イノベーション創出まちづくり」モデル事業
　➢多摩イノベーション創出まちづくり検討支援モデル事業
・情報共有、意見交換等を行う体制づくり
　➢多摩まちづくり推進連絡会議の設置
・多摩の新たな拠点整備計画の策定
　➢「多摩のまちづくり戦略」の策定

2 「イノベーション創出まちづくり」モデル事業

○目的

・「イノベーション創出まちづくり」の促進を図るため、モデル事業を実施し、他の地区にも取組を促していく。
・モデル事業を通じて、「イノベーション創出まちづくり」の課題等を洗い出し、新たな拠点整備計画の策定やその後の施策展開につなげていく。

○実施内容、スケジュール

地元自治体が主体となって「イノベーション創出まちづくり」に取り組む意欲のある地区を公募により選定し、まちづくりの検討や計画策定等に対して、技術的・財政的な支援を実施した。

令和２年５月　　：地区の公募
令和２年７月　　：地区の選定（４地区：多摩市、府中市、日野市、八王子市）
令和２～３年度　：まちづくりの検討・計画策定等（都が支援）

多摩のイノベーション創出拠点の形成に向けた取組

3 実施地区

1 多摩市 尾根幹線沿道拠点地区（約38ha）

〇検討内容

➢南多摩尾根幹線沿道で創出される大規模敷地において、イノベーション創出拠点を形成していくために、「公民学連携プラットフォームによるエリアごとの将来像の検討」、「市有地を活用した地域・民間ニーズの実証方法の検討」を推進

〇取組内容

➢公民学連携の対話の場となるプラットフォームの構築・新たな導入機能のアイデア出し

➢学校跡地を地域・民間ニーズの実証フィールドとして先行活用

2 府中市 府中基地跡地留保地周辺地区（約39ha）

〇検討内容

➢府中基地跡地留保地周辺地区におけるイノベーション創出に向け、公民学連携体制づくり、まちづくりポイント制度（地域通貨）の導入による地域交流の活性化、エリアマネジメントを通じた公共空間の有効活用などを検討

〇取組内容

➢公民学連携体制づくり
（大学との協働による創業支援、カーボンニュートラルの取組等）

➢まちづくりポイント制度の導入による地域交流活性化

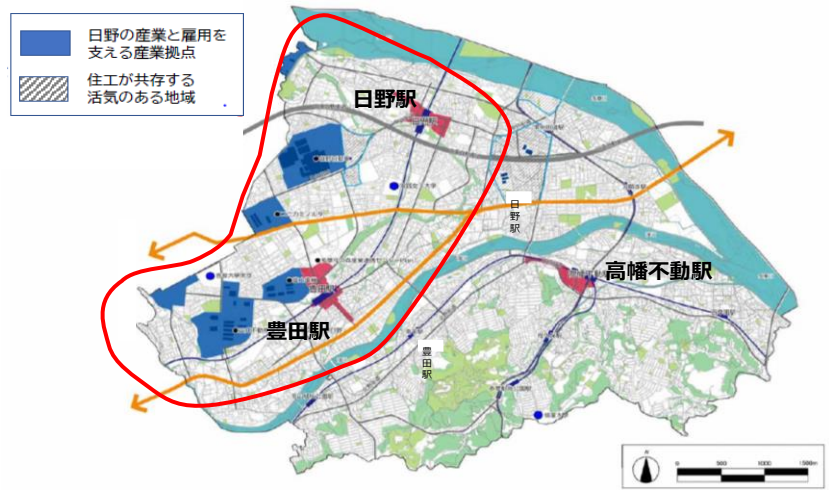
➢エリアマネジメントを通じた公共空間の有効活用

➢隣接する都立公園等との連携

➢スマート街路灯の導入（５Gの基盤整備、人流データの活用）

多摩のイノベーション創出拠点の形成に向けた取組

3　日野市　日野北西部イノベーション拠点地区（約115ha）



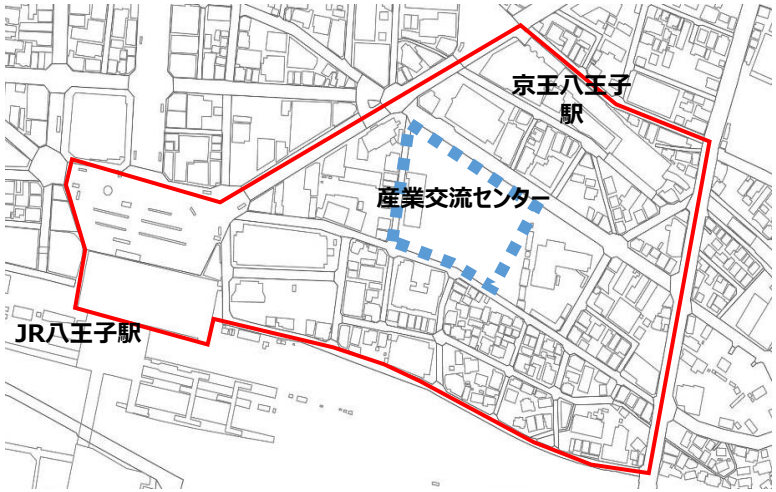
〇検討内容

➢工場跡地など今後の大規模土地利用転換時にイノベーションを積極導入していくため、大学・企業・市民を巻き込んだプラットフォーム等を整備し、地域課題の解決に向けた様々な社会実証の実施、共創空間「コモンズ」形成等を検討

〇取組内容

➢創業支援施設等を活用した共創空間「コモンズ」の形成
➢共創まちづくり提案制度等の検討
➢スマートメーターによる要介護者の見守り（実証実験）
➢ビーコン、アプリ、地域ポイントによる多世代交流促進（実証実験）
➢移動販売車による出張栄養講座（実証実験）

4　八王子市　八王子市旭町・明神町地区（約12ha）



〇検討内容

➢都立多摩産業交流センターの機能を最大発揮するため、隣接地で検討中の再開発事業における産業支援機能、中心市街地の魅力向上に向けた都市型広場の設置、鉄道駅間の連続性や中心市街地の回遊を促すウォーカブルなまちづくりを検討

〇取組内容

➢再開発事業におけるインキュベーション施設等の導入
➢公民共創オープンイノベーション促進の「対話の場」の導入
➢イノベーション創出まちづくりに向けた共創プラットフォーム等の体制づくり（都市型広場の活用検討、マネジメント組織の組成　等）
➢ウォーカブルなまちづくりの推進（無電柱化事業、駐車場地域ルールの導入等）

多摩のイノベーション創出拠点の形成に向けた取組

4 成果検証

（１）多摩地域の課題・ニーズに応じたイノベーション創出の方向性

➢人口減少など地域課題が多く、大規模敷地の創出が見込まれる多摩地域でイノベーションを創出し、産業として定着させていくためには、地域の課題や市場のニーズを把握し、その解決策を見出していく**課題解決型のイノベーション**が必要

（２）公民学連携の仕組みづくり

➢課題解決型のイノベーションを創出するためには、地域課題や市場ニーズを把握・共有していくための**公民学連携のプラットフォーム**など**多様な主体が参加する場**を設けることが必要

（３）ハード・ソフト両面からのまちづくり

➢イノベーション創出まちづくりにおいては、**産業振興部門等と連携し**創業支援プログラム等の即効性の高い取組を既存ストックで先行実施しつつ、土地利用転換等のまちづくりを進めるなど**ハード・ソフト両面からの取組**が必要

（４）広域連携への発展

➢モデル事業のうち八王子市と日野市では、イノベーション創出の取組を広く展開させていくために**行政間連携**がはじまりつつある。今後、道路交通ネットワークの整備などにより、さらに多摩地域全域を見据えた**広域連携**の実現を期待

（５）機運醸成に向けた多摩まちづくり推進連絡会議の活用

➢多摩イノベーション交流ゾーンの形成等に向け、多摩地域のまちづくりについて情報共有・意見交換をする場として、多摩地域の関連市町で構成される**多摩まちづくり推進連絡会議**を積極的に活用

多摩地域を含む2050年代の状況

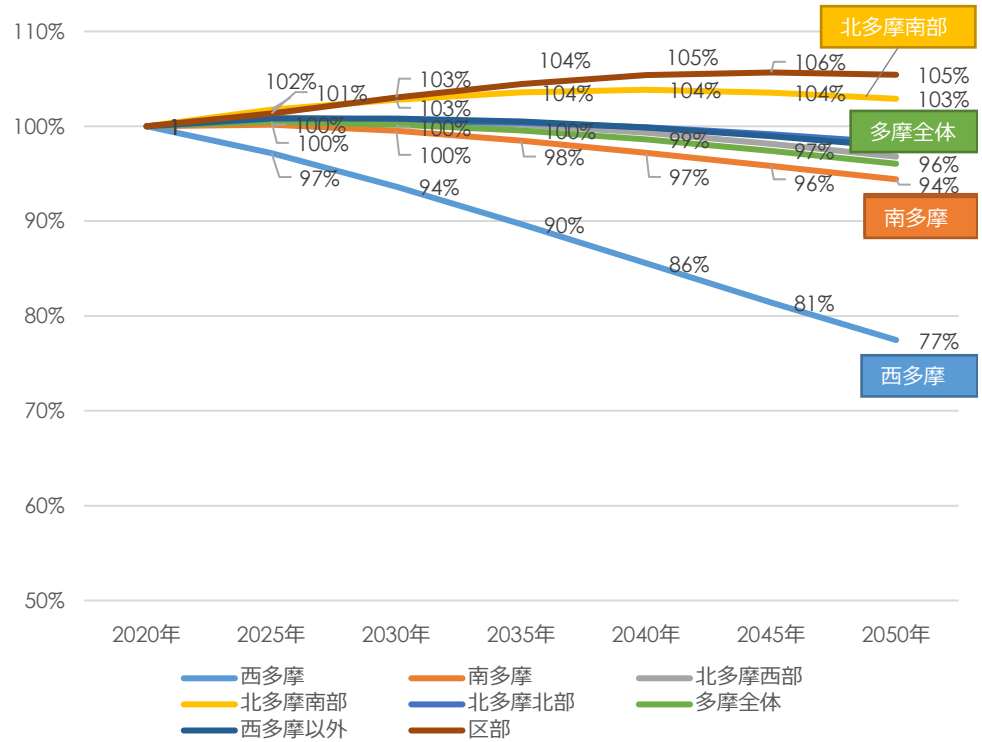
- 多摩地域を含む2050年代の状況について分析する。

多摩地域における状況

人口

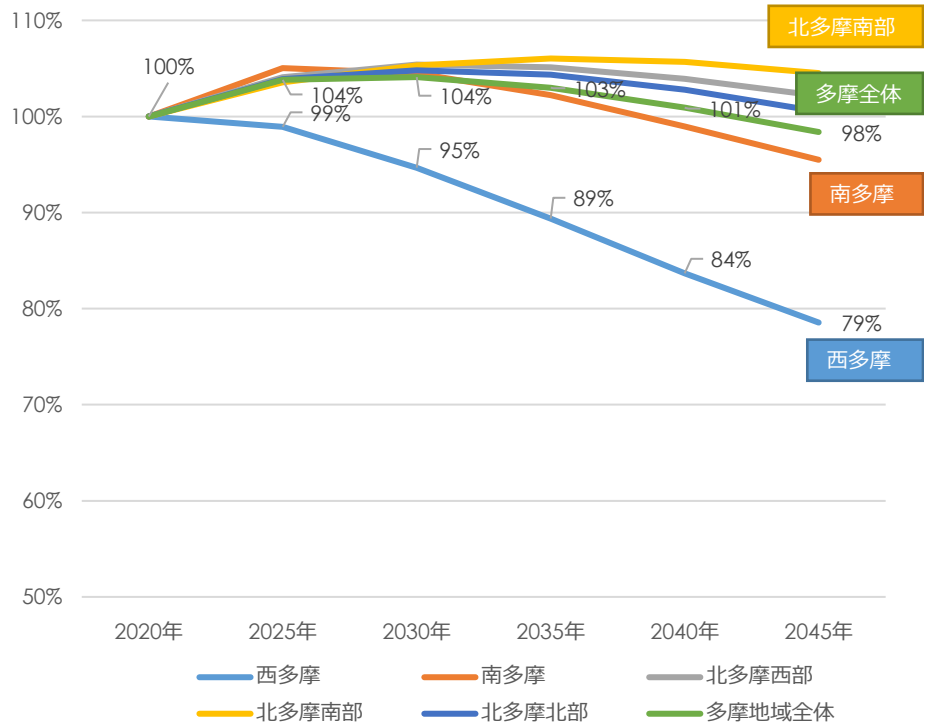
- 人口は、多摩全体では４％減（2020年と比べた2050年の人口減少率）（①）
- 世帯数は、多摩全体では２％減（2020年と比べた2045年の人口減少率）（②）

【地域別の人口推移】①



資料：日本の地域別将来推計人口(令和５(2023)年推計)（国立社会保障・人口問題研究所）を基に作成

【地域別世帯数の推移】②



資料：東京都世帯数の予測（東京都総務局）令和６年を基に作成

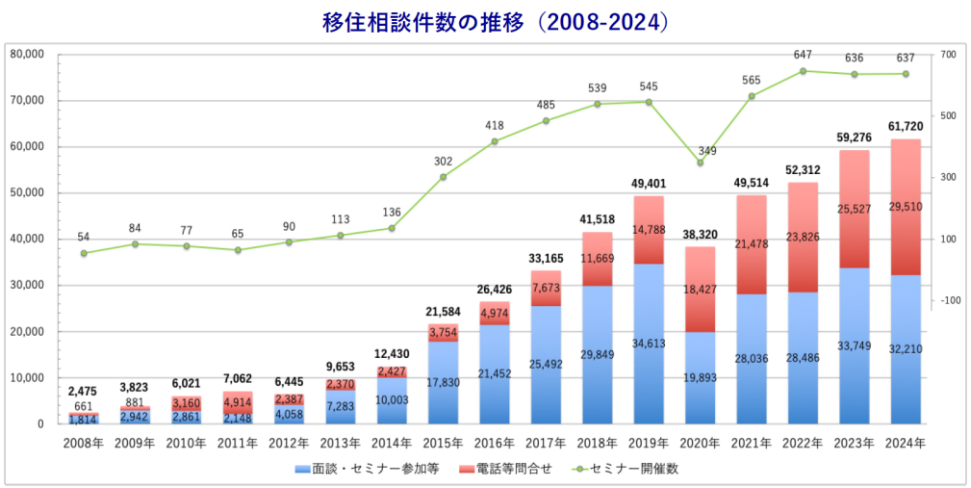
多摩地域を含む2050年代の状況

全国において想定される状況

生活

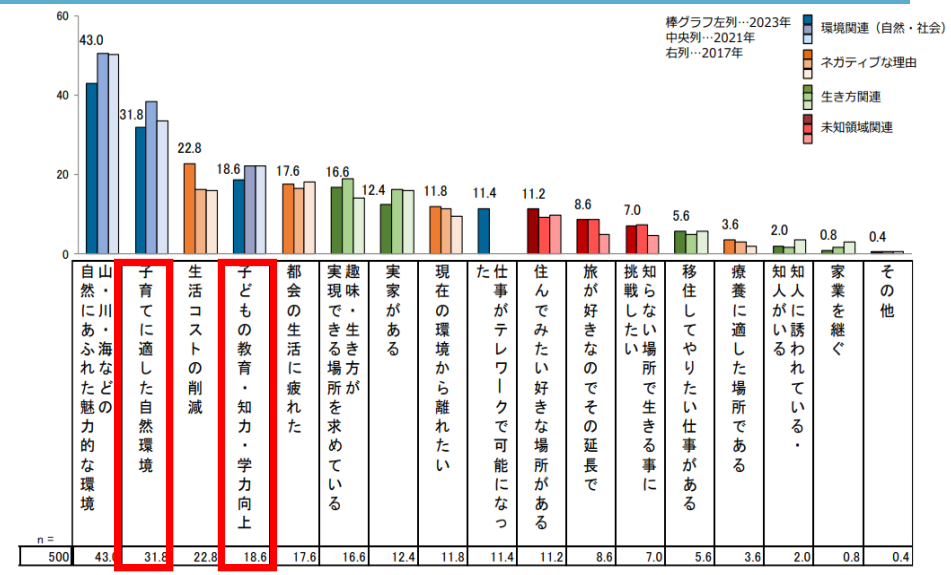
- コロナ禍を経て移住への関心は高い状態が続いている。（③）
- 移住に興味がある理由として、「子育てに適した自然環境」が32%、「子どもの教育・知力・学力向上」が19%（④）

【移住相談件数の推移】③



出典：NPO法人ふるさと回帰支援センター ニュースリリース 令和７年２月

【移住に興味がある理由（複数選択）】④



※選択肢のうち「仕事がテレワークで可能になった」は、今回新たに設けた。

【調査概要】
- 調査方法　ウェブモニターアンケート
- 対象地域　東京圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県）
- 実施期間　2023年10月12日(木) ～19日(木)
- 調査対象者　20代～30代の既婚男女で、地方への移住に興味がある500人
  （設問Q1.で地方への移住の興味の有無を確認し、「興味あり」「やや興味あり」「どちらかというと興味あり」と回答した人が、続く設問に回答）

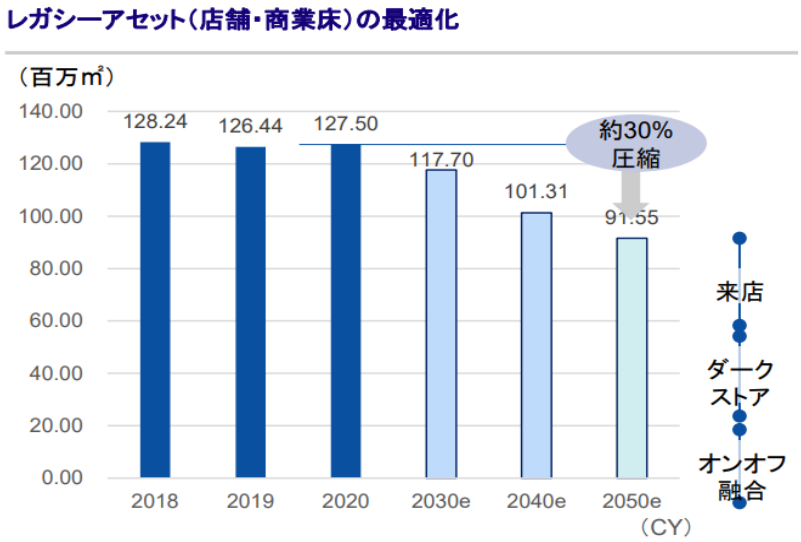
出典：アフターコロナの若者の移住に関する調査（一般社団法人移住・交流推進機構）令和５年12月に赤枠を追記

多摩地域を含む2050年代の状況

生活

- 各企業がデジタル化に適合した店舗・商業床への転換を加速させ、実店舗が減少（⑤）
- 社会経済のデジタル化などに伴い、我が国でもトラヒックの増加が続くことが見込まれる。（⑥）

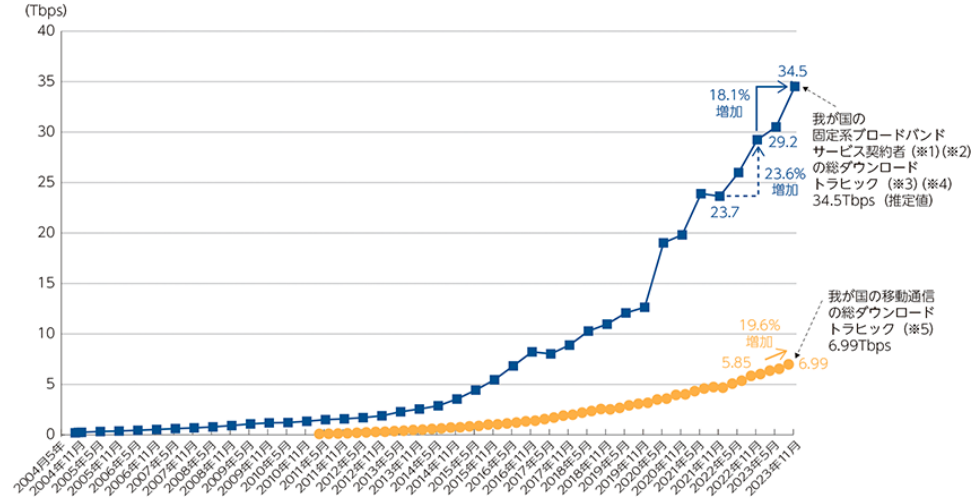
【EC化の進展】⑤



■ デジタル化に適合したレガシーアセットの転換
➢ 店舗からデジタルに適合した顧客接点へ
（弊行想定）
- 来店前提・・・40～50%程度
- 配送拠点・ダークストア・・・20～30%程度
- その他のオンオフ融合型の店舗・・・20%程度

出典：2050年の日本産業を考える（みずほフィナンシャルグループリサーチ＆コンサルティングユニット、みずほ銀行産業調査部）令和４年４月

【インターネットトラヒックの推移】⑥



※1　個人の利用者向け固定系ブロードバンドサービス（FTTH、DSL、CATV及びFWA）
※2　一部の法人契約者を含む
※3　2011年5月以前は、携帯電話網との間の移動通信トラヒックの一部が含まれる
※4　2017年5月から協力ISPが5社から9社に増加し、9社からの情報による集計値及び推計値としたため、不連続が生じている
※5　『総務省　我が国の移動通信トラヒックの現状（令和5年9月分）』より引用（3月、6月、9月、12月に計測）

出典：令和６年版情報通信白書（総務省）

ＩＴ関連の消費電力予測

IT関連消費電力予測	2016年	2030年	2050年
IPトラフィック（ZB/年）	4.7	170	20,200
消費電力（国内：TWh/年）	41	1,480	176,200
消費電力（世界：TWh/年）	1,170	42,300	5,030,000

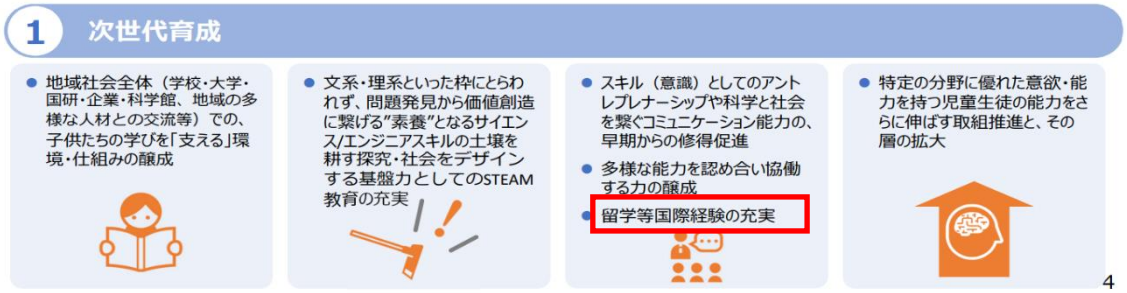
出典：情報化社会の進展がエネルギー消費に与える影響（Vol.1）―IT機器の消費電力の現状と将来予測―（国立研究開発法人　科学技術振興機構）平成31年３月

多摩地域を含む2050年代の状況

生活

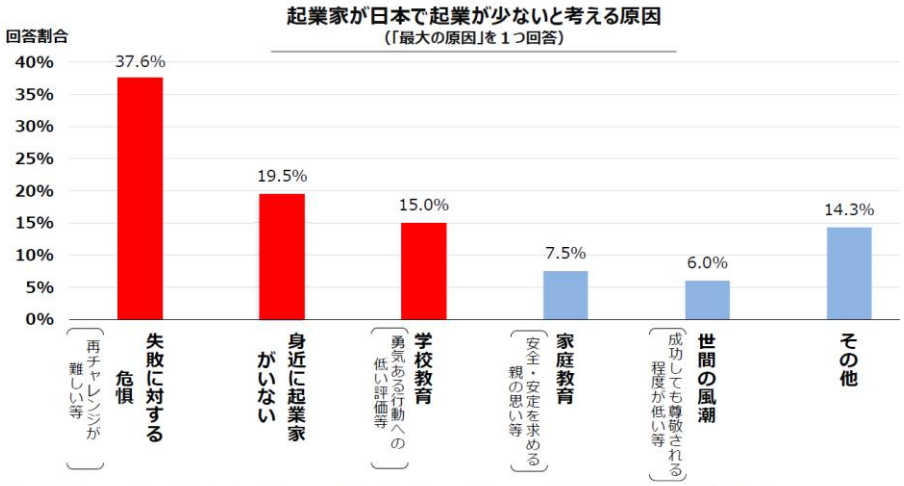
- 2050年を見据えたイノベーション人材戦略においては、次世代育成のため、留学等国際経験の充実が必要とされている。（⑦）
- 起業家が日本で起業が少ないと考える原因として、学校教育が挙げられている。（⑧）
- 未来人材ビジョン（経済産業省）では、「好きなことに夢中になれる教育への転換」が示されている。（⑨）

【イノベーション人材戦略】⑦



出典：2050年を見据えた「シン・ニッポンイノベーション人材戦略」（科学技術・学術審議会人材委員会）令和6年10月に赤枠を追記

【日本で起業が少ないと考える原因】⑧



（注）　設立5年以内のベンチャー企業1,459社に対して、2020年5月13日-6月12日に実施したアンケート調査の結果（本設問への回答は133社）。
（出所）一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター「ベンチャー白書2020」を基に経済産業省が作成。

出典：第５回未来人材会議資料（経済産業省）令和４年４月

【好きなことに夢中になれる教育への転換】⑨

「好きなことに夢中になれる教育への転換」とは、

一律・一斉で画一的な知識を詰め込むという考えを改め、

具体的なアクションを起こすことである。

一人ひとりの認知特性・興味関心・家庭環境の多様性を前提に、

時間・空間・教材・コーチの組み合わせの自由度を高める方向に転換し、

子どもたちが好きなことに繰り返し挑戦したくなる機会を増やしていく。

出典：未来人材ビジョン
（経済産業省）令和４年５月

多摩地域を含む2050年代の状況

インフラ

- 民間の研究機関によれば、2050年には、自動運転車の販売が半数以上になると予測（⑩）
- 道路空間を活用した物流専用空間の構築を目指すなど、物流の効率化が進むことが想定

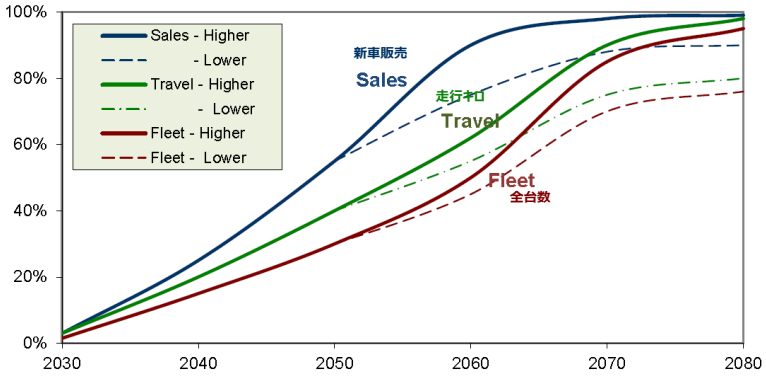
生活

- コト消費、トキ消費への傾向が強まることが想定（⑪）

防災・環境

- 気温上昇により、日中の活動量が減少することが想定（⑫）

【自動運転車の販売、台数、走行キロの予測】⑩



出典：Autonomous Vehicle Implementation Predictions(VICTORIA Transport Policy Institute)2023に追記

【トキ消費】⑪

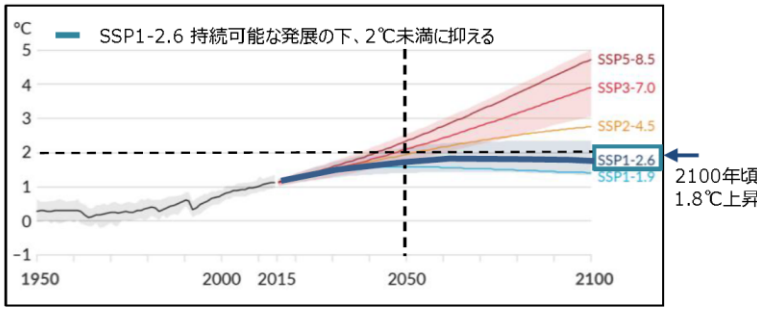
若者に特徴的な消費形態「トキ消費」、「推し活」

従来からの消費行動である、モノ（商品）を購入し所有する消費形態は「モノ消費」、旅行、習い事、芸術鑑賞等の機会やサービスを消費する形態は、「コト消費」といわれています。一方、その時、その場所でしか体験できないスポーツイベントやフェス等で、感動を他の参加者と共有するとともに、自らも参加者として盛り上がりに寄与し一体感を得る消費形態は「トキ消費」といわれています。近年、若者の消費形態は、「コト消費」から「トキ消費」に移行しているといわれており、若者の「トキ消費」への注目が高まっています。

出典：令和４年消費者白書（消費者庁）に下線を追記

【IPCCによる気温上昇シミュレーション】⑫

・複数の温室効果ガス等排出シナリオのうち、パリ協定の目標を踏まえたシナリオでは、2050年頃までに1.5～2℃程度上昇



（出典）IPCC「第６次評価報告書 統合報告書」（令和5年3月）を基に作成

出典：TOKYO強靭化プロジェクトupgrage Ⅰ（東京都）令和５年12月

検討の経緯

令和4年9月29日	多摩まちづくり推進連絡会議	・「(仮称)多摩の新たな拠点整備計画」の策定について
令和4年10月12日	庁内検討会・幹事会	・会議の設置要綱の承認について ・計画の概要と策定スケジュール
令和4年12月22日	多摩まちづくり推進連絡会議	・有識者講演、トークセッション
令和5年1月25日	庁内検討会幹事会	・「多摩のまちづくり戦略の基本的考え方」（素案）について ・今後の検討スケジュール（案）
令和5年2月3日	多摩まちづくり推進連絡会議	・「(仮称)多摩の新たな拠点整備計画」の基本的考え方について ・有識者講演、トークセッション
令和5年3月2日	庁内検討会幹事会	・「多摩のまちづくり戦略の基本的考え方」（案）について
令和5年3月23日	庁内検討会・幹事会	・「多摩のまちづくり戦略の基本的考え方」（案）について
令和5年3月28日	多摩まちづくり推進連絡会議	・「多摩のまちづくり戦略の基本的考え方」（案）について
令和5年3月31日	「多摩のまちづくり戦略の基本的考え方」を公表	
令和5年8月4日	庁内検討会幹事会	・多摩のまちづくり戦略の全体構成案 ・今年度のスケジュール、庁内資料確認依頼
令和5年9月8日	庁内検討会幹事会	・今年度のスケジュール ・多摩のまちづくり戦略、拠点づくりの戦略（状況報告）
令和5年9月15日	多摩まちづくり推進連絡会議	・「多摩のまちづくり戦略」について　・作業依頼等について
令和5年10月12日	庁内検討会幹事会	・今年度のスケジュール ・多摩のまちづくり戦略、 庁内資料確認依頼
令和5年10月13日	多摩まちづくり推進連絡会議	・「多摩のまちづくり戦略」について　・作業依頼等について
令和5年12月7日	庁内検討会・幹事会	・今年度のスケジュール ・多摩のまちづくり戦略
令和5年12月7日	多摩まちづくり推進連絡会議	・「多摩のまちづくり戦略」について
令和7年2月10日	多摩まちづくり推進連絡会議	・多摩のまちづくり戦略（案）について
令和7年3月3日	多摩まちづくり推進連絡会議	・多摩のまちづくり戦略について